

特別史跡

一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査報告 19

第 68・74・75 次調査

2 0 2 1

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

序 文

今年度、我が国は、新型コロナウイルスの蔓延、異常気象による豪雨災害と、未曾有の事態に直面しましたが、先人たちにならない、我々も上を向いて厄災を乗り越えていかねばなりません。

国民の遺産である当史跡を通して、未来にまなごしを向ければ、歴史は古い友人のように傍らに立ち、助言を与えてくれるはずです。当館も歩みをとめず、来館者の方々がホンモノに触れ、混沌と秩序が混交した戦国期に生きる人々のたくましさを感じてもらい、自身の歴史観を育み、今を生きるヒントになるような調査・研究・展示・整備を進めて参りたいと思います。

今回の報告書は、報告 18 に引き続き、重臣屋敷に関連する報告として第 68・74・75 次の調査成果をまとめました。

第 68 次の中惣^{なかそう}地区は、一乗谷古絵図に「朝倉式部大輔^{あさくらしきぶのたゆうやかたあと}館跡」と記され、朝倉義景^{あさくらよしかげ}の従兄である朝倉景鏡^{かげあきら}の館跡と見られます。調査区のお大半は河川の氾濫で消失していましたが、南北に土塁と濠を構え、障壁を築き、朝倉館跡に匹敵する規模を有していたと考えます。

第 74・75 次の権殿^{ごんどの}地区は、「朝倉権ノ頭^{あさくらごんのかみ}」と記され、土塁をめぐらす武家屋敷跡と溝で区画された中・小規模建物が見つかりました。茶の湯や庭に関連する遺構も発見され、戦国の世の文化への深い造詣がうかがえます。

調査から本報告の刊行まで 30 年近い歳月を要しましたが、本書が戦国城下町研究の更なる発展に寄与するものとなれば幸いです。

最後になりましたが、本書の作成にあたり、文化庁をはじめ関係機関、地元の皆様から多大なご支援をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

令和 3 年 3 月

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

館長 西澤弘純

例 言

- 1 本書は、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館が、特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡(福井県福井市)における計画的な発掘調査の結果を報告したものであり、第19冊目にあたる。発掘調査事業概要は「I. 事業概要」で報告する。
- 2 本書で報告する調査は、国庫補助事業として、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館が平成2年(1990)度から同3年(1991)度までに実施したものである。各調査次の発掘調査期間、主な担当者は下記のとおりである。
第68次 平成2年(1990) 4月1日～同年12月25日 岩田 隆 南洋一郎 佐藤 圭
第74次 平成3年(1991) 4月1日～同年9月9日 岩田 隆 南洋一郎 佐藤 圭
第75次 平成3年(1991) 9月10日～同年12月25日 水野和雄 吉岡泰英 月輪 泰
- 3 本書を刊行するための出土遺物整理作業は、平成30年(2018)度から令和2年(2020)度まで福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館で実施した。
- 4 本書は、発掘調査の記録類をもとに、鈴木篤英(福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館主任)が編集・作成を担当した。木製品の樹種分析については既出の分析結果に加え、渡邊英明(同館学芸員)が担当した。
- 5 本書で、各調査次の発掘調査・整備事業概報(以下、概報と略)や、これまでの成果発表の中で齟齬がある場合は、本書をもって訂正したものと了解されたい。
- 6 本書の遺構写真撮影は発掘調査担当者による。遺物写真撮影は鈴木が担当した。遺構全体図の作成については、一部を株式会社文化財サービスにデジタルトレース作業を委託した。
- 7 写真図版・挿図・表の遺物番号は符合する。写真の縮尺は不同である。
- 8 本書における水平レベルの表示は海拔高(m)を示し、方位は座標北を用いた。挿図中の方位、座標は日本測地系国土平面直角座標第VI系を使用した。挿図中の標高や座標の数値については、測量全体図から算出できたものを可能なかぎり記載した。建物の規模については、柱の中心を想定して計測し、石積遺構、井戸、溝の規模は内寸で計測した。
今回の報告書作成において、各調査次の記録類に不備な点が少なくなく、遺構や遺物の考察は、概報を参考にしつつも、調査区の区割り、遺構番号、規模や時期について改めて再整理、再検討を行った。
- 9 本書で用いた遺構の略記号は次の通りである。
SA：土塁石垣、SB：建物、SD：溝、SE：井戸、SF：石積遺構、SK：土坑、SI：門跡、SS：道路、SV：石垣・石列、SZ：暗渠、SX：石敷遺構(土坑を伴うものも含む)・不明遺構、X：遺物出土地点、P：SK4003 内埋甕土坑
- 10 本書に掲載した遺物と、調査に際して作成した図面・写真は、一括して福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館に保してある。
- 11 本書の作成にあたり、下記の機関からご指導・ご教示をいただいた。
福井県教育庁埋蔵文化財調査センター
- 12 発掘調査では、地元・地権者の方々の参加・協力を得た。遺物整理作業は、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館の整理作業員(令和2年度からは会計年度任用職員)が行った。

目 次

I. 事業概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法および組織	1
3. 発掘調査および本報告書作成年度における組織	3
II. 調査の概要と経過	
1. 調査の概要	5
2. 調査日誌	7
III. 第 68 次調査【城戸ノ内町中惣】	
1. 遺構の概要	9
2. 第 I 区域	9
3. 第 II 区域	11
4. 第 III 区域	13
5. 第 IV 区域	19
6. 遺 物	20
IV. 第 74・75 次調査【城戸ノ内町権殿】	
1. 遺構の概要	43
2. 第 I 区域(第 74 次)	44
3. 第 II 区域(第 74 次)	47
4. 第 III 区域(第 74 次)	49
5. 第 IV 区域(第 75 次)	50
6. 第 V 区域(第 75 次)	53
7. 第 74 次調査遺物	58
8. 第 75 次調査遺物	101
V. ま と め	
1. 第 68 次調査	143
2. 第 74・75 次調査	143

写真図版目次

- PL. 1 第 68 次調査 城戸ノ内町字中惣
(1)第 68 次調査区遠景(南から)
(2)第 68 次調査区遠景(西から)
- PL. 2 第 68 次調査 城戸ノ内町字中惣
(1)第 68 次調査区遠景(北西から)
(2)第 68 次調査区遠景(北から)
- PL. 3 第 68 次調査 城戸ノ内町字中惣
(1)第 68 次調査区遺構全景(南西から)
- PL. 4 第 68 次調査 城戸ノ内町字中惣
(1)第 68 次調査区遺構全景(北東から)
- PL. 5 第 68 次調査第 I 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)第 I 区域f-f' 断面(北西から)
(2)第 I 区域f-f' 断面東端(西から)
(3)第 I 区域g-g' 断面(北西から)
(4)第 I 区域g-g' 断面東端(北東から)
- PL. 6 第 68 次調査第 II 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)第 II 区域遺構全景(南西から)
(2)北濠SD2261 断面(西から)
(3)SD2261 出土漆器椀 197・199
(4)SD2261 出土漆器椀 193・196
(5)SD2261 出土漆器椀 192
- PL. 7 第 68 次調査第 II 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)SB3844(南西から)
(2)SS3866(北西から)
(3)SS3865・3866・SX3899、SK3858・3860、SD3849
(北西から)
- PL. 8 第 68 次調査第 II 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)SS3865・3866、SX3896・3899、SK3858・3859、
SD3849(南東から)
(2)SS3865、SX3895・3896・3899、SK3858、SD3848
(北西から)
- PL. 9 第 68 次調査第 II 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)SX3848・3894・3895・3899、SD3848(北西から)
(2)SX3895・3896(北西から)
(3)SX3896(北西から)
(4)SX3895(南から)
- PL. 10 第 68 次調査第 III 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)第 III 区域遺構全景(南西から)
(2)SA3845(南東から)
- PL. 11 第 68 次調査第 III 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)SD3847、SX3889・3890・3892・3893(東から)
(2)SB3843(東から)
- PL. 12 第 68 次調査第 III 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)SB3841・3842、SX3883～3886、SK3852・3854
(南東から)
(2)SB3841・3842、SX3885・3878(南東から)
- PL. 13 第 68 次調査第 III 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)SK3852～3855、SX3885(南から)
(2)SX3885(南東から)
(3)SK3854(北西から)
(4)SB3840、SS3864、SX3870～3881、SV3867
(南西から)
- PL. 14 第 68 次調査第 III 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)SB3840、SS3864、SX3870・3879～3881、SV3867
(南東から)
(2)SB3840、SS3864、SX3870・3879～3881、SV3867
(北東から)
- PL. 15 第 68 次調査第 III・IV 区域 城戸ノ内町字中惣
(1)SB3874、SS3864、SX3872・3874・3875(南東から)
(2)南側土壘SA3960、南濠SD2255(南西から)
- PL. 16 第 74・75 次調査 城戸ノ内町字権殿
(1)第 74・75 次調査区遠景(北から)
(2)第 74・75 次調査区遠景(西から)
- PL. 17 第 74・75 次調査 城戸ノ内町字権殿
(1)第 74・75 次調査区遠景(南西から)
(2)第 74・75 次調査区遠景(南東から)
- PL. 18 第 74 次調査第 I 区域 城戸ノ内町字権殿
(1)第 I 区域遺構全景(北から)
(2)第 I 区域遺構全景(南東から)
- PL. 19 第 74 次調査第 I 区域 城戸ノ内町字権殿
(1)SB3976(北西から)
(2)SB3977、SS4005(南西から)
- PL. 20 第 74 次調査第 I 区域 城戸ノ内町字権殿
(1)SB3978(南西から)
(2)SB3978(南東から)
(3)SB3978(北東から)
(4)SA4098、SD3986(北東から)
- PL. 21 第 74 次調査第 II 区域 城戸ノ内町字権殿
(1)第 II 区域遺構全景(北西から)
- PL. 22 第 74 次調査第 II 区域 城戸ノ内町字権殿
(1)SB3974・4091、SS4005(北東から)
(2)SB3974(北東から)

- (3)SS4005(南東から)
- PL. 23 第74次調査第Ⅱ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SD3983・3984、SK4002・4003、SS4007、
 SX4010、SA4012、SG4028(北西から)
 (2)SS4007、SA4012(北西から)
 (3)SA4012、SG4026・4028(北西から)
- PL. 24 第74次調査第Ⅱ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SA4012、SG4026・4028(南東から)
- PL. 25 第74次調査第Ⅱ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SA4019・4020、SB4096(南東から)
- PL. 26 第74次調査第Ⅲ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)第Ⅲ区域遺構全景(南西から)
 (2)第Ⅲ区域遺構全景(北西から)
- PL. 27 第74次調査第Ⅲ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SA3970、SS4008、SX4017、SF4001、SD3981、
 SZ4009・4092(北西から)
- PL. 28 第74次調査第Ⅲ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SD3981、SZ4092(南西から)
 (2)SD3981、SZ4092(北西から)
 (3)SZ4092(北西から)
 (4)SA3970、SZ4009(南西から)
 (5)SA3970、SD3981、SZ4009(東から)
 (6)SZ4009(北西から)
- PL. 29 第74次調査第Ⅲ区域、溝・井戸 城戸ノ内町
 字権殿
 (1)SB3971、SF4000(北東から)
 (2)SX4093、SD4094(南から)
 (3)SE4022、SD4095(南東から)
 (4)SE3990(南東から)
- PL. 30 第74次調査 井戸・石積遺構 城戸ノ内町字
 権殿
 (1)SE3991(南東から)
 (2)SE3993(南東から)
 (3)SE3994(北西から)
 (4)SE3994 蓋石除去後(南東から)
 (5)SE3989(北西から)
 (6)SE3995(北西から)
 (7)SF3996・3997(南西から)
- PL. 31 第74次調査 石積遺構 城戸ノ内町字権殿
 (1)SF3996・3997、SD3985(南東から)
 (2)SF3998・3999、SD3986(南東から)
- PL. 32 第74次調査 石積遺構・庭跡・溝 城戸ノ内
 町字権殿
 (1)SF4000(北西から)
 (2)SF4001、SA3970(北西から)
 (3)SG4026(北東から)
- (4)SD3983(南西から)
- PL. 33 第74次調査 道路・遺物集中地点 城戸ノ内
 町字権殿
 (1)SS4066(北東から)
 (2)X001:N43 越前焼甕 227(南西から)
 (3)X002:N43 越前焼播鉢 13(南西から)
 (4)X003:M43 越前焼播鉢(南西から)
 (5)X004:041 越前焼播鉢 198(南西から)
 (6)X005:E50 越前焼播鉢 9(北西から)
- PL. 34 第74次調査 土坑 城戸ノ内町字権殿
 (1)SK4003-P1～P5、SS4007(北西から)
 (2)SK4003(南東から)
 (3)SK4003-P1(南西から)
 (4)SK4003-P3(南西から)
- PL. 35 第75次調査 城戸ノ内町字権殿
 (1)第74・75次調査区遺構全景(南から)
 (2)第74・75次調査区遺構全景(南東から)
- PL. 36 第75次調査 城戸ノ内町字権殿
 (1)第75次調査区遺構全景(北から)
 (2)第75次調査区遺構全景(東から)
- PL. 37 第75次調査第Ⅳ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)第Ⅳ区域遺構全景(北西から)
- PL. 38 第75次調査第Ⅳ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)第Ⅳ区域遺構全景(西から)
 (2)SB4050・4051・4100、SX4077(北西から)
- PL. 39 第75次調査第Ⅳ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SE4061、SX4083～4085、SV4072・4078
 (北西から)
 (2)SB4048・4054・4055、SV4067・4071・4074、
 SD4059(北西から)
- PL. 40 第75次調査第Ⅳ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SB4054、SD4059(東から)
 (2)SD4059(北東から)
 (3)SD4057(北西から)
- PL. 41 第75次調査第Ⅴ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)第Ⅴ区域遺構全景(北から)
 (2)第Ⅴ区域遺構全景(西から)
- PL. 42 第75次調査第Ⅴ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SA3970・4041(北西から)
 (2)SA4042、SI4094、SZ4089、SF4063(北東から)
 (3)SA4042(北西から)
 (4)SA4042、SZ4089(北西から)
 (5)SI4094(北西から)
 (6)SI4094(南東から)
- PL. 43 第75次調査第Ⅴ区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SB4043・4044・4046(北西から)

- (2)SB4043・4046(北西から)
- PL. 44 第 75 次調査第 V 区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SB4043～4045(南東から)
 (2)SB4045・4047・4053(南東から)
- PL. 45 第 75 次調査第 V 区域 城戸ノ内町字権殿
 (1)SB4043～4047・4053・4056・4047、SE4060、SD4057(北から)
 (2)SB4053・4064・4047、SE4060(西から)
- PL. 46 第 75 次調査 石積遺構・遺物集中地点 城戸ノ内町字権殿
 (1)SF4063(北西から)
 (2)SX4080(北から)
 (3)SE4060バンドコ309(西から)
 (4)SE4061 土師器皿 165
 (5)X006: SX4083 付近越前焼播鉢(北西から)
 (6)X007: SD4059 灰釉皿 135(南東から)
 (7)X008: SB4043 土師器皿 174(南西から)
 (8)X009: SB4045 銭貨
- PL. 47 第 68 次調査 包含層出土土器
- PL. 48 第 68 次調査 包含層出土土器
- PL. 49 第 68 次調査 第 II 区域遺構出土土器
 (1)SD2261 出土土器
 (2)SD3849 出土土器
 (3)SD3848 出土土器
- PL. 50 第 68 次調査 第 II・III 区域遺構出土土器
 (1)SX3895 出土土器
 (2)SK3854 出土土器
- PL. 51 第 68 次調査 第 III 区域遺構出土土器他、金属製品、銭貨
 (1)SK3852 出土土器
 (2)SX3889 出土土器
 (3)SD3847、SB3840 出土土器
 (4)概報掲載出土土器
 (5)金属製品、銭貨
- PL. 52 第 68 次調査 木製品
 (1)漆器
- PL. 53 第 68 次調査 木製品
 (1)容器、雑器
 (2)折敷、祭祀具
- PL. 54 第 68 次調査 木製品、石製品
 (1)御幣串
 (2)刀形
 (3)刀形
 (4)不明部材、石製品
- PL. 55 第 74 次調査 包含層出土土器
- PL. 56 第 74 次調査 包含層出土土器
- PL. 57 第 74 次調査 包含層出土土器
- PL. 58 第 74 次調査 包含層出土土器
- PL. 59 第 74 次調査 包含層出土土器、第 I 区域遺構出土土器
 (1)包含層出土土器
 (2)SB3976 出土土器
 (3)SB3977 出土土器
 (4)SB3978 出土土器
 (5)SB4097、SA4098 出土土器
- PL. 60 第 74 次調査 第 I 区域遺構出土土器
 (1)SD3987 出土土器
 (2)SE3990 出土土器
 (3)SE3990 出土土器
 (4)SE3990・3991 出土土器
 (5)SF3997・3998 出土土器
 (6)SF3996・3997 出土土器
 (7)SE4022 出土土器
 (8)SB4013、SX4024・4025 出土土器
- PL. 61 第 74 次調査 第 II 区域遺構出土土器
 (1)SB3973 出土土器
 (2)SB3974 出土土器
 (3)SA4012 出土土器
 (4)SA4012 出土土器
 (5)SX4010 出土土器
 (6)SS4005 出土土器
 (7)SS4066 出土土器
 (8)SD4090 出土土器
- PL. 62 第 74 次調査 第 II 区域遺構出土土器
 (1)SK4002 出土土器
 (2)SK4003-P1 出土土器
 (3)SK4003-P2 出土土器
 (4)SK4003-P3 出土土器
- PL. 63 第 74 次調査 第 II・III 区域遺構出土土器、土製品
 (1)SK4003-P4 出土土器
 (2)ヘラ記号、SK4003-P5 出土土器
 (3)SB3972 出土土器
 (4)SE3993 出土土器
 (5)土製品
- PL. 64 第 74 次調査 金属製品、木製品
 (1)金属製品
 (2)金属製品
 (3)木製品
- PL. 65 第 74 次調査 石製品
- PL. 66 第 74 次調査 石製品、銭貨
 (1)石製品

- (2) 銭貨
- PL. 67 第74次調査 銭貨
- PL. 68 第75次調査 包含層出土土器
- PL. 69 第75次調査 包含層出土土器、第Ⅳ区域遺構出土土器
- (1) 包含層出土土器
- (2) 包含層出土土器
- (3) SB4051 出土土器
- PL. 70 第75次調査 第Ⅳ区域遺構出土土器
- (1) SB4048 出土土器
- (2) SB4048 出土土器
- (3) SB4049 出土土器
- (4) SB4078 出土土器
- PL. 71 第75次調査 第Ⅳ区域遺構出土土器
- (1) SB4054 出土土器
- (2) SV4067・4073 出土土器
- (3) SD4058 出土土器
- (4) SD4059 出土土器
- (5) SD4057 出土土器
- PL. 72 第75次調査 第Ⅳ・Ⅴ区域遺構出土土器
- (1) SD4057 出土土器
- (2) SE4061・4062 出土土器
- (3) SB4043 出土土器
- (4) SB4045 出土土器
- PL. 73 第75次調査 第Ⅴ区域遺構出土土器
- (1) SB4053 出土土器
- (2) SB4046 出土土器
- (3) SB4047 出土土器
- (4) SA4042 出土土器
- PL. 74 第75次調査 第Ⅴ区域遺構出土土器、土製品、金属製品
- (1) SE4060 出土土器
- (2) SF4063 出土土器
- (3) SX4081 出土土器
- (4) 土製品
- (5) 金属製品
- PL. 75 第75次調査 骨角製品、石製品、木製品、銭貨
- (1) 骨角製品、石製品
- (2) 木製品
- (3) 銭貨
- PL. 76 第75次調査 銭貨
- PL. 77 第75次調査 銭貨
- PL. 78 第75次調査 銭貨

挿図目次

第 1 図	特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡調査地点 ……	2	SX3855・3872～3876・3881、SK3852 ……	18	
第 2 図	第 68・74・75 次調査区と周辺の調査区位置図 ……	6	第 15 図	第 68 次調査 包含層出土土器 ……	22
第 3 図	第 68 次調査風景 ……	7	第 16 図	第 68 次調査 包含層出土土器 ……	23
第 4 図	第 74・75 次調査風景 ……	8	第 17 図	第 68 次調査 第Ⅱ区域遺構出土土器 ……	24
第 5 図	第 68 次調査位置図 ……	10	第 18 図	第 68 次調査 第Ⅲ・Ⅳ区域遺構出土土器、金属製品、銭貨 ……	25
第 6 図	第 68 次調査遺構断全体図 ……	折込	第 19 図	第 68 次調査 木製品(漆器、容器・雑器) ……	26
第 7 図	第 68 次調査 f-f'・g-g'・h-h' 遺構断面図 ……	折込	第 20 図	第 68 次調査 木製品(折敷・祭祀具) ……	27
第 8 図	第 68 次調査 a-a'・b-b'・c-c'・d-d'・e-e' 遺構断面図 ……	折込	第 21 図	第 68 次調査 木製品(不明部材)、石製品 ……	28
第 9 図	第 72 次調査遺構全体図、SD3932 断面図 ……	11	第 22 図	第 74・75 次調査位置図 ……	43
第 10 図	第Ⅱ区域 SB3844 ……	12	第 23 図	第 74・75 次調査遺構全体図 ……	折込
第 11 図	第Ⅱ区域 SS3865・3866、SD3849・3850、SX3895・3896 ……	14	第 24 図	第 74・75 次調査 a-a'・b-b'・c-c'・d-d'・e-e'・f-f'・g-g'・h-h' 遺構断面図 ……	折込
第 12 図	第Ⅲ区域 SA3845 ……	15	第 25 図	第Ⅰ・Ⅱ区域 SB3976～3978、SX4012・4019・4020、SS4005・4007、SK4002・4003、X001～005 ……	折込
第 13 図	第Ⅲ区域 SB3843、SD3847、SX3887・3889～3891 ……	16	第 26 図	第Ⅱ区域 SS4066、SD4056・4090 ……	48
第 14 図	第Ⅲ区域 SB3840～3842・3847、SV3867・3870、		第 27 図	第Ⅳ区域 SB4048～4051・4078、SD4057、SF4063、SV4067・4071～4073、SX4083・4084、X006 ……	51
			第 28 図	第Ⅳ区域 SB4054・4055、SD4059、X007 ……	52

第 29 図	第 V 区域 SB4043~4047・4053、SA4041、SE4060、SX4074・4080~4082、X008~010	第 46 図	第 74 次調査	錢貨	75
第 30 図	第 V 区域 SI4064、SB4091	第 47 図	第 75 次調査	包含層出土土器	104
第 31 図	第 74 次調査	包含層出土土器	第 48 図	第 75 次調査	包含層出土土器、第 IV 区域遺構出土土器
第 32 図	第 74 次調査	包含層出土土器	第 49 図	第 75 次調査	第 IV 区域遺構出土土器
第 33 図	第 74 次調査	包含層出土土器	第 50 図	第 75 次調査	第 IV 区域遺構出土土器
第 34 図	第 74 次調査	包含層出土土器	第 51 図	第 75 次調査	第 IV・V 区域遺構出土土器
第 35 図	第 74 次調査	包含層出土土器、第 I 区域遺構出土土器	第 52 図	第 75 次調査	第 V 区域遺構出土土器
第 36 図	第 74 次調査	第 I 区域遺構出土土器	第 53 図	第 75 次調査	第 V 区域遺構出土土器
第 37 図	第 74 次調査	第 I 区域遺構出土土器	第 54 図	第 75 次調査	第 V 区域遺構出土土器、土製品、金属製品
第 38 図	第 74 次調査	第 II 区域遺構出土土器	第 55 図	第 75 次調査	金属製品、石製品
第 39 図	第 74 次調査	第 II 区域遺構出土土器	第 56 図	第 75 次調査	石製品
第 40 図	第 74 次調査	第 II 区域遺構出土土器	第 57 図	第 75 次調査	石製品、木製品
第 41 図	第 74 次調査	第 III 区域遺構出土土器	第 58 図	第 75 次調査	錢貨
第 42 図	第 74 次調査	土製品、金属製品、木製品	第 59 図	第 75 次調査	錢貨
第 43 図	第 74 次調査	石製品	第 60 図	第 75 次調査	錢貨
第 44 図	第 74 次調査	石製品	第 61 図	第 75 次調査	錢貨
第 45 図	第 74 次調査	石製品、錢貨、その他			

表 目 次

第 1 表	第 68 次調査主要遺構観察表	19	金属製品	97
第 2 表	第 68 次調査出土遺物観察表	29	木製品	98
	包含層出土土器	29	石製品	98
	遺構出土土器	34	錢貨	100
	金属製品	39	第 5 表	第 75 次調査出土遺物観察表
	錢貨	39	包含層出土土器	119
	木製品	40	第 IV~V 区域遺構出土土器	123
	石製品	42	土製品	136
第 3 表	第 74・75 次調査主要遺構観察表	56	金属製品	136
第 4 表	第 74 次調査出土遺物観察表	76	骨角製品、石製品	137
	包含層出土土器	76	木製品	138
	第 I~III 区域遺構出土土器	88	錢貨	139
	土製品	97		

I. 事業概要

1. 調査の目的

戦国大名朝倉氏の拠点である特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡は、5代103年間にわたって営まれた城下町の遺跡であり、朝倉館を中心として山城、城戸、武家屋敷、町屋、寺院等の遺構が一体となって保存されており、国民共有の文化遺産として、永久に保存するため、特別史跡に指定して公有地化を進めている。

発掘調査で検出した遺構は保護するだけにとどまらず、その調査成果を広く公開し、来園者の歴史認識の醸成に資することを常に重視し、遺跡の中に自身を置いて「歴史と生きた対話」ができる史跡公園の完成を目指している。

既に、一乗谷朝倉氏遺跡の発掘調査と整備が着手されて半世紀以上の時が過ぎたが、不断の調査の積み重ねが一乗谷の町並みの規模や構造、そこで生きる人々の暮らしぶりを多彩な角度から解明してきた。計画的な発掘調査の成果に基づき環境整備を実施し、適切な維持管理のもとに遺跡を公開するという基本理念は多くの関係者の努力によって今日まで一貫している。

一乗谷朝倉氏遺跡の調査は、昭和42年(1967)度、旧足羽町教育委員会が事業主体として始め、昭和46年(1971)度から福井県教育委員会が発掘調査と環境整備事業実施し、福井市が用地取得と遺跡の管理を担当して事業を進めてきた。同年7月に278haという広大な区域が国の特別史跡に格上げ指定されると、県は昭和47年(1972)3月に「朝倉氏史跡公園基本構想」を策定し、さらに「基本構想」に基づく事業遂行の指導体制の万全を期すため、「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡調査研究協議会」を発足させた。同年3月、福井県教育庁朝倉氏遺跡調査研究所を設置し、以後5ケ年計画を策定して、発掘調査と環境整備を継続的に実施してきた。

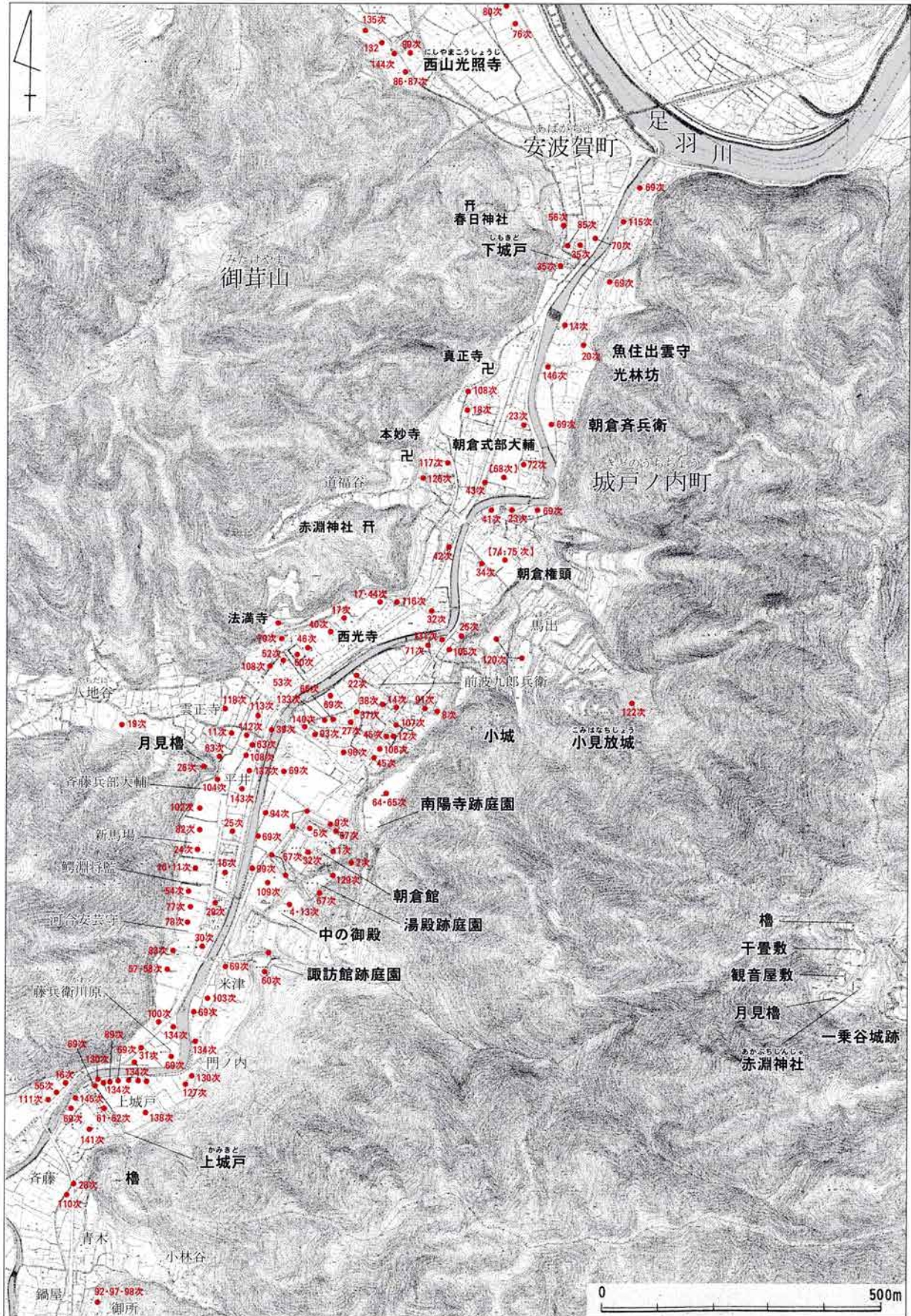
その後、平成3年(1991)に4つの庭園が国の特別名勝になり、平成19年(2007)に出土遺物2,343点が重文に指定され、令和元年(2019)に至り、日本遺産に認定されるなど、遺跡の価値は大きく同心円を描いて広く発信されるようになった。

現在の一乗谷における発掘調査は、「計画調査」と「現状変更に伴う調査」に対応しており(第1図)、計画調査の成果については、複数次にわたる調査区の遺構が一定の面積にまとまると、正報告書を刊行してきた。現状変更を前提とした道路・河川整備・中山間事業等に伴う発掘調査については、事業別に報告書を刊行してきた。また、史跡内の「個人宅地の新・改築等に伴う発掘調査」については、研究協議会へ報告し、各年度の「発掘調査整備事業概報」で報告を行ってきた。調査次数は、令和2年度の段階で153次に至る。本書では、主に重臣屋敷に関連する遺構に焦点をあて、第68・74・75次の調査成果について報告する。

2. 調査の方法および組織

一乗谷朝倉氏遺跡の発掘調査・環境整備は、国庫補助事業として県が直接実施しており、その実施機関として、福井県教育庁朝倉氏遺跡調査研究所(昭和47年(1972)4月1日～昭和56年(1981)8月19日)、福井県立朝倉氏遺跡資料館(昭和56年(1981)8月20日～平成3年(1991)3月31日)、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館(平成4年(1992)4月1日～現在、以下、資料館に略)が設置され、組織を改変して現在に至る。

平成24年(2012)度、県の機構改革によって、資料館は教育庁から知事部局に移管され、発掘調査、環境整備事業の業務は、一時、福井県教育庁埋蔵文化財調査センターが朝倉氏遺跡グループを設置して対応したが、平成29年(2017)度から再び資料館の業務となった。なお、資料館の業務については、「朝倉氏史跡公園基本構想」に基づいて設置された福井県朝倉氏遺跡研究協議会(旧福井県朝倉氏遺跡調査研究協議会)から適切な指導と助言を得て進めている。



第1図 特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡調査地点(縮尺1/10,000)

3. 発掘調査および本報告書作成年度における組織

【発掘調査】

平成元年度

福井県朝倉氏遺跡調査研究協議会

会長 青園謙三郎(福井テレビ副会長)
 委員 石井 進(東京大学教授)
 委員 木原啓吉(千葉大学教授)
 委員 小林健太郎(滋賀大学教授)
 委員 近藤公夫(奈良女子大学教授)
 委員 重松明久(中津女子短期大学学長)
 委員 田畑貞寿(千葉大学教授)
 委員 玉置伸吾(福井大学教授)
 委員 坪井清足(大阪文化財センター理事長)
 委員 平井 聖(東京工業大学教授)
 委員 石田 昇(朝倉氏遺跡保存協会会長)
 委員 藤田武信(城戸ノ内区長)

平成2年度

福井県朝倉氏遺跡調査研究協議会

会長 青園謙三郎(福井テレビ副会長)
 委員 石井 進(東京大学教授)
 委員 木原啓吉(千葉大学教授)
 委員 小林健太郎(滋賀大学教授)
 委員 近藤公夫(神戸芸術工科大学教授)
 委員 田畑貞寿(千葉大学教授)
 委員 玉置伸吾(福井大学教授)
 委員 坪井清足(大阪文化財センター理事長)
 委員 平井 聖(昭和女子大学教授)
 委員 松浦義則(福井大学教授)
 委員 石田 昇(朝倉氏遺跡保存協会会長)
 委員 細田岳雄(城戸ノ内自治会会長)

【遺物整理・報告書刊行】

平成30年～令和2年度

福井県朝倉氏遺跡研究協議会

会長 小野正敏(国立歴史民俗博物館名誉教授・中世考古学)
 副会長 高妻洋成(奈良文化財研究所副所長・保存科学)
 委員 池上裕子(成蹊大学名誉教授・中世史)
 委員 久保智康(京都国立博物館名誉館員・美術工芸)
 委員 富島義幸(京都大学大学院教授・建築史)
 委員 小野健吉(和歌山大学教授・遺跡整備)
 委員 小浦久子(神戸芸術工科大学教授・都市計画)
 委員 杉本 宏(京都芸術大学教授・庭園整備)
 委員 中井 均(滋賀県立大学教授・城郭考古学)
 委員 岸田 清((一社)朝倉氏遺跡保存協会会長)
 委員 網谷克彦(元福井県陶芸館長・考古)
 委員 吉田 智(福井県教育博物館長・歴史)

(網谷委員の任期は令和2年1月24日まで。中井委員の任期は令和2年1月25日から)

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

平成 30 年度	令和元年度 (6月より)	令和 2 年度
館長 向出宏二 (事務)	館長 向出宏二 (事務)	館長 西澤弘純 (事務)
副館長 月輪 泰 (考古)	副館長 月輪 泰 (考古)	総括 川越光洋 (考古)
次長 下山淳子 (事務)	次長 下山淳子 (事務)	次長 下山淳子 (事務)
主任 川越光洋 (考古)	主任 鈴木篤英 (考古)	主任 鈴木篤英 (考古)
主任 宮永一美 (歴史)	<small>(併勤 県埋蔵文化財調査センター)</small>	主任 宮永一美 (歴史)
主任 田中祐二 (考古)	主任 川越光洋 (考古)	主任 宮崎 認 (考古)
主任 有馬香織 (歴史)	主任 宮永一美 (歴史)	主任 田中祐二 (考古)
主査 松本泰典 (考古)	主任 宮崎 認 (考古)	主査 酒井健治 (歴史)
主査 熊谷 透 (建築)	主任 田中祐二 (考古)	主査 熊谷 透 (建築)
主査 藤田若菜 (庭園)	主任 有馬香織 (歴史)	主査 藤田若菜 (庭園)
学芸員 石川美咲 (歴史)	主査 熊谷 透 (建築)	主査 高橋史弥 (民俗)
学芸員 渡邊英明 (保存科学)	主査 藤田若菜 (庭園)	学芸員 石川美咲 (歴史)
学芸員 大竹桃子 (史跡整備)	学芸員 石川美咲 (歴史)	学芸員 渡邊英明 (保存科学)
(兼務) 藤井亜衣 (事務)	学芸員 渡邊英明 (保存科学)	学芸員 大竹桃子 (史跡整備)
<small>(観光営業部文化振興課)</small>	学芸員 大竹桃子 (史跡整備)	考古専門研究員 月輪 泰 (考古)
非常勤嘱託 花川洋介 (事務)	(兼務) 藤井亜衣 (事務)	歴史教育専門員 花川洋介 (事務)
非常勤嘱託 眞保弘恵 (事務)	<small>(交流文化部文化課)</small>	窓口業務支援員 眞保弘恵 (事務)
非常勤嘱託 富阪昌代 (事務)	非常勤嘱託 花川洋介 (事務)	窓口業務支援員 富阪昌代 (事務)
	非常勤嘱託 眞保弘恵 (事務)	
	非常勤嘱託 富阪昌代 (事務)	

発掘作業には、地元の方々の参加・協力を得た。遺物整理作業については、資料館整理作業員(令和2年度から会計年度任用職員)が行った。

II. 調査の概要と経過

1. 調査の概要(第2図)

第68次調査【城戸ノ内町字中惣】 調査区は城戸ノ内町6字中惣に所在し、朝倉館跡から北東へ約750m隔てた水田に立地し、標高38.0~39.0mを測る。調査面積は3,800㎡を対象である。調査期間は平成2年(1990)4月1日~同年12月25日である(第3図)。

調査区は、当初、水田畦畔を利用した地区割りを基準とし、「9MIK-Q・P地区」と称したが、本書では遺構のまとまりを重視するため、調査区を第I~IV区域に改めて区分した。第I区域は調査区東半に相当するが、遺構は全て流失しており、旧P~S地区に相当する第II~IV区域の成果について述べる。

調査区は一乗谷川の左岸に位置しており、一乗谷川は調査区の南端で北から東へ流れを変え、東側の山塊に突き当たった後、再び北へと流れる。春日神社所蔵の「一乗谷古絵図」では「朝倉式部大輔館跡」と記される。昭和57年(1982)に実施した県道工事に伴う第43次調査では、調査区の南北端で幅5.0~6.0mの外濠を確認し、朝倉館跡の平地部分に匹敵する土塁と濠を有す大規模館跡が存在することが判明した。

調査の結果、第I区域となる川側の東半分以上の遺構は、河川の氾濫などによって流失していることが判明した。その後の第72次調査においても、館跡の東側土塁または濠の存在を想定して調査したが、ここでも河川の氾濫により明確な痕跡は得ることはできなかった。

館跡内の主要な建物の配置等は不明であったが、第43次調査区に接した南北長110m×東西幅13mの範囲において、土塁2、濠2、障壁1、礎石建物5、土蔵1、土坑10、溝4、道路3、石敷遺構18、石列3を検出することができた。これらの遺構は、切り合いから3時期に区分され、館全体の中央付近に所在した台所、倉庫、物置等の付属施設と想定できる。

土塁、濠の配置状況と地割図から、改めて館跡の規模を想定すると、外濠外寸で東辺107m、西辺110m、北辺115m、南辺112mを測り、平面形は東辺がやや短辺となる台形を呈しており、朝倉館跡の平地部分とはほぼ同規模の規格、1辺一町(約100m)を意識して構築された可能性が高い。

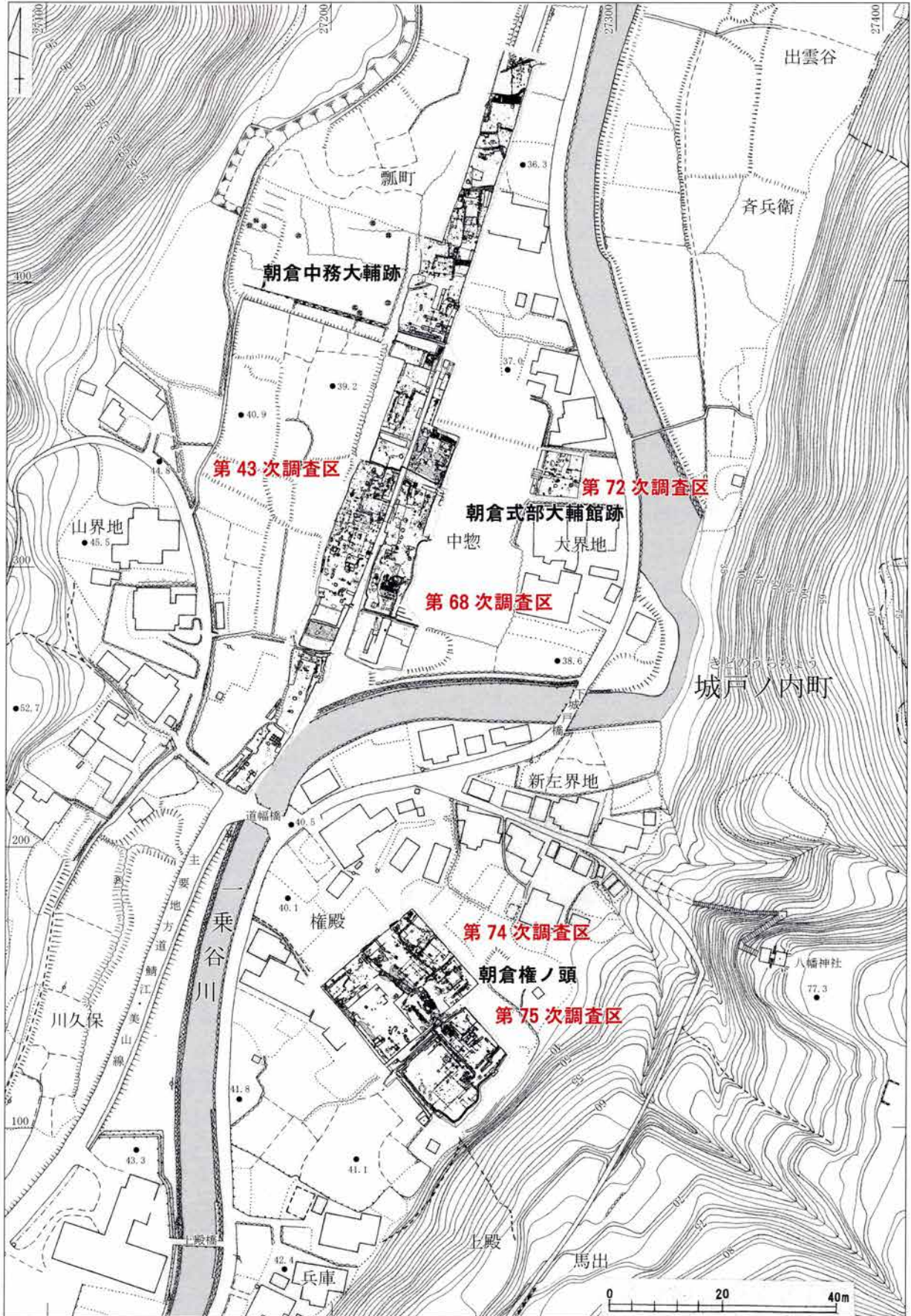
第74・75次調査【城戸ノ内町字権殿】 調査区は城戸ノ内町字8権殿に所在し、第68次調査区の景鏡館跡から一乗谷川を挟んで南へ100m隔てた畑地に立地する。標高は約39.0~40.0mを測る。第74次では1,630㎡、第75次では970㎡の面積を対象とし、調査面積は合計3,570㎡を対象である。調査期間は、上半期の第74次が平成3年(1991)4月1日~同年9月9日、下半期の第75次が同年9月10日~同年12月25日である(第4図)。以後、年度末まで補足調査を実施した。

調査時は水田畦畔を利用した地区割りを基準とし、「9MII-H地区」と称したが、本書では、第74次の調査区を第I~III区域、第75次の調査区を第IV・V区域に改めて区分して述べる。

調査区は一乗谷川の右岸に位置しており、春日神社所蔵の「一乗谷古絵図」では「朝倉権ノ頭」と記される。第74次調査は、町屋や社に推定できる、3つに区画された小規模建物跡と、障壁を有する中規模屋敷跡で主に構成され、土塁石垣1、障壁2、礎石建物11、土蔵1、石積遺構6、土坑6、井戸8、溝9、暗渠2、道路4、石敷遺構8を検出した。

第75次調査は、土塁石垣と道路で区画された武家屋敷跡と小規模建物で構成され、土塁石垣2、礎石建物15、土蔵1、石積遺構1、井戸3、溝3、門跡1、暗渠2、道路1、石敷遺構6、石列5を検出した。

遺構は大きく上層のI期、下層のII・III期に区分でき、上層の遺構は、北東と南西で小規模建物に分かれて構築され、下層の遺構は土塁石垣で区画され、庭を有していた武家屋敷跡が相当する。



第2図 第68・74・75次調査区と周辺の調査区位置図(縮尺1/2,000)

2. 調査日誌

第68次調査 平成2年(1990)4月1日～12月25日

4月1日～日誌の所在不明。当時の担当者によると、この
 9月20日 期間は調査区東半分である第1区域に着手したが、遺構・遺物は川の氾濫によって流失していたことが早々に判明し、主に河川敷や住宅新築に伴う調査に人員を割いて対応したと言う。
 9月21日 25列に沿って調査区南北断面a-a'、Mグリッドに沿って調査区東西断面d-d'を設定。午前中は排水作業。SB3840は規模から土蔵と判断。遺構上面は焼土で覆われていた。
 9月26日 M-024～28、R-T25～28の耕作土除去。
 9月27日 礎石建物SB3841、障壁SA3845、土坑SK3883検出。
 9月28日 耕作土の下の黄褐色土を除去すると、炭化粒が混在する灰褐色土の整地面を確認。礎石建物SB3840の西側で通路SS3864を検出。東側で石列SV3867を検出。SB3840とSV3867の間で焼土が詰まった柱列を確認。
 10月2日 M-Q25～27グリッドを精査。黄褐色土の下の凹状に堆積した灰褐色土から土師器皿が多量に出土。
 10月2日 障壁SA3845 精査。内部に山石・山土が充填されていた。

10月17日 通路SS3865・3866、石敷遺構SX3899を検出。SX3899精査。覆土は灰褐色土が堆積。B23グリッドで薄い炭化層から土師器皿出土。
 10月19日 通路SS3865・3866の内側に沿って、溝SD3865・3849を検出。SD3848の南に接して笏谷石を用いたSX3894を検出。SB3846は南北に並ぶ4基の小穴であり、覆土は灰褐色土であった。
 10月22日 溝SD3847・3848 精査。石敷遺構SX3899は下層の遺構と判明。
 10月30日 雨天となる。不要な石の排除、周辺の草刈り作業を実施。
 10月31日 館跡の南濠となるSD2255を床土から1.8mの深さまで掘削。覆土から江戸時代の土師器皿を検出。隣接するSA3960は基礎まで削られた南側土塁と判明。
 11月6日 航空撮影準備のための清掃
 11月7日 遺構全体航空撮影全体
 11月14日 遺構写真撮影開始
 11月16日 遺構写真撮影終了
 12月1日 現地説明会開催
 12月25日 補足調査、図面チェック、器材撤収、調査終了。



第3図 第68次調査風景

第74次調査 平成3年(1991)4月1日～9月9日

- 4月17日 表土剥ぎ開始。第74次は1,630㎡を対象。
- 4月30日 表土剥ぎはほぼ終了。表土剥ぎ段階での出土遺物は旧水田区画A～Fごとにまとめて採集した。
- 5月22日 水田区画A・B表土剥ぎ(第Ⅲ区域)終了。
- 5月30日 第Ⅲ区域土塁石垣SA3970、道路SS4008、石積遺構SF4000、石敷遺構SX4017 検出。
- 6月1日 月輪調査員本日本式。第Ⅲ区域土塁石垣SA3970、石組溝SD3981、道路SS4006 検出。
- 6月4日 第Ⅲ区域F41～52 砂層除去・精査。井戸SE3993・3994、石敷遺構SX4017、土器出土地点X005 検出。
- 6月5日 第Ⅱ区域G41～52 砂層除去・精査。遺物は砂層の下層である炭化粒が混在する黒灰色土から多く出土。
- 6月6日 第Ⅱ区域H44～52 砂層除去・精査。第Ⅲ区域石敷遺構SX4017・4018、道路SS4006 精査。
- 6月11日 第Ⅱ区域K41～46 砂層除去。越前焼大甕据付遺構SK4003 精査。礎石建物SB3974 確認。
- 6月13日 第Ⅱ区域L41～44、K41～44 砂層除去。礎石建物SB3974 内で焼土・白磁皿の集中箇所を検出。
- 6月19日 第Ⅰ区域L～P45～52 砂層下は焼土が広範囲に展開。
- 7月31日 第Ⅰ区域SE3990の覆土は焼土。天目茶碗、大海茶入など完形品多数出土。
- 8月5日 第Ⅰ区域L～P41～44 下層精査。礎石建物SB3978、石組溝SD3988、N43X001、N43X002、M43X003 検出。
- 8月9日 第Ⅲ区域E・F40～48 下層精査。下層遺構面を覆う黒灰色土から土師器皿多数出土。

第75次調査 平成3年(1991)9月10日～12月25日

- 9月17日 第Ⅴ区域土塁石垣SA4041・4042、道路SS4065 検出。基本杭打ち直し。
- 9月24日 第Ⅴ区域SB4053・4047・4099 検出。SD4057 覆土の青色粘土から多数の土師器皿、小柄出土。
- 9月25日 第Ⅴ区域土塁石垣SA4042の北東端確認。SA4042 下層で暗渠SZ4089 検出。X006 検出。
- 10月3日 第Ⅴ区域C～H31・32 床土下の青色粘土面精査。土塁石垣SA4042 内で門跡SI4064、柱列SB4091 を検出。
- 10月8日 第Ⅴ区域井戸SE4060 精査。越前焼甕・盤・粹石・バンドコ・角材検出。SD4057の覆土は上層が砂層、下層が青色粘土であった。第Ⅳ区域SD4058 検出。
- 10月15日 第Ⅴ区域巨石群SX4080 精査。黄色土の粘質土面に構築。礎石建物SB4046 検出。
- 11月21日 第Ⅴ区域礎石建物SB4043 南東側張り出し検出。遺構面は灰色粘土面。F32で相銘赤色漆器皿出土。礎石建物SB4045は炭化層で覆われていた。
- 11月22日 第Ⅳ区域石敷遺構SX4084に近接して井戸SE4061 検出。第Ⅴ区域礎石建物SB4043・4052・4045、石敷遺構SX4074 検出。上層の炭化層遺物多し。
- 11月26日 第Ⅳ区域礎石建物SB4048～4051など下層の遺構を検出。上面は礫または炭化層で覆われていた。
- 12月6日 第74次調査区の清掃作業。藤原館長庭園跡と考えられる第Ⅱ区域SG4026 視察。
- 12月16日 航空写真測量実施。
- 12月25日 器材洗浄・撤去。発掘作業終了。



第4図 第74・75次調査風景

Ⅲ. 第 68 次調査【城戸ノ内町字中惣】

1. 遺跡の概要(PL.1~4 第5・6図)

第 68 次調査は、城戸ノ内町 6 字中惣に所在し、朝倉館跡から北東へ約 750m隔てた一乗谷川左岸の水田に立地する。標高 38.0~39.0mを測り、地形は、北西の山裾から南東の一乗谷川にかけて緩やかに傾斜する(第 5 図)。調査面積は 3,800 m²である。調査期間は平成 2 年(1990)4 月 1 日~同年 12 月 25 日である(文 1)。

調査区の西側には、昭和 57 年(1982)に実施した第 43 次調査区(文 2)が併行して近接しており、当時の成果として、110m隔てた南北端で幅 5~6mの規模を有する外濠を確認しており、朝倉館に匹敵する土塁と濠を有す大規模館跡が想定された。「一乗谷古絵図」(文 3)によれば、当地は「朝倉式部大輔館跡」と記され、「式部大輔」の呼称から朝倉義景の従兄にあたる朝倉景鏡^{あさくらしきぶのたゆうやかたあと}の館跡である蓋然性が高まった。この館跡の北東側には、さらに「朝倉中務大輔跡」と記される地名があり、第 43 次調査区 L 地区中層で検出した土塁石垣 1、建物 4、井戸 1 などの遺構は、武家屋敷に伴う遺構と理解され、「中務大輔」の呼称から、景鏡と家臣団の席次を争った朝倉景恒^{あさくらなかつかさのたゆうあと}の屋敷跡に相当するのではないかと推定している。

第 68 次調査区は、発掘調査当時「9MIK-Q・P 地区」と称したが、本報告作成段階で第 I~IV 区域に改めて区分した。第 I 区域は調査区東半の区域、第 II・III・IV 区域は調査区西半の旧 P・Q・S 地区に相当する。

調査の方法は、当初、地形に沿って 1 辺 3mの任意グリッドを東西南北方向にかけたが、第 I 区域において遺構が存在しないことが判明したため、第 II~IV 区域を主な報告の対象とした。調査にあたっては、東西方向に 20~27 のグリッドを設定し、第 II 区域の南北方向に C~Q、第 III 区域の南北方向に W~B、第 IV 区域の南北方向に Q~V の番号を付してグリッドを設定し、遺構の記録、遺物の取り上げに用いた。

調査区西半の第 II~IV 区域は、第 43 次調査区に接し、南北長 110m×東西幅 13mの範囲において、土塁 2、濠 2、障壁 1、礎石建物 5、土蔵 1、土坑 10、溝 4、道路 3、石敷遺構 18、石列 3 を検出することができた。これらの遺構は、切り合いから 3 時期に区分され、第 43 次調査の遺構と照合すると、館の西側に広がる台所、倉庫、物置等の付属施設と想定できた(第 6~8 図)。

地割図と土塁、濠の配置状況から、改めて館跡の規模を想定すると、館跡の規模は外濠外寸で東辺 107m、西辺 110m、北辺 115m、南辺 112mを測り、平面形は東辺がやや短辺となる台形を呈していたと考えられ、朝倉館跡と同規模の 1 辺一町(約 100m)を意識して構築された可能性が指摘できる。

以下、各区域の遺構の概要を述べる。

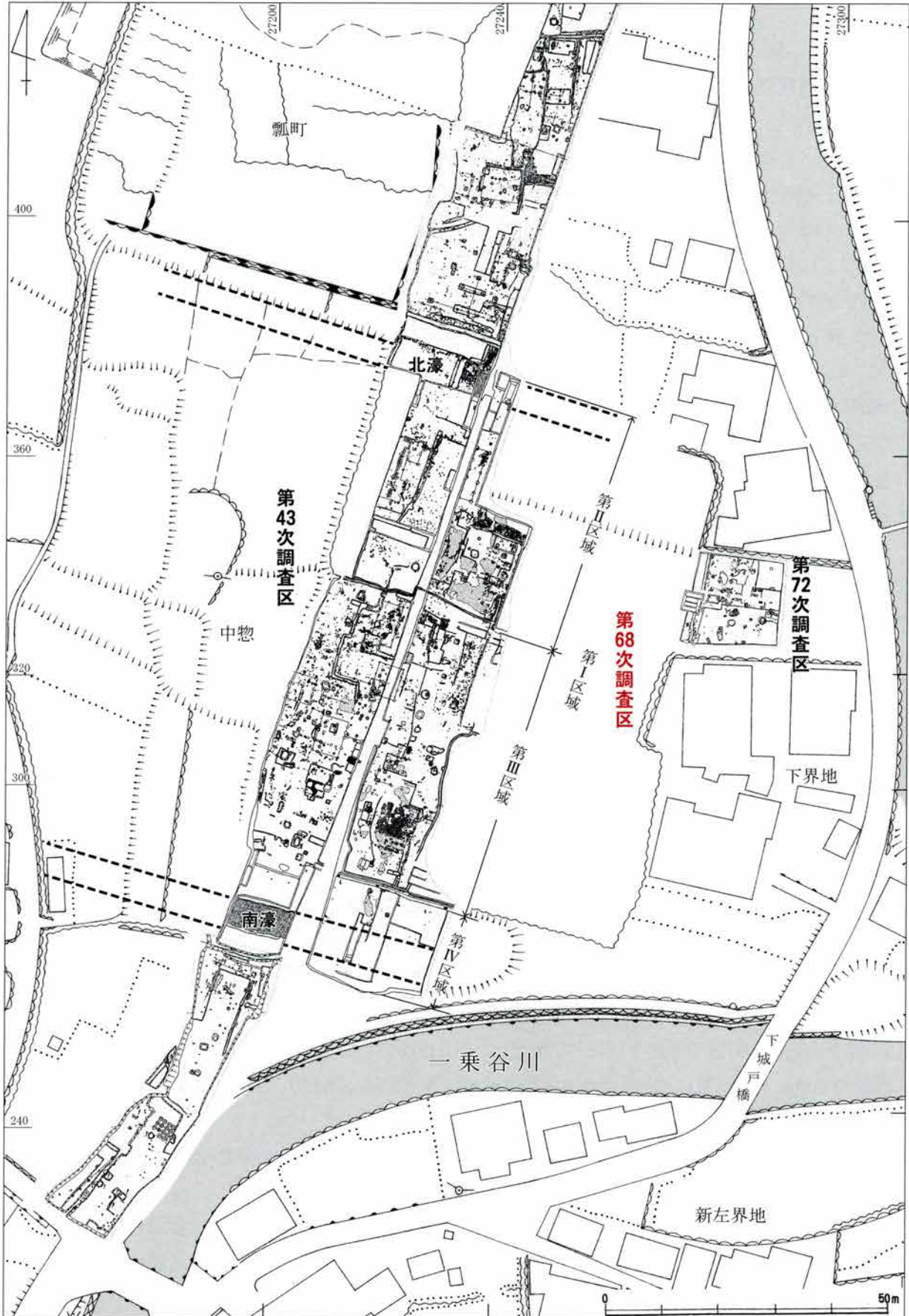
2. 第 I 区域(PL.5 第 5~7 図)

第 I 区域は調査区東半を占め、遺構の分布・密度を把握すべく、東西方向に f-f 間断面(V21~14)、g-g' 間断面(W21~14)の 2ヶ所のトレンチを設定し、深さ 1.7mまで掘削して断面観察を試みた(第 6 図)。

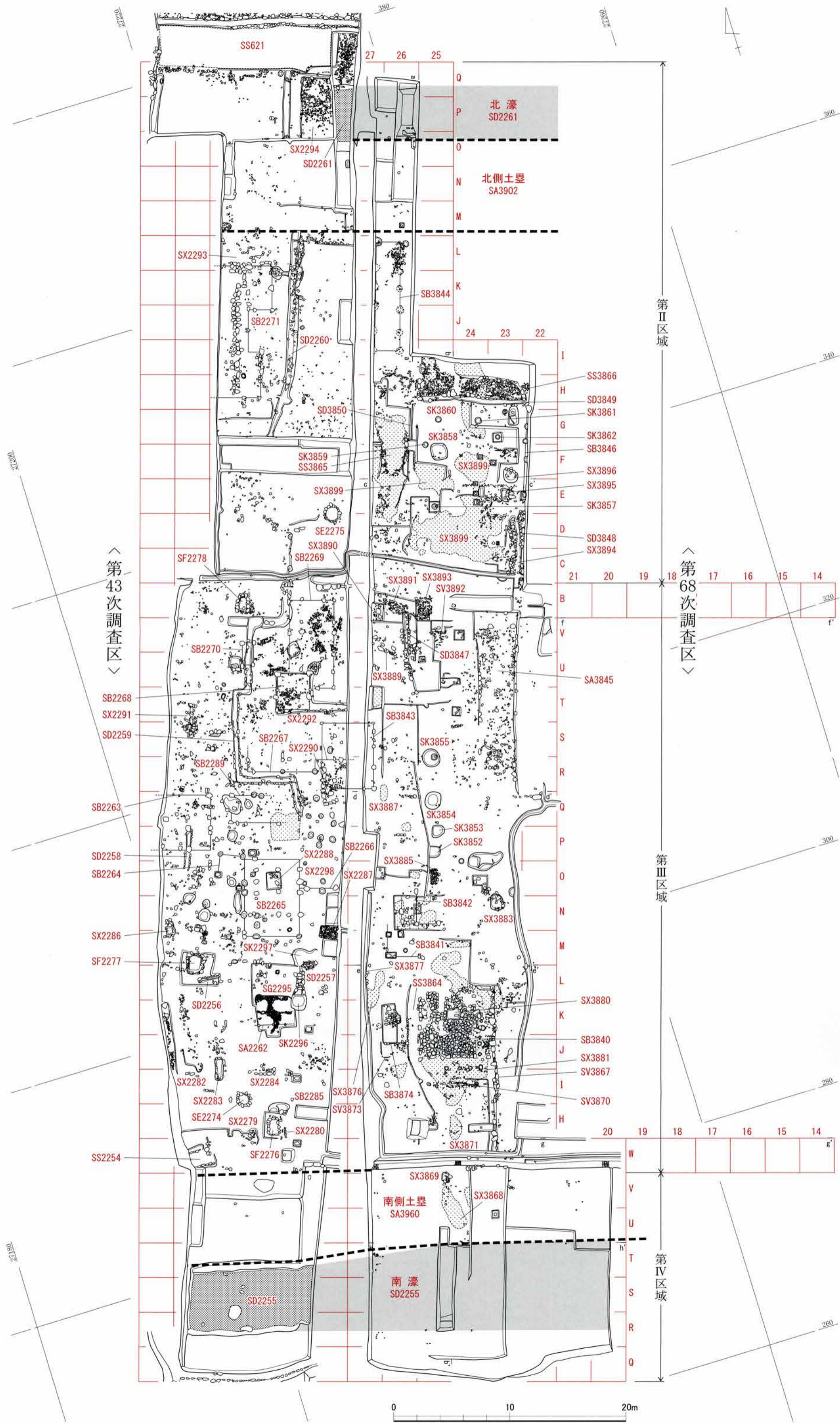
調査の結果、中・下層において褐色土または砂利が水平堆積しており、調査区東半の遺構は、朝倉氏廃絶以後の河川の氾濫などによって、遺物も含めて広範囲に流失していたことが明らかになった(第 7 図)。

平成 3 年(1991)、宅地造成に伴い、館跡東側において第 72 次調査(文 2)が調査面積 210 m²を対象として実施され、館跡の東側を区画する土塁または濠の存在が想定された(第 5・9 図)。

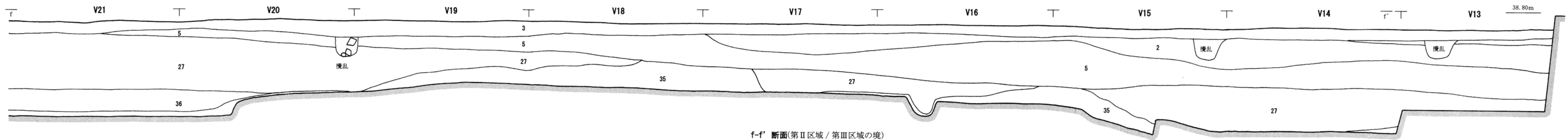
調査の結果、溝、井戸、土坑、石敷遺構に加え、調査区西側に沿って濠 SD3932 を検出した(第 9 図)。濠 SD3982 の覆土は灰色粘土が厚く堆積しており、戦国期の遺構と考えられるが、地山の砂利層まで地表下 1.2mの深さしかなく、濠の傾斜面も明確ではなく、遺物も確認できなかったことから、これを館跡の東濠とする確証を得るまでには至らなかった。



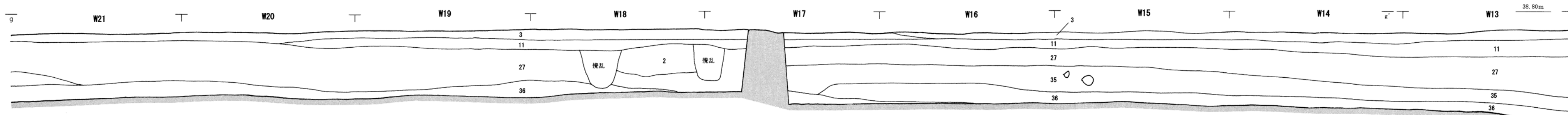
第5図 第68次調査位置図(縮尺1/1,000)



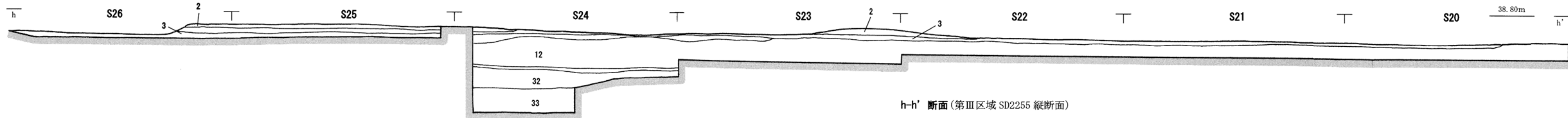
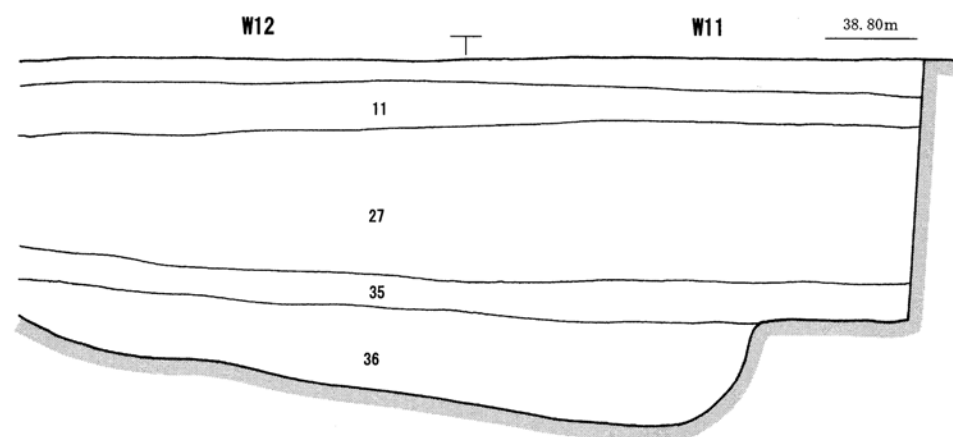
第6図 第68次調査遺構全体図 (縮尺 1/300)



f-f' 断面(第II区域 / 第III区域の境)

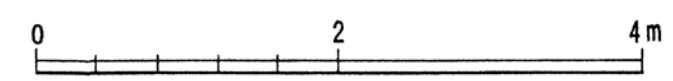


g-g' 断面(第III区域 / 第III区域の境)

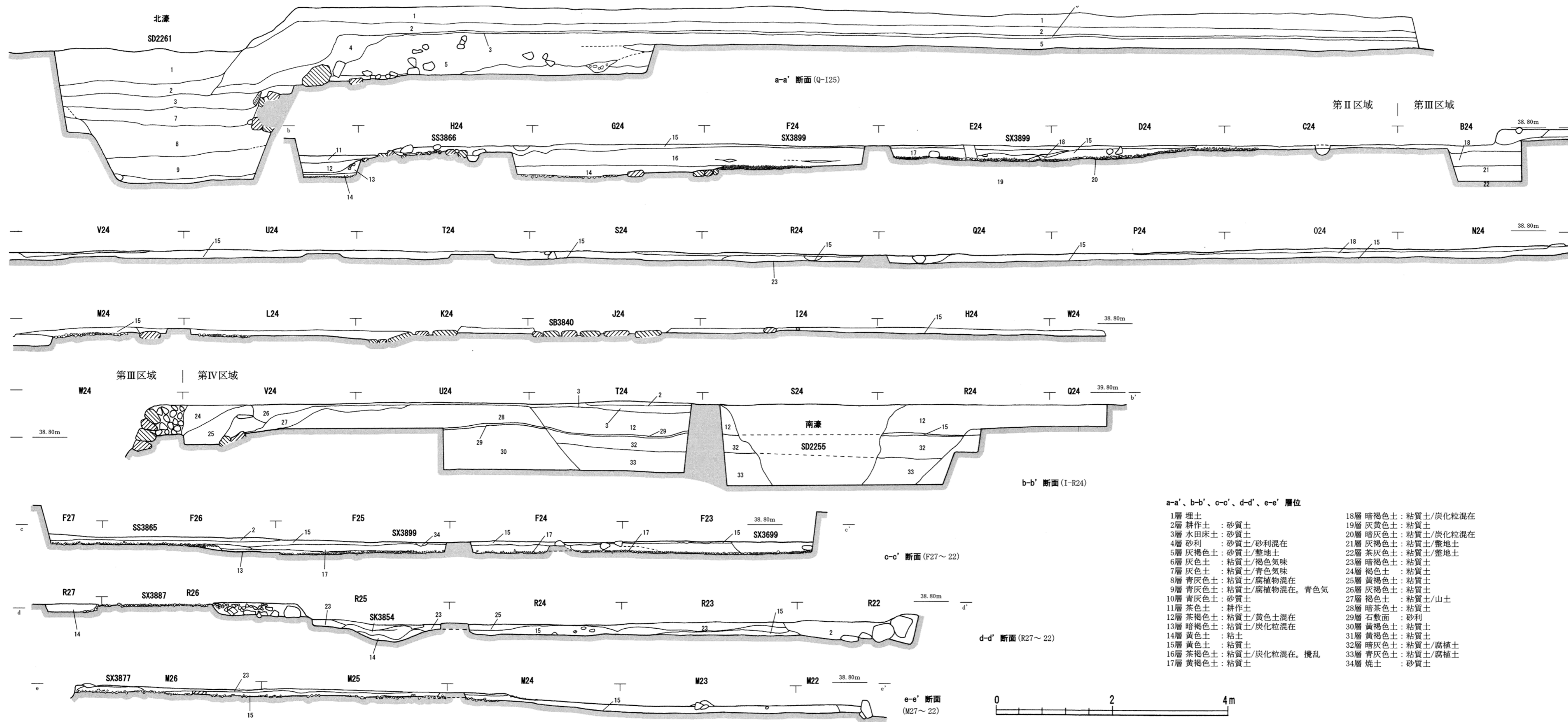


h-h' 断面(第III区域 SD2255 縦断面)

- f-f'、g-g'、h-h' 層位
- 2層 耕作土 : 砂質土
 - 3層 水田床土 : 砂質土
 - 5層 灰褐色土 : 砂質土/整地土
 - 11層 茶色土 : 耕作土
 - 12層 茶褐色土 : 粘質土/黄色土混在
 - 27層 褐色土 : 粘質土/山土
 - 32層 暗灰色土 : 粘質土/腐植土。
 - 35層 砂利 : 粘質土
 - 36層 灰色土 : 粘土

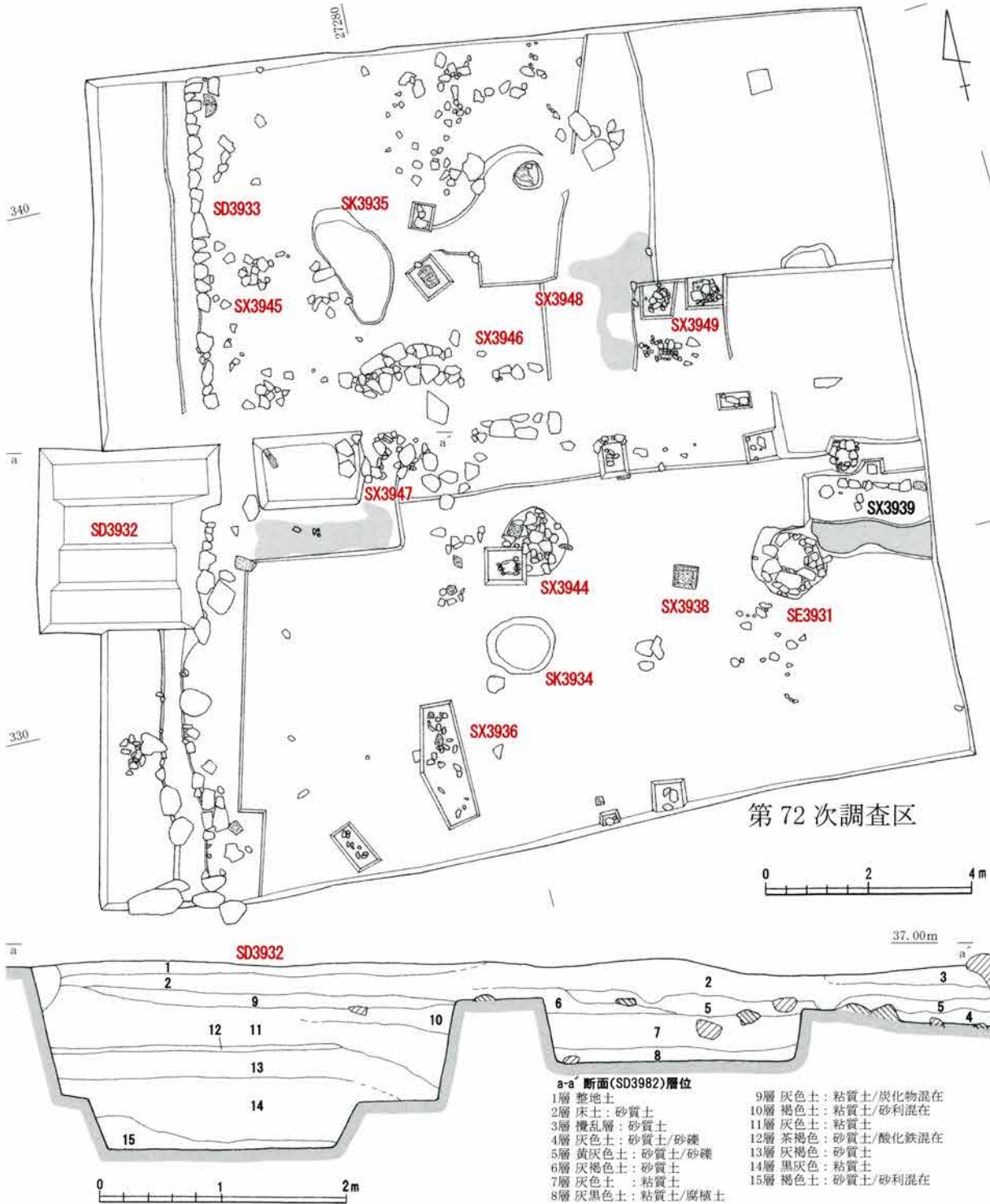


第7図 第68次調査f-f'・g-g'・h-h'遺構断面図(縮尺 1/50)



- a-a'、b-b'、c-c'、d-d'、e-e' 層位
- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1層 埋土 | 18層 暗褐色土：粘質土/炭化粒混在 |
| 2層 耕作土：砂質土 | 19層 灰黄色土：粘質土 |
| 3層 水田床土：砂質土 | 20層 暗灰色土：粘質土/炭化粒混在 |
| 4層 砂利：砂質土/砂利混在 | 21層 灰褐色土：粘質土/整地土 |
| 5層 灰褐色土：砂質土/整地土 | 22層 茶灰色土：粘質土/整地土 |
| 6層 灰色土：粘質土/褐色気味 | 23層 暗褐色土：粘質土 |
| 7層 灰色土：粘質土/青色気味 | 24層 褐色土：粘質土 |
| 8層 青灰色土：粘質土/腐植物混在 | 25層 黄褐色土：粘質土 |
| 9層 青灰色土：粘質土/腐植物混在。青色気 | 26層 灰褐色土：粘質土 |
| 10層 青灰色土：砂質土 | 27層 褐色土：粘質土/山土 |
| 11層 茶色土：耕作土 | 28層 暗茶色土：粘質土 |
| 12層 茶褐色土：粘質土/黄色土混在 | 29層 石敷面：砂利 |
| 13層 暗褐色土：粘質土/炭化粒混在 | 30層 黄褐色土：粘質土 |
| 14層 黄色土：粘土 | 31層 黄褐色土：粘質土 |
| 15層 黄色土：粘質土 | 32層 暗灰色土：粘質土/腐植土 |
| 16層 茶褐色土：粘質土/炭化粒混在。攪乱 | 33層 青灰色土：粘質土/腐植土 |
| 17層 黄褐色土：粘質土 | 34層 焼土：砂質土 |

第8図 第68次調査a-a'・b-b'・c-c'・d-d'・e-e'遺構断面図(縮尺1/50)



第9図 第72次調査遺構全体図、SD3932断面図(縮尺1/120、1/50)

3. 第Ⅱ区域(PL.6~9 第6・8・10・11図)

第Ⅱ区域は、調査区の北側を占め、水田床土を除去すると全体的に黄色土が薄く広がり、黄色土を除くと炭化粒を多分に混在した茶褐色土面が検出された。

主要な遺構は、これを遺構面として、礎石建物2、土塁1、濠1、土坑5、溝3、道路2、石敷遺構4などが検出された。茶褐色土の下は砂利層が堆積し、薄い炭層が部分的に含まれていた(第10図)。砂利層は南から北に向かって2~3層重なり、緩やかに下方へ傾斜してゆくことが観察された。以下、北側から遺構を概観する。

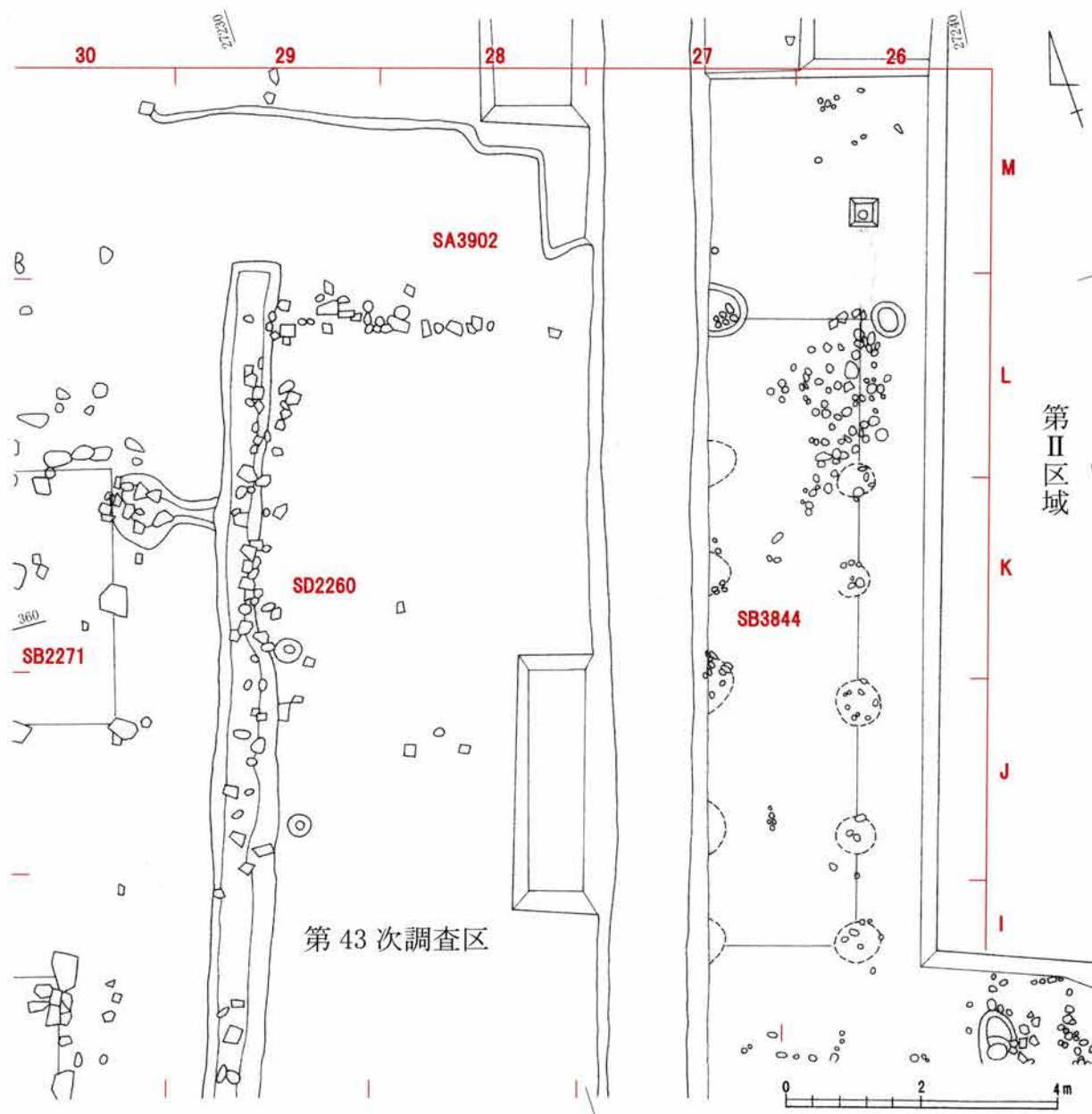
SD2261(PL.6 第6・8図) P・Q26に位置。調査区北端に位置した東西方向に延びる濠であり、館跡北濠と判明した。既に、第43次調査でSD2261として確認され、トレンチでは北濠館側の傾斜面は明確に把握できなかったが、外側の傾斜面は検出できた。規模は上幅約5.0mと推定され、最深部で1.7mを測る。

層序は、地表から1層(埋土)、2層(耕作土)、6・7層(灰色土)、8・9層(青灰色土)が堆積し、8・9層からは漆器椀192~200、漆器皿201、容器202~207、雑器208~212、折敷213~221、祭祀具222~242などが出土した。これに伴う土塁はトレンチ西壁でSA3902として痕跡をとらえることができた。

SA3902(第6・8図) M-026・27に位置。北濠SD2261の内側に併行する土塁である。調査区東壁のa-a'間断面では不明だったが、調査区西壁で痕跡を確認し、土塁の基底面幅は約8.0mを測る。版築は確認できなかった。

SB3844(PL.7・第10図) J-L26に位置。本来は礎石建物だが、礎石は失われ、礎石を支えた根石の集石が6基2列、計12基検出された。主軸はN18°Eに向き、桁行6間×梁間1間(9.3m×2.3m)の規模を測る。

西側の第43次調査区では同一主軸をもって併行する石組溝SD2260が検出されているが、これは礎石建物



第10図 第II区域SB3844(縮尺1/100)

SB2271の東を区画する溝であり、関連する礎石建物は検出されておらず、SB3844は廊下のような建物と考える。SB3844の北端とSD2260北端から東へ延びる石列は直線状に並ぶが、これは北側土塁の基底幅南辺と重複するものと考ええる。

SS3865(PL.4・6～8 第11図) D-H26に位置。主軸はN18°Eに向く石敷遺構である。幅2.5m、長さ9.0mの規模で検出され、通路と考える。内側に20～30cm大の礫石を直線状に敷いて区画しているが、全体的に使用石材に大きな差はなく、粗密をもって敷き詰められていた。

SS3865の内側には幅0.5m、深さ0.2mの規模を測るSD3850が配され、SS3866内側のSD3849西端に接続した可能性が高い。

SD3850(PL.7・8 第11図) F・G26に位置。SS3865内側の石組排水溝である。長さ5.8m、幅0.3m、深さ0.1mの規模を測る。溝の大半の石は抜き取られていた。

SS3866(PL.4・6～8 第11図) H23～25に位置。主軸がN72°Wに向く石敷遺構であり、SS3865と同様の通路と考える。SS3865とほぼ直交する。規模は長さ10.2m、幅2.0mの規模を測る。内・外縁に沿って0.2～0.3m大の石を直線状に併行して並べて区画を形成し、区画内には小礫石が密集して敷き詰められていた。西端は削平を受けているが、本来はSS3865と直交してL字の通路として機能していたと考える。

SD3849(PL.7・8 第11図) H22～25に位置。SS3866内側の石組排水溝である。長さ0.9m、幅0.1～0.2m、深さ0.3mの規模を測る。溝の南辺の石は大半が抜き取られ、溝内の覆土は焼土が堆積していた。

SK3859～3862(PL.7・8 第11図) E-G23～25に位置。径0.4～0.6m、深さ0.1mの円形の小穴群であり、礎石の抜き取り穴と考える。

SB3846(PL.7・8 第11図) E-G22に位置。調査区東壁に接して検出された柱列である。径0.4～0.6m、深さ0.1mを測る浅い円形柱穴4基からなる。主軸はN20°Eに向き、桁行3間(4.4m)を測る。礎石は抜き取られたと考える。覆土は炭化粒が多く混在する黒色土が堆積していた。

SD3848(PL.8・9 第11図) C・D23に位置。調査区東壁に沿って検出された石組排水溝である。主軸はN10°Eに向き、長さ4.6m、幅0.3m、深さ0.2mの規模を測る。20～30cm大の石を両側面に積み、底面の石は確認できなかった。南半分の石組は攪乱を受け、南端は、土坑を伴う石敷遺構SX3894に切られていた。溝内の覆土は炭化粒が多く混在する黒色土であり、遺構全体もこの堆積土に覆われていた。

SX3899(PL.8・9 第11図) C-F23～25に位置。第Ⅱ区域の下層に広がる石敷遺構である。石敷は砂利石を用いて丁寧に敷き詰められ、凹凸はほとんど見られない。南から北に向かってゆるやかに傾斜しており、SS3866の下を通過して、さらに北側に広がる下層の遺構であることが確認できた。

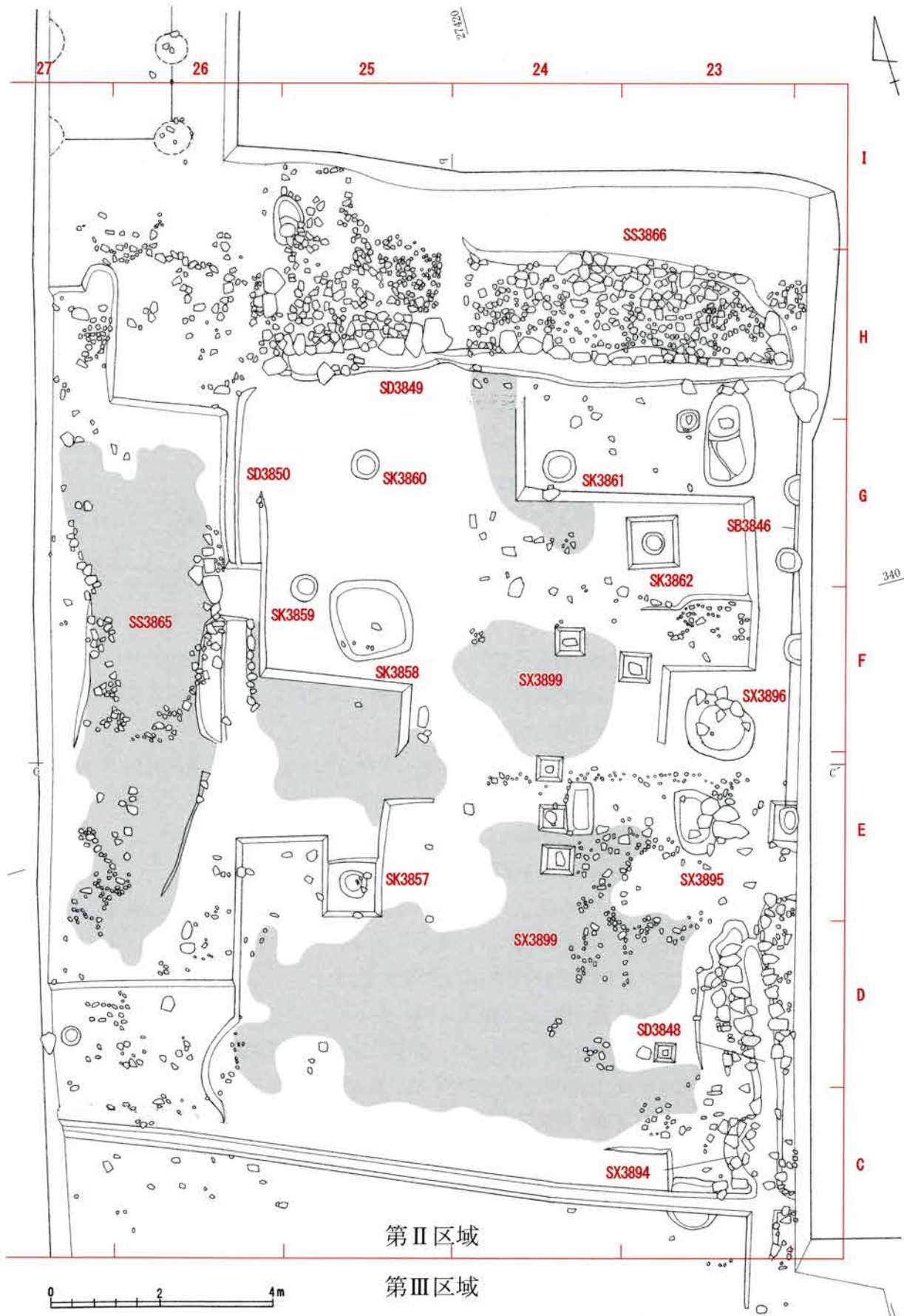
SX3895(PL.8・9 第11図) E23に位置。調査区東壁寄りで検出された、土坑を伴う石敷遺構である。北側にSX3896が近接する。土坑は卵形で長軸1.2m、短軸0.9m、深さ0.25mを測り、土坑東縁寄りに20～70cm大の山石を5個集石状に置いていた。土坑内から完形の土師器小皿が28点以上(PL.50 第17図120～131)出土した。

SX3896(PL.8・9 第11図) F23に位置。調査区東壁寄りで検出された、土坑を伴う石敷遺構である。土坑は卵形で長軸1.4m、短軸1.1m、深さ0.35mを測り、20～30cm大の山石を土坑北縁寄りに9個集石状に置いていた。

4. 第Ⅲ区域(PL.10～15 第6・8・12～14図)

第Ⅲ区域は、調査区の中央部を占め、水田床土を除去すると全体的に黄色土が薄く広がり、黄色土を除くと炭化粒を多分に混在した茶褐色土面が検出された。

主要な遺構は、これを遺構面として、障壁1、礎石建物3、土蔵1、土坑4、溝1、道路1、石敷遺構11、石列3などが検出された。以下、北側から遺構を概観する。



第 11 図 第Ⅱ区域SS3865・3866、SD3849・3850、SX3895・3896(縮尺 1/100)

SA3845(PL.10 第12図) R-V23に位置。主軸がN17°Eに向く障壁と考える。長さ15.5m、幅3.1m、高さ0.1~0.2mの規模を測る。

石に粗密が目立つが、障壁西辺中央と障壁東辺南側で10~20cm大の礫石を直線状に並べている箇所が部分的に見られ、本来は、東西辺に基底石を配した後、内部を同様な石材と土を充填して固めていたと考える。

南北端に削られた痕跡はうかがえず、土塁石垣等が改変されたものではなく、本来の長さを保っていると考え。

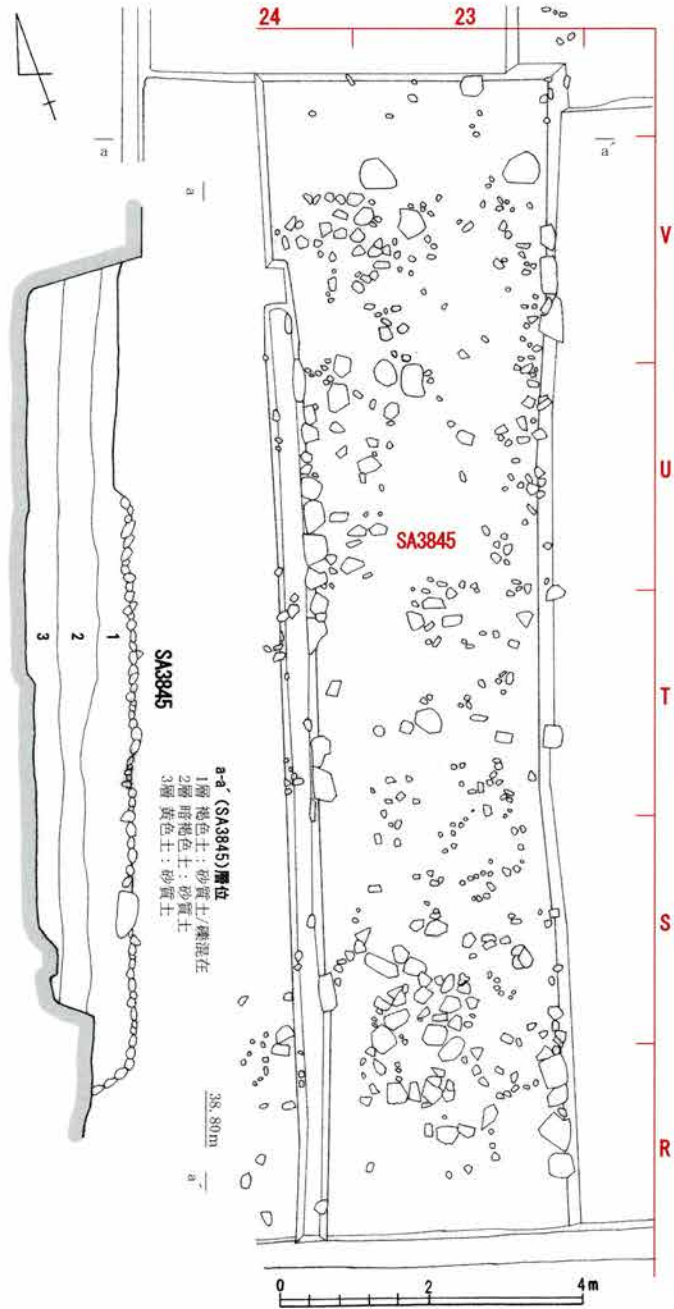
障壁中央主軸線上の北側では40cm大の板石が2.0m間隔で2個検出され、ある時期、障壁が撤去され、門が構えられた可能性がある。

SD3847(PL.11 第6・13図) U-B26に位置。主軸がN11°Eに向く石組排水溝である。長さ6.0m、幅0.2m、深さ0.2mの規模を測る。

石は大半が抜き取られていたが、20~30cm大の石を両側面に配していたと考える。底面の石は確認できなかった。

SX3889~3893(PL.11 第6・13図) U-B25~27に位置。SD3847周辺で検出された石敷遺構である。明確な形状をとどめておらず、SD3847を含めて第43次調査区の礎石建物SB2269に伴う小規模な庭の可能性もある。

SB3843(PL.11 第6・13図) R・S27に位置。調査区西壁に接して検出された礎石柱列である。6石が直線状に並び、南北端の礎石の高さを見ると、南端の礎石が10cm程高い。



第12図 第Ⅲ区域SA3845(縮尺 1/100)

第43次調査区と照合した結果、主軸がN18°Eに向き、桁行3間(5.7m)、推定梁間4間(4.4m)、桁間寸法1.9m、梁間寸法0.9m(推定)、床面積25㎡の規模を測る礎石建物東辺柱列であることが改めて判明した。建物南東側ではSB3843に付随すると見られる石敷遺構SX3887が検出された。

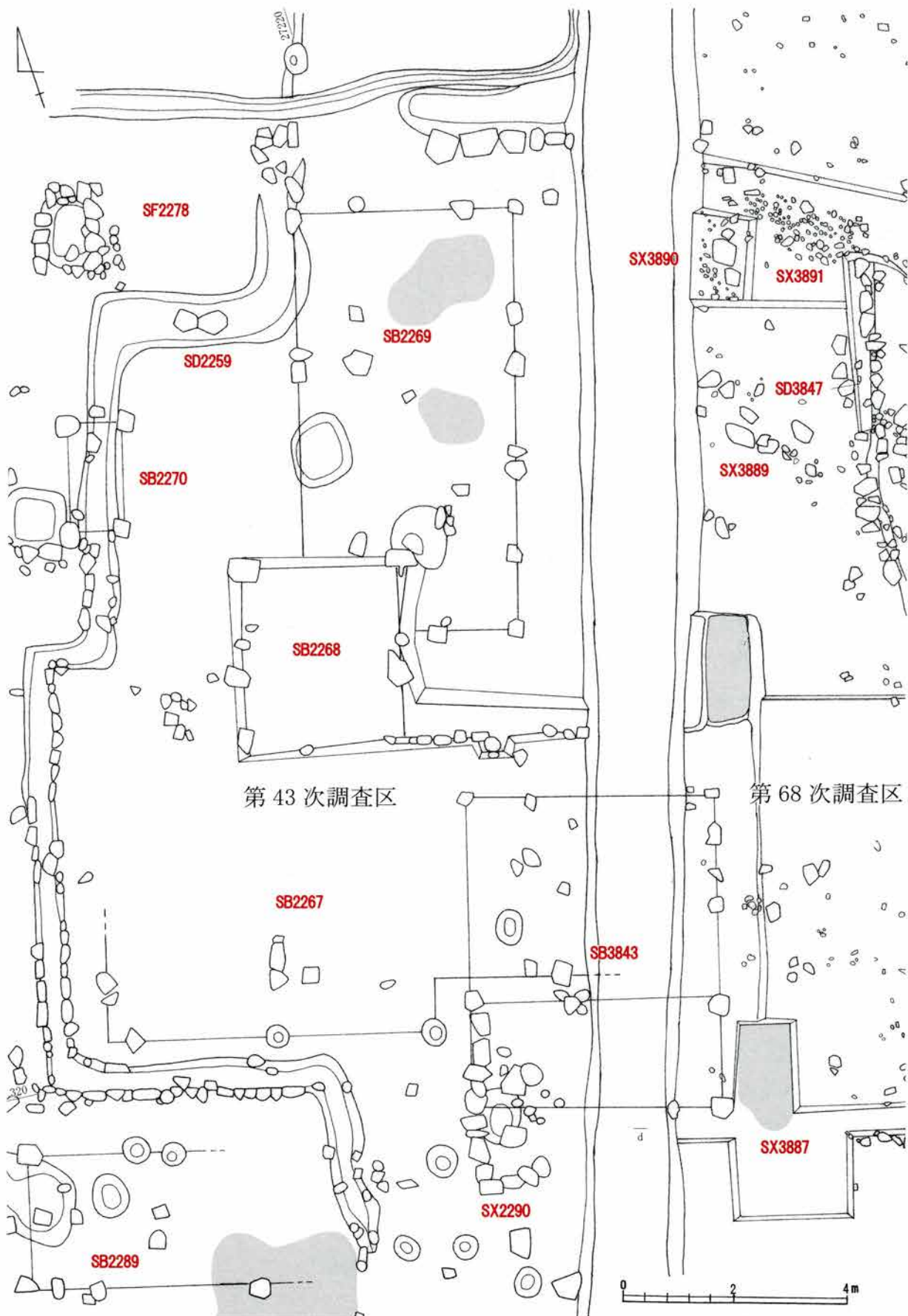
第13図中で示すように、北西側に第43次調査区で検出したSB2268、SB2269がほぼ同一主軸をもって位置しており、SB3843は中層の礎石建物SB2269と同時期の遺構と考える。

また、周辺の遺構の変遷を再考すると、以下のように3時期に区分される。

【上層】:SD2270の北にSD2259が構築され、SB2268が建てられた時期

【中層】:SB3843・2269が建てられ、SF2278が構築された時期

【下層】:鉤状に南北に延びる石組溝SD2259を区画とした礎石建物SB2267が建てられた時期



第13図 第Ⅲ区域SB3843、SD 3847、SX3887・3889～3891、第43次SB2267～2270(縮尺1/100)

SB3842(PL.12 第14図) N25に位置。SB3841の北東側で検出され、礎石建物と考える。30～40 cm大の大型の石を用い、主軸はN18°Eに向き、西辺1間(2.7m)、南辺1間(1.8m)を検出したが、全体の規模は不明である。検出面の高さから、少なくともSB3841の下層の建物であることが判明した。

SB3841(PL.12 第14図) M26に位置。SB3840の北側で検出され、礎石建物と考える。30～40 cm大の大型の石を用い、主軸はN18°Eに向き、西辺1間(1.9m)、南辺1間(2.6m)を検出したが、SB3840同時期の建物と考えるが全体の規模は不明である。

SK3852～3855(PL.13 第6図) P-R25に位置。調査区中央で検出された土坑群である。径1.0～1.5m、深さ0.1～0.2mの円形土坑が南北に直線状に4基並んで検出された。いずれの土坑も覆土は黒褐色土であり、SK3854からは土師器皿が多く出土した。検出面から下層の遺構と判断する。

SX3885(PL.13 第14図) O25に位置。石敷遺構である。主軸はN18°Eに向き、平面形は長方形である。全体に20～40 cm大の割石を上面が平坦になるように敷き詰めていた。長軸1.4m、短軸0.7mの規模を測る。石敷炉の可能性はある。

SB3840(PL.13・14 第14図) J-L23～25に位置。調査区南側で検出された石敷の礎石建物であり、規模と構造から土蔵と考える。全体は薄い焼土で覆われ、焼土は東寄りに厚く堆積していた。主軸はN18°Eに向き、平面形は正方形である。全体に20～50 cm大の礫石を敷き詰めていた。建物北辺は攪乱を受けていたが、西・南・東辺において、径40 cm大の原位置をとどめた礎石と考えられる石が検出され、西辺で3石、南辺で4石、東辺で5石残存していた。

建物の規模を復元すると、桁行5間(6.0m)、梁間4間(4.8m)、桁間寸法1.0～1.3m、梁間寸法1.0～1.3m、床面積約27 m²となる。建物東辺中央には入口が設けられ、60 cm×30 cm大の直方体の笏谷石が2石、外側へ開くように「ハ」の字に配置され、2石間には20 cm大の石を平坦に8石敷き詰めていた。間口の内寸は外側で1.5m、内側で1.1mを測る。

SX3881(PL.13・14 第14図) I・J23～25に位置。SB3840南東隅に付属するL字状の廂と考える。SB3840南辺から南へ0.9m隔てて3間、東辺から0.4m隔てて2間、浅い柱穴からなる柱列が検出された。柱穴は礎石を伴っていたと考える。柱列外側には石敷を伴っていた。

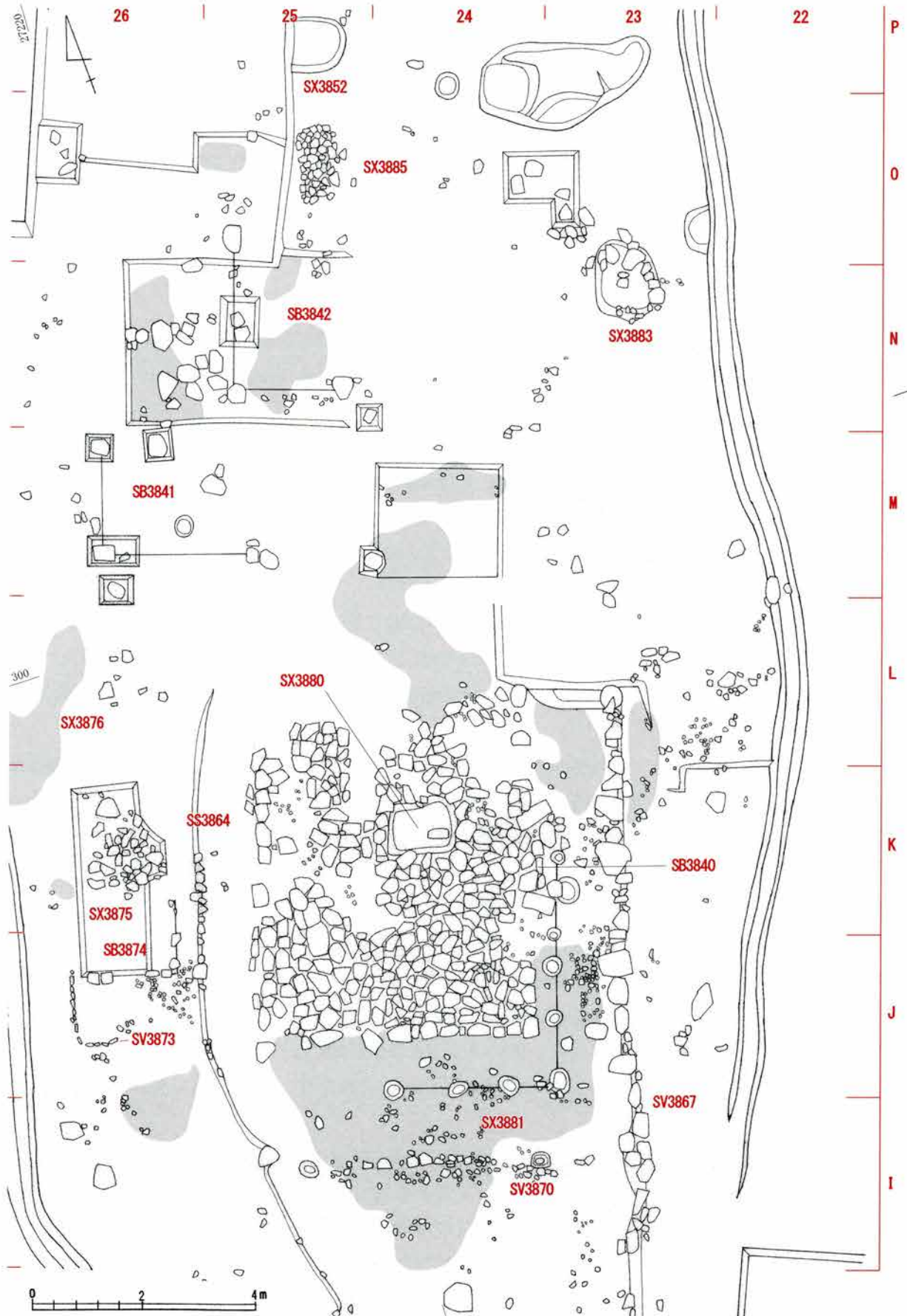
SX3880(PL.13・14 第14図) K24に位置。SB3840内中央北寄りで検出された。長軸1.0m×短軸0.7mの範囲で石敷が欠失した箇所があり、トレンチを入れて精査した。精査の結果、検出面から深さ0.25mまで魚骨が混在した灰層が堆積しており、この灰層はSB3840の下層で広がっていることが確認された。

SV3870(PL.13・14 第14図) I24・25に位置。SB3840南辺と2.3m南側に隔てた石列であり、SB3840の南側を区画する塀と考える。10～30 cm大の石が直線状に散乱しており、長さ4.0m×幅0.5mの規模で検出された。

SV3867(PL.13・14 第14図) H-L23に位置。SB3840東辺と1.4m東側に隔てた石列であり、SB3840の基壇と考える。段差は0.3mを測る。20～50 cm大の大型の石を用い、上面を揃えて直線状に1段で構築していた。長さ10.0mの規模で検出された。

中央には入口が設けられ、60 cm大の石を2石据え、2石の間口内寸は1.4mを測る。間口の間には10～20 cm大の石を1列敷いていた。SB3840のハの字状に開く笏谷石を据えた入口に対し、60 cm南にずれて構築されていた。石列の段下となる東側には焼土と崩落した石が堆積していた。

SS3864(PL.13～15 第14図) H-L25に位置。SB3840西辺に隣接する石敷の通路である。SB3840西辺から0.9m西側に隔てた位置に、10～20 cm大の小型の石が1列に並べて検出された。石列は長さ2.2mを測るが、通路全体は、長さ8.0m、幅1.0mの規模を測り、全体に細かい砂利が敷かれていた。



第14図 第三区域SB3840~3842・3847、SV3867・3870、SX3855・3872~3876・3881、SK3852(縮尺1/100)

SB3874(PL.15 第14図) J26に位置。SS3864の西に隣接する礎石建物である。礎石は20cm大の小型の石を用い、建物南辺で4石、東辺で2石を検出した。柱列南辺は長さ1.6m、柱列東辺は長さ0.6mだけ残存していた。建物の規模は不明だが、SB3840と同主軸をもった小型の建物と考える。

SV3873(PL.15 第14図) J26に位置。SB3874の南に位置する小規模なL字状の石列である。10cm大の扁平な石を立てた状態で据え、南北列1.2m、東西列0.7mを測る。下層の遺構と考える。

5. 第Ⅳ区域(PL.3・15 第6・8図)

第Ⅳ区域は、調査区の南端を占め、第Ⅲ区域に比べ0.6～0.8m高い。水田床土を除去すると、長さ20.0m、幅3.0mの範囲で東西方向に延びる暗茶色土の広がりが見出された。調査期間が限られたため、完全に掘削して全体像をつかむ検出は断念せざるを得なかった。トレンチを入れて断面を確認したところ、館跡の南側土塁と南濠の痕跡を確認することができた。

SA3960(PL.15 第6・10図) U-W20～27に位置。南濠SD2255の内側に併行する館跡の南側土塁である。西側に隣接する第43次調査では地山まで削られていたので確認することはできなかったが、今回の調査で、主軸はN75°Wに向き、幅6.8mの規模の土塁が存在したことが判明した。

当初、東西に延びる暗茶色土の広がりが濠ではないかと考えたが、25列グリッドに沿ったb-b'間断面W25-R25付近を観察した結果、暗茶色土は、土塁の検出面頂部に相当し、30層(黄褐色土)の地山の上に29層(石敷面)を設け、暗茶色土を盛土にしていたことが確認できた(第10図)。

SD2255(PL.3・15 第6・10図) R-T20～27に位置。調査区南端に位置した東西方向に延びる濠であり、館跡の南濠と推定できる。主軸はN75°Wに向き、幅7.8mの規模と考える。第43次調査においてSD2255として確認されていた。b-b'間断面U-R25付近を観察した結果、濠の両岸傾斜面を確認することができた。深さについては、地表下1.4mまで掘削した折、調査区断面が崩落してしまい、地山までの深さは不明である。おそらく本来の深さは2.0m以上を測ると推定する。

地表下1.4m付近までは、上層に12層(茶褐色土)、中層に32層(暗灰色土)、下層に33層(青灰色土)が堆積していたこと確認しているが、いずれも近世以降の堆積土と判断され、遺物も近世陶磁器が数点検出されたのみであった。

第43次調査では、南濠SD2255は上幅5.8mを測り、U25付近まで濠の外側は直線状に一乗谷川に向かって延びてゆくと考えられるが、館側において上幅は7.8mを測り、内側へ2.0m拡張する様相を呈す。南濠は一乗谷川と接続し、川舟が出入りする機能を有していたのではないかと想定される。

第1表 第68次調査主要遺構観察表(PL.1～15 第6～14図)

第Ⅱ区域

NO	グリッド	遺構	種類	上層			写真 図版	挿図	NO	グリッド	遺構	種類	下層			写真 図版	挿図
				I期	II期	III期							I期	II期	III期		
1	M-027	SA3902	北側土塁				-	第6・8図	9	G25	SK3860	礎石建物 礎石柱穴				PL.7・8	第11図
2	P26/Q26	SD2261	北濠				PL.6	第6・8図	10	G24	SK3861	礎石建物 礎石柱穴				PL.7・8	第11図
3	J-L26	SB3844	礎石建物				PL.7	第10図	11	G23	SK3862	礎石建物 礎石柱穴				PL.7・8	第11図
4	D-H26	SS3865	石敷遺構 通路				PL.4・6～8	第11図	12	E-G22	SB3846	礎石建物				PL.7・8	第11図
5	F26-G26	SD3850	石組排水溝				PL.7・8	第11図	13	Q23/D23	SD3848	石組排水溝				PL.8・9	第11図
6	G23～25	SS3866	石敷遺構 通路				PL.4・6～8	第11図	14	C-F 23～26	SX3899	石敷遺構				PL.8・9	第11図
7	H22～25	SD3849	石組排水溝				PL.7・8	第11図	15	E23	SX3895	石敷遺構 (土坑あり)				PL.8・9	第11図
8	F25	SK3859	礎石建物 礎石柱穴				PL.7・8	第11図	16	F23	SX3896	石敷遺構 (土坑あり)				PL.8・9	第11図

第Ⅲ区域

NO	グリッド	遺構	種類	上層			下層			写真 図版	挿図
				I期	II期	III期	I期	II期	III期		
17	R-V23	SA3845	障壁							PL. 10	第12図
18	U-B26	SD3847	石組排水溝							PL. 11	第6図 第13図
19	U26	SX3889	石敷遺構							PL. 11	第6図 第13図
20	B26	SX3890	石敷遺構							PL. 11	第6図 第13図
21	B26	SX3891	石敷遺構							PL. 11	第6図 第13図
22	V25	SX3892	石敷遺構							PL. 11	第6図 第13図
23	B25	SX3893	石敷遺構							PL. 11	第6図 第13図
24	R・S27	SB3843	礎石建物							PL. 11	第6図 第13図
25	N25	SB3842	礎石建物							PL. 12	第14図
26	M26	SB3841	礎石建物							PL. 12	第14図
27	P25	SK3852	土坑							PL. 13	第6図
28	P25	SK3853	土坑							PL. 13	第6図
29	Q25	SK3854	土坑							PL. 13	第6図
30	R25	SK3855	土坑							PL. 13	第6図
31	O25	SX3885	石敷遺構							PL. 13	第14図

NO	グリッド	遺構	種類	上層			下層			写真 図版	挿図
				I期	II期	III期	I期	II期	III期		
32	J-L23 ~25	SB3840	礎石建物 土蔵							PL. 13・14	第14図
33	I・J23 ~25	SX3881	礎石建物 廂							PL. 13・14	第14図
34	K24	SX3880	石敷遺構							PL. 13・14	第14図
35	I24・25	SV3870	石列 塀							PL. 13・14	第14図
36	H-L23	SV3867	石列 基壇							PL. 13・14	第14図
37	K-M25	SS3864	石敷遺構 通路							PL. 13~15	第14図
38	K26	SB3874	礎石建物							PL. 15	第14図
39	K26	SV3873	石列							PL. 15	第14図

第Ⅳ区域

NO	グリッド	遺構	種類	上層			下層			写真 図版	挿図
				I期	II期	III期	I期	II期	III期		
40	U-W20 ~27	SA3960	南側土塁							PL. 15	第6図 第10図
41	S-U20 ~27	SD2255	南濠							PL. 3・15	第6図 第10図

6. 遺物 (PL. 47~54 第15~21図、第2表)

遺物は、第Ⅱ・Ⅲ区域の土器(陶磁器類)1~166、金属製品 167~182、銭貨 183~191、木製品 192~251、石製品 252を図化した。詳細は第2表に記し、以下、特徴的なものについて概要を述べる。

第Ⅱ~Ⅳ区域包含層出土土器 (PL. 47・48 第15・16図)

越前焼は3の大甕上位の破片であり、外面に漆被膜が付着していた。5の播鉢は内面上位にヨコ方向の卸目を施す。土師器皿は最も多く出土し、7~56は以下の6タイプに区分された。

- ①【7~16】：器形は浅鉢形。口縁部は内湾して立ち上がる。口径 6.7~9.2 cm、器高 1.4~2.2 cm。底部は丸底。内外面の調整はナデを基本。12~14は外面に調整されず、型押し成形の痕跡をもつ。
- ②【17~21】：器形は浅皿形。口縁部は直線状に斜め外方へ立ち上がる。底部は平底。口径 8.4~9.6 cm、器高 1.3~2.0 cm、底径 3.0~4.0 cmを測る。21は口縁部中位に強いヨコナデによる段を有す。外面体部はナデ後、指頭痕が残るものが多い。
- ③【22~28】：器形は浅皿形。②の小型品。口縁部は直線状に斜め外方へ立ち上がる。底部は平底。口径 6.8~7.4 cm、器高 1.1~1.9 cm、底径 2.0~3.0 cmを測る。外面体部はナデの後、指頭痕が残る
- ④【29~44】：器形は杯形。口縁部は直線状に斜め外方、またはやや外反して立ち上がる。底部は平底。口径 7.0~11.2 cm、器高 1.8~2.5 cm、底径 3.4~5.8 cmを測る。口唇部内側に段をもつものが多い。
- ⑤【45~54】：器形は盤形。口縁部は直線状に斜め外方に立ち上がる。底部は平底。口径 12.0~14.7 cm、器高 1.9~2.5 cm、底径 6.0~8.0 cmを測る。口縁部中位に強いヨコナデによる段を有すものが一定量ある。口唇部内側に段はない。45・46・51~53は型押し成形。47・48・52・53の外面底部は未調整。
- ⑥【55・56】：盤形。⑤の大型品。口縁部は直線状に立ち上がる。口縁部は直線状に斜め外方に立ち上がる。底部は平底。口径 16.0~20.0 cm、器高 3.0 cm、底径 7.0~12.0 cmを測る。56は外面体部をナデ後へラナデしている。

67～69は青磁碗であり、67の内面底部には「壽」、68・69の内面底部には陰刻花文が施されている。79の染付碗は赤絵の染付であり、体部下位に赤絵の圏線が3条めぐる。84は染付皿であり、外面に呉須で描かれた変形唐草文、内面に変形文が施されている。

第Ⅱ区域遺構出土土器(PL. 49・50 第17図)

SD2261 出土(PL. 49 第17図) SD2261は館の北濠であり、越前焼壺 88・播鉢 89・90が出土した。88は短砲弾形のお歯黒壺である。土師器小皿は91～99がある。93はタイプ①、91・94・95はタイプ②、92はタイプ③、96・97はタイプ④、98・99は盤形のタイプ⑤である。100・101は瀬戸美濃の鉄釉天目茶碗である。103・104・107は青磁碗であり、107の内面底部には十字文が施されている。106は中国製の壺である。また、木製品は全てこの北濠から出土した。

SD3849 出土(PL. 49 第17図) SD3849は通路SS3866の内側の溝であり、土師器皿 108～111が出土した。108・110はタイプ④、109はタイプ⑤、111はタイプ①である。

SD3848 出土(PL. 49 第17図) 土師器皿 112～117が出土した。108・110はタイプ④、109はタイプ⑤、111はタイプ①である。

SS3865・3866 出土(第17図) SS3865と3866は砂利敷の道路であるが、遺物は少なく、SS3865から瀬戸美濃天目茶碗 118、SS3866から越前焼播鉢 119が出土した。

SX3895 出土(PL. 50 第17図) SX3895は土坑を伴う石敷遺構であり、完形に近い土師器小皿 28個中、120～146の27点を図化した。120・121・125～129・131・132はタイプ①であり、他はタイプ③である。

第Ⅲ・Ⅳ区域遺構出土土器(PL. 50・51 第18図)

SK3854 出土(PL. 50 第18図) 土師器皿 147～154・器台 156、白磁碗 155が出土した。147はタイプ③、148～151はタイプ④、152～154はタイプ⑤である。

SK3852 出土(PL. 51 第18図) 土師器皿 157～159が出土した。159はタイプ④、他はタイプ⑤である。

SX3889 出土(PL. 51 第18図) SX3889はSD3847に近接する石敷遺構である。土師器皿 160～162が出土した。160・161はタイプ①、162はタイプ②である。

SD3847 出土(PL. 51 第18図) 土師器皿 163～164が出土した。163はタイプ①、164はタイプ②である。

SB3840 出土(PL. 51 第18図) 灰釉皿 165が出土した。外面底部にトチン痕が残る。

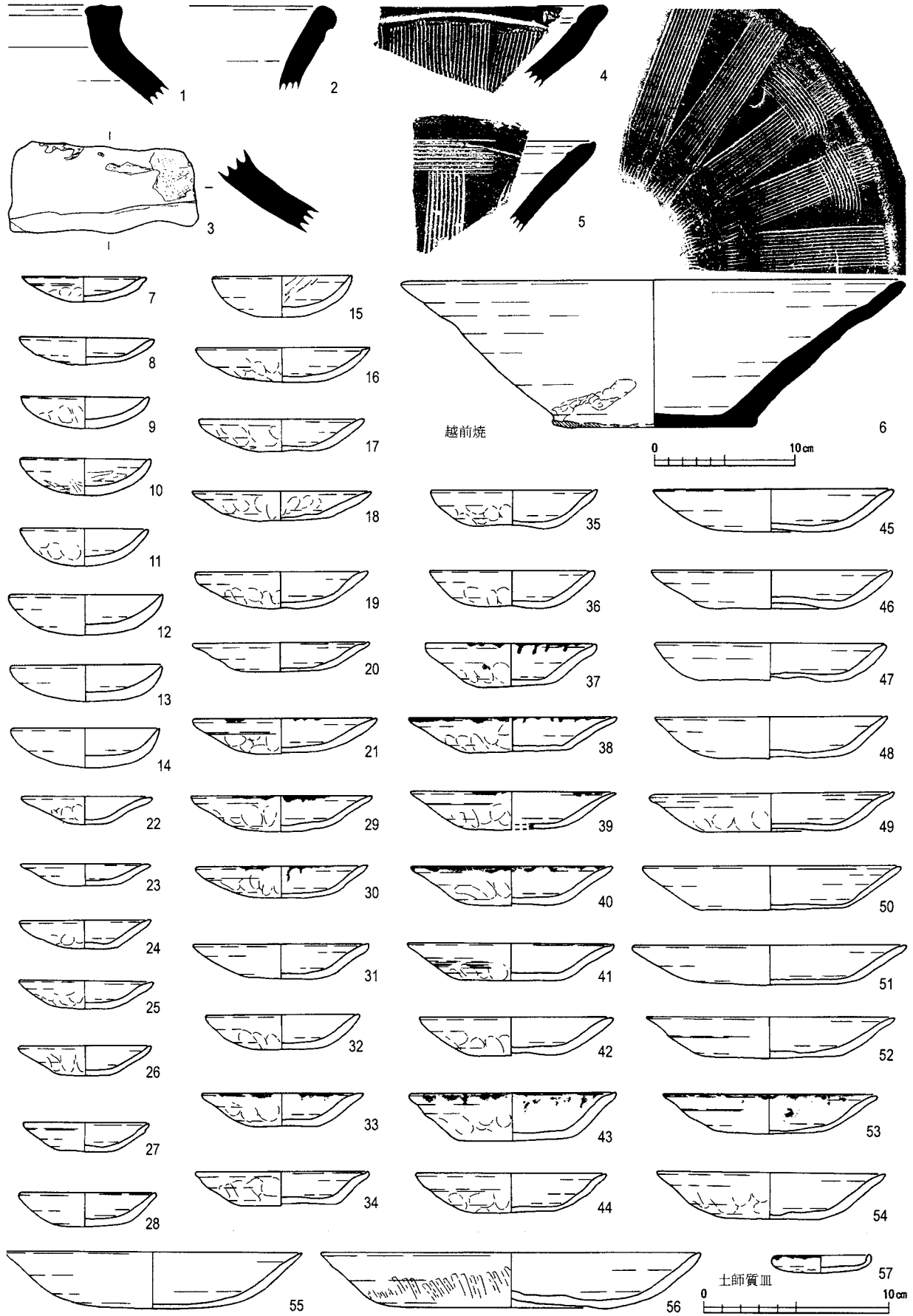
SD2255 出土(PL. 51 第18図) SD2255は館の南濠である。越前焼播鉢 166のみが出土した。

金属製品(PL. 51 第18図) 鉄釘 167～170は釘頭をL字に折り曲げ、平坦面を設けている。177は口径約 21 cmの鉄鍋の把手であり、径 0.8 cmの鉄棒を曲げ、両端 3.0 cm付近を上方へ折り曲げている。小柄 198は左側が茎部、右側が刃部となる。刃部は切先から中程まで欠損。茎部は緑青に覆われ、銅製の柄の一部が残存していた。弾丸 179～182は径 1.2～1.3 cmを測る。形状は球形だが、歪である。

銭貨(PL. 51 第18図) 銭貨は191を除き第Ⅱ区域で出土した。183の淳化元寶(初鑄 990年)が最も古く、184・185の至道元寶(初鑄 995年)1、187の天禧通寶(初鑄 1017年)、188の永樂通寶(中世末～近世の模造銭)などがある。

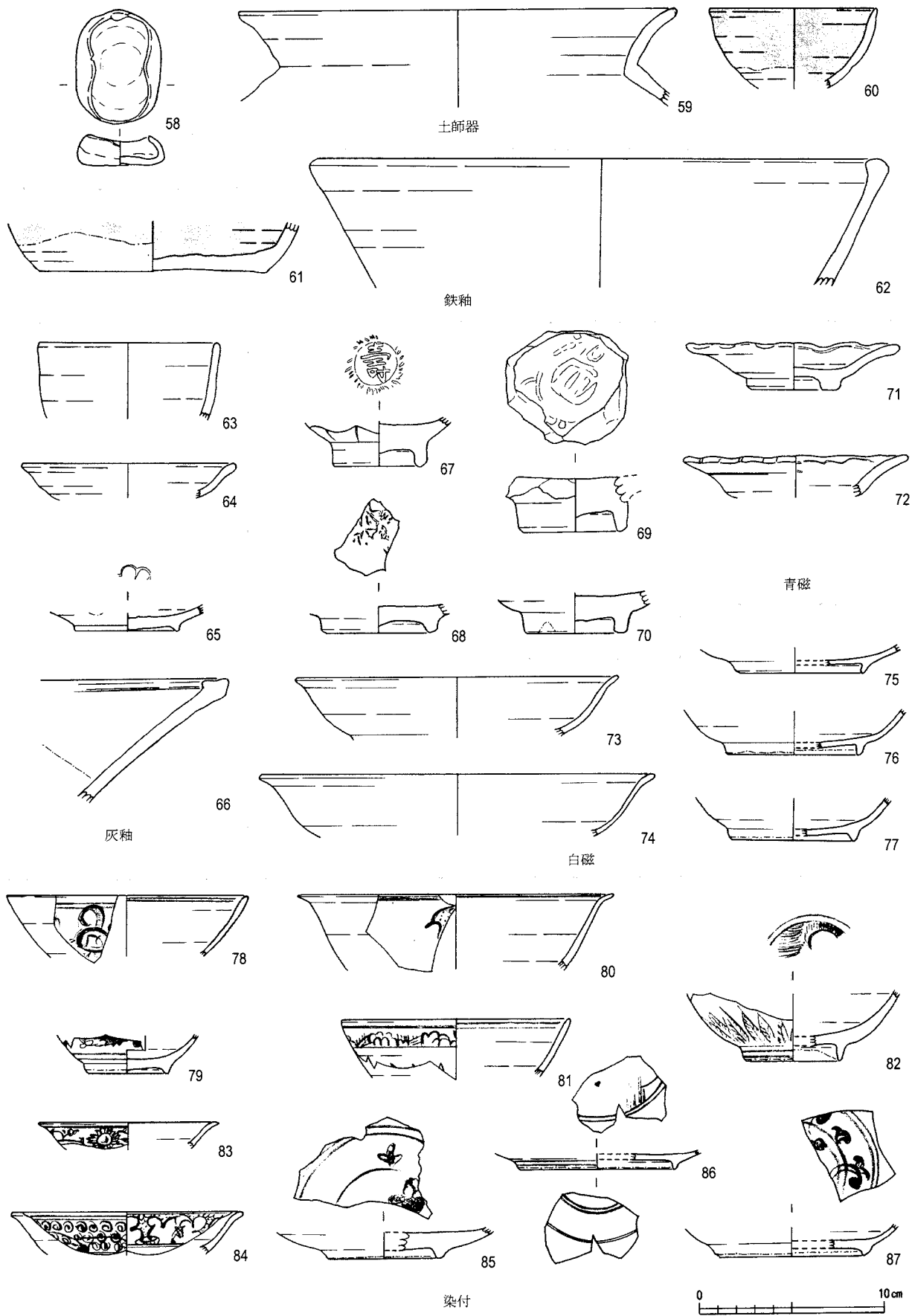
木製品(PL. 52～54 第19～21図) 木製品は、全て館の北濠であるSD2261から出土した。種類は、容器、雑器 192～212、折敷 213～221、祭祀具 222～242、不明部材 243～251に大別した。調査から30年経過し、劣化が進行したものが少ない。

漆器 漆器碗 192・193の内面は黒漆地に朱漆が全面に施され、外面は黒漆地に朱漆で蓬菜文、草花文、撫子・鶴・亀・松が描かれている。192は文様に崩れがない。樹種は192がハンノキ属ヤシャブシ亜属、193がブ

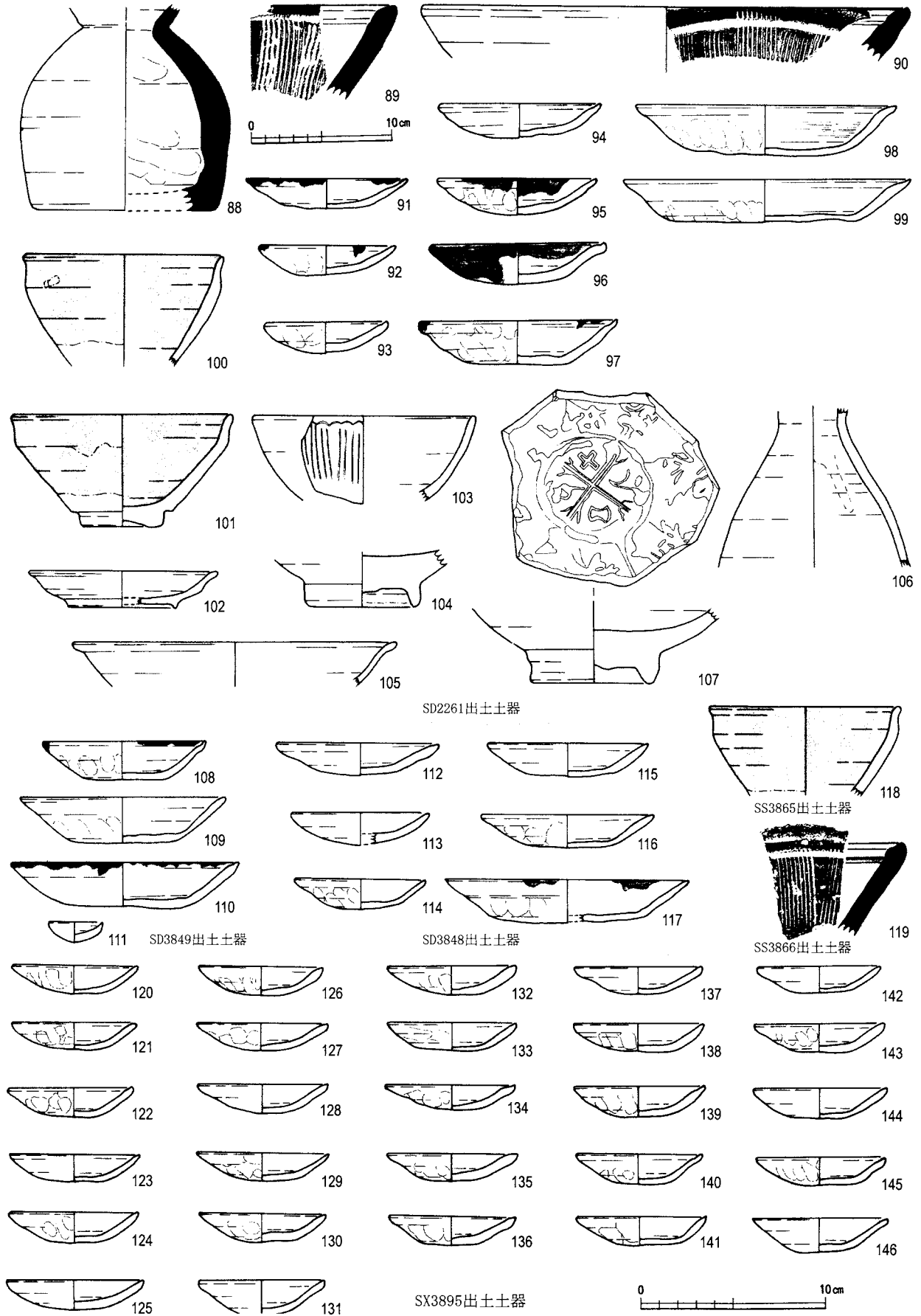


第15図 第68次調査 包含層出土土器(縮尺1/3、1/4)

6. 遺物

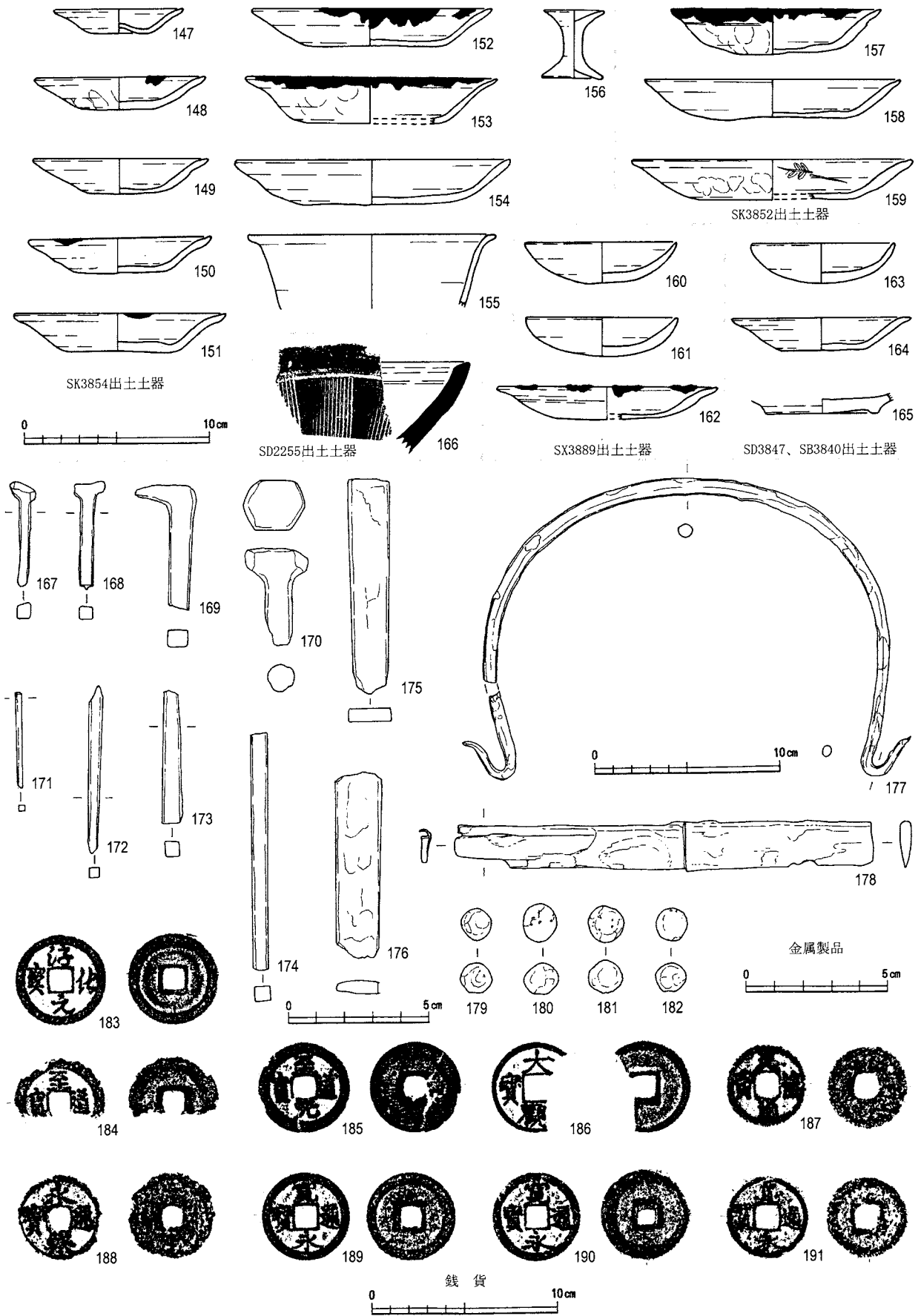


第 16 図 第 68 次調査 包含層出土器(縮尺 1/3)

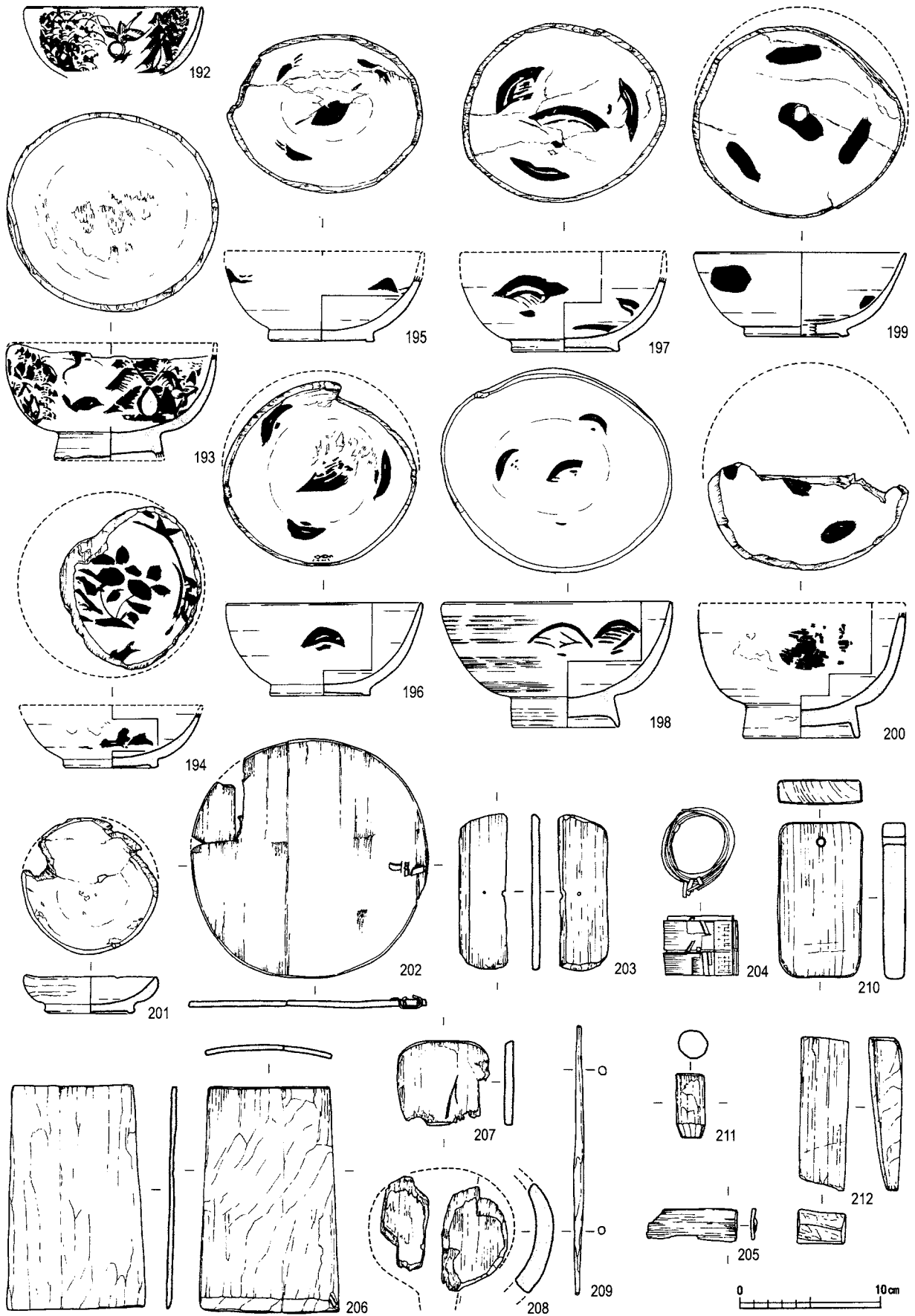


第17圖 第68次調査 遺構出土土器(縮尺1/3)

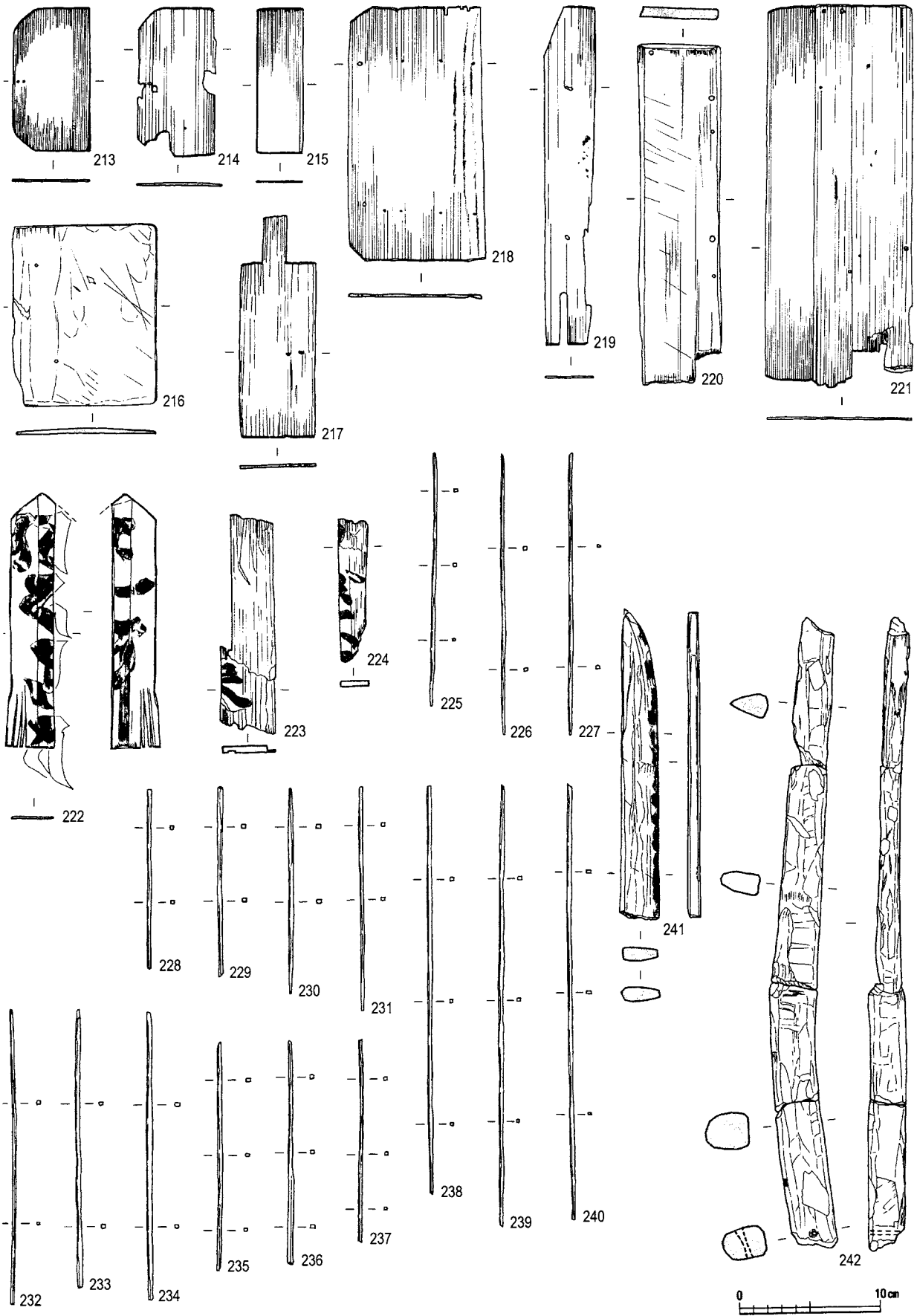
6. 遺物



第 18 図 第 68 次調査 遺構出土土器、金属製品、銭貨(縮尺 1/2、1/3、2/3)



第19図 第68次調査 木製品(漆器、容器、雑器)(縮尺1/4)



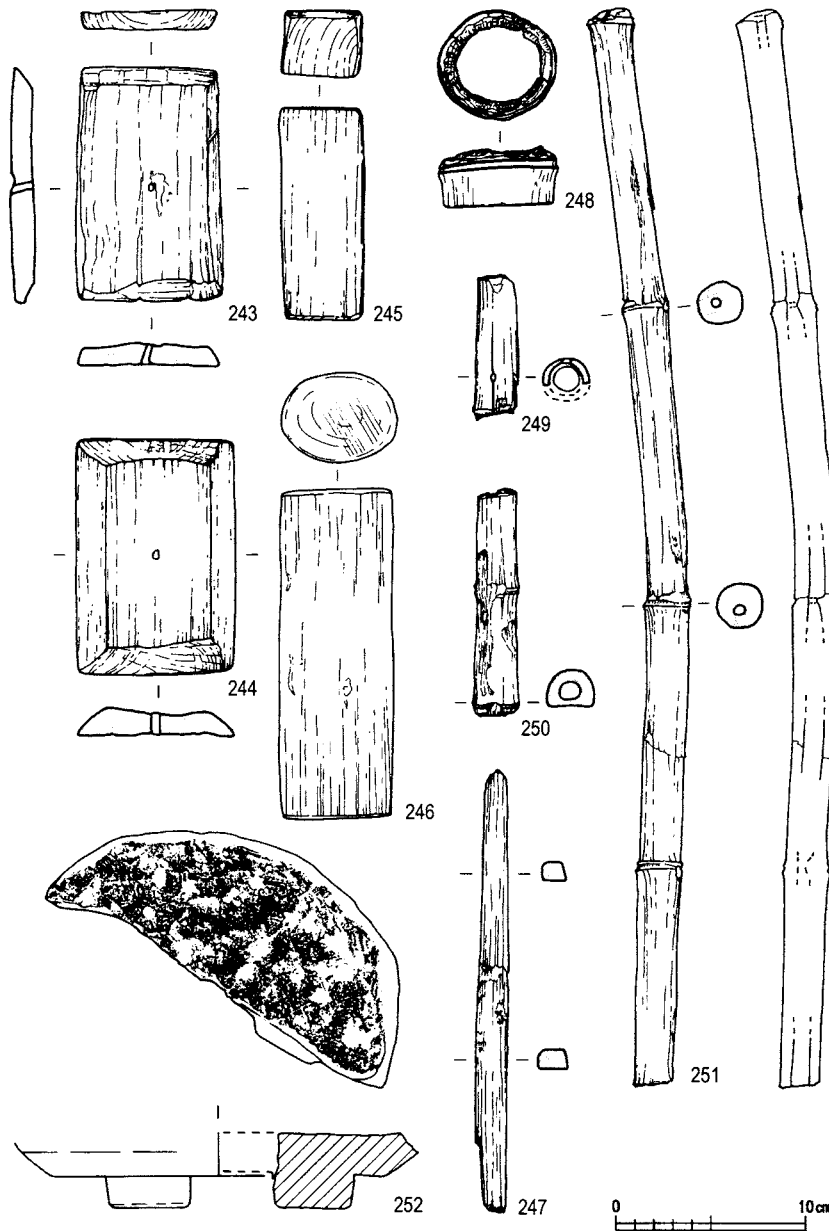
第20図 第68次調査 木製品(折敷、祭祀具)(縮尺1/4)

ナ属である。194は黒漆地の内外面に朱漆の文様が施され、内面底面に草花文、内面体部に開扇文、外面体部に開扇文が3方向に施される。樹種はブナ属である。195～198は黒漆地の内外面に開扇文が描かれ、開扇文は内面底面に1ヶ所、周縁に3ヶ所、外面にも3ヶ所施されたと考え。199・200は黒漆地の内外面に繭形の倭文が描かれ、倭文は内面底面に1ヶ所、周縁に3ヶ所、外面にも3ヶ所施されたと考え。樹種は共にトチノキである。201は皿であり、外面は黒漆地、内面全体は黒漆地に朱漆が上塗りされている。

容器、雑器 小型曲物 204は、径4.8 cm、器高4.3 cmを測る。底板は欠失している。幅4.3 cmの柁目板で内側側板を作り、幅2.6 cmの柁目材を上下で被せて外側側板としている。閉合部は長方形の穿孔を5ヶ所設け、幅0.28 cmの樺状樹皮を通して接合している。樹種はスギである。雪下駄210は小児用であり、長さ11.1 cm、幅6.0 cmを測る。上下端左右は隅丸に成形している。樹種はヒノキである。

折敷 折敷 213～221は、方形の柁目材の四隅を面取りして底板としている。樹種はヒノキである。

祭祀具 祭祀具には笠塔婆 222～224、御幣串 225～240、刀形 241・242がある。222は表面に「キヤ(空)・カ(風)・ラ(火)・バ(水)」の種字が墨書される。223・224は墨書の部分が陽刻状の痕跡に劣化し、判読はできない。



カ(風)・ラ(火)・バ(水)」の種字が墨書される。223・224は墨書の部分が陽刻状の痕跡に劣化し、判読はできない。

御幣串は、断面が方形に面取りされ、238～240のような長さ20 cm弱のものが本来の長さと考え。

刀形 241は、表裏面の刃紋を墨書で描く。242は、形代というより木刀に近い形状であり、刃部はやや反り気味に成形されている。柄部には目釘孔が1ヶ所設けられている。

不明部材 243～251は不明部材とした。243・244は攪拌具のような機能が想定されるが類例がない。樹種はスギである。249～251は径2.3～2.5 cmの竹であり、いずれも外面に径0.3 cmの円孔が穿たれ、節が抜かれている。隣接する第43次調査区のSD2261において「一節切」の笛が出土しているが、これらに積極的な笛の加工の痕跡は見いだせない。樹種はタケ亜科であり、孟宗竹ではない。

第21図 第68次調査 木製品(不明部材)、石製品(縮尺1/4)

6. 遺物

第2表 第68次調査出土遺物観察表(PL. 47~54 第15~21図)

包含層出土土器(PL. 47・48 第15・16図)

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
1	越前焼壺	焼: 良好 色: 灰褐色	極砂粒 白色粒子 精緻 1/10以下	口縁部:直線状に短く立ち上がる/口 端部内側は突出/口唇部は平坦	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	第Ⅲ区域 T26/礫混灰色 (整地土) 外:降灰
2	越前焼壺	焼: 良好 色: 濃茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:直線状に外方へ開く/口端部 外側に凹線が巡る/口唇部は丸く収 める	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	第Ⅲ区域 S26/礫混灰色土 (整地土)
3	越前焼大甕	焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	胴部:上位の外面に漆被膜が付着	外:ナデ 内:ナデ	第Ⅲ区域 H18/耕作土下
4	越前焼播鉢	焼: 良好 色: 淡赤茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:ゆるやかに外方へ開く/口端 面は平坦/口端部内側は凹状の段をも つ	外:ナデ 内:ナデ 内面に幅2.6cm・10条の播目/密	第Ⅲ区域 V26/礫混灰色整地土
5	越前焼播鉢	焼: 良好 色: 淡灰色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/10以下	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面 は平坦浅く凹む	外:回転ナデ 内:回転ナデ 内面に幅2.7cm・9条の播目/上位に ヨコ方向の播目	第Ⅲ区域 U24/床土下黄褐色土
6	越前焼播鉢	口: 36.0 高: 10.5 底: 14.6 焼: 良好 色: 茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 4/5	口縁部:上位でやや屈曲して立ち上 がる/口端面内側に浅い段をもつ/口唇 部は丸く収める	外:体部回転ナデ/底部周縁に縄目痕 /底面粗いナデ 内:体部回転ナデ/底部ナデ・摩耗/ 幅2.8cm・11条の播目/16方向/上位 にヨコ方向の播目	第Ⅲ区域 H20/g-間床土下黄 褐色土
7	土師器小皿	口: 6.7 高: 1.4 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾してに斜め外方へ立 ち上がる/口唇部は丸く収める/口端 部に段をもつ 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部~底部ナデ	不明 片口状に歪む
8	土師器小皿	口: 7.2 高: 1.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾してに斜め外方へ立 ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 V25/茶褐色土 片口状に歪む
9	土師器小皿	口: 7.0 高: 1.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:やや内湾してに斜め外方へ立 ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 V25/暗褐色土 片口状に歪む
10	土師器小皿	口: 7.0 高: 2.0 底: 1.5 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口端部ナデ/体部ミガキ 内:口縁部~底部ミガキ	第Ⅲ区域 T25 片口状に歪む
11	土師器小皿	口: 6.9 高: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 B23/炭層 片口状に歪む
12	土師器小皿	口: 8.2 高: 2.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ 型押し成形	第Ⅲ区域 V26/炭混茶褐色土 片口状に歪む
13	土師器小皿	口: 8.1 高: 2.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ 型押し成形	第Ⅲ区域 V26/炭混茶褐色土 片口状に歪む
14	土師器小皿	口: 8.0 高: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:内湾してに斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ 型押し成形	第Ⅲ区域 V26/炭混茶褐色土 片口状に歪む
15	土師器小皿	口: 7.5 高: 2.2 焼: 良好 色: 褐白色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:内湾してに斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ/茶色の化粧土 残存/キズ多し	第Ⅱ区域 B23/暗褐色土 片口状に歪む
16	土師器小皿	口: 9.2 高: 1.8 底: 3.9 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾してに斜め外方へ立 ち上がる/口唇部は浅く凹む 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 T25/暗褐色土 片口状に歪む

Ⅲ. 第68次調査

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
17	土師器 小皿	口: 9.0 高: 1.3 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底/器壁薄い	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	不明
18	土師器 小皿	口: 9.6 高: 1.6 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底/器壁薄い	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V26/黄褐色土 片口状に歪む
19	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.0 底: 3.0 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がり、口端部で緩く外方へ屈曲する/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 B23/炭層 片口状に歪む
20	土師器 小皿	口: 8.4 高: 1.5 底: 4.0 焼: 良好 色: 褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がり、口端部は緩く外方へ屈曲する/口唇部は上方へ立ち上がり丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V25/暗灰色土 片口状に歪む
21	土師器 小皿	口: 9.8 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める/中位に段をもつ 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 C26/黄褐色土 片口状に歪む 口端部一部スス附着
22	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 底: 2.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:外反して立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	不明 炭層 片口状に歪む
23	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.1 底: 3.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:外反して立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V24/黄褐色土 V25/茶褐色土 片口状に歪む
24	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 底: 2.3 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 W25/茶褐色土 片口状に歪む
25	土師器 小皿	口: 7.2 高: 1.5 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 T25/茶褐色土 片口状に歪む
26	土師器 小皿	口: 7.2 高: 1.7 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	不明 片口状に歪む
27	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.6 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部外側はやや屈曲して立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底面やや凹む 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V25/暗褐色土 片口状に歪む
28	土師器 小皿	口: 7.4 高: 1.9 底: 2.7 焼: 良好 色: 淡褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部内側に段をもつ 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 O26/SD2261 青灰色腐植土 片口状に歪む 口唇部一部スス附着
29	土師器 小皿	口: 9.8 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:やや外反して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 A26/暗褐色土 片口状に歪む 口端部1/2周スス附着
30	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.6 底: 3.5 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部内側に段をもつ 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部型押し成形 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V26/茶褐色土 片口状に歪む 底部ヤキムラ

6. 遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
31	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 9.4 1.8 4.4 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部内側に段をもつ 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部型押し成形 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V26/茶褐色土 片口状に歪む 底部ヤキムラ
32	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 8.2 1.9 3.5 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕/型押し成形 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V24/茶褐色土 片口状に歪む
33	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 8.6 1.8 3.4 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや外反して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 C25/炭灰層 片口状に歪む 口端部全周にスス附着
34	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 9.2 1.8 4.0 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:やや外反して斜め外方へ立ち上がる/口唇部内側に段をもつ 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕/底面未調整 内:口縁部～底部ナデ/茶色の化粧 土残存	第Ⅲ区域 V25/炭混暗褐色土
35	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 9.0 1.9 4.3 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕/型押し成形 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V24/黄褐色土 片口状に歪む
36	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 8.9 1.9 4.0 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V24/黄褐色土 片口状に歪む
37	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 9.2 2.3 3.7 良好 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部内側に段をもつ 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 O26/SD2261 青灰色腐植土 口端部部分的スス附着
38	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 11.2 2.0 5.4 良好 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部内側に段をもつ 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 T25/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部部分的スス附着
39	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 11.0 2.0 5.0 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/5	口縁部:やや外反して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 G24/炭層 片口状に歪む 口端部部分的スス附着
40	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 10.8 2.0 5.0 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外方へ屈曲/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 C24/炭層 片口状に歪む 口端部全周スス附着
41	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 7.0 2.0 5.5 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:やや外反して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 T25/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部部分的スス附着
42	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 10.0 2.1 4.0 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 C24/炭層 片口状に歪む
43	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 11.0 2.5 5.8 良好 淡橙白色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部で外方へやや屈曲する/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V24/茶褐色土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
44	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 10.3 2.2 4.4 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める/中位に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部～底部ナデ	不明 床土 片口状に歪む

Ⅲ. 第68次調査

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
45	土師器 小皿	口: 12.6 高: 2.3 底: 6.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部型押し成形/底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V24/黄褐色土
46	土師器 小皿	口: 12.8 高: 2.0 底: 6.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部型押し成形 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V24/黄褐色土
47	土師器 小皿	口: 12.4 高: 1.9 底: 7.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底/中央やや凹む	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底面未調整 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 V24/黄褐色土
48	土師器 小皿	口: 12.3 高: 2.2 底: 6.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底面未調整 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 V24/黄褐色土 V25/暗褐色土 片口状に歪む
49	土師器 小皿	口: 13.2 高: 2.0 底: 7.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部で外方へやや屈曲する/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 C24/炭層 口端部部分的にスス附着
50	土師器 小皿	口: 13.6 高: 2.3 底: 7.4 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 8/9	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める/口端部内側やや浅く凹む 底部:平底	外:口縁部ナデ/体部ナデ 内:口縁部～底部ナデ/底面黒斑	第Ⅱ区域 C26/黄褐色土 片口状に歪む
51	土師器 小皿	口: 14.7 高: 2.2 底: 8.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 堅緻 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/型押し成形 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅲ区域 V26/茶褐色土 片口状に歪む
52	土師器 小皿	口: 13.2 高: 2.3 底: 7.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部で外反する/口唇部は丸く収める/中位に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 V26/黄褐色土
53	土師器 小皿	口: 11.4 高: 2.1 底: 6.0 焼: 良好 色: 橙色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部で外反する/口唇部は丸く収める/中位に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 V25/暗褐色土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
54	土師器 小皿	口: 12.0 高: 2.5 底: 5.4 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部でやや外反する/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 C24/炭層
55	土師器 皿	口: 16.0 高: 3.0 底: 7.0 焼: やや不良 色: 白褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 B23/炭層
56	土師器 皿	口: 20.4 高: 3.0 底: 12.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底/中央やや凹む	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後ヘラナデ/底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 S25/灰茶褐色土 片口状に歪む 底部黒斑
57	土師器 小皿	口: 5.2 高: 1.0 底: 3.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に短く上方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 B25/灰褐色土 口端部スス附着
58	土師器 耳皿	口: 6.1 高: 1.6 幅: 4.5 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:左右を内側へ折り込む/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 R24/褐色土

6. 遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点
						備考
59	土師器 甕	口: 23.5 高: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	微砂粒 赤色粒子 軟質 1/10以下	口縁部:外反してへ立ち上がる/口唇部は丸く収める 頸部:くの字の屈曲	外:口縁部ヨコナデ/胴部上位ナデ 内:口縁部ヨコナデ/胴部上位ハゲ後ナデ	第IV区域 S23/礫混黄褐色土
60	瀬戸美濃 鉄釉 天目碗	口: 9.0 高: 4.3 焼: 良好 色: 黒褐色	極砂粒 堅緻 1/5	口縁部:内湾して外方へ立ち上がり、口縁部でやや外反して屈曲。口唇部は短く外傾し丸く収める	外:口縁部～体部下位回転ナデ 内:口縁部～体部下位回転ナデ	第III区域 R24/黄褐色土 外:体部下位軸ハゲ
61	瀬戸美濃 鉄釉 壺	高: 2.6 底: 12.0 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 精緻 1/10以下	底部:平底	外:底部回転ヘラケズリ 内:底部回転ナデ	第III区域 V22/礫石層 外:体部下位軸ハゲ
62	瀬戸美濃 鉄釉 鉢	口: 32.0 高: 6.0 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 堅緻 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側が膨らむ/口唇部は丸く収める	外:口縁部:回転ナデ 内:口縁部:回転ナデ	第III区域 V26/黄褐色土
63	灰釉 碗	口: 9.8 高: 4.0 焼: 良好 色: 淡茶褐色	極砂粒 堅緻 1/8	口縁部:直線状に上方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 体部:腰部で内湾する	外:口縁部回転ナデ 内:口縁部回転ナデ	第III区域 H22/g-g' 断面/表土 体部:貫入多し
64	灰釉 小皿	口: 11.4 高: 1.8 焼: 良好 色: 淡濁緑色	極砂粒 堅緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部は弱く外反する/口唇部は丸く収める	外:口縁部回転ナデ 内:口縁部回転ナデ	第III区域 V26/黄褐色土 A26/灰褐色土
65	灰釉 小皿	高: 1.0 底: 5.6 焼: 良好 色: 浅黄緑色	極砂粒 堅緻 1/10以下	底部:緩やかに内湾して外方へ開く/削り出し高台	外:底部回転ナデ 内:底部ナデ/中央に梅花文刻印	第III区域 V26/炭層
66	灰釉 捏鉢	焼: 不良 色: 浅白色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側は突出/口端部外側は上方へ立ち上がる/口端面は浅く凹む	外:口縁部回転ナデ/口縁部～体部 灰釉 内:々	第IV区域 V24/暗色土 W24/黄色土
67	青磁 碗	高: 2.3 底: 4.6 焼: 良好 色: 灰オリーブ色	精緻 1/8	底部:端面外側は面取り	外:鑄蓮花を陰刻 内:底面中央に「壽」陰刻/壽を圏線で囲み、圏線周縁に斜行線を放射状に巡らす	第II区域 C25/炭層
68	青磁 碗	高: 1.6 底: 6.0 焼: 良好 色: 灰オリーブ色	精緻 1/10以下	底部:端面はやや丸みをもつ	内:底面中央に陰刻花文	第II区域 D26/茶褐色土
69	青磁 碗	高: 2.9 底: 5.4 焼: 良好 色: 灰オリーブ色	精緻 1/10以下	底部:端面外側は面取り	内:底面中央に陰刻押印	第III区域 R25/炭混暗灰土 外:底部周縁釉拭き取り
70	青磁 碗	高: 2.2 底: 5.2 焼: 良好 色: 淡オリーブ 灰色	精緻 1/10以下	底部:端面外側は面取り		第III区域 R26/炭混暗灰土 外:底部中央露胎
71	青磁 稜花皿	口: 11.4 高: 2.5 底: 4.4 焼: 良好 色: 黄緑色	精緻 1/8	口縁部:外反して外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収め、緩い波状に成形し花卉状にする 底部:高台端面は平坦	内:口端部に波状の線刻がめぐる	第III区域 R23/礫混茶色土 第IV区域 S21/表土 外:底部中央露胎
72	青磁 稜花皿	口: 11.5 高: 2.2 焼: 良好 色: オリーブ灰色	精緻 1/5	口縁部:外反して外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収め、緩い波状に成形し花卉状にする	外:口端部に条線が1条めぐる 内:口端部に波状の線刻がめぐる	第III区域 V26/畦
73	白磁 皿	口: 17.0 高: 3.2 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部は外反する/口唇部は丸く収める		第II区域 A25/暗褐色土
74	白磁 皿	口: 10.8 高: 3.3 焼: 良好 色: 明透白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部は外反する/口唇部は丸く収める		第II区域 B26/暗褐色土
75	白磁 皿	高: 2.0 底: 6.6 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる		第II区域 O26/青灰色腐植土 外:高台端面露胎
76	白磁 皿	高: 2.0 底: 7.2 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる		第II区域 O26/青灰色腐植土 外:高台端面露胎

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点
						備 考
77	白磁皿	高: 2.2 底: 6.3 焼: 良好 色: 明灰色	精緻 1/8	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる		第Ⅲ区域 V26/暗褐色土 外:高台端面露胎
78	染付碗	口: 12.8 高: 3.5 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める	外:口縁部上位に圏線2/体部に呉須 花文 内:口縁部上位に圏線2	第Ⅲ区域 R27/黄褐色土
79	赤絵 染付碗	高: 2.2 底: 4.2 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/5	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる	外:体部に赤絵の唐草文染付/体部下 位に赤絵の圏線3	第Ⅲ区域 Q24/褐色土 025/床土
80	染付碗	口: 16.8 高: 4.0 焼: 良好 色: 透青灰色	精緻 1/10以下	口縁部:直線状に外傾して立ち上がる /口端部は外反し口唇部は丸く収め る/非常に薄手	外:口縁部上位に呉須圏線2/体部に 呉須花文 内:口端部に呉須圏線1	第Ⅱ区域 C24/炭層
81	染付碗	口: 12.2 高: 3.2 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/8	口縁部:直線状に外傾して立ち上がる /口唇部は丸く収める	外:口縁部上位に圏線1/呉須波濤文 内:口縁部に呉須圏線2	第Ⅲ区域 Q24/黄褐色土 024/褐色土
82	染付碗	高: 3.5 底: 5.0 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	口縁部:内湾して立ち上がる	外:体部に呉須芭蕉文/底部に呉須圏 線3 内:底部中央に圏線1/圏線内に巻貝	第Ⅱ区域 B25/灰褐色土 高台端面露胎
83	染付皿	口: 9.6 高: 1.3 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口端部は外反する/口唇部は 丸く収める	外:口縁部上位に圏線2/呉須花文・唐 草文 内:口端部に呉須圏線1	第Ⅱ区域 C24/炭層
84	染付皿	口: 12.2 高: 2.4 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口端部は外反する/口唇部は 丸く収める	外:口縁部上位に圏線2/呉須変形唐 草文 内:口端部に呉須圏線1/変形文	第Ⅱ区域 C24/炭層
85	染付皿	高: 1.3 底: 6.0 焼: 良好 色: 青白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる	内:底面に呉須花文	第Ⅲ区域 W16/f-f'断面/黄褐色 土
86	染付皿	高: 0.9 底: 8.2 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる	外:底部に呉須圏線2/底面中央に呉 須圏線2 内:底面に呉須圏線2/太湖石	第Ⅱ区域/C25/耕作土 第Ⅲ区域 V26/黄褐色土 外:高台端面露胎
87	染付皿	高: 1.6 底: 8.0 焼: 良好 色: 透灰色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる	内:底面周縁に呉須圏線2/底面中央 に呉須圏線2/唐草文	第Ⅲ区域 T26/礫混灰色土(整地 土) 外:高台端面露胎

遺構出土土器(PL.49~51 第17・18図)

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点
						備 考
88	越前焼壺	高: 11.0 底: 9.2 焼: 良好 色: 濃赤紫色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/8	口縁部:直線状に短く外方へ開く 体部/短砲弾形/中で膨らむ 底部/平坦	外:ヨコナデ 内:回転ナデ後コビナデ	第Ⅱ区域 026/SD2261 青灰色腐植土
89	越前焼 播鉢	焼: 良好 色: 淡赤灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:ゆるやかに外方へ開く/口端 部内側は凹状の段をもつ	外:口縁部回転ナデ/体部回転ヘラケ ズリ 内:ナデ 内面に幅2.7cm・9条の播目/密	第Ⅱ区域 026/SD2261 青灰色腐植土
90	越前焼 播鉢	焼: 良好 色: 淡赤灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:ゆるやかに外方へ開く/口端 面は平坦/口端部内側は凹状の段を もつ	外:回転ナデ 内:回転ナデ 内面に幅3.1cm・10条の播目/密 シャープな仕上げ	第Ⅱ区域 026/SD2261 青灰色腐植土
91	土師器 小皿	口: 8.7 高: 1.6 底: 4.6 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/5"	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 027/SD2261 青灰色腐植土
92	土師器 小皿	口: 7.4 高: 1.7 底: 2.0 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 027/SD2261 青灰色腐植土 片口状に歪む 口端部スス付着

6. 遺物

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
93	土師器 小皿	口: 6.6 高: 1.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 026/SD2261 青灰色腐植土
94	土師器 小皿	口: 8.6 高: 1.9 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 027/SD2261 黒色土
95	土師器 小皿	口: 8.4 高: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙白色	極砂粒 堅緻 5/6	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 027/SD2261/黒色土/ 片口状に歪む 内:口端部全周ス
96	土師器 小皿	口: 9.4 高: 2.2 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:外反して斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ 底部:平底	外:口縁部ナデ/体部型押し成形 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 027/SD2261 青灰色腐植土
97	土師器 小皿	口: 10.6 高: 2.2 底: 5.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 堅緻 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 027/SD2261 黒色土 口端部一部スス付着 体部下位ヤキムラ
98	土師器 小皿	口: 13.9 高: 2.6 底: 8.0 焼: 良好 色: 淡茶灰色	極砂粒 堅緻 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部で外方に屈曲/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 027/SD2261 青灰色腐植土
99	土師器 小皿	口: 15.3 高: 2.3 底: 8.8 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 027/SD2261 黒色土
100	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 10.8 高: 6.0 焼: 良好 色: 黒茶色	極砂粒 精緻 1/10以下	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上がり、口端部で上方に屈曲。口唇部は短く外傾し丸く収める	外:口縁部～体部下位回転ナデ 内:口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅱ区域 027/SD2261 青灰色腐植土 体部下位露胎
101	瀬戸美濃 鉄釉 壺	口: 11.8 高: 6.0 底: 4.2 焼: 良好 色: 黒茶色	極砂粒 堅緻 1/3	口縁部:直線状に外方へ立ち上がり、口端部で上方に屈曲。口唇部は短く外傾し丸く収める 底部:削り出し高台	外:口縁部～体部下位回転ナデ 内:口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅱ区域 027/SD2261 黒色土/青灰色腐植土
102	灰釉 小皿	口: 10.8 高: 2.0 底: 5.6 焼: 良好 色: 浅黄緑色	極砂粒 堅緻 1/6	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部は外反する/口唇部は丸く収める	外:口縁部回転ナデ/体部下位回転ヘラケズリ 内:口縁部回転ナデ/底面中央に花文陰刻押印	第Ⅱ区域 027/SD2261 青灰色腐植土
103	青磁 碗	口: 12.0 高: 4.5 焼: 良好 色: オリーブ灰色	精緻 1/10以下	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める	外:体部に線描き蓮弁文	第Ⅱ区域 026/SD2261 青灰色腐植土
104	青磁 碗	高: 3.0 底: 5.6 焼: 良好 色: 濃オリーブ灰色	精緻 1/10以下	底部:高台端面は丸い	外:高台端面露胎	第Ⅱ区域 026/SD2261 黒色土
105	白磁 皿	口: 16.8 高: 2.3 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部は外反する/口唇部は丸く収める		第Ⅱ区域 027/SD2261 青灰色腐植土
106	中国 壺	高: 8.7 焼: 良好 色: 暗赤色	精緻 1/10以下	頭部:内傾して窄まる	外:回転ナデ 内:回転ナデ	第Ⅱ区域 026/SD2261 青灰色腐植土
107	青磁 碗	高: 4.0 底: 6.6 焼: 良好 色: 明オリーブ色	精緻 1/5	底部:高台端面は丸い	外:高台端面・底面周縁露胎 内:底面中央に十字文	第Ⅳ区域 S24/SD2255 青灰色粘土
108	土師器 小皿	口: 8.7 高: 2.0 底: 8.0 焼: 良好 色: 橙色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 G24/SD3849/焼土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
109	土師器 小皿	口: 11.0 高: 2.5 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 G24/SD3849/黒色土 片口状に歪む

Ⅲ. 第68次調査

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
110	土師器 小皿	口: 12.1 高: 2.3 底: 5.9 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 G24/SD3849 焼土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
111	土師器 小皿	口: 3.0 高: 1.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して上方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 G24/SD3849
112	土師器 小皿	口: 9.2 高: 1.8 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ 内:口縁部～底部ナデ/淡赤色の化粧土残存	第Ⅱ区域 B-D23/SD3848 炭混砂層
113	土師器 小皿	口: 7.4 高: 1.8 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ/刺突痕	第Ⅱ区域 B-D23/SD3848 炭混砂層
114	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.6 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 B-D23/SD3848 炭混砂層
115	土師器 小皿	口: 8.6 高: 1.8 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 8/9	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデツケ	第Ⅱ区域 B-D23/SD3848 炭混砂層
116	土師器 小皿	口: 9.2 高: 1.8 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 B-D23/SD3848 炭混砂層
117	土師器 小皿	口: 13.0 高: 2.3 底: 6.8 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 堅緻 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める/中位に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 B-D23/SD3848 炭混砂層 口端部一部スス付着
118	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 10.0 高: 5.0 焼: 良好 色: 茶黑色	極砂粒 精緻 1/10以下	口縁部:直線状に外方へ立ち上がり、口端部で上方へ屈曲。口唇部は短く外傾し丸く収める	外:口縁部～体部下位回転ナデ 内:口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅱ区域 F26/SS3865 外:体部下位露胎
119	越前焼 播鉢	焼: 良好 色: 淡赤茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:ゆるやかに外方へ開く/口端面は浅い凹面/口端部内側は凹状の段をもつ	外:ヨコナデ 内:ナデ 内面に幅3.0cm・9条の播目/密	第Ⅱ区域 G25/SS3866
120	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
121	土師器 小皿	口: 6.7 高: 1.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895
122	土師器 小皿	口: 6.6 高: 1.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
123	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
124	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
125	土師器 小皿	口: 7.1 高: 1.5 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895
126	土師器 小皿	口: 6.5 高: 1.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む

6. 遺物

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点
						備考
127	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
128	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部はやや鋭角 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
129	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
130	土師器 小皿	口: 6.9 高: 1.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
131	土師器 小皿	口: 7.0 高: 2.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
132	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
133	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
134	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.5 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ヨコナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
135	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895
136	土師器 小皿	口: 6.9 高: 1.6 底: 2.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895
137	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
138	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895
139	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
140	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部で受口状外方に屈曲/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895
141	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.6 底: 3.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
142	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.5 底: 6.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895

Ⅲ. 第68次調査

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
143	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 底: 2.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ/体部ナデ後指 頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895
144	土師器 小皿	口: 7.1 高: 1.6 底: 2.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895
145	土師器 小皿	口: 6.9 高: 1.5 底: 2.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ/体部ナデ後指 頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
146	土師器 小皿	口: 7.1 高: 1.9 底: 2.3 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 D23/SX3895 片口状に歪む
147	土師器 小皿	口: 6.9 高: 1.3 底: 3.0 焼: 良好 色: 淡白褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底/中央やや凹む	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 Q25/SK3854 片口状に歪む
148	土師器 小皿	口: 9.1 高: 1.7 底: 3.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く 収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 Q25/SK3854 片口状に歪む 口端部一部スス付着
149	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.0 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部で外方へ屈曲/口唇部は丸く収 める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 Q25/SK3854 片口状に歪む
150	土師器 小皿	口: 9.7 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く 収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 Q25/SK3854 片口状に歪む
151	土師器 小皿	口: 11.3 高: 2.0 底: 5.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部で外方へ屈曲/口唇部は丸く収 める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 Q25/SK3854 口端部一部スス付着
152	土師器 小皿	口: 12.9 高: 2.0 底: 7.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ /型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 Q25/SK3854 口端部一部スス付着
153	土師器 小皿	口: 13.5 高: 2.5 底: 7.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部で外方へ屈曲/口唇部は丸く収 める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕/底部欠損 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 Q25/SK3854 口端部全周スス付着
154	土師器 小皿	口: 14.8 高: 2.5 底: 7.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部未調 整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 Q25/SK3854
155	白磁 碗	口: 13.0 高: 3.7 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部は外反する/口唇部は丸く収め る		第Ⅲ区域 Q25/SK3854
156	土師器 器台	口: 3.2 高: 3.8 底: 3.2 焼: 不良 色: 白褐色	極砂粒 軟質 5/6	受部:ラッパ状に開く/口唇部は丸く 収める 脚部:脚柱部から脚台部はハの字に開 く	外:受部~脚台部ナデ 内:受部ナデ/脚台部ヘラケズリ	第Ⅲ区域 Q25/SK3854 片口状に歪む
157	土師器 小皿	口: 11.2 高: 2.5 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上 がる/口端部で外反して屈曲/口端部に 段をもつ/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 P25/SK3852 片口状に歪む 口端部全周スス付着

6. 遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点	
						備考	
158	土師器 小皿	口: 13.6 高: 2.0 底: 8.0 焼: やや不良 色: 白褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部: やや内湾して外方へ立ち上がる/口端部で外反して屈曲/口唇部は丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部~底部ナデ 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 P25/SK3852	
159	土師器 小皿	口: 15.0 高: 2.2 底: 9.9 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/5	口縁部: やや内湾して外方へ立ち上がる/口端部で外反して屈曲/口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部~底部指頭痕/型押し成形 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ/ 口縁部にシダ状植物を線刻	第Ⅲ区域 P25/SK3852	
160	土師器 小皿	口: 8.2 高: 2.2 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ/型押し成形 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 V26・27/SX3889 片口状に歪む	
161	土師器 小皿	口: 8.2 高: 2.0 焼: 良好 色: 淡褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 V26・27/SX3889 片口状に歪む	
162	土師器 小皿	口: 11.9 高: 1.8 底: 6.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部: やや内湾して外方へ立ち上がる/口端部で外反して屈曲/口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 V26・27/SX3889 片口状に歪む	
163	土師器 小皿	口: 7.6 高: 2.1 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 V26・27/SD3847 片口状に歪む	
164	土師器 小皿	口: 9.4 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部: やや内湾して外方へ立ち上がる/口端部で外反して屈曲/口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 V26・27/SD3847	
165	灰釉 小皿	高: 0.9 底: 6.0 焼: 良好 色: 浅黄緑色	極砂粒 堅緻 1/6	底部: 貼り付高台	外: 底面回転糸切り痕	第Ⅲ区域 K24/SB3840 V24/黄褐色土 片口状に歪む	
166	越前焼 擂鉢	焼: 良好 色: 淡赤茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部: ゆるやか内湾して外方へ開く/口端面平坦/口端部内側は凹状の段をもつ	外: ヨコナデ 内: ナデ 内面に幅3.0cm・9条の播目/密	第Ⅳ区域 R23/SD2255	

金属製品(PL. 51 第18図)

単位:cm/g

No	器種	長 幅	厚 重	残存	材質 色調	特徴	出土地点
168	鉄釘	3.9 0.5	0.5 -	1/2	鉄製品	釘頭は折り曲げた後平坦	第Ⅱ区域 C24/炭層
169	鉄釘	3.5 1.0	1.0 -	1/4	鉄製品	釘頭は折り曲げた後平坦	第Ⅱ区域 C25/炭層
170	鉄釘	4.6 0.8	0.8 -	1/3	鉄製品	釘頭は折り曲げた後平坦	第Ⅱ区域 C25/表土
171	鉄釘	3.5 0.2	0.2 -	1/3	鉄製品		第Ⅱ区域 C24/炭層
172	鉄釘	6.0 0.4	0.4 -	1/2	鉄製品		第Ⅱ区域 E26/茶褐色土
173	鉄釘	4.8 0.5	0.5 -	1/4	鉄製品		第Ⅲ区域 V26/暗褐色土
174	鉄釘	8.5 0.5	0.5 -	1/2	鉄製品		第Ⅲ区域 V26/暗褐色土
175	クサビ	7.7 1.7	0.4 -	2/3	鉄製品		表土
176	クサビ	6.8 1.8	0.5 -	1/2	鉄製品		第Ⅱ区域 A24/灰色土
177	鍋柄	23.6 16.0	1.0 -	1/1	鉄製品	中央を逆U字状に曲げた後、両端を2.0cmを外側に曲げる	第Ⅱ区域 026/SD2261
178	小柄	14.9 1.7	0.4 -	1/2	銅製品	茎残存	第Ⅲ区域 S27/黄褐色土
179	鉄砲玉	1.2 1.1	1.1 -	1/1	鉛製品		第Ⅲ区域 U26/炭層
180	鉄砲玉	1.3 1.1	1.2 -	1/1	鉛製品		第Ⅱ区域 H27/茶褐色土

No	器種	長 幅	厚 重	残存	材質 色調	特徴	出土地点
182	鉄砲玉	1.2 1.0	1.1 -	1/1	鉛製品	第Ⅱ区域 H23/茶褐色土	

銭貨(PL. 51 第18図)

単位:cm/g

No	種類	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点
		径	厚	重			
183	淳化元寶 30367	2.5	0.13	2.6	1/1	北宋 初鑄990年	第Ⅱ区域 E・F24/下層 炭層砂利面
184	至道元寶 28669	2.5	0.13	1.1	3/5	北宋 初鑄995年	第Ⅱ区域 D25/炭層
185	至道元寶 25771	2.5	0.11	1.9	1/1	北宋 初鑄995年	第Ⅱ区域 C24/炭層
186	大観元寶 30368	2.5	0.13	1.2	3/5	北宋 初鑄1107年	第Ⅱ区域 E・F24/下層 炭層砂利面
187	天禧通寶 33006	2.2	0.11	1.4	1/1	北宋 初鑄1017年	耕土
188	永楽通寶 33007	2.3	0.14	2.4	1/1	模造銭 中世末~近世初	耕土
189	寛永通寶 32322	2.4	0.11	3.0	1/1	1期古寛永 1636~1659年	第Ⅱ区域 SD2261/茶褐色土
190	寛永通寶 32005	2.5	0.11	2.5	1/1	1期古寛永 1636~1659年	第Ⅱ区域 026/茶褐色土
191	寛永通寶 178	2.2	0.1	1.5	1/1	3期新寛永 1697~1781年	第Ⅳ区域 T24/床土

Ⅲ. 第68次調査

木製品(PL. 52 第19～21図)樹種同定:吉田生物(192～199)、鈴木三男・能城修一(208・210・222～224・241・242)、渡邊英明(前記以外)

単位:cm

No	器種	法量(最大値)		残存	木取 樹種	特徴	出土 地点
		長 幅	高 材厚				
192	漆器椀	□縁部 12.9	5.0	1/6	横木取り □縁部木裏 底部木表	体部は内湾して上方へ立ち上がる 体部外面:黒漆地に朱漆で鶴・亀、蓬菜文、撫子、井戸を描く/体部に 1ヶ所径1.5cmの円孔あり 底部外面:ベタ高台/高台高0.8cm/高台端面漆ハゲ 体部内面:黒漆地/全体朱漆/歪み大	第Ⅱ区域 026/SD2261 8・9層青灰色 腐植土
		-	0.6		ハンノキ属 ヤシャブシ亜属		
193	漆器椀	□縁部 15.0	8.3	5/6	横木取り □縁部木裏 底部木表	体部は内湾して上方に立ち上がる 体部外面:黒漆地に朱漆で鶴・亀、蓬菜文を描く 底部外面:削り出し高台/高台高1.9cm/摩耗 体部内面:黒漆地/全体朱漆/歪み大	第Ⅱ区域 026/SD2261 6・7層黒色腐 植土
		8.0	1.8		ブナ属		
194	漆器椀	□縁部 13.0	4.5	4/5	横木取り □縁部木裏 底部木表	体部は内湾して上方へ立ち上がる 体部外面:黒漆地に朱漆で開扇文を3方向に描く 底部外面:ベタ高台/高台高0.8cm/高台端面漆ハゲ 体部内面:黒漆地/中央に草花文、底面周縁に朱漆で開扇文を描く/ 歪み大	第Ⅱ区域 026/SD2261 8・9層青灰色 腐植土
		6.7	0.8		ブナ属		
195	漆器椀	□縁部 14.3	6.5	5/6	横木取り □縁部木裏 底部木表	体部は内湾して上方へ立ち上がる 体部外面:黒漆地に朱漆で檜扇文を描く 底部外面:ベタ高台/高台高0.8cm/高台端面漆ハゲ 体部内面:黒漆地/中央と底面周縁に朱漆で檜扇文を描く/歪み大	〃
		7.5	1.0		ブナ属		
196	漆器椀	□縁部 14.0	6.7	5/6	横木取り □縁部木裏 底部木表	体部は内湾して斜め外方へ立ち上がる 体部外面:黒漆地に朱漆で檜扇文を描く 底部外面:ベタ高台/高台高0.8cm/高台端面漆ハゲ 体部内面:黒漆地/中央と底面周縁に朱漆で檜扇文を描く/歪み大	第Ⅱ区域 027/SD2261 6・7層黒色腐 植土
		7.3	0.8		トチノキ		
197	漆器椀	□縁部 14.8	7.2	1/2	横木取り □縁部木裏 底部木表	体部は緩やかに内湾して立ち上がる 体部外面:黒漆地に朱漆で開扇文を描く 底部外面:ベタ高台/高台高0.6cm 体部内面:黒漆地/中央と底面周縁に朱漆で開扇文を描く/歪み大	第Ⅱ区域 026/SD2261 8・9層青灰色 腐植土
		7.7	0.8		トチノキ		
198	漆器椀	□縁部 16.5	9.0	6/7	横木取り	体部は内湾して上方に立ち上がる 体部外面:黒漆地に朱漆で開扇文を描く 底部外面:削り出し高台/高台高2.2cm/高台端面漆ハゲ 体部内面:黒漆地/中央に朱漆で開扇文、底部周縁に開扇文を3方向に 描く/歪み大	第Ⅱ区域 027/SD2261 6・7層黒色腐 植土
		7.7	1.4		未同定		
199	漆器椀	□縁部 15.2	6.0	5/6	横木取り □縁部木裏 底部木表	体部は内湾して斜め外方へ立ち上がる 体部外面:黒漆地に朱漆で俄文を3方向に描く 底部外面:ベタ高台/高台高0.7cm/高台端面漆ハゲ/底部中央に径1.2 cmの円孔あり 体部内面:黒漆地/中央と底面周縁に朱漆で俄文を描く/歪み大	〃
		7.6	0.8		トチノキ		
200	漆器椀	□縁部 14.8	9.6	5/6	横木取り □縁部木裏 底部木表	体部は内湾して上方に立ち上がる 体部外面:黒漆地に朱漆で俄文様を描く 底部外面:削り出し高台/高台高2.4cm 体部内面:黒漆地/中央に朱漆で俄文、底部周縁に俄文を3方向に描 く/歪み大	第Ⅱ区域 026/SD2261 8・9層青灰色 腐植土
		8.5	1.4		トチノキ		
201	漆器皿	□縁部 9.8	2.7	4/5	柁目取り	体部は緩やかに内湾して立ち上がる 体部外面:黒漆地 底部外面:ベタ高台/高台高0.7cm/高台端面:漆剥離 体部内面:黒漆地/全体朱漆	〃
		6.4	0.7		カツラ属		
202	曲物 底板	17.0	-	5/6	柁目	底板:円形/表面:加工痕/裏面:加工痕/木目は密 周縁:内面から外面へ斜めに面取り 底面の破損を樺状樹皮を2重で巻いて接合した補修痕あり	〃
		17.0	0.3		ヒノキ		
203	曲物 底板	11.1	-	1/3	柁目	底板:円形/表面:加工痕/黒漆/中央に径0.15cmの方形孔 周縁:表面から裏面へ斜めに面取	第Ⅱ区域 027/SD2261 8・9層青灰色 腐植土
		3.4	0.7		ヒノキ		
204	曲物	-	4.3	3/4	側板:柁目	外側側板:幅2.6cmの柁目材を上下2段巻 内側側板:幅4.3cmの柁目材を1段巻/内面:ケビキ線 接合部:側板を閉じ合せた後、0.1cm×0.3cmの長方形穿孔を5ヶ所入 れ、幅0.28cmの樺状樹皮を通して接合 底板:欠損	〃
		上径 4.8	下径 5.0		スギ		
205	曲物 側板	6.4	-	1/10 以下	柁目	側板:樺状樹皮が一部残る	〃
		2.4	0.25		ヒノキ		
206	桶	16.2	-	1/10 以下	板目	外面:凸面/縦方向の加工痕 内面:凹面/中位は斜めの加工痕/下端は片刃状に加工	〃
		10.0	0.3		ヒノキ		
207	箱形容器	6.3	-	1/10 以下	板目	形状:隅丸方形 周縁:外面から内面へ斜めに面取り 内面:墨書あり/径0.4cmの木釘の痕跡	〃
		-	0.6		ヒノキ		

6. 遺物

単位:cm

No	器種	法量(最大値)		残存	木取 樹種	特徴	出土地点
		長 幅	高 材厚				
208	杓子	7.5	-	1/5	板目	形状:平面形は楕円形 受部:/浅い碗状 柄部:欠損/受け部と一体で成形したと推定	〃
		3.7	1.3		ブナ属		
209	箸	19.3	-	1/1	削出	上端:端面から長さ7.0cmの範囲が削られる 中央:やや膨らむ 下端:端面から長さ5.0cmの範囲が削られる/断面多角形に面取り	〃
		0.7	0.5		スギ		
210	雪下駄	11.1	-	1/1	板目	足板:上・下端面の左右は隅丸に成形/上端側に鼻緒孔として径0.6cmの円孔を穿つ/小児用 表面:平滑/裏面:平滑	〃
		6.0	1.6		ヒノキ		
211	栓	4.5	-	1/1	板目	形状:先端欠損 円柱状/上端面平坦/下端周縁を面取り	〃
		2.1	2.0		スギ		
212	クサビ	11.0	-	9/10	板目	形状:先端欠損 平面形:長方形/側面:長三角形	〃
		3.4	2.5		クリ		
213	折敷	10.5	-	1/2	榎目	形状:方形/木目非常に密/左側辺の上下端隅は丸く成形 表面:平滑/左側辺中央に径0.12cmの円孔2個一対/右側辺欠損	〃
		5.5	0.15		ヒノキ		
214	折敷	10.8	-	1/2	榎目	形状:方形/木目非常に密/左側辺の角は丸く成形 表面:平滑/幅0.7cm、厚さ0.2cmの樺状樹皮を通した長方形孔1ヶ所/長方形孔の内側に1辺0.4cmの方形孔	第Ⅱ区域 026/SD2261 8・9層青灰色腐植土
		5.3	0.2		ヒノキ		
215	折敷	10.5	-	-	榎目	形状:長方形/木目は非常に密/右側辺欠損/左側縁上下隅は丸く成形 表面:平滑/上端に墨書の痕跡	第Ⅱ区域 027/SD2261 8・9層青灰色腐植土
		3.4	0.1		ヒノキ		
216	折敷	12.8	-	-	板目	形状:長方形/木目非常に密/右側辺上下端隅は丸く成形/径0.2cmの孔を設ける 表裏面:加工痕残る	〃
		10.2	0.3		ヒノキ		
217	折敷	15.8	-	1/8	榎目	形状:長方形/木目は非常に密/上端以外欠損/径0.3cmの孔2ヶ所あり 表裏面:平滑	〃
		5.3	0.2		ヒノキ		
218	折敷	18.3	-	1/2	榎目	形状:長方形/木目は非常に密 左側辺:上下端隅切り/径0.2cmの円孔2ヶ所 右側辺:材が異なる補修材か	〃
		9.7	0.2		板目材:スギ 榎目材:ヒノキ		
219	折敷	24.4	-	-	榎目	形状:長方形/木目は非常に密 表面:墨書の痕跡 左側辺:上端隅切り/径0.25cmの円孔2ヶ所	〃
		3.6	0.1		ヒノキ		
220	折敷	18.3	-	-	榎目	形状:方形/木目は非常に密 左側辺:上下端隅切り/径0.2cmの円孔2ヶ所 右側辺欠損	〃
		9.7	0.2		ヒノキ		
221	折敷	26.9	-	-	榎目	形状:長方形/木目は非常に密/上下端以外欠損 左側縁の隅は丸く成形したと推定 表面:平滑	〃
		10.2	0.1		ヒノキ		
222	笠塔婆	18.0	-	1/1	榎目	薄手の板材/上端は山形に加工 表面:梵字「キヤ(空)」「カ(風)」「ラ(火)」「バ(水)」の墨書 裏面:梵字3文字/断面:扁平	第Ⅱ区域 026/SD2261 青灰色腐植土
		3.0	0.12		ヒノキ		
223	笠塔婆	15.5	-	-	板目	薄手の板材/上下端欠損 左側辺:下位に墨書	第Ⅱ区域 027/SD2261 8・9層青灰色腐植土
		3.8	0.5		ヒノキ		
224	笠塔婆	10.2	-	1/10 以下	榎目	薄手の板材/上下端欠損 左側辺:欠損/右側辺:墨書の痕跡	〃
		2.0	0.4		ヒノキ		
225	御幣串	12.4	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	第Ⅱ区域 026/SD2261 8・9層青灰色腐植土
		0.18	0.18		ヒノキ		
226	御幣串	15.3	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.18	0.16		ヒノキ		
227	御幣串	15.2	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.16	0.16		ヒノキ		
228	御幣串	9.6	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.16	0.16		ヒノキ		
229	御幣串	10.2	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.21	0.20		ヒノキ		
230	御幣串	11.0	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.20	0.20		ヒノキ		
231	御幣串	12.0	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.19	0.19		ヒノキ		
232	御幣串	15.8	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.18	0.18		ヒノキ		

Ⅲ. 第68次調査

単位:cm

No	器種	法量(最大値)		残存	木取 樹種	特徴	出土地点
		長 幅	高 材厚				
233	御幣串	14.8	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.20	0.20		ヒノキ		
234	御幣串	15.4	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.25	0.20		ヒノキ		
235	御幣串	11.0	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.20	0.18		ヒノキ		
236	御幣串	12.2	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.20	0.18		ヒノキ		
237	御幣串	10.8	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.18	0.18		ヒノキ		
238	御幣串	21.8	-	1/1	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.20	0.20		ヒノキ		
239	御幣串	23.5	-	1/1	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.25	0.18		ヒノキ		
240	御幣串	23.3	-	-	削出	断面:方形に面取り/下位欠損	〃
		0.25	0.16		ヒノキ		
241	刀形	21.7	-	2/3	板目	形状:板材を刀身形に加工/切先欠損 表面:加工痕明瞭/刃先に墨書の刃紋を描く 裏面:加工痕不明瞭/刃先に墨書の刃紋を描く	〃
		2.7	1.0		サクラ属		
242	刀形	45.0	-	2/3	芯持	形状:板材を刀子形に加工/反りをもつ 刃部:長さ26.6cm/加工痕明瞭/断面長三角形/切先欠損 柄部:長さ18.4cm/加工痕明瞭/径0.4cmの目釘孔1ヶ所/断面歪方形	第Ⅱ区域 027/SD2261 青灰色腐植土
		3.3	2.5		エノキ属		
243	不明部材	12.5	-	1/1	板目 表面:木表 裏面:木裏	表面:左右側面、上下端面斜めに面取り/中央に径0.5cmの円孔が斜めに貫通/円孔に径0.4cmの棒材が一部残存 裏面:平坦	〃
		7.5	1.2		スギ		
244	不明部材	12.5	-	1/1	板目 表面:木表 裏面:木裏	表面:やや凹凸あり/左右側面および上下端面を斜めに面取り/中央に径0.5cmの円孔が貫通 裏面:平坦	〃
		8.3	1.5		スギ		
245	不明部材	11.2	-	1/1	板目	角柱材/上下端周縁面取り/右側辺の2隅は丸く加工/左側辺欠損/裏面に鋸の切断痕	〃
		4.5	3.5		ヒノキ		
246	棒材	13.2	-	1/1	芯持丸木	上下端:端面平滑/周縁面取り 断面:楕円形	〃
		4.5	3.5		クリ		
247	棒材	23.6	-	1/2	板目	上端:尖頭状に加工 断面:台形	〃
		1.6	1.0		ヒノキ		
248	棒材	3.1	-	1/10 以下	-	外面:上部欠損/底面は切断 内面:1ヶ所の節の内部を貫通	〃
		6.0	1.0		タケ亜科		
249	棒材	7.5	-	2/3	-	外面:径0.3cmの孔が1ヶ所/端部にV字状の切れ込みあり 内面:1ヶ所の節の内部を径1.4cmの孔が貫通	第Ⅱ区域 026/SD2261 青灰色腐植土
		2.3	0.4		タケ亜科		
250	棒材	12.2	-	1/10	-	外面:径0.35cmの孔が1ヶ所 内面:2ヶ所の節の内部を径1.0cmの孔が貫通	〃
		2.3	0.2		タケ亜科		
251	棒材	57.2	-	2/3	-	外面:径0.3cmの孔が1ヶ所 内面:3ヶ所の節の内部を径0.48cmの孔が貫通	〃
		2.5	0.8		タケ亜科		

石製品(PL.54 第21図)

単位:cm/g

No	器種	法量(最大値)				残存	石材色調 材質	調整・特徴	備考	出土地点
		長径	高	底	重					
256	火鉢	-	4.0	17.4	-	1/5	笏谷石 黄褐色 軟質	口縁部:平面は円形/短く直線状に外傾して立ち上がる/円柱状の脚が付く	内:底面タタキ	第Ⅲ区域 U23/黄褐色土

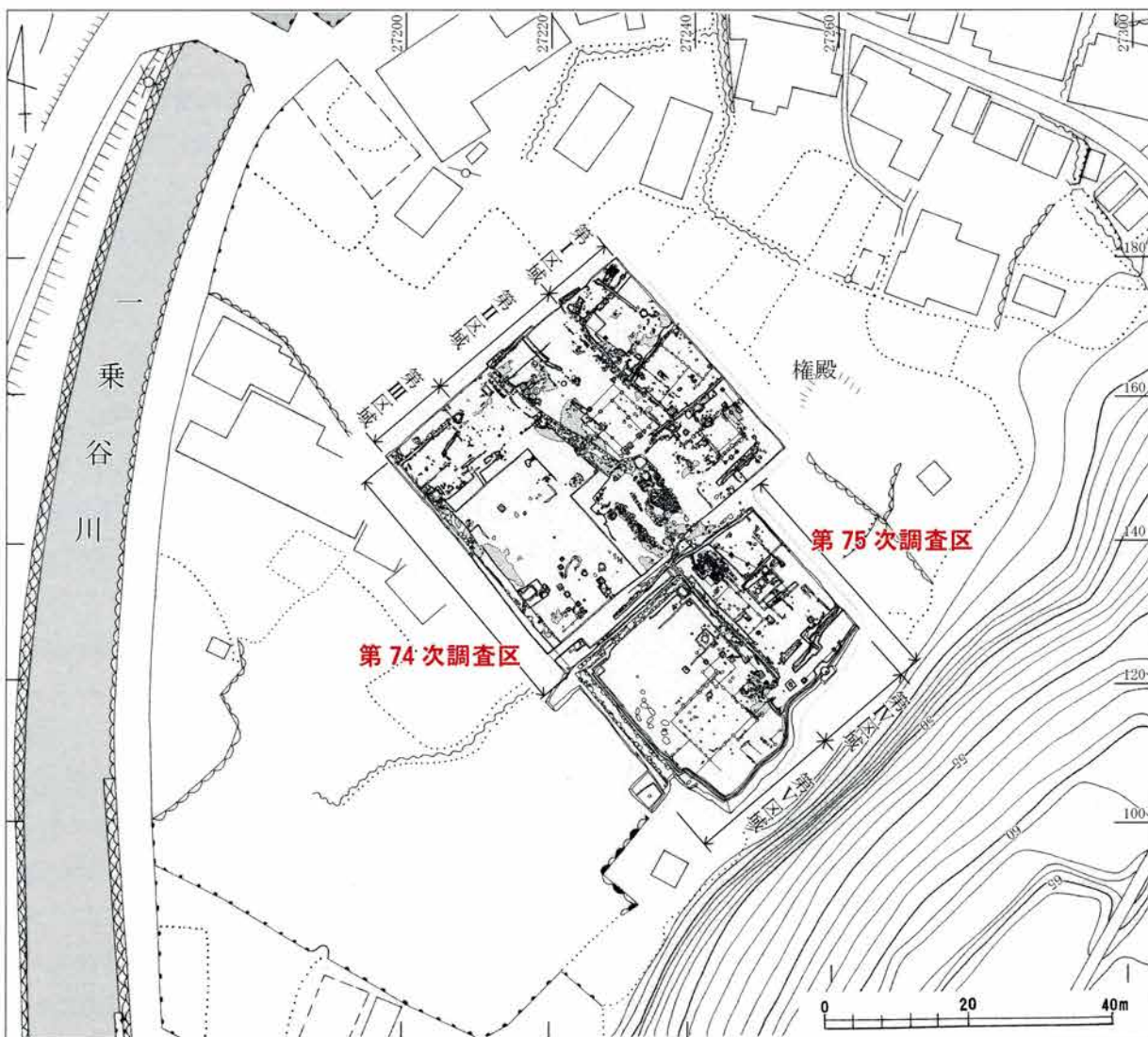
IV. 第74・75次調査【城戸ノ内町字権殿】

1. 遺構の概要(PL.16・17 第2・22図)

第74・75次調査区は、城戸ノ内町字^{こんどの}権殿8に位置し、朝倉館跡から北東へ約0.5km隔てた一乗谷川右岸に立地している。前章の第68次の景鏡館跡からは、一乗谷川を挟んで、南へ0.1km隔てて隣接している(第2図)。遺構面の標高は約40mを測る。調査区の地形は、一乗谷川が北西へ弓形に張り出す山裾の平坦地であり、調査前は周囲を宅地に囲まれた畑地であった(第2・22図)。

「権殿」の周辺に目を向けると、南東側山塊側に「馬出」^{うまだし}、「上殿」^{うえどの}など、城郭に関連する施設を示す地名が残り、さらに奥側に「小城」^{こじょう}、「小見放城」^{こみはなちじょう}と称する出城が、山頂の一乗谷城を守る砦として築かれている。「馬出」から一乗谷城に至る登山道は、当時の大手道と考えられる。

「一乗谷古絵図」によれば、当地は「朝倉権ノ頭」^{あさくらごんのかみ}と記され、「権守」^{ごんのかみ}(権ノ頭)は、朝倉義景と系譜的に近い同名衆の一員と考えられ、文献では足利義昭の御成に際して、義景の奏者を務めたことが確認できる。「権守」は童名であり、後に「彦四郎」^{ひこしろう}と称し、天正元年(1573)8月の刀禰坂の戦いにて16才で戦死したとされる。ただし、系譜についてはこれを記した史料がなく、権守の実名を「道景」^{みちかげ}とし、3代朝倉貞景^{さだかげ}の



第22図 第74・75次調査位置図(縮尺1/1,000)

四男景^{かげとし}紀の次男である敦賀郡司朝倉景恒^{かげつね}(景鏡と対立した景^{かげみつ}境の弟)の子の「道景」とする説や、貞景^{さだかげ}の五男の彦四郎^{みちさと}(道郷)の孫の「道景」とする説がある(文5)。

第74次調査は、調査年度上半期に実施し、調査区北西側一帯の1,630㎡を対象とした。調査期間は平成3年(1991)4月1日～同年9月9日である。第75次調査は調査年度下半期に実施し、調査区南東側一帯の970㎡を対象とした。調査期間は平成3年(1991)4月1日～同年12月25日である。

調査の方法は、1辺3mのグリッドを基準とし、地形に沿って、南東-北西方向に30～53、南西-北東方向にB～Qの番号を付して全体グリッドを設定し、遺構の記録、遺物の取り上げに用いた。

第74・75次調査区は、調査当時「9MII-H地区」と称したが、本報告作成段階では遺構のまとまりを重視し、第74次調査区を第I～Ⅲ区域、第75次調査を第Ⅳ・Ⅴ区域に改めて区分して述べる(第23図)。

調査の結果、第74次調査の第I～Ⅲ区域においては、石組排水溝で3つに区画された小規模建物跡、障壁や庭を有する中規模屋敷跡に加え、土蔵、越前焼大甕を据えた埋甕土坑群などを確認し、主な遺構として、土塁石垣1、障壁2、礎石建物11、土蔵1、石積遺構6、土坑6、井戸8、溝9、暗渠2、道路4、石敷遺構8を検出した。

第75次調査の第Ⅳ・Ⅴ区域においては、土塁石垣で方形に区画された中規模武家屋敷跡や土蔵、小規模建物群が確認され、主な遺構として、土塁石垣2、礎石建物15、土蔵1、石積遺構1、井戸3、溝3、門跡1、暗渠2、道路1、石敷遺構(庭状遺構を含む)6、石列5を検出した。

以下、北西から南東にかけて、各区域の主要な遺構(建物、土塁石垣、障壁、区画溝)を概観した後、付属遺構(井戸、石積遺構、石敷遺構など)について述べる。時期は上層I期、下層Ⅱ・Ⅲ期に大別した。

2. 第I区域(PL.18～20 第23～25図)

第I区域は第74次調査区の北東域を占め、M-P41～53の範囲に相当する(第25図)。遺構の層位はa-a'間断面、b-b'間断面、c-c'間断面、e-e'間断面で観察した(第24図)。

建 物

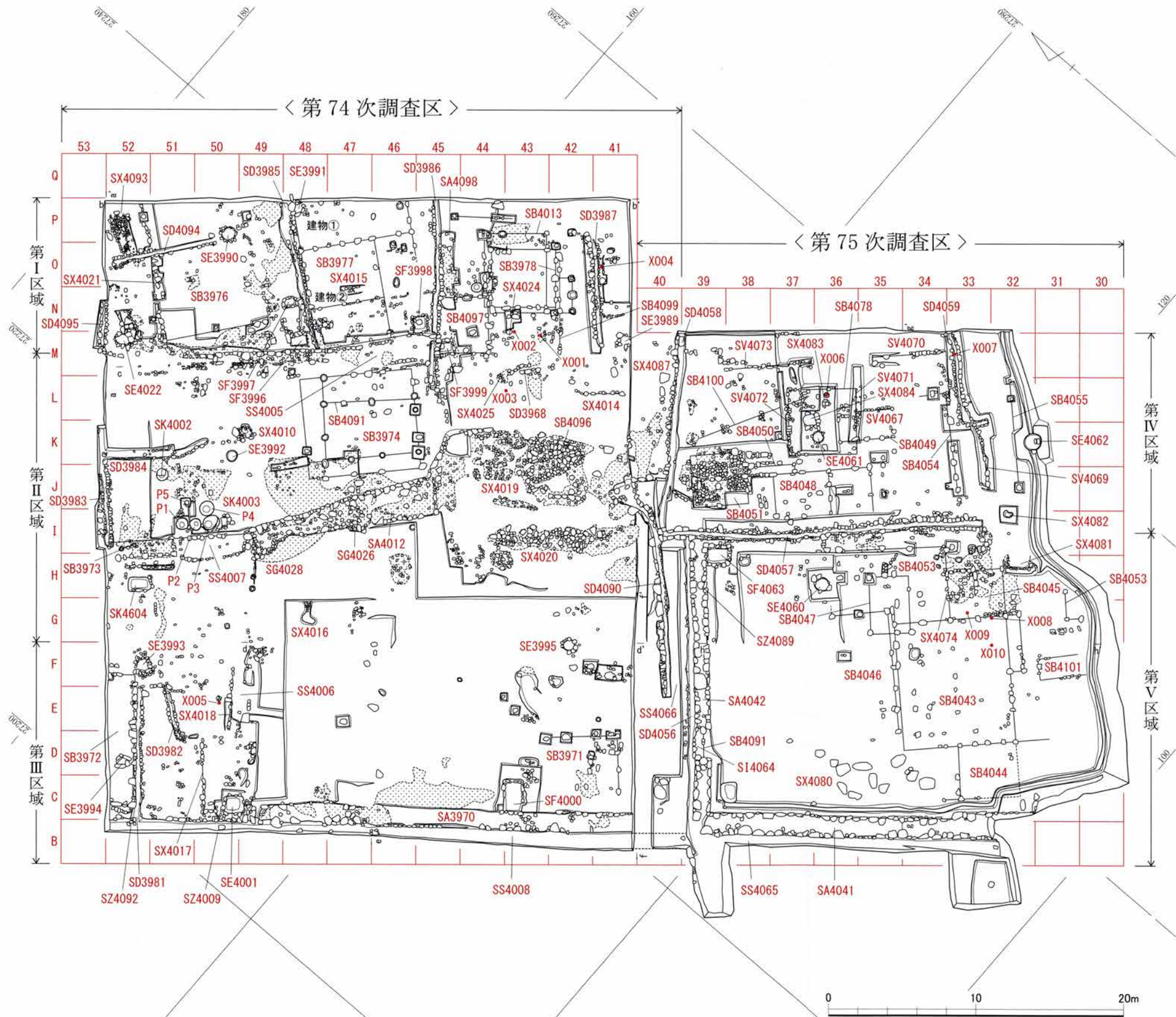
SB3976(PL.18・19 第25図) N-P49～51に位置。SX4021とした石敷遺構は、後に検討した結果、礎石建物の北西辺が確認できた。桁行3間(6.6m)、桁間寸法1.3mの規模を測る。建物全体の規模は不明だが、検出した方形の敷地面積は約100㎡を測り、主軸がN42°Eに向く小規模建物と考える。時期はⅡ期と考える。

SX4021の西側には幅0.4mの石組排水溝が併行していたと考えられるが、明確でない。屋敷の南東側には石組排水溝SD3985が構築され、隣地の礎石建物SB3977との境界となっている。屋敷の南西側では、M45～53において道路と考えられる石敷遺構SS4005が検出された。

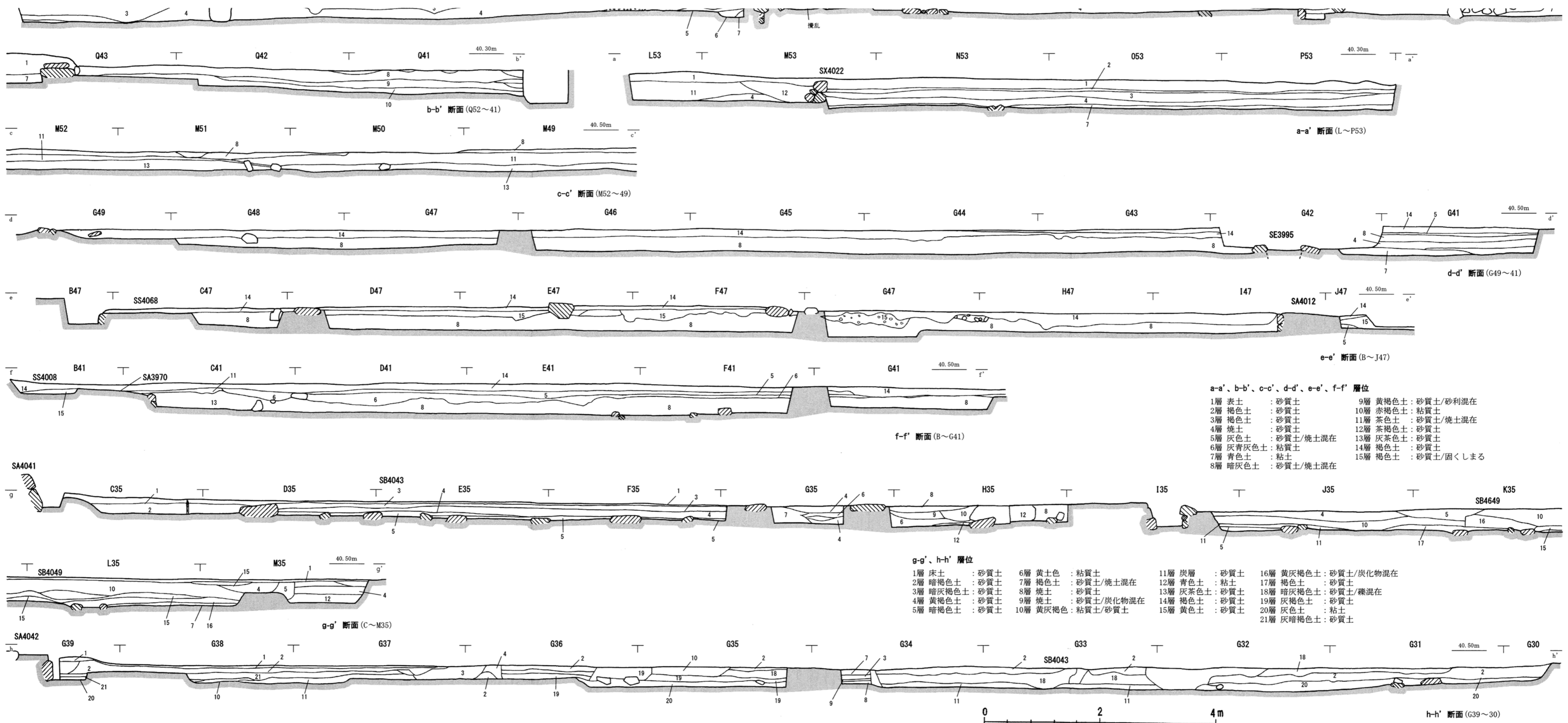
SB3977(PL.18・19 第25図) M-P45～48に位置。建物は2棟または1棟の礎石建物で構成される。検出した台形状の敷地面積は約96㎡を測る。時期はⅡ期と考える。

2棟の建物構成で考えた場合、敷地の南東側に礎石は想定せず、北東側建物①が南西辺で桁行7間、北西辺で梁間2間分、南東辺で梁間2間分が検出されたことになる。建物は長方形を呈し、主軸はN40°Wに向き、桁行8.0m、桁間寸法1.0m、梁間3.0m、梁間寸法1.5mを測り、床面積23.4㎡以上の規模と推定する。

南西側建物②は北西側建物の南西辺に接続し、桁行5間、北東辺梁間5間、南西辺梁間2間の正方形の建物と想定され、南西辺には桁行1間、梁間2間の廂が付くと考える。主軸は建物①と直交して、主軸はN40°Eに向き、桁行5.0m、桁間寸法1.0m、梁間5.0m、北東辺梁間寸法1.0m、南西辺梁間寸法2.2mを測り、床面積は25.0㎡の規模と推定する。1棟の建物で考えた場合、敷地の南東側に礎石を想定することになり、建物①の南東辺を南西に5.3m延長し、SF3998の手前で隅をもたせると、敷地全体をほぼ占め、桁行7間以上、



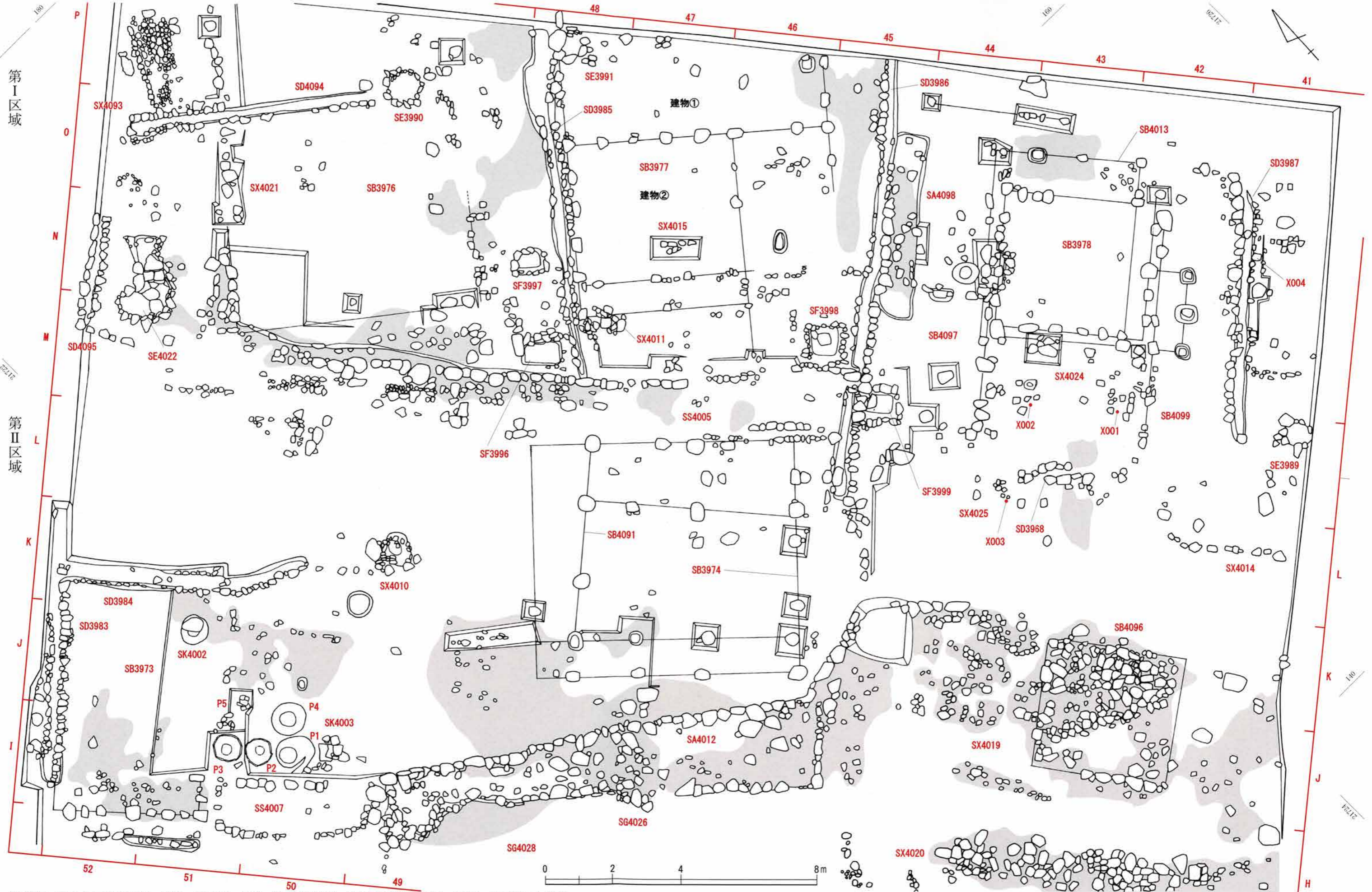
第23図 第74・75次調査遺構全体図(縮尺1/300)



- a-a'、b-b'、c-c'、d-d'、e-e'、f-f' 層位**
- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1層 表土 : 砂質土 | 9層 黄褐色土 : 砂質土/砂利混在 |
| 2層 褐色土 : 砂質土 | 10層 赤褐色土 : 粘質土 |
| 3層 褐色土 : 砂質土 | 11層 茶色土 : 砂質土/焼土混在 |
| 4層 焼土 : 砂質土 | 12層 茶褐色土 : 砂質土 |
| 5層 灰色土 : 砂質土/焼土混在 | 13層 灰茶色土 : 砂質土 |
| 6層 灰青灰色土 : 粘質土 | 14層 褐色土 : 砂質土 |
| 7層 青色土 : 粘土 | 15層 褐色土 : 砂質土/固くしまる |
| 8層 暗灰色土 : 砂質土/焼土混在 | |

- g-g'、h-h' 層位**
- | | | | |
|----------------|--------------------|----------------|-----------------------|
| 1層 床土 : 砂質土 | 6層 黄土色 : 粘質土 | 11層 炭層 : 砂質土 | 16層 黄灰褐色土 : 砂質土/炭化物混在 |
| 2層 暗褐色土 : 砂質土 | 7層 褐色土 : 砂質土/焼土混在 | 12層 青色土 : 粘土 | 17層 褐色土 : 砂質土 |
| 3層 暗灰褐色土 : 砂質土 | 8層 焼土 : 砂質土 | 13層 灰茶色土 : 砂質土 | 18層 暗灰褐色土 : 砂質土/礫混在 |
| 4層 黄褐色土 : 砂質土 | 9層 焼土 : 砂質土/炭化物混在 | 14層 褐色土 : 砂質土 | 19層 灰褐色土 : 砂質土 |
| 5層 暗褐色土 : 砂質土 | 10層 黄灰褐色 : 粘質土/砂質土 | 15層 黄色土 : 砂質土 | 20層 灰色土 : 粘土 |
| | | | 21層 灰暗褐色土 : 砂質土 |

第24図 第74・75次調査a-a'・b-b'・c-c'・d-d'・e-e'・f-f'・g-g'・h-h'遺構断面図(縮尺1/50)



第25图 第I·II区域SB3976~3978、SX4012·4019·4020、SS4005·4007、SK4002·4003、X001~005(缩尺1/100)

南西辺梁間3間の長方形の建物が想定できる。主軸はN40°Eに向き、桁行8.0m以上、梁間8.0m、梁間寸法2.2～2.5mを測り、床面積62.4㎡以上の規模を有していたと推定できる。

建物南東辺では礎石は確認できなかったが、通路と考えられる細長い敷砂利が、幅0.6mで南西方向に伸びてゆき、これが建物の桁行を暗示していると考ええる。

SB3977の北西辺には幅0.4mの石組排水溝SD3985が併行しており、南東側には隣地の建物SB3978の主軸に沿った石組排水溝SD3986が境となって構築されていた。敷地南西側には通路と考えられる石敷遺構SS4005が延長して検出された。

SB3978(PL.20 第25図) N-P42～44に位置。方形の敷地の中央で検出された小規模礎石建物であり、堂または社のような施設の可能性が高い。敷地面積は約143㎡を測る。第Ⅴ区域の土塁石垣SA4042と主軸が同一であり、時期はⅡ・Ⅲ期と考える。北東辺の礎石は明確ではないが、桁行5間、梁間6間が検出され、建物は正方形を呈す。主軸はN50°Eに向き、桁行4.2m、桁間寸法0.8～0.9m、梁間4.3m、梁間寸法0.7mを測り、床面積18.1㎡の規模を測る。建物南東に桁行2間、梁間1間の張出部が付き、張出部は桁行2.2m、梁間1.2mを測る。建物に伴う遺物は、鉄釉天目茶碗189、青磁碗190、瓦燈191が出土し、建物南西辺付近において土器群X001(越前焼播鉢227)、X002(越前焼播鉢13)、X003(越前焼播鉢)が出土した。

SB4099(PL.20 第25図) M-042に位置。SB3978の南東辺に沿って20～30cm大の石が直線状に並ぶ礎石建物である。SB3978に付随する塀のような施設が想定される。桁行5間が検出され、主軸はN50°Eに向き、全長6.5mを測る。時期はⅡ期と考える。

SB4013(PL.20 第25図) N-P42～44に位置。当初はSX4013とした。SB3978北東辺をコの字に囲む塀のような施設か、SB3978に後出する礎石建物と考えられる。北西辺で4間、北東辺で3間の礎石が検出され、主軸はN50°Eに向き、北西辺で5.3m、北東辺で4.2mを測る。北西辺を桁行、北東辺を梁間と仮定して、SB3978に重複する長方形の礎石建物が存在したとすると、桁間寸法1.3～1.5m、梁間寸法1.3～1.5mを測り、床面積22.3㎡の建物が想定される。時期はⅡ期と考える。

SB4097(PL.20 第25図) N-P42～44に位置。敷地の北西隅で検出された小規模礎石建物であり、SB3978と同様な機能を有していた建物と考える。桁行4間、梁間2間が検出され、建物は正方形を呈す。

主軸はN50°Eに向き、桁行4.0m、桁間寸法1.0m、梁間3.6m、梁間寸法1.8mを測り、床面積14.4㎡の規模を測る。SB3978に後出する。時期はⅡ期と考える。

障壁

SA4098(PL.20 第25図) N-P45に位置。SB3978の敷地北西に構築された障壁と考える。石の多くが抜き取られていたが、障壁基底部の内外長辺には20～40cm大の大型の石を並べていたと考える。

主軸はN50°Eに向き、長さ約5.3m、幅約1.2m、高さ約0.3mを測る。SB3978北西辺と2.5m隔てて併行する。第Ⅴ区域の土塁石垣SA4042と主軸が同一であり、時期はⅢ期と考える。

区画溝

SD4094(PL.29 第25図) O・P50～52に位置。石組排水溝である。主軸はN62°Wに向き、全長約7.0m、内寸幅約0.3m、深さ約0.2mを測る。多くの石が欠失しているが、20cm大の石を両岸に据えていたと考える。底石は無い。井戸SE3990に伴う石組排水溝であり、SB3976、SX4093を切る。

SD4095(PL.32 第25図) M・N52・53に位置。石組排水溝である。主軸はN27°Eに向き、全長約6.5m、内寸幅約0.2m、深さ約0.2mを測る。20cm大の石を溝の両岸に据えていた。底石は無い。SE4022に伴う排水溝であり、南西の石組排水溝SD3983と同一になる可能性もある。時期はⅢ期と考える。

SD3985(PL.18・19 第25図) M-P48に位置。石組排水溝である。SB3976とSB3977の敷地の境界となり、20 cm大の石を溝の両岸に据えていたと考える。底石は当初から無かったと推定する。主軸はN35° Eに向き、全長約10.3m、幅約0.3m、深さ約0.2mを測る。北西岸の石が多く抜き取られていた。時期はⅡ期と考える。

SD3986(PL.18～20 第25図) M-P45に位置。石組排水溝である。SB3977とSB3978の敷地の境界となり、障壁SA4098に沿うことからSB3978の敷地に伴うものと考え。20cm大の石を溝の両岸に据え、底石は当初から無かったと推定する。主軸はN50° Eに向き、全長約12.7m、幅約0.3m、深さ約0.2mを測る。両岸の石はほぼ抜き取られていた。調査前の水田畦畔と重複する。遺物は越前焼壺198が出土した。時期はⅢ期と考える。

SD3987(PL.18～20 第25図) M-P41に位置。石組排水溝である。SB3978の敷地の境界となり、20～40 cm大の石を溝の両岸に据えていたと考える。底石は当初から無かったと推定する。主軸はN46° Eに向き、全長約7.7m、幅約0.3m、深さ約0.2mを測る。南東岸の石が多く抜き取られていた。遺物は土師器小皿199・20 越前焼播鉢197・198が出土した。時期はⅢ期と考える。

井戸

SE4022(PL.29 第25図) M・N52に位置。当初はSX4022とした。SD4095の南東側で検出された石組の井戸または溜枡と考える。溜枡は10～40 cm大の石を楕円形に配し、内寸長軸約0.9m、内寸短軸0.7mを測る。北東側には内寸長2.0m、内寸幅0.5～0.8mを測る石組の開口部がつく。開口部の平面形は「くの字」に弱く屈曲し、開口部中央に30 cm大の石を2石、50 cm大の三角形の石を1石据え、昇降のための段を1段設けていた。

SE3990(PL.29 第25図) P50に位置。SD4094南東末端で検出された石組井戸である。内寸長軸約1.0m、内寸短軸0.7mを測る。底面までの深さは不明だが、深さ1.0mまで焼土が堆積していた。遺物は豊富であり、土師器小皿201～203、越前焼茶入204、大海茶入205、越前焼壺206、鉄釉天目茶碗207～210、青磁香炉211、瓦質香炉212などが完形で出土した。時期はⅠ期と考える。

SE3991(PL.30 第25図) P48に位置。SB3977の北西隅に設けられた石組井戸である。10～40 cm大の石と50～60 cm大の石を2石用いて、上面の石組は粗雑に組んでいた。上面は楕円形を呈し、内寸長軸約0.7m、内寸短軸0.5mを測る。深さ0.3mまで焼土が堆積し、遺物は越前焼播鉢213が出土した。時期はⅡ期と考える。

SE3989(PL.30 第25図) M41に位置。調査区南東壁沿いで検出されたSD3987を排水溝とする石組井戸である。SB3978より南東側に存在が想定される建物に付属すると考えられる。20 cm大の石と40～60 cm大の石を用いて、上面の石組は密に組んでいた。平面形は円形を呈し、内寸長軸約0.8m、内寸短軸0.6mを測る。底面までの深さは不明だが、深さ0.5mまで掘削した。SD3987に伴うものとするれば、時期はⅢ期と考える。

石積遺構

SF3996(PL.30・31 第25図) M48に位置。SB3976の敷地の南西隅に構築された石積遺構であり、20～30 cm大の石を四辺に3・4段積み上げ、平面形は長方形を呈す。北西短辺の上面には、60 cm大の直方体の大型の石を1石据え、北東長辺の上面には、40 cm大の石を4石据えていた。他の辺の上面は破壊を受けていた。

主軸はN45° Wに向き、内寸長軸1.0m、内寸短軸0.6 m、深さ0.8mを測る。覆土は黒灰色土(粘質土)が堆積していた。遺物は越前焼壺214、土師器皿221が出土した。時期はⅡ期と考える。

SF3997(PL.30・31 第25図) N48に位置。SB3976の敷地の南西隅に構築された石積遺構であり、20 cm大の小型の石を四辺に1・2段積み上げ、平面形は北東隅が歪になる長方形を呈す。北西短辺と南東短辺上面は、各々40 cm大の石と20 cm大の石を1組にして据えていた。

主軸はN55° Wに向き、内寸長軸0.7m、内寸短軸0.4 m、深さ0.3mを測る。覆土はSF3996と同様の黒灰色土(粘質土)が堆積していた。遺物は土師器小皿215～220が出土した。時期はⅡ期と考える。

SF3998(PL. 31 第25図) N45に位置。SB3977の敷地の南隅に構築された石積遺構であり、20～30 cm大の石を四辺に2～3段積み上げ、平面形は歪な方形を呈す。中央に40 cm大の川原石、北隅に30 cm大の石を据え、段を設けていた。主軸はN50° Eに向き、内寸長軸 1.1m、内寸短軸 0.8 m、深さ0.5mを測る。覆土は上層に褐色土(砂粒混在)、中間に黄色土(粘質土)、下層に黒灰色土(粘質土・炭化粒混在)が堆積していた。遺物は土師器小皿 222が出土した。時期はⅡ期と考える。

SF3999(PL. 31 第25図) M45に位置。SB3978敷地の西隅に構築された石積遺構であり、20～30cm大の石を「コの字」に2～3段積み上げ、平面形はやや歪な方形を呈す。北西短辺は、SD3986の上面石組から1段下げて、40 cm大の石と20 cm大の石を据え、段を設けていた。主軸はN50° Wに向き、内寸長軸 0.8m、内寸短軸 0.8 m、深さ0.4mを測る。覆土はSF3998と同様であり、SD3986から導水していた。時期はⅡ・Ⅲ期と考える。

3. 第Ⅱ区域(PL. 21～25 第25・26図)

第Ⅱ区域は第74次調査区を中心を占め、G-M40～52の範囲に相当する。d-d'間断面、e-e'間断面で遺構の層位を観察した(第24図)。

建 物

SB3974(PL. 22 第25図) J-L45～48に位置。SB3977の南西側にある小規模建物である。桁行3間、梁間2間が検出され、方形を呈す。主軸はN50° Wに向き、桁行 6.5m、桁間寸法 1.8～2.2m、梁間 5.6m、梁間寸法 2.8～3.0mを測り、床面積 36.4 m²の規模と推定する。南西辺に桁行3間、梁間1間の張出部が付く。張出部は桁行 6.8m、梁間 1.0mを測り、廂と考えられ、北西辺にも同様な廂が付いていた可能性がある。建物南西辺には庭跡と考えられるSG4026、障壁SA4012が構築されている。遺物は青磁皿 239～242、青白磁の壺 243・琮形瓶花入 243・244、白磁壺 245・皿 246～251などが出土した。時期はⅡ・Ⅲ期と考える。

SB4091(PL. 22 第25図) K-M46～48に位置。SB3974と重複する小規模礎石建物と考える。礎石が全て抜き取られた径 0.3～0.5m、深さ0.1mを測る柱穴からなり、北西辺の柱列と梁間を示す柱列が確認できた。桁行3間、梁間2間の建物と想定される。主軸はN48° Eに向き、桁行 5.8m、桁間寸法 1.6～1.8m、梁間 6.2m、梁間寸法 3.1～3.5mを測り、床面積 36.0 m²の規模と推定する。遺物は、SB3974のものと区別できなかった。建物の向きはSB3978に近く、SB3974より下層にあり、時期はⅠ・Ⅱ期と考える。

SB4096(PL. 25 第25図) K-M46・47に位置。当初はSX4019と称した。J42で30～50 cm大の石が直線状に並んでいる箇所があり、方形を呈す小規模礎石建物が復元できた。南西側の石敷が失われているが、本来は20～30 cm大の石を床面に敷き詰めた土蔵と考える。主軸はN50° Eに向き、桁行 4.8m、梁間 4.6mを測り、床面積 22.1 m²の規模と推定する。東側の石列SV4014はSB3978の敷地との境界と考える。時期はⅢ期と考える。

障 壁

SA4012(PL. 23・24 第25図) I-J45～49に位置。当初はSX4012と称した。SB3974の南西に構築された障壁である。庭跡SG4026・4028を壊して構築され、石垣基底部のみ残存していた。北東長辺、南西長辺には20～50 cm大の大型の石を長辺に並べ、短辺には10～30 cm大の石を用いて区画していた。

主軸はN52° Wに向き、長さ約 13.5m、幅約 1.3～2.5m、高さ約 0.3mを測る。本来、平面形は長方形を呈して、幅は一定だったと考えられるが、北東長辺は水田畦畔を築く際、石垣を積み直した痕跡があり、南西長辺が構築時の状態を残しているとすれば、SB3974に伴って構築されたと考えられ、時期はⅠ・Ⅱ期と考える。

庭 跡

SG4026(PL. 23・24・32 第25図) I-J45～49に位置。SG4028と共にSB3974の南西に構築され、SA4012の下層で検出された石組を伴う石敷遺構である。SB3974に伴う庭跡と考える。SG4028は北西から南東に緩やかに蛇

行し、全長約 10.0m、幅約 3.0mの規模を測る。SA4012の北東辺に接して検出された石組SG4026は、50～70 cm大の立石 1 石と平坦な石を8 石据えていた。石組には蹲踞でいうところの「前石」にあたる石を据えてあり、その石の上で屈み、手を洗う所作が想定される「蹲踞様石組」の可能性が指摘できる(文6)。遺物は越前焼壺 255～258・火桶 259・播鉢 260・261、鉄釉天目茶碗 262、朝鮮鉄釉瓶 263、白磁皿 264・265が出土した。時期はII・III期と考える。

道 路

SS4005(PL. 18・19・22 第25図) M45～52に位置。SB3976・3977の敷地の南西側を北西から南東に直線状に通る石敷遺構であり、道路と考える。SB3974の北東辺をかすめる。20～50 cm大の石を北東側と南西側に併行して2列に並べ、主軸はN30～40° Wに向き、全長 22.0m、内寸幅 1.3 mを測る。SD3985の南西端あたりで「くの字」

に弱く屈曲する。南西側の石はほぼ失われていた。SS4005の南西には、第II区域SB3974・4091が位置する。出土遺物は多く、まじないに関わる呪符土師器皿 275・276が注意される。時期はI・II期と考える。

SS4066(PL. 33 第25・26図) G-I40に位置。北東側は石組排水溝SD4090、南東側は石組排水溝SD4056に挟まれ、第V区域の土塁石垣SA4042に併行する道路である。

主軸はN50° Wに向き、全長 10.5m、幅 1.3 mを測る。遺物は土師器小皿 289、花押を墨書した越前焼播鉢 290が出土した。時期はI～III期である。

石敷遺構

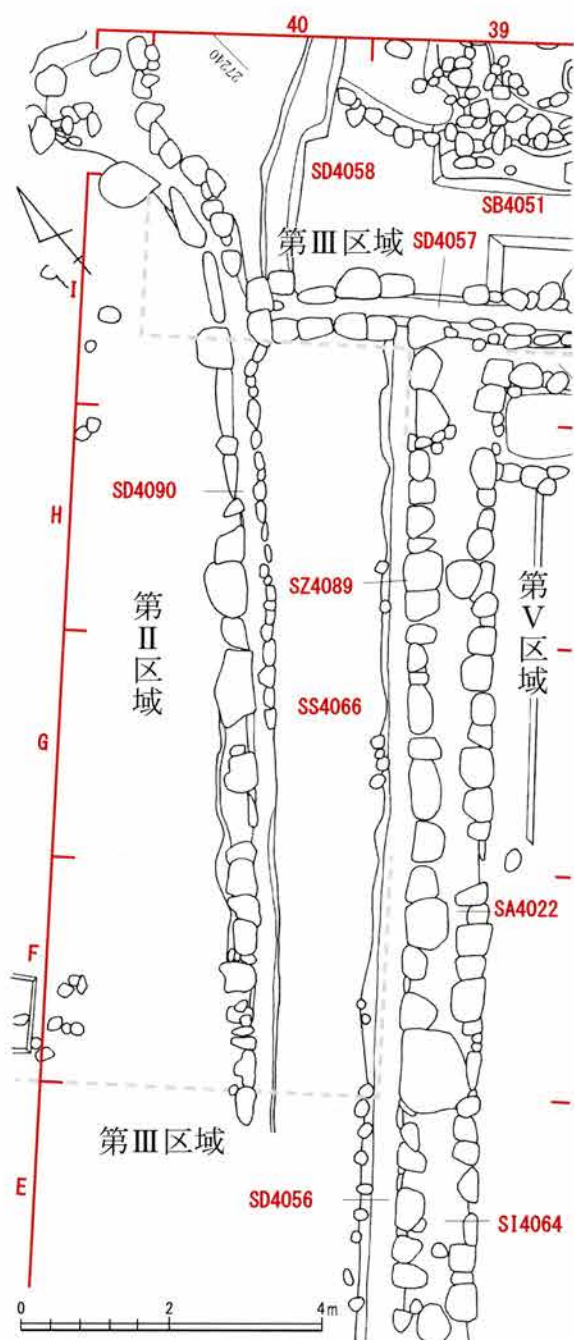
SX4020(PL. 25 第25図) I41～44に位置。SB4019の南西側に構築された石敷遺構である。幅 1.5mの道路が北西方向へ延びており、道路南西側に20～30 cm大の石が、長さ8.5m、幅 1.7mの規模で密に敷き詰められていた。

第IV区域の石組排水溝SD4057の延長上にある点を重視すれば、道路脇に設けられた暗渠の可能性はある。時期はII・III期と考える。

土 坑

SK4003(PL. 21・23・34 第25図) I・J50・51に位置。越前焼の大甕 4 個体(P1～4)をL字形に配置した、埋甕土坑群である。北西は溝SD3983、北東は溝SD3984に区画され、南西には屋内に通路SS4007を備えていたと考える。北東側にもう一つの埋甕土坑SK4002がある。

これら土坑群が同一建物SB3973内の施設だとすれば、主軸はN40° Wに向き、北西辺 8.5m、南西辺 10.5mを測り、最大床面積 89.3 m²規模の中規模建物が想定される。土坑P1～3は南東から北西へ直線状に据えられ、北東側に平



第26図 第II区域SS4066、SD4056・4090(縮尺 1/100) 行してP4・5が検出された。土坑はいずれも円形を呈し、径

0.8～1.3m、深さ0.5～0.7mを測り、越前焼大甕の胴部上位～底部が検出された。甕内の胴部上位には焼土塊や炭化粒、中位には灰黄色の粘質土、下位には灰や炭化粒が堆積し、土師器皿を含むものもあった。遺物は越前焼大甕 295～301が出土した。時期はⅢ期と考える。

区画溝

SD4090(PL. 33 第26図) G・H40に位置。道路SS4066の北東辺に併行する。主に10～30cm大の石を用い、全長13.0m、内寸幅約0.3m、深さ約0.2mの規模を測る。底石は無い。G40で北西岸に90cm大の石が3石あり、礎石建物が重複していたと考える。遺物は土師器小皿 292、染付皿 293が出土した。時期はⅠ～Ⅲ期と考える。

4. 第Ⅲ区域(PL. 26～29 第23図)

第Ⅲ区域は第74次調査区の南西域を占め、B-F40～52の範囲に相当する。南西側に第Ⅴ区域の土塁石垣SA4041から続く土塁石垣SA3970が構築されていた。土塁石垣内一帯は、後世の河川の氾濫により、削平を受けており、遺構は僅少であった。d-d'間断面、e-e'間断面、f-f'間断面で遺構の層位を観察した(第24図)。

建物

SB3972(PL. 26 第23図) C-F52に位置。調査区北西隅で検出された礎石建物である。石組排水溝SD3981の北西岸と重複し、桁行6間、梁間1間が検出された。主軸はN50°Wに向き、桁行8.3m、桁間寸法1.3～1.6m、梁間1.2m、梁間寸法1.2mを測る。敷地内全体には砂利が敷かれ、その上に焼土が厚く堆積していた。桁行6間と推定すれば、井戸SE3994を屋内に含む中規模建物が想定できる。遺物は越前焼壺 302・播鉢 303・甕 304、土師器小皿 305、灰釉小皿 306が出土した。時期はⅢ期と考える。

SB3971(PL. 29 第23図) C・D41・42に位置。小規模礎石建物である。桁行3間、梁間3間が検出され、方形を呈す。主軸はN43°Wに向き、桁行5.0m、桁間寸法1.5～2.0m、梁間4.2m、梁間寸法1.2～1.5mを測り、床面積21.0㎡の規模と推定する。西側に1.5m隔てて井戸SE4000が構築されている。時期はⅢ期と考える。

土塁石垣

SA3970(PL. 26・27 第23図) B・C41～49に位置。土塁石垣の基壇を検出した。本来は20～50cm大の大型の石を直線状に北東長辺と南西長辺に並べ、小砂利と土を混在させて盛土をしていたと推定する。主軸はN38°Wに向き、長さ約26.0m、幅約1.5m、高さ約0.2mを測る。第Ⅴ区域の土塁石垣SA4041の延長にあり、B40付近で門跡が存在した可能性がある。時期はⅠ～Ⅲ期と考える。

道路

SS4008(PL. 26・27 第23図) B41～52に位置。SA3970の南西側に併行し、第Ⅴ区域の道路SS4005から続く道路である。主軸はN40°Wに向き、全長28.0m、幅1.0mの規模を検出した。遺物は越前焼 307～309、青磁鉢 310が出土した。時期はⅠ～Ⅲ期と考える。

区画溝

SD3981(PL. 26～28 第23図) C-F52に位置。第Ⅲ区域北西側で検出された石組排水溝である。主軸はN40°Eに向き、全長9.5m、幅約0.4m、深さ約0.3mを測る。底石は無い。北西岸はSB3972南東辺の礎石柱列に相当すると考える。南西端には暗渠SZ4092が接続する。時期はⅢ期と考える。

井戸

SE3993(PL. 30 第23図) F52に位置。SD3981北東端にある石組井戸である。20～40cm大の石を積み上げ、平面形は歪な円形を呈す。内寸長軸約0.9m、内寸短軸0.7mを測る。深さ0.5mまで掘削した。遺物は豊富であり、越前焼 311～315、天目茶碗 316・317、青磁瓶 318、白磁皿 319・杯 320などが出土した。時期はⅢ期と考える。

SE3994(PL. 26・30 第23図) D52に位置。SD3981の北東脇に設けられた石組井戸である。上面に40～70 cm大の大型石を4石用いて、平面形は歪な方形を呈す。内寸長軸約0.8m、内寸短軸0.5mを測る。深さ0.5mまで掘削した。周辺には砂利が敷かれ、覆土には焼土が堆積していた。建物SB3972に伴い、時期はⅢ期と考える。

SE3995(PL. 30 第23図) F42に位置。SB3971の北東に設けられた石組井戸である。上面に10～30 cm大の石を10石用いて、平面形は円形を呈す。内寸長軸約0.8m、内寸短軸0.7mを測る。底面までの深さは不明だが、深さ0.6mまで掘削した。覆土には石、砂利、炭が混在していた。時期はⅡ・Ⅲ期と考える。

石積遺構

SF4001(PL. 26・27・32 第23図) C50に位置。土塁石垣SA3970の北西端を切って検出された石積遺構であり、20～30 cm大の石を3段積み上げ、平面形は方形を呈す。内寸長軸1.2m、内寸短軸1.1m、深さ0.4mを測る。時期はⅡ・Ⅲ期と考える。

SF4000(PL. 26・27・32 第23図) C43に位置。土塁石垣SA3970の下層で検出された大型の石積遺構であり、20～30 cm大の石を1段積み上げ、平面形は長方形を呈す。内寸長軸2.5m、内寸短軸1.1m、深さ0.3mを測る。北西長辺と南東長辺の石は失われ、南西短辺はSA3970の内側に0.3m食い込んでいた。時期はⅢ期と考える。

5. 第Ⅳ区域(PL. 35～40 第23・27・28図)

第Ⅳ区域は第75次調査区の北東域を占め、I-N31～40の範囲に相当する。北西側はSD4058、南東側はSD4059に区画されている。g-g'間断面で遺構の層位を観察した(第24図)。

建 物

SB4051(PL. 36～38 第27図) J・K38・39に位置。調査区北西隅で検出された小規模礎石建物である。桁行4間(推定)、梁間4間(推定)が検出された。平面形は方形を呈し、20～40 cm大の石を敷き詰めた石敷遺構SX4077を床面とした土蔵と考える。主軸はN41°Wに向き、桁行3.6m(推定)、桁間寸法0.7m(推定)、梁間3.5m、梁間寸法0.8～0.9mを測り、床面積12.6㎡の規模と推定する。南東辺中央に入口を設け、内寸幅0.8mを測る。入口内部は石列で長さ1.3m、幅0.8mの範囲が区画されていた。遺物は越前焼74・75、土師器小皿76～79、瓦質香炉80が出土した。時期はⅡ・Ⅲ期と考える。

SB4050(PL. 37・38 第27図) K37・38に位置。SB4051南東辺に接続する2列の礎石列であり、北東辺5間、南西辺2間の2列の礎石列を検出した。主軸はN41°Wを向き、桁行5.1m、桁間寸法0.6～1.2m、梁間0.8m、梁間寸法0.8mを測り、床面積4.1㎡の規模と推定する。南西辺はSB4048の北東辺に接続する。SB4051とSB4048を結ぶ廊下と推定され、時期はⅡ・Ⅲ期と考える。

SB4048(PL. 37～39 第27図) J35～37に位置。長方形を呈す小規模礎石建物と考える。桁行1間、梁間3間(推定)の建物に、桁行2間、梁間1間の建物が北西に接続するものと考え。主軸はN41°Wを向き、全体の桁行6.6m、桁間寸法1.9～2.8m、梁間2.8m、梁間寸法0.9～2.8mを測り、床面積18.5㎡の規模と推定する。遺物は土師器小皿81～93、青磁碗94、鉄釉天目茶碗95～97、白磁皿98・99、染付皿100・101、小柄281、菊皿286、風炉303が出土した。時期はⅡ・Ⅲ期と考える。

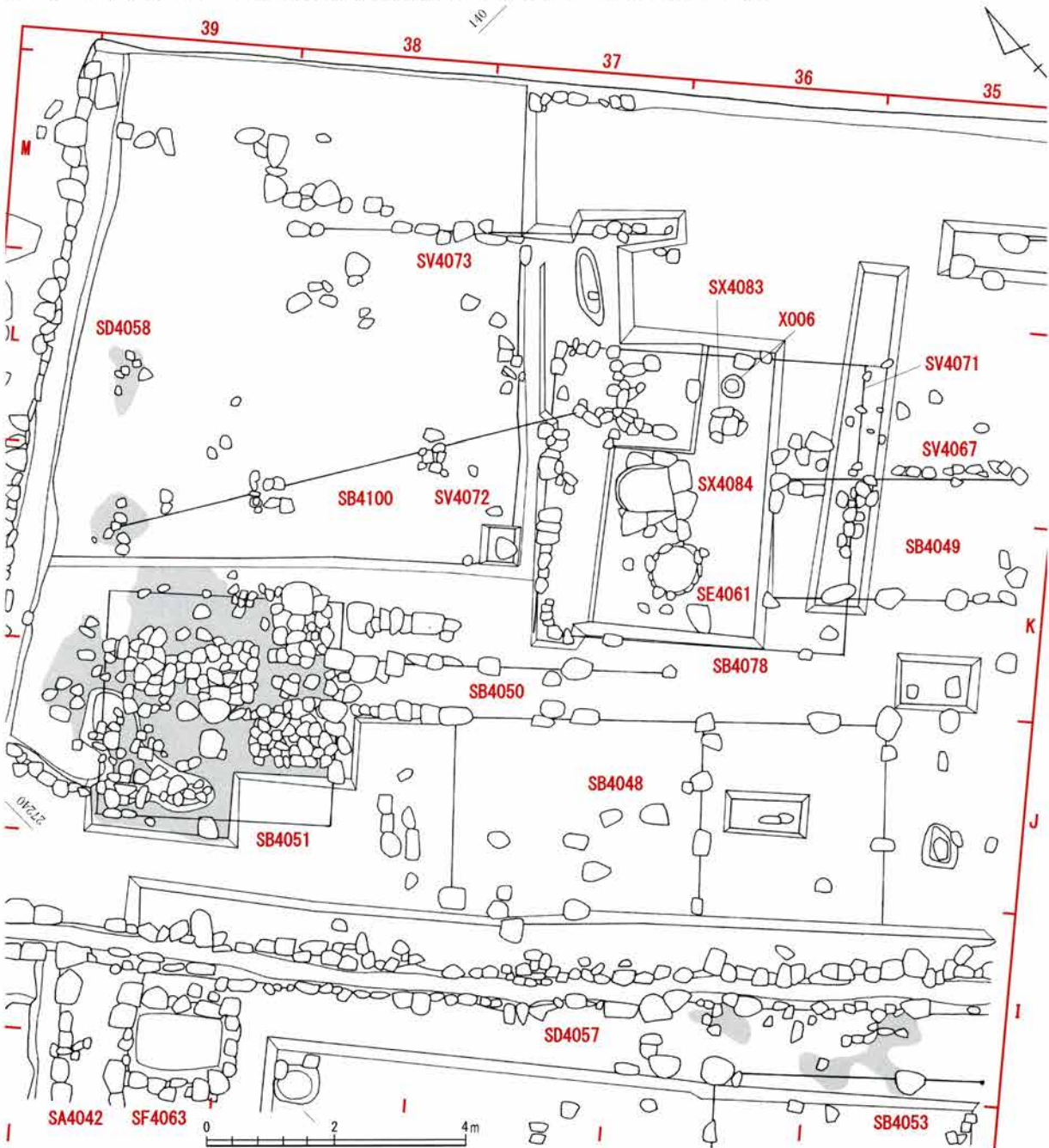
SB4049(PL. 39・40 第27図) K35・36に位置。SB4048北東辺と1.9m隔てて併行する2間の礎石列である。主軸はN41°Wに向き、長さ3.7mを測る。北東側をSV4067が1.8m隔てて併行しており、SV4067を含めれば、桁行2間、梁間1間の小規模建物が想定できる。遺物は越前焼播鉢102、土師器小皿103が出土した。時期はⅡ・Ⅲ期と考える。

SB4078(PL. 37・39 第27図) K-L36・37に位置。当初はSX4078としたが、小規模礎石建物と考える。桁行5間(推定)、梁間5間(推定)が検出された。平面形は方形を呈す。主軸はN44°Wに向き、桁行4.7m(推定)、桁間

寸法0.9m(推定)、梁間4.5m、梁間寸法0.8～0.9mを測り、床面積21.2㎡の規模と推定する。石敷遺構SX4084、井戸SE4061、SX4083、X006を伴うと考える。遺物は土師器小皿104～113、灰釉小皿114、青白磁皿115、染付皿116、朝鮮鉢117が出土した。時期はII期と考える。

SB4054(PL. 39・40 第28図) J-M33に位置。長方形を呈す礎石建物の南東辺柱列と考える。桁行6間、梁間1間を検出した。主軸はN41°Wを向き、全体の桁行7.4m、桁間寸法0.7～1.9m、梁間0.9m、梁間寸法0.9mを測る。SB4055との関連は不明。遺物は越前焼118、白磁皿119・120が出土した。時期はI期と考える。

SB4100(PL. 36～38 第27図) K-M37～39に位置。中規模礎石建物と考える。礎石を支えた10～20cm大の根石のまとまりが柱列として検出された。桁行3間以上の建物と推定する。主軸はN60°Wを向き、全体の桁行8.4m、桁間寸法2.2～2.7mを測る。建物規模は不明である。時期はI期と考える。



第27図 第IV区域SB4048～4051・4078、SD4057、SF4063、SV4067・4071～4073、SX4083・4084、X006(縮尺1/100)

石 列

SV4070(PL. 39 第28図) M34・35に位置。第IV区域の東にあり、SX4073と同様に、敷地北東側を区画する石列と考える。20～30 cm大の石を直線上に並べ、主軸はN42° Wに向き、全長約 4.0m、幅約 0.2mを測る。

SV4073(PL. 36・38 第27図) M37～39に位置。第IV区域北東にあり、本来は石列SV4070と一連となって、敷地の北東側を区画した石列と考える。20～30 cm大の石を直線上に並べ、主軸はN42° Wに向き、全長約 7.0m、幅約 0.2mを測る。この石列から地形が落ち込んで行くことを確認した。遺物は鉄釉壺 123・124が出土した。

区画溝

SD4058(PL. 36～38 第23・27図) I-M40に位置。第IV区域の北西側を区画する石組排水溝である。20～40 cm大の石を北西岸に据え、南東岸の石組と底石はない。主軸はN55° Eに向き、全長 13.8m、幅 0.4m、深さ0.2～0.5mを測る。南西端の溝底には板材をコの字に組んだ暗渠を据え、SD4057 北西端と接続していた。遺物は越前焼 125・126、灰釉壺 127、土師器羽釜 128、青磁碗 129、染付皿 130が出土した。時期はI期と考える。

SD4059(PL. 39・40 第23・28図) J-M33に位置。第IV区域の南東側を区画する石組排水溝であり、溝①・②からなる。当初は、南西側のJ・K33 付近で北東端が屈曲する溝①を構築したが、後に北東側のK・M33 付近に石組排水溝②を設け、溝①は廃棄したと考える。

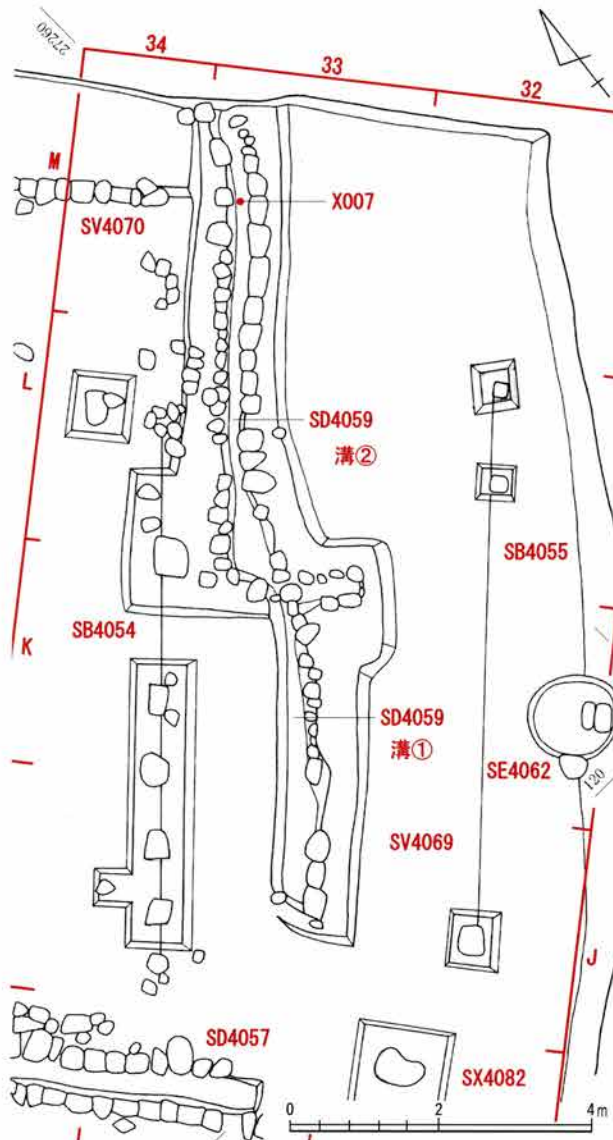
溝②は、山側の南東岸に20～40 cm大の石を据え、20 cm大の石を北西岸に据えていた。底石は無い。主軸はN55° Eに向き、全長 10.7m、幅 0.3m、深さ0.2mを測る。M33 付近の溝底X007の地点で灰釉皿 135、その他で土師器皿 132・133、越前焼 131、鉄釉天目茶碗 134、青磁香炉 136、土鈴 260、石鬼 301が出土した。時期はI期と考える。

SD4057(PL. 35・36・38・40 第23・27図) I33～40に位置。第V区域との境となる石組排水溝である。

20～40 cm大の石を両岸に1段据えていた。底石は無い。主軸はN40° Wに向き、全長 21.7m、内寸幅 0.3～0.4m、深さ0.2mを測る。石組は時期差がある。当初はSD4090に接続していたが、接続部は後に閉塞され、SD4058に排水したと考える。遺物は、土師器小皿 138～151、鉄釉天目茶碗 152～155、青磁碗 156・157、土鈴 258・259、火箸 274・275、小柄 279、石盤 306が出土した。時期はI～III期と考える。

井 戸

SE4061(PL. 37～39・46 第27図) K36に位置。SB4078内の石組井戸である。20～30 cm大の石を3段積み上げ、平面形は円形を呈す。内寸長軸約 0.7m、内寸短軸 0.6mを測る。深さ0.5mまで掘削した。遺物は越前焼 164、土師器皿 165が出土した。時期はII



第28図 第IV区域SB4054・4055、SD4059、X007(縮尺 1/100) 期と考える。

石敷遺構

SX4084(PL. 37～39 第27図) K・L36・37に位置。80 cm大の方形状の板石を置き、板石の南東辺に40～50 cm大の石を2石、北東辺に30 cm大の石を2石、南西辺に20～30 cm大の石を3石置いていた。洗場と考える。

SX4083(PL. 39・46 第27図) L36に位置。20～30 cm大の石を用い、中央に横長の石を2石据え、周辺に4石を円形に配置していた。中央は浅く凹む。北東側のX006では越前焼播鉢1個体が据えられていた。全体的に炭化物の層で薄く覆われ、炉跡の可能性が高い。時期はI期と考える。

6. 第V区域(PL. 41～45 第23・29図)

第V区域は第75次調査区の南西域を占め、B-I30～40の範囲に相当する。北東側は第IV区域の溝SD4057、北西側は土塁石垣SA4042、南西側は土塁石垣SA4041に区画され、敷地は方形を呈し、面積約442 m²を測る。g-g'間断面、h-h'間断面で遺構の層位を観察した(第24図)。

建 物

SB4043(PL. 41・43～45 第29図) D-G32～35に位置。土塁石垣SA4041・4042に区画された敷地の南東寄りで検出された中規模建物である。30～40 cm大の石を用い、桁行6間(推定)、梁間4間が検出された。主軸はN45°Eに向き、桁行8.5m、桁間寸法1.4m(推定)、梁間7.6m、梁間寸法1.9mを測り、床面積64.6 m²以上の規模と推定する。南東隅には桁行2間(3.7m)、梁間半間(0.9m)の張出部が付き、張出部から南西側にも規模は不明だが、小規模な礎石建物SB4044が存在したと考える。時期はII・III期である。

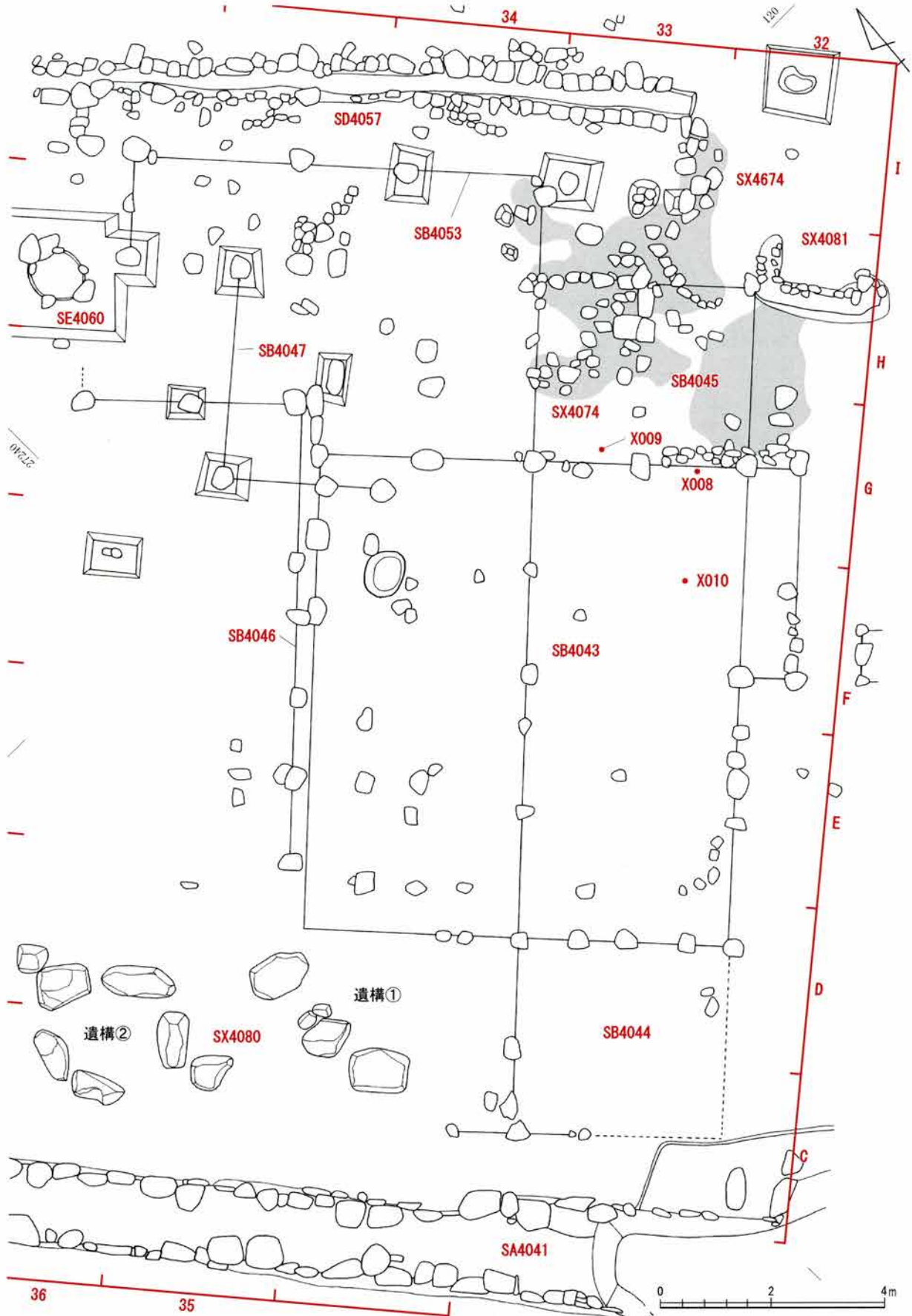
建物長軸中心には、5間の礎石列が検出され、この中心礎石列の北東端延長は、SB4045北西辺につながる。また、中心礎石列の南西端延長にもSB4045と対称になるような建物SB4044が存在していた可能性が高い。遺物は、土師器小皿166～181、灰釉捏鉢182、椀183・皿184・皿184・185、鉄釉茶入186、青磁碗187・皿188、白磁皿189～191、建物北東側X008で土師器小皿174、X010で漆器皿321、バンドコ313が出土した。

SB4044(PL. 43 第29図) C・D33に位置。SB4043南西辺に接続する小規模礎石建物である。40 cm大の石を用い、桁行4間、梁間1間が検出された。主軸はN41°Wに向き、桁行3.8m、桁間寸法1.0～1.3m、梁間1.8m、梁間寸法1.8mを測り、床面積6.8 m²の規模と推定する。建物北西辺は、SB4043中心礎石列の南西延長上に位置し、建物南西辺には桁行4間、梁間1間の張出部が存在した可能性がある。この部分を含めると、床面積は10.6 m²と推定される。遺物は白磁杯192が出土した。

SB4045(PL. 44・45 第29図) G・H32・33に位置。SB4043北東辺と接続する小規模礎石建物である。石敷遺構SX4074と重複する。全体的に厚さ10～10 cmの炭化層で覆われていた。40 cm大の石を用い、桁行2間、梁間2間が検出された。主軸はSB4044、N41°Wに向き、桁行3.8m、桁間寸法1.9m、梁間3.3m、梁間寸法1.5～1.8mを測り、床面積12.5 m²の規模と推定した。建物北西辺はSB4043中心礎石列の延長上にあり、SB4044と対をなすと考える。遺物は陶磁器類193～202、梅瓶(写1)、雪下駄318、X009で銭貨50枚の緋銭が出土した。

SB4053(PL. 44・45 第29図) I33～36に位置。北東側のSD4057に併行する礎石列である。40 cm大の石を用い、桁行4間が検出された。主軸はN44°Wに向き、桁行7.7m、桁間寸法1.9～3.0mを測る。北西端で幅1.9mの間隔を保って併行する2石の礎石が検出され、廊下のような建物が想定される。遺物は越前焼203・204、土師器小皿205～208、鉄釉鉢209、白磁杯210・皿211～213、朝鮮壺214、石硯296、石盤307などが出土した。

SB4046(PL. 41・43・45 第29図) D-G35・36に位置。SB4043北西辺に併行する礎石建物である。40 cm大の石を用い、桁行5間、梁間2間が検出された。主軸はN46°Eに向き、桁行8.2m、桁間寸法1.4～2.3m、梁間3.8m、梁間寸法1.9mを測る。敷地中央を占める主要な建物だが規模は不明である。遺物は土師器小皿215～221・羽釜222、瓦質香炉223・鉢224、青磁碗225が出土した。時期はII・III期と考える。



第29図 第V区域SB4043~4047・4053、SA4041、SE4060、SX4074・4080~4082、X008~010(縮尺1/100)

SB4047(PL. 44・45 第29図) G・H34・35に位置。礎石建物である。40 cm大の石を用い、桁行1間、梁間1間が検出された。主軸はN50° Eに向き、桁行3.8m、桁間寸法3.8m、梁間2.2m、梁間寸法2.2mを測る。建物の規模は不明。遺物は越前焼 226・227が出土した。SB4043の上層に構築されており、時期はI期と考える。

土塁石垣

SA4041(PL. 41・42 第23・29図) B・C33～39に位置。SB4043・4046の南西側土塁石垣である。主軸はN40° Wに向き、総延長20.0m、上幅1.5m、基底幅1.5mを測る。上面は土塁石垣内側の遺構面より約0.4m高い。基底は30～70 cm大の石を内外辺に1～2段積んでいた。内側に排水溝は設けられず、外側に道路SS4068が併行する。北西隅は石が欠失し、延長上に土塁石垣SA3970が北西に延びてゆく。時期はI～III期である。

SA4042(PL. 41・42 第23・30図) B-I39に位置。SB4043・4046の北西側土塁石垣である。主軸はN50° Eに向き、総延長約19.0m、上幅約1.0m、基底幅約1.0mを測る。上面は土塁石垣内側の遺構面より約0.3m高い。

基底には20～70 cm大の石を内外に1～2段積んで並べていた。外側に溝SD4056が併行する。北東端から南東へは、幅を0.7mに狭め、L字形に短く屈曲して、石積遺構SF4063の北東長辺に沿って収められていた。H39付近で暗渠SZ4089、D・E39で門跡SI4064が重複していた。

遺物は越前焼壺 229・播鉢 235、土師器小皿 230～234、石硯 298、バンドコ312、井戸杵 314が出土した。時期はI～III期である。

門跡

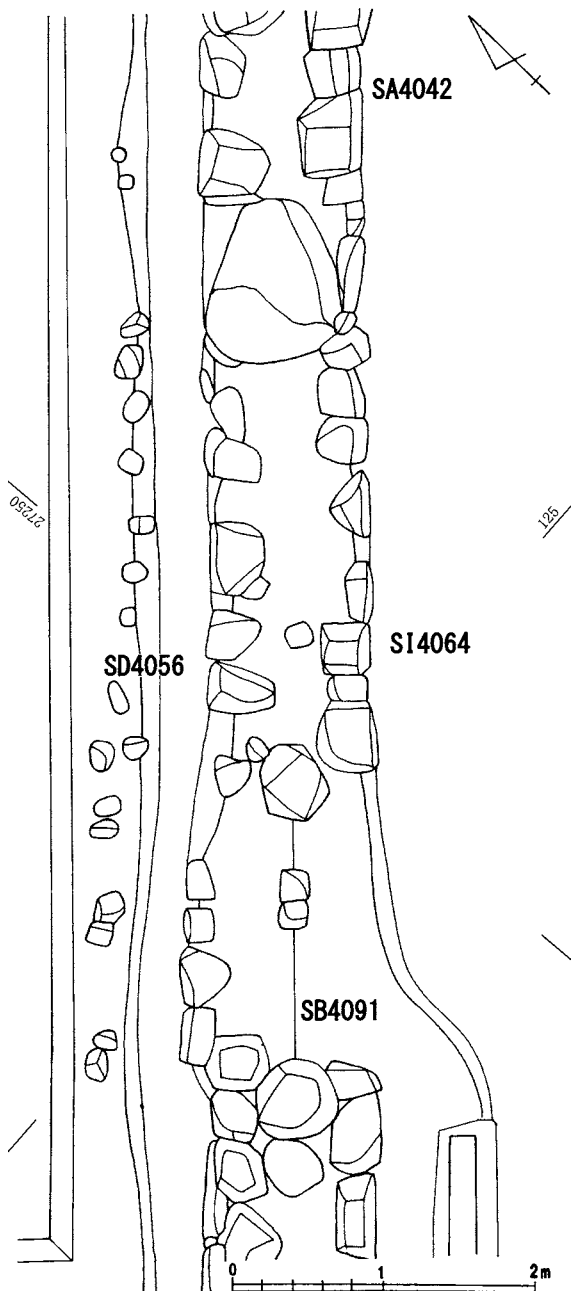
SI4064(PL. 41・42 第23・30図) D-F39に位置。土塁石垣SA4042内南西寄りに構築された門跡である。主軸はN50° Eに向き、門の内寸幅は4.8m、奥行き1.5mを測る。土塁石垣内側の遺構面より約0.2m高い。北東端には100 cm大の石を1石据え、門の中心と南西端には、2.0mの間隔を空けて、50 cm大の石を礎石として据えていた。門は開閉扉と考えられ、外辺は、土塁石垣より20 cm張り出し、20 cm大の石を並べていた。

暗渠

SZ4089(PL. 42 第23図) H39に位置。土塁石垣SA4042内の北東寄りに構築された暗渠である。SA4042を幅0.3mで断ち割り、40 cm大の石を上部に3石架構していた。主軸はN40° Wに向き、内寸長軸1.0m、内寸幅0.3mを測る。館内の排水を館外のSD4056に流していた。

区画溝

SD4056(PL. 41・42 第23・30図) B-I39に位置。SA4042の外側の素掘り溝である。主軸はN50° Eに向き、全長20.0m、内寸幅約0.3m、道路SS4066からの深さは約0.4mを測る。底石は無い。北東端はSD4057に接続する。



第30図 第V区域SI4064、SB4091(縮尺1/50)

井戸

SE4060(PL. 45・46 第23・29図) H36に位置。SB4053の北西側に近接する石組井戸である。20～30 cm大の石を3～4段積み上げ、平面形は円形を呈す。内寸長軸約0.9m、内寸短軸0.8mを測る。深さは不明だが、0.3mまで掘削した。上面の石はややせり出し気味で、3石を除き大半が欠失していた。遺物は、灰釉皿236、土師器小皿237・238、越前焼239～245、青磁盤246、朝鮮碗247、砥石299、石盤309、バンドコ311、桶316、漆器椀323が出土した。時期はI期と考える。

石積遺構

SF4063(PL. 41・42・46 第23図) H・I39に位置。土塁石垣SA4042北東端内側に接続する石積遺構であり、20～30 cm大の石を3段積み上げ、平面形は長方形を呈す。主軸はN40°Wに向き、内寸長軸1.4m、内寸短軸1.0m、深さ0.4mを測る。南西長辺の上面は破壊されていた。遺物は灰釉小皿248が出土した。北西短辺は、SA4042の基壇内側と共通することからSA4042と同時期の遺構であり、時期はI～III期と考える。

庭状遺構

SX4074(PL. 44 第29図) H32・33に位置。SB4043の北東隅に構築された、石組溝を中心とした石敷遺構である。20 cm大の小型の石を用いて、弧状に組まれた短小な石組溝である。長さ1.8m、内寸幅0.2mを測る。石組溝の北側には30～40 cm大の石が8石散乱し、南側には20～40 cm大の石が17石散乱していた。周辺には細砂利が不定形に敷かれていた。SB4045に先行し、SB4043に伴う庭跡の可能性はある。時期はIII期と考える。

SX4081(PL. 44 第29図) H32に位置。SX4074の南東側で、「コの字」形に並べられた石組である。20 cm大の石を並べて、南西長辺1.4m、内寸北西短辺0.6m、内寸南東短辺0.4mを測る。SX4074より0.2m高い位置で検出された。検出時は内側に炭化物が検出され、炉跡を想定したが、SX4074を庭跡とすれば、庭の風景に組み込まれた「祠」の可能性も指摘できる。遺物は土師器小皿250～257が出土した。時期はIII期と考える。

SX4080(PL. 46 第29図) C・D34～36に位置。SB4043の北西隅に構築された、2基の遺構からなる。①は、90～120 cm大の平坦な大型の石を3石、飛石状に据えた遺構であり、長さ3.5mを測る。遺構②は90～120 cm大の大型の石を5石、円形に据え、内寸長軸2.0m、内寸短軸1.5mの規模を測る。SB4043との配置状況から、遺構②は中央に手水鉢などを設置した「蹲踞状石組」の可能性があり、時期はいずれもIII期と考える。

第3表 第74・75次調査主要遺構観察表(PL. 16～46 第23～30図)

第I区域

NO	グリッド	遺構	種類	上層			写真 図版	挿図	NO	グリッド	遺構	種類	下層			写真 図版	挿図
				I期	II期	III期							I期	II期	III期		
1	N-P 49～51	SB3976	礎石建物				PL. 18・19	第25図	11	M-P 45	SD3986	区画溝 石組排水溝				PL. 18～20	第25図
2	N-P 45～48	SB3977	礎石建物				PL. 18・19	第25図	12	M-P 41	SD3987	区画溝 石組排水溝				PL. 18～20	第25図
3	N-P 42～44	SB3878	礎石建物 社・堂?				PL. 20	第25図	13	M・N 52	SE4022	石組井戸				PL. 29	第25図
4	M-O 42	SB4099	礎石建物				PL. 20	第25図	14	P50	SE3990	石組井戸				PL. 29	第25図
5	N-P 42～44	SB4013	礎石建物				PL. 20	第25図	15	P48	SE3991	石組井戸				PL. 30	第25図
6	N-P 42～44	SB4097	礎石建物				PL. 20	第25図	16	M41	SE3989	石組井戸				PL. 30	第25図
7	N-P 45	SA4098	障壁				PL. 20	第25図	17	M48	SF3996	石積遺構				PL. 30・31	第25図
8	O・P 50～52	SD4094	区画溝 石組排水溝				PL. 29	第25図	18	N48	SF3997	石積遺構				PL. 30・31	第25図
9	M・N 52	SD4095	区画溝 石組排水溝				PL. 32	第25図	19	N45	SF3998	石積遺構				PL. 31	第25図
10	M-P 48	SD3985	区画溝 石組排水溝				PL. 18・19	第25図	20	M45	SF3999	石積遺構				PL. 31	第25図

6. 第V区域

第II区域

NO	グリッド	遺構	種類	上層			写真 図版	挿図
				I期	II期	III期		
21	J-L 45~48	SB3974	礎石建物				PL. 22	第25図
22	K-M 46・47	SB4091	礎石建物				PL. 22	第25図
23	K-M 46・47	SB4096	礎石建物 土蔵				PL. 22	第25図
24	I-J 45~49	SA4012	障壁				PL. 23・24	第25図
25	I-J 45~49	SG4026	庭跡				PL. 23・24 ・ 32	第25図
26	M 45~52	SS4005	道路				PL. 18・19 ・ 22	第25図
27	G-I 40	SS4066	道路				PL. 33	第25図 第26図
28	I41 ~44	SX4020	石敷遺構				PL. 25	第25図
29	I・J 50・51	SK4003	土坑 埋蔵土坑群				PL. 21・23 ・ 34	第25図
30	G・H 40	SD4090	区画溝 石組排水溝				PL. 33	第26図

第IV区域

NO	グリッド	遺構	種類	上層			写真 図版	挿図
				I期	II期	III期		
46	J-M 33	SB4054	礎石建物				PL. 39・40	第28図
47	K-M 37~39	SB4100	礎石建物				PL. 36~38	第27図
48	M 34・35	SV4070	石列				PL. 39	第28図
49	M 37~39	SV4073	石列				PL. 36・38	第27図
50	I-M 40	SD4058	区画溝 石組排水溝				PL. 36~38	第23図 第27図
51	J-M 33	SD4059	区画溝 石組排水溝				PL. 39・40	第23図 第28図
52	I 33~40	SD4057	区画溝 石組排水溝				PL. 35・36 ・ 38・40	第23図 第27図
53	K36	SE4061	石組井戸				PL. 37~39 ・ 46	第27図
54	K・L 36・37	SX4084	石敷遺構				PL. 37~39	第27図
55	L36	SX4083	石敷遺構				PL. 39・46	第27図

第III区域

NO	グリッド	遺構	種類	上層			写真 図版	挿図
				I期	II期	III期		
31	C-F 52	SB3972	礎石建物				PL. 26	第23図
32	C・D 41・42	SB3971	礎石建物				PL. 29	第23図
33	B・C 41~49	SA3970	土塁石垣				PL. 26・27	第23図
34	B 41~52	SS4008	道路				PL. 26・27	第23図
35	C-F 52	SD3981	区画溝 石組排水溝				PL. 26~28	第23図
36	F52	SE3993	石組井戸				PL. 30	第23図
37	D52	SE3994	石組井戸				PL. 26・30	第23図
38	F42	SE3995	石組井戸				PL. 30	第23図
39	C50	SF4001	石積遺構				PL. 26・27 ・ 32	第23図
40	C43	SF4000	石積遺構				PL. 26・27 ・ 32	第23図

第V区域

NO	グリッド	遺構	種類	上層			写真 図版	挿図
				I期	II期	III期		
56	D-G 32~35	SB4043	礎石建物				PL. 41・43 ~ 45	第29図
57	C・D 33	SB4044	礎石建物				PL. 43	第29図
58	G・H 32・33	SB4045	礎石建物				PL. 44・45	第29図
59	I 33~36	SB4053	礎石建物				PL. 44・45	第29図
60	D-G 35・36	SB4046	礎石建物				PL. 41・43 ・ 45	第29図
61	G・H 34・35	SB4047	礎石建物				PL. 44・45	第29図
62	B・C 33~39	SA4041	土塁石垣				PL. 41・42	第23図 第29図
63	B-I 39	SA4042	土塁石垣				PL. 41・42	第23図 第30図
64	D-F 39	SI4064	門跡				PL. 41・42	第23図 第30図
65	H39	SZ4089	暗渠				PL. 42	第23図
66	B-I 39	SD4056	区画溝 石組排水溝				PL. 41・42	第23図 第30図
67	I36	SE4060	石組井戸				PL. 45・46	第23図 第29図
68	H・I 39	SF4063	石積遺構				PL. 41・42 ・ 46	第23図
69	H 32・33	SX4074	庭状遺構				PL. 44	第29図
70	H32	SX4081	庭状遺構				PL. 44	第29図
71	C・D 34~36	SX4080	庭状遺構				PL. 44	第29図

第IV区域

NO	グリッド	遺構	種類	上層			写真 図版	挿図
				I期	II期	III期		
41	J・K 38・39	SB4051	礎石建物 土蔵				PL. 36~38	第27図
42	K 37・38	SB4050	礎石建物				PL. 37・38	第27図
43	J 35~37	SB4048	礎石建物				PL. 37~39	第27図
44	K 35・36	SB4049	礎石建物				PL. 39・40	第27図
45	K-L 36・37	SB4078	礎石建物				PL. 37・39	第27図

7. 第74次調査遺物(PL. 55~66 第31~46図、第4表)

遺物は、第I~III区域の土器(陶磁器類)1~321、土製品 322~328、金属製品 329~353、木製品 354~359、石製品360~377、銭貨378~436を図化した。詳細は第4表に記し、以下、特徴的なものの概要を述べる。

第I~III区域包含層出土土器(PL. 55~59 第31~35図)

越前焼播鉢2・9・10は内面底面にも播目も施され、6・8は内面体部上位に弧状播目が入る。13はSB3978正面(南西辺)に近接したSX4024内X002地点において正位で出土した(PL. 33)。15は卸皿であり、16は深身の器形に波状突帯が付き、×字文、円形浮文の装飾がされている鉢である。

大量に出土した土師器小皿17~133は従来の分類(文7)と照合すると、5タイプに区分された。

- ①【17~38】:器形は浅鉢形。B類に属す。口縁部は内湾して立ち上がる。口径6.2~7.4cm、器高1.6~2.7cm。底部は丸底。内外面の調整はナデ後指頭痕を伴うものが多い。32~38は口径8.6~9.0cm、器高1.8~2.0cmを測る中型品であり、さらに法量で区分される可能性がある。
- ②【54・55・66・67】:器形は浅皿形。C類に属す。口縁部は直線状に斜め外方へ立ち上がる。底部は平底。口径8.6~11.6cm、器高1.6~2.3cm、底径2.0~6.0cmを測る。外面体部はナデの後、指頭痕が残る。
- ③【42~49・78~81】:器形は浅皿形。C類に属す。②の小型品。口縁部は直線状に斜め外方、または外反して立ち上がる。底部は平底。口径5.8~7.4cm、器高1.3~1.8cm、底径2.0~4.0cmを測る。
- ④【50~53・56~71・82~116・119~130】:器形は杯形。C類に属す。口縁部は直線状に斜め外方、またはやや外反して立ち上がる。底部は平底。外面口縁部中位に強いヨコナデによる段を有す。口径8.0~13.2cm、器高1.6~2.9cm、底径2.0~6.6cmを測る。口唇部は丸く収める。法量でさらに細区分できる。
- ⑤【72~77・131~133】:器形は盤形。D類に属す。口縁部は直線状に斜め外方に立ち上がる。底部は平底。口径11.8~13.8cm、器高2.2~2.9cm、底径6.0~7.0cmを測る。口縁部中位に強いヨコナデによる段を有すものが一定量ある。口端部内側が受口状になるものがある。

土師質丸皿134~136は口径4.6~5.0cmを測り、内外面はミガキ調整を基本としている。4・13次の「中の御殿」では地鎮具の蓋として使用されていた。土師器羽釜138~144は径10.0~18.3cmを測り、底部は平底である。全体にススが付着している個体が一定量ある。鎌倉期の石鍋の代用品か、宴会や儀礼に使用されたと考える。145は土師器で鉄釉茶入を模倣したものである。鉄釉146は瓶、149は茶入である。146は底部に回転糸切り痕が残る。灰釉鉢152は口径30.0cmを測り、口端部を波状にして成形している。青磁皿158・159は口端部を花卉状に成形した稜花皿である。158の内面中央には「卍」の意匠が押印され、159は口縁部に唐草文が陰刻されている。染付碗166・167の外面口端部には文様帯が描かれ、下位に芭蕉文が施されている。皿171の内面底面には玉抱き獅子が描かれている。碗170・皿174・175は内面底面に呉須で牡丹文を描く。碗176は外面にアラベスク文、皿179の内面底面には捻花ねじばなが描かれている。

第I~III区域遺構出土土器(PL. 59 第35図)

SB3976 出土(PL. 59 第35図) 土師器皿181・182はタイプ④である。朝鮮白磁碗183の内面にトチン痕が残る。

SB3977 出土(PL. 59 第35図) 朝鮮鉄釉瓶185は頸部が小さく肩が張る。SA4012出土の263が底部となる可能性がある。白磁皿186~188は優品である。187・188は稜花皿であり、内外面に花卉状の鎬をもつ。188の外面底面には「天下泰平」の文字が見える。

SB3978 出土(PL. 59 第36図) 鉄釉天目茶碗189、青磁碗190に加え、瓦質土器の瓦燈191が検出された。191は希少な器種であり、釣鐘形の胴部を有し、天井部に灯明皿を乗せる受皿が付く。受皿中央には油漏れを防ぐ穿孔がなされ、天井部に煙抜けの円形透孔をもつ。胴部下位に半月状の透孔をもち、全体は丁寧に黒色磨

研されている。40次・54次で出土例がある。

SE3990 出土 (PL. 60 第36図) 茶器に関連するものが多く出土した。越前焼茶入 204は芋子形を呈した鉄釉の模倣品である。鉄釉茶入 205は薬壺形を呈し、大海茶入とされるものである。天目茶椀 208・209は完形品である。青磁香炉 211は寸胴形の体部を呈し、口端部は浅く凹む。底部周縁に3ヶ所付けた三角板の脚部は接地しない。瓦質香炉 212は土師質である。体部に円形列点文が施されている。

SF3996 出土 (PL. 60 第37図) 越前焼壺 214、土師器皿 221が出土した。214は胴部上位にヘラ記号をもつ。

SB3974 出土 (PL. 61 第38図) 青磁 239～242、青白磁 243・244、白磁 245～251などが多く出土し、土師器皿 230～235や越前焼の埋甕遺構を含むSB3973とは建物の機能が異なることを示している。242は大型の稜花盤であり、外面に花卉状の鎬が巡り、内面に陰刻草花文がめぐる。244は白磁琮形瓶であり、方柱状の胴部に算木状の文様が施されている。249は輪花皿であり、内外面に鎬がめぐる。いずれも優品である。

SA4012 出土 (PL. 61 第38・39図) SB3974 伴う障壁の覆土から越前焼の小型壺 255～258・瓶 258・火桶 259・播鉢 260・261などが出土した。255は胴部上位にヘラ記号をもつ。内面は意図的に細かい剥離を受けている。

SS4005 出土 (PL. 61 第39図) 土師器皿 275・276の内面には呪符が墨書で記されていた。出土状況は不明だが、説話(文)に出でるように、2枚を閉じ合わせて道路に埋設した可能性も想像される。275の呪符は、内面底部周縁に沿って円を描き、破線で分割した後、口縁部に時計の文字盤のように梵字を配置し、一部に「鬼」、「日」を用いた符籙^{ふうりく}を記している。276は内面底部周縁に円を描き、275のように口縁部内面に梵字を配置し、一部に「三光」の文字が見える。呪符土師器皿は朝倉館跡で2点(文7)、51次の屋敷敷地内で2点(文8)・123次の包含層で1点(文9)出土している。

SS4066 出土 (PL. 61 第39図) SB4043の正門前の道路から出土した越前焼播鉢 290の破片である。体部中央に花押が墨書されている。花押の人物は文献上でも特定できない。

SK4002・4003 出土 (PL. 62・63 第40図) SB3973に伴う埋甕遺構から越前焼大甕 294～297・300が出土した。口径は76.5～85.0 cm、器高 82.7～89.8 cmを測る。

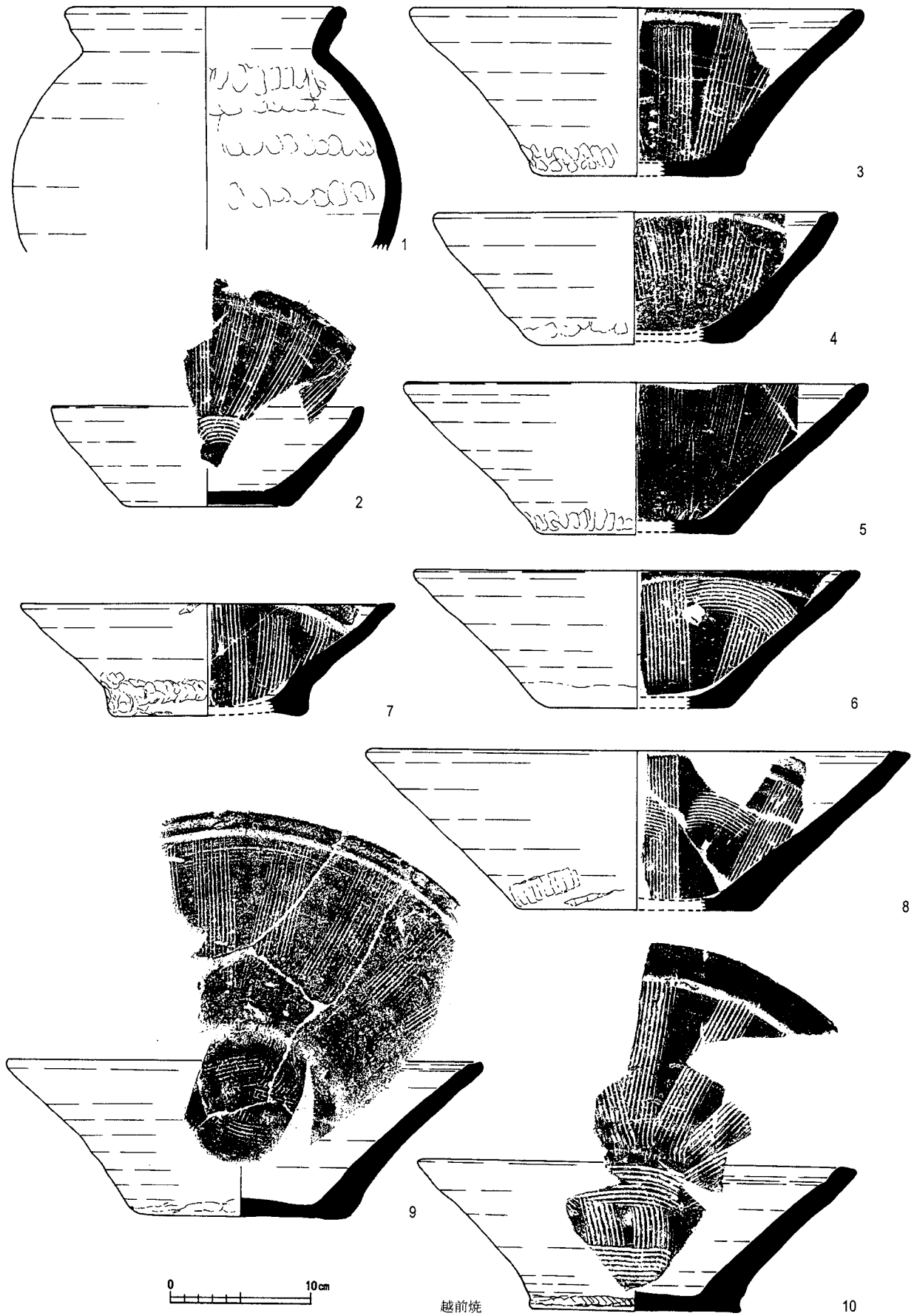
土製品 (PL. 63 第42図) 土製模造品 322・323は祭祀用のミニチュア製品であり、4・13次では銭貨を伴い地鎮具に用いられていた。灯心押さえ327は径3.3 cmを測る。鳥餌皿 324は短寸胴形の体部に環状把手が付き、4・13次調査で灰釉のものが出土している。326は瓦燈、328は越前焼の薬研であり、46次他で出土している。

金属製品 (PL. 64 第42図) 指輪 329は銅製であり、輪の内径は1.4 cm、中石は宝珠形を呈す。把手 335は引出に装着され、菱花形の座金具で固定している。火箸 339は先端を土筆形に加工し、凹線を入れている。環状金具 337は象面の座金具の鼻の部分で環と接合している。

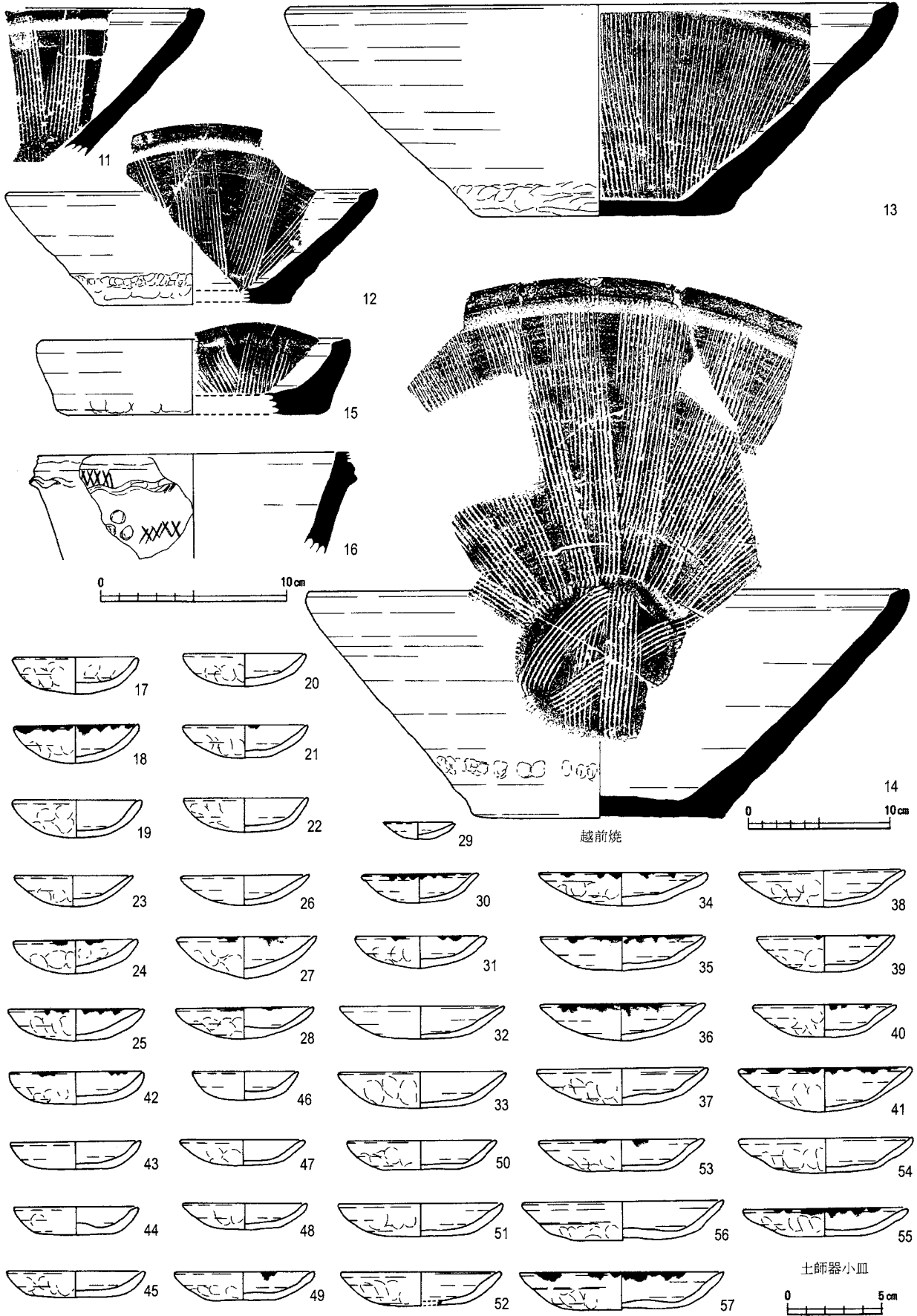
木製品 (PL. 64 第42図) 漆器鉢 354は黒漆地に朱漆で轍文を描く。355は錠前を模しており、SE3990から出土した。木簡 358は付札であり、「□為?□稻□升」と判読した。

石製品 (PL. 65・66 第43～45図) 石硯 360は大型品であり、361は懐中の小型品である。温石 362はSB3977から出土した。374は五輪塔の火輪に相当し、各部に「妙・法・蓮・華・経」が刻まれていたと想定され、「蓮」の字に金泥が残る。375は地輪に相当し、正面に月輪、連座、ア種字を刻み、下に「権大僧都法印長善」と線刻している。年号は永禄八年(1565)正月三日とある。化石 377は手取川群層で見られるシジミガイの化石である。鑑賞品として持ち込まれたものと想定する。井戸SE3993から出土した。

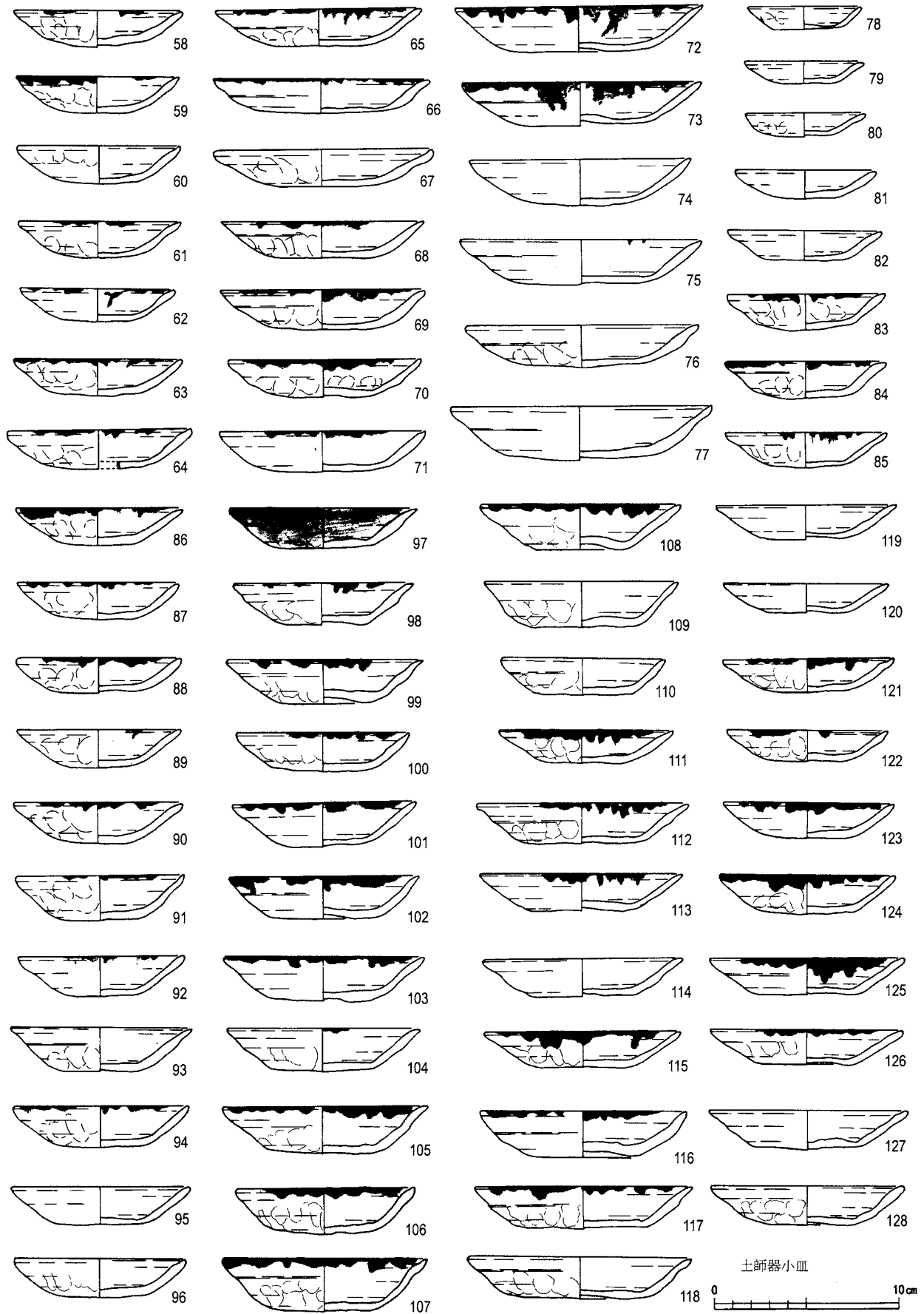
銭貨 (PL. 66・67 第45・46図) 378～436の59枚が出土した。緡銭^{きしげに}の状態ではないが、遺構別ではSB3974(開元通寶 379、皇宋通寶 387、正隆通寶 411、不明 431)、SB4097(天聖元寶 384、熙寧元寶 392、紹聖元寶 404・405、政和通寶 410、不明 422)、SB3976(元豊通寶 396、元祐通寶 420、不明 425)で複数枚が出土している。



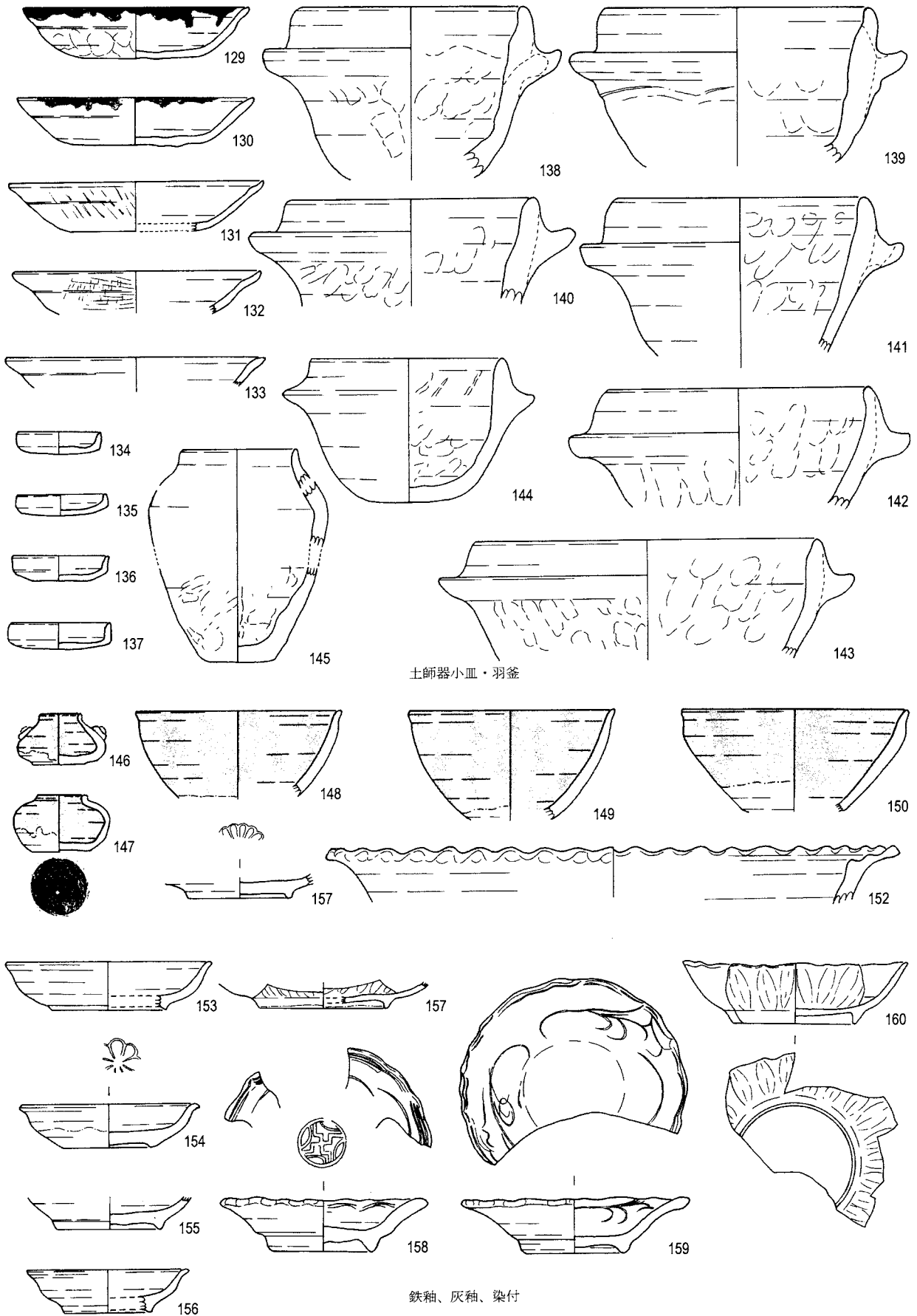
第31図 第74次調査 包含層出土土器(縮尺1/4)



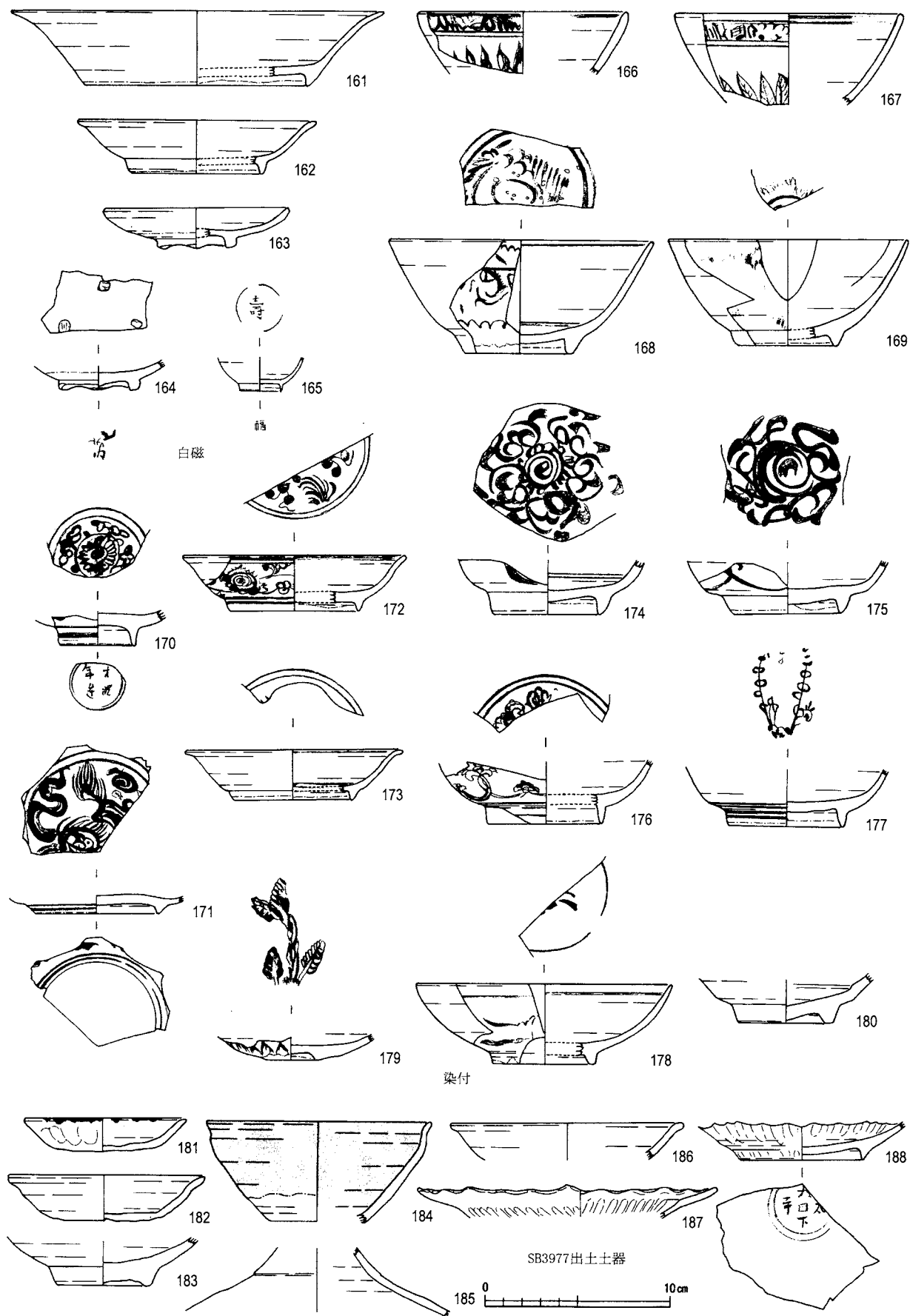
第32図 第74次調査 包含層出土土器(縮尺 1/3、1/4)



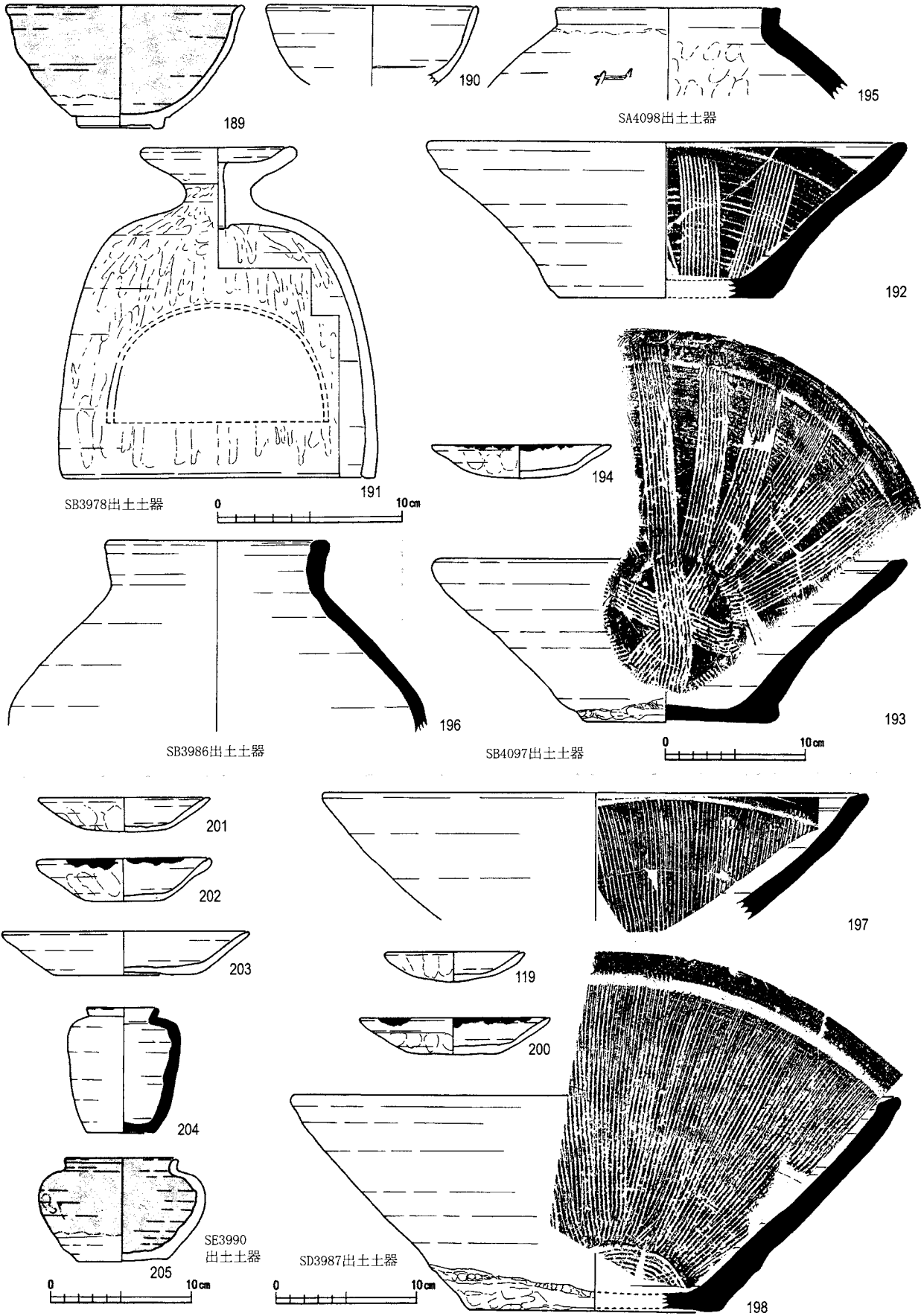
第33圖 第74次調査 包含層出土土器(縮尺1/3)



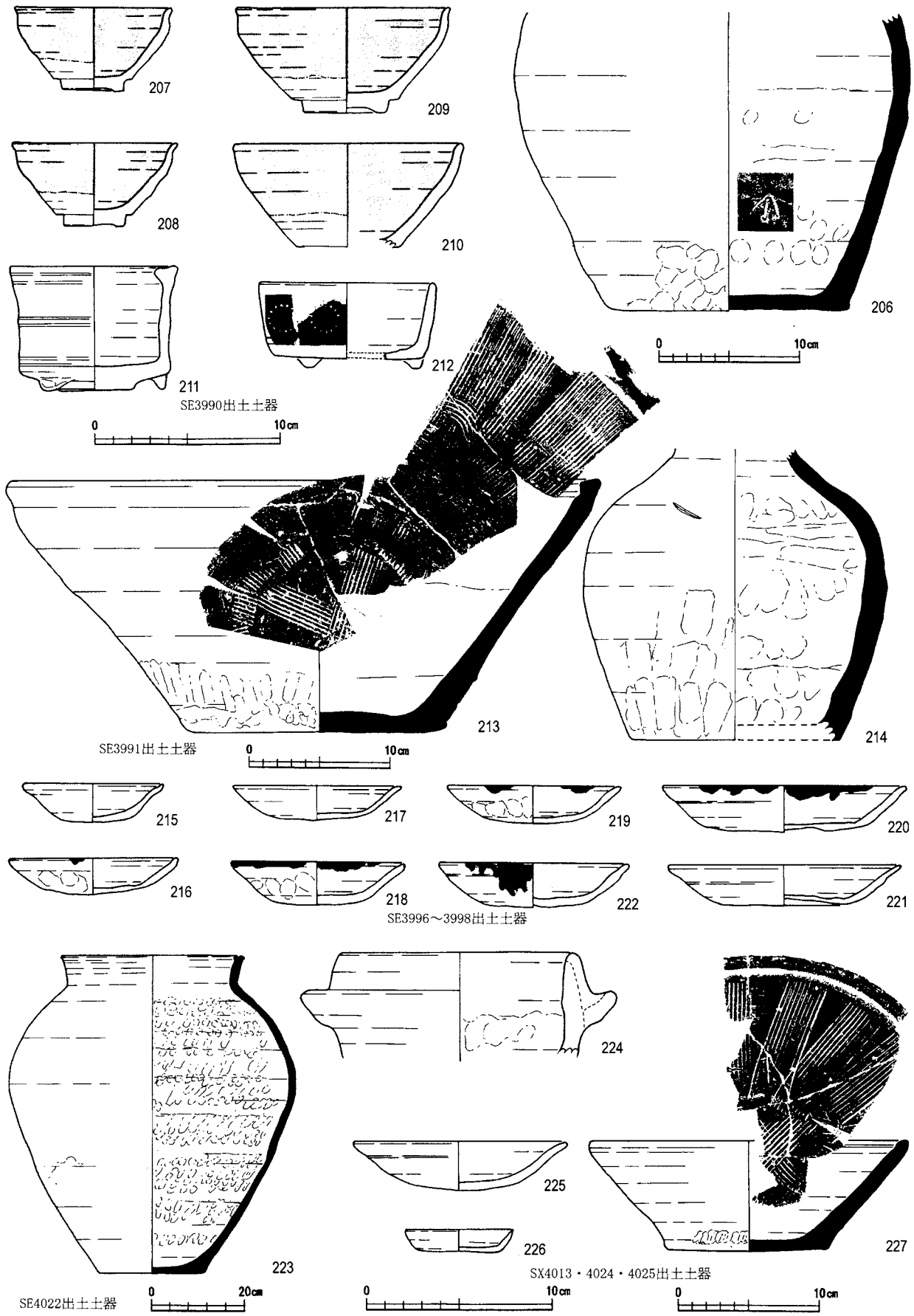
第34図 第74次調査 包含層出土土器(縮尺 1/3)



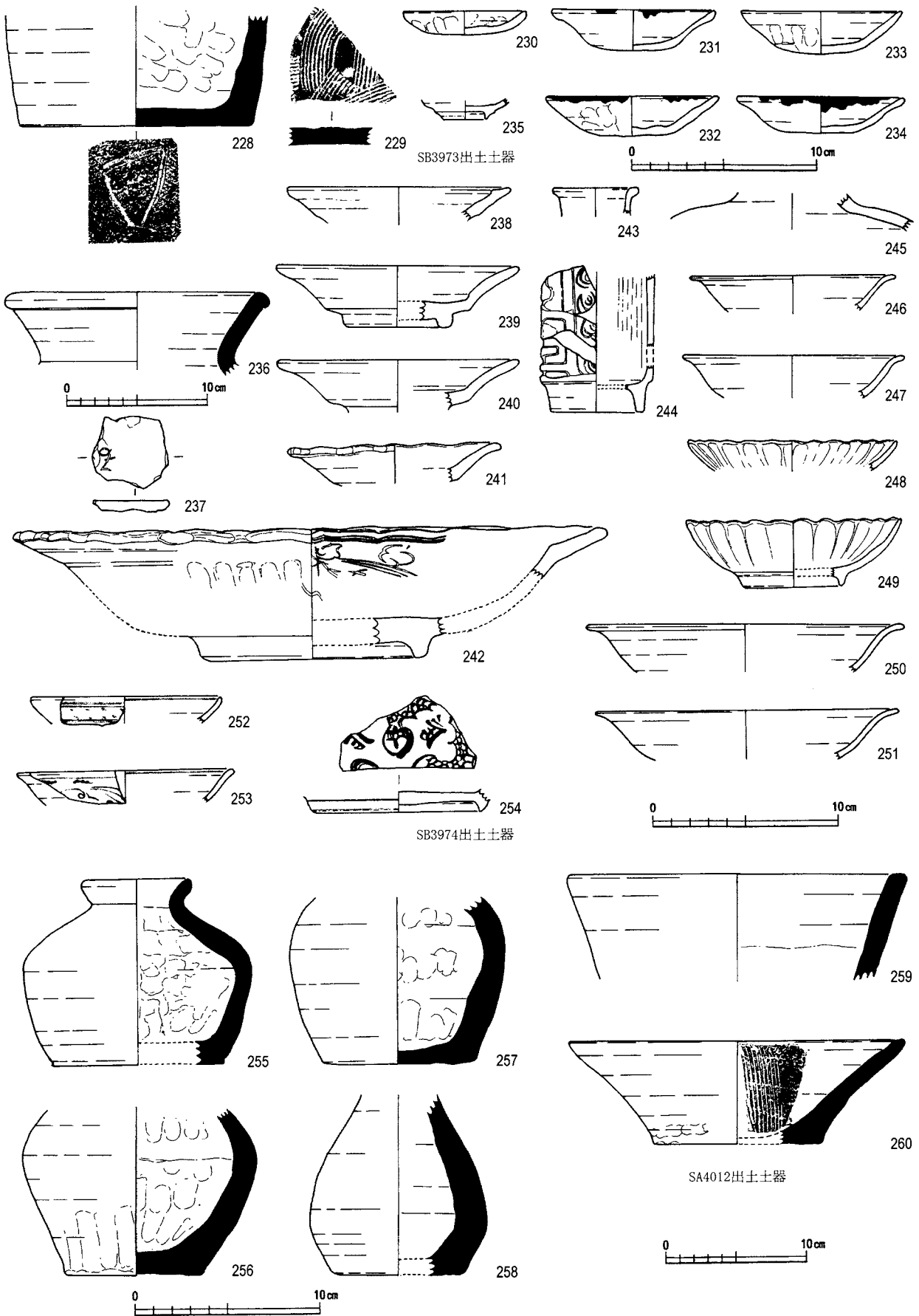
第35图 第74次調査 包含層出土土器、第I区域遺構出土土器(縮尺1/3)



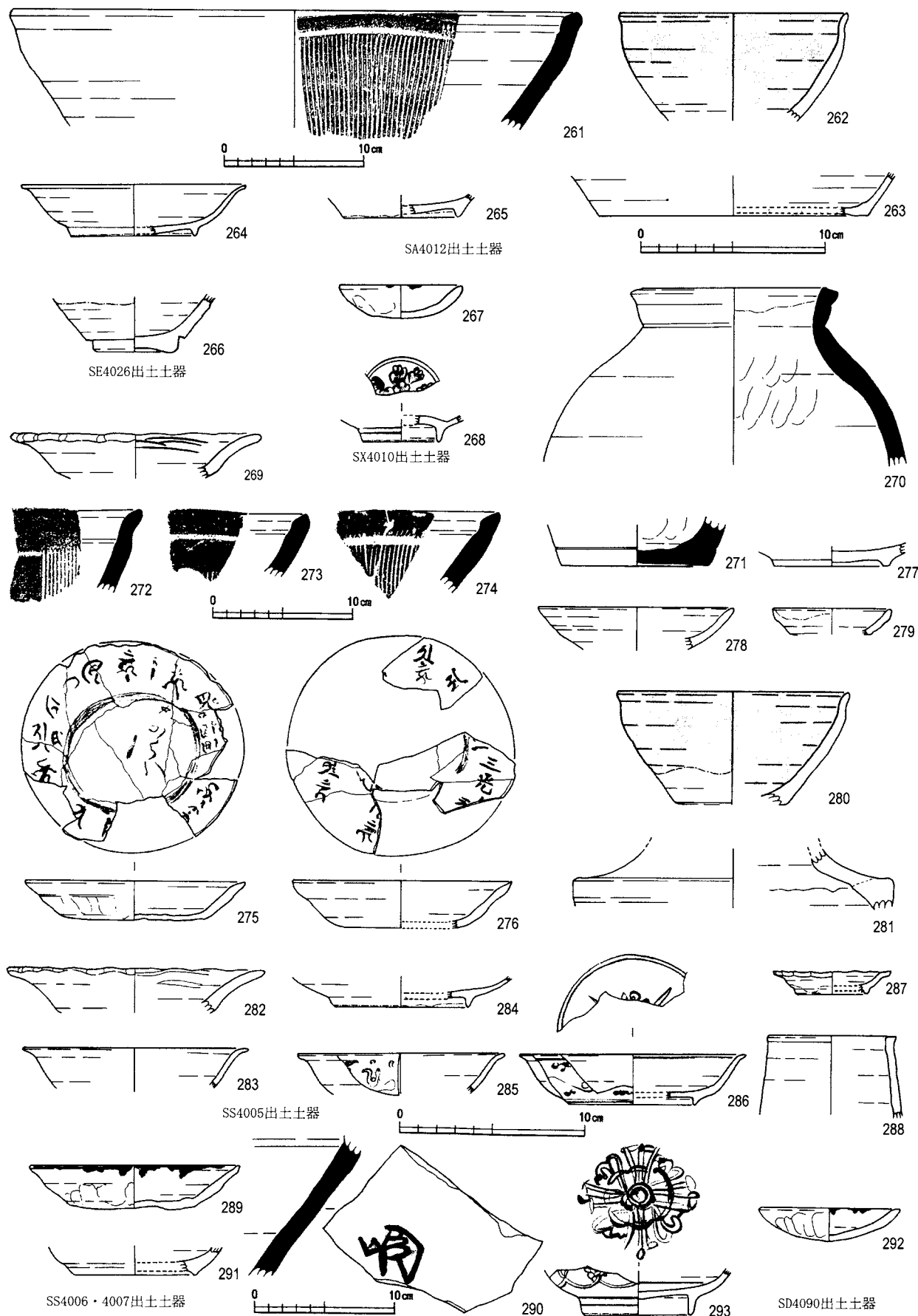
第36図 第74次調査 第I区域遺構出土土器(縮尺1/3、1/4)



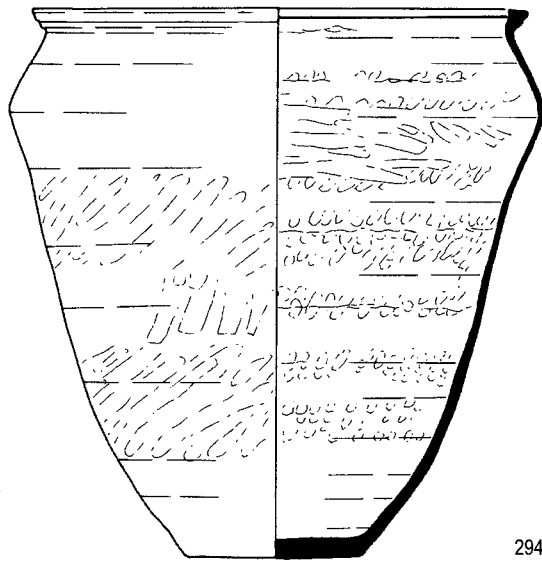
第37図 第74次調査 第I区域遺構出土土器(縮尺1/3、1/4、1/12)



第38図 第74次調査 第Ⅱ区域遺構出土土器(縮尺 1/3、1/4)

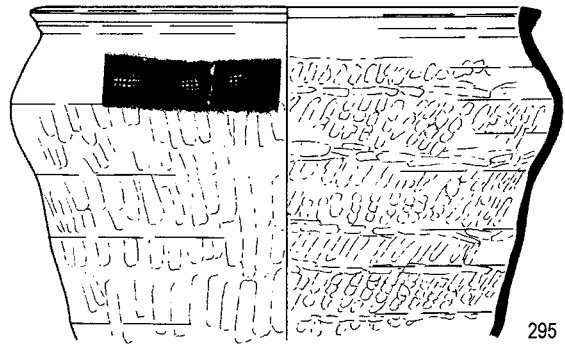


第39图 第74次調査 第Ⅱ区域遺構出土土器(縮尺 1/3、1/4)

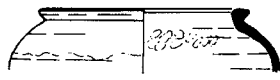


294

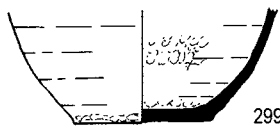
SK4002出土土器



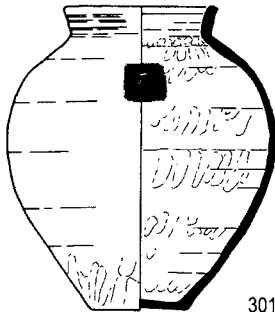
295



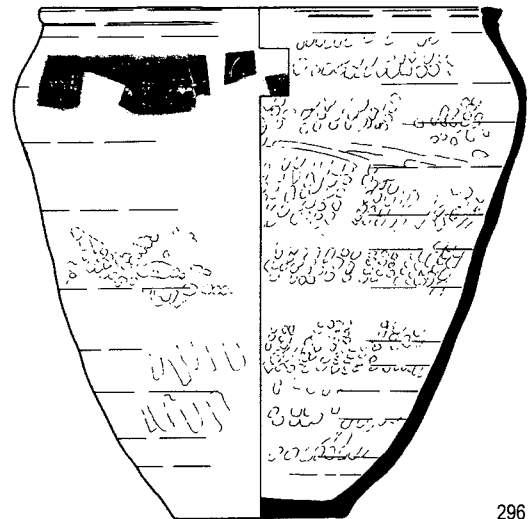
298



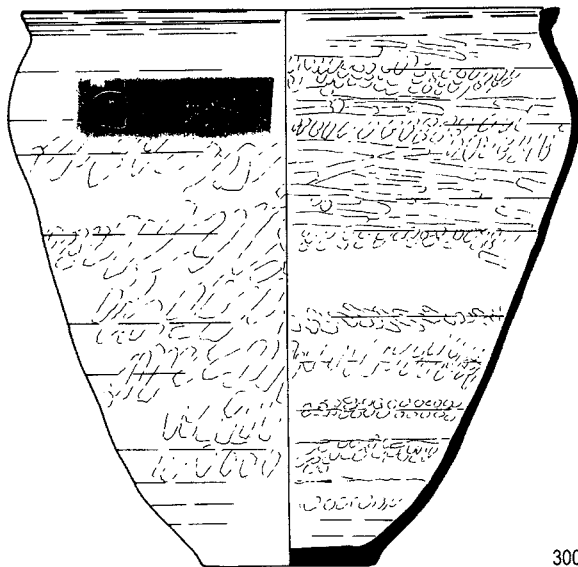
299



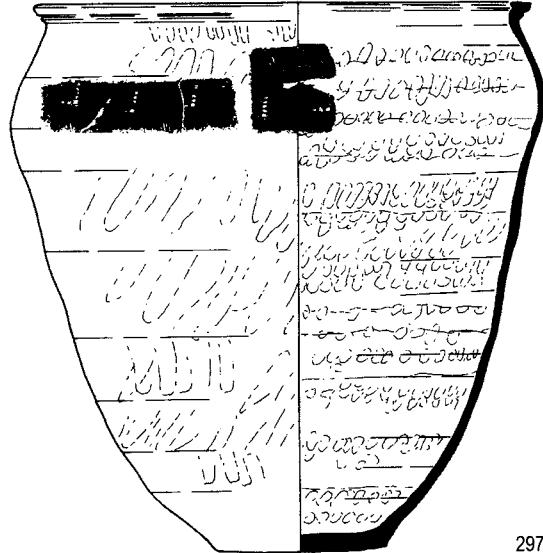
301



296



300



297



296

299

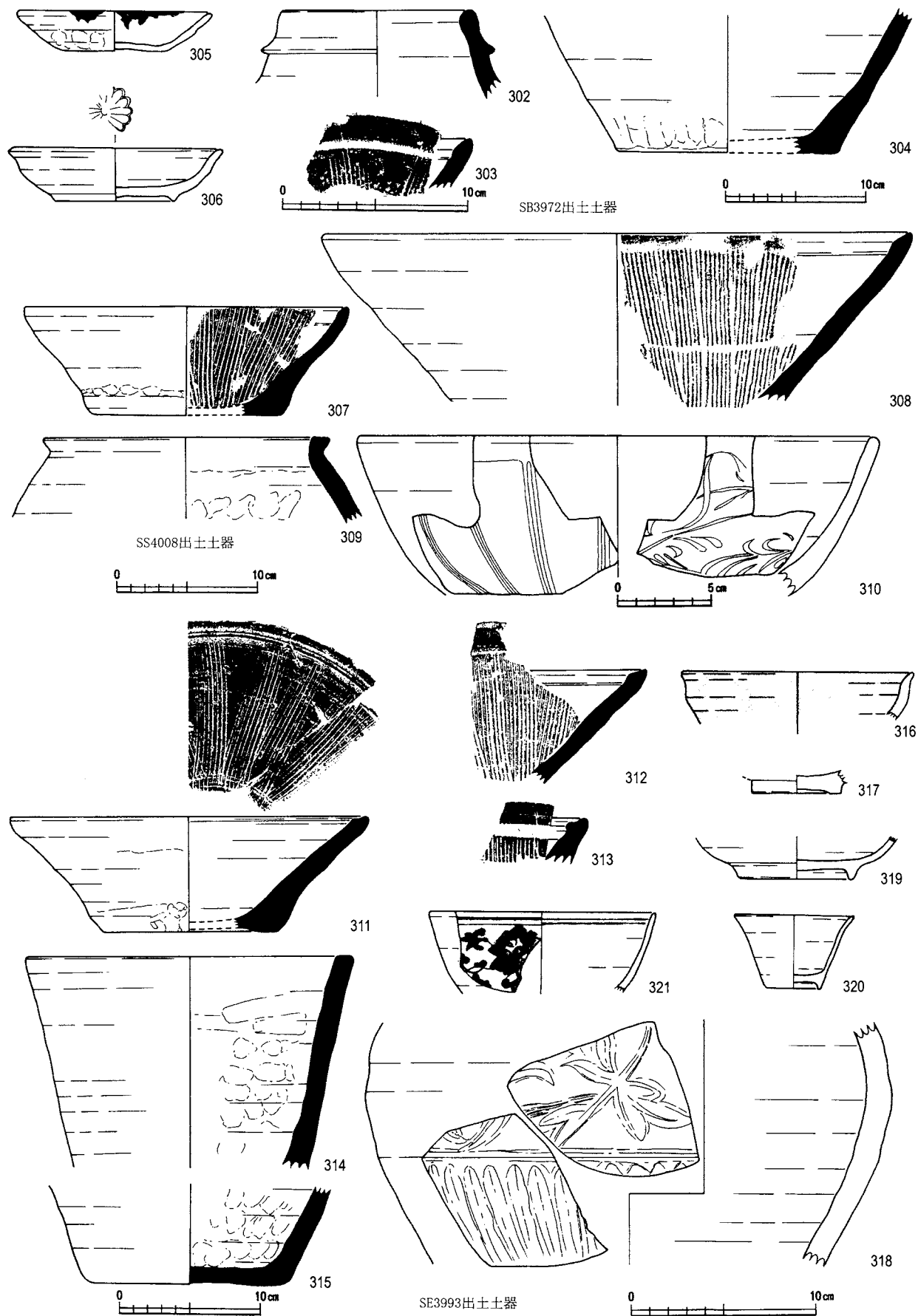
300

301

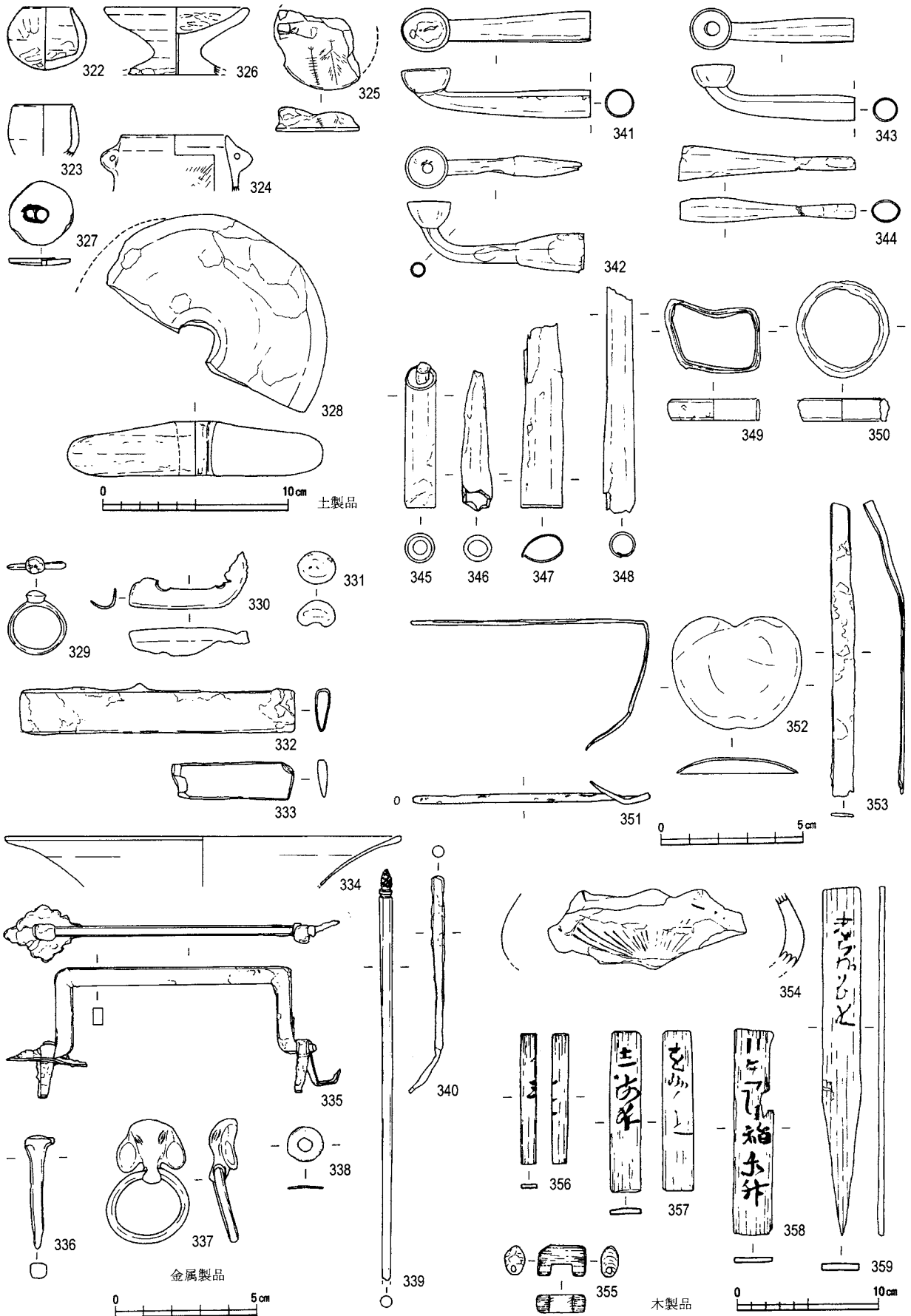
SK4003出土土器

0 20 40 cm

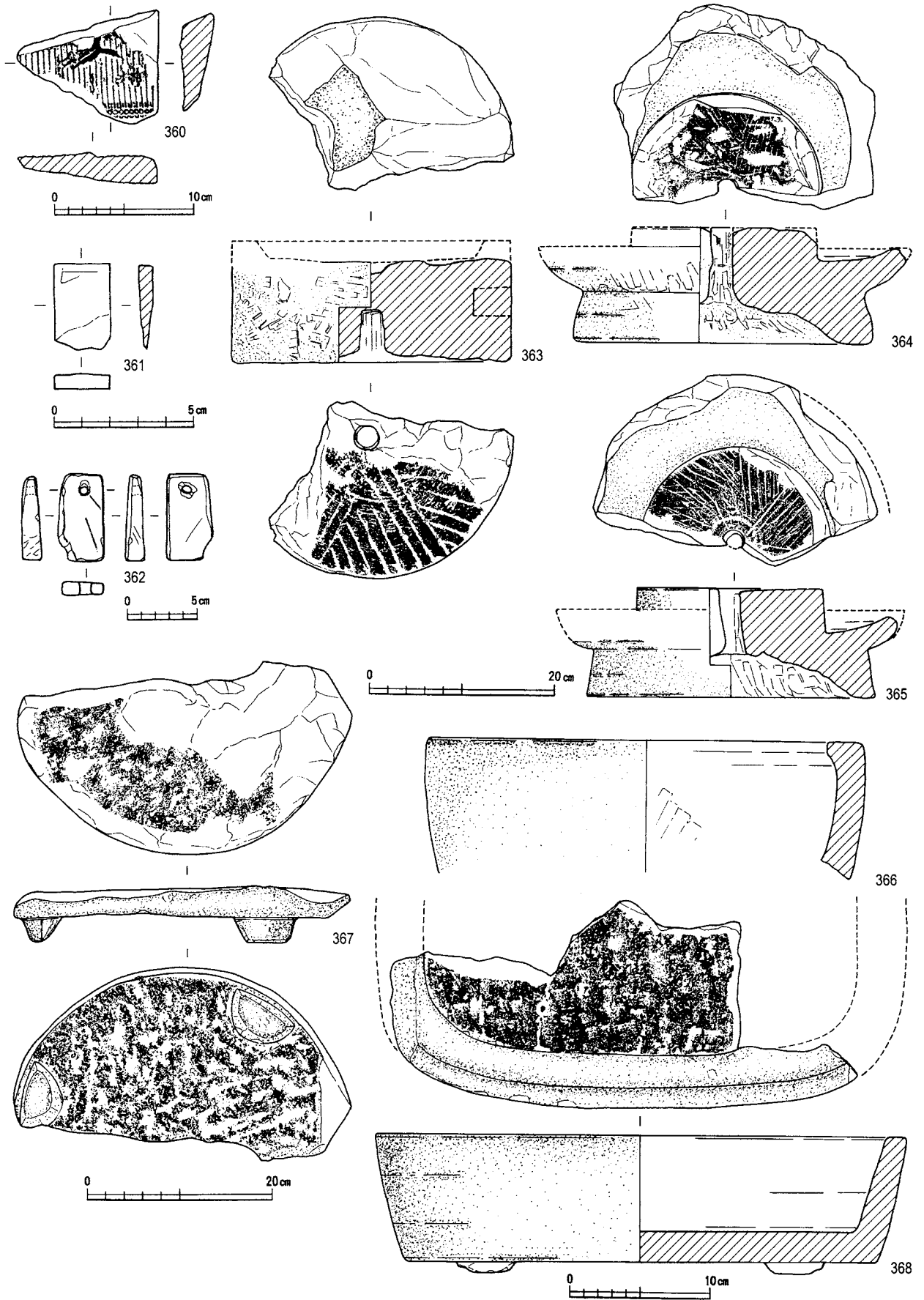
第40図 第74次調査 第Ⅱ区域遺構出土土器(縮尺 1/12)



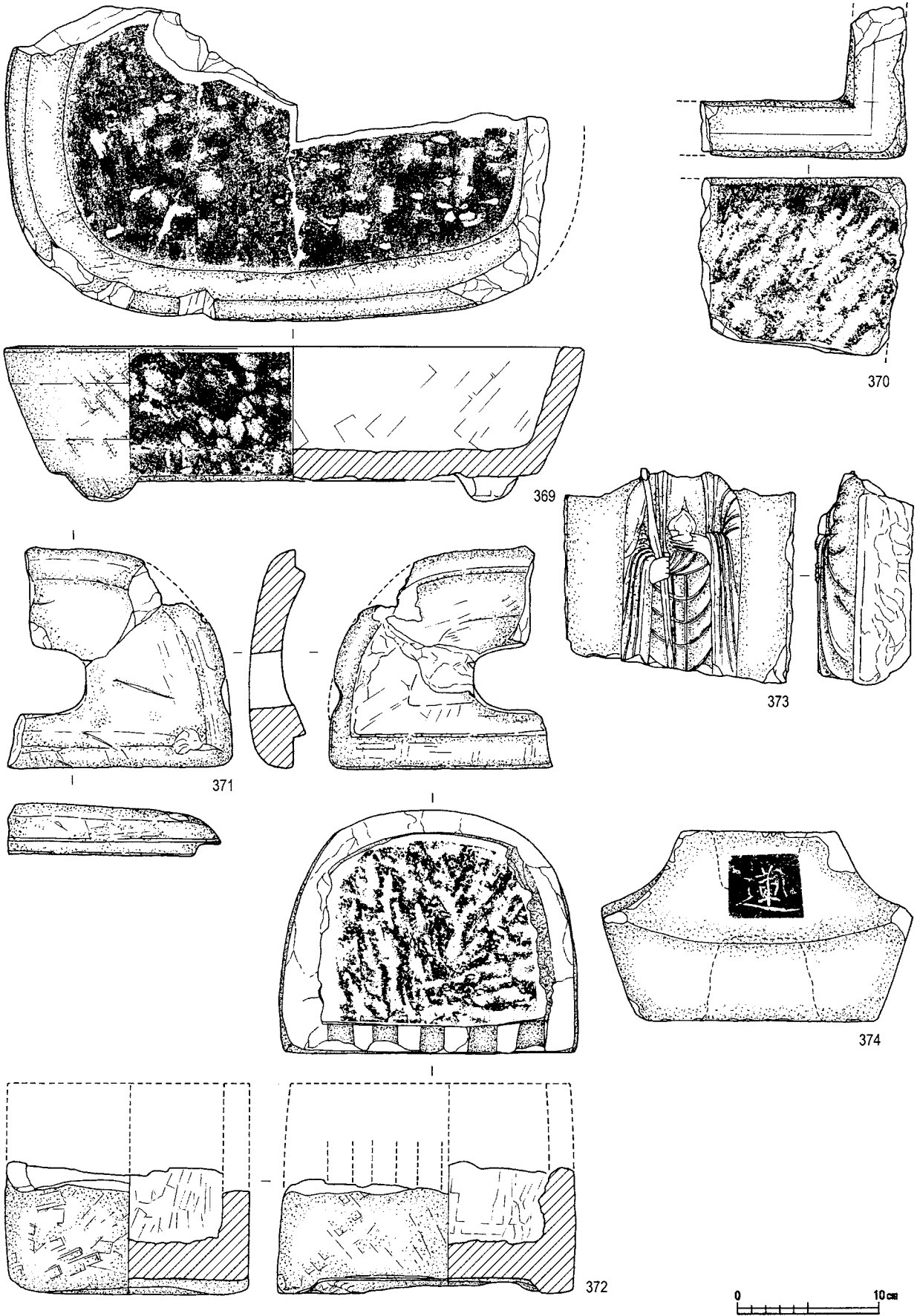
第41图 第74次調査 第三区域遺構出土土器(縮尺1/3、1/4)



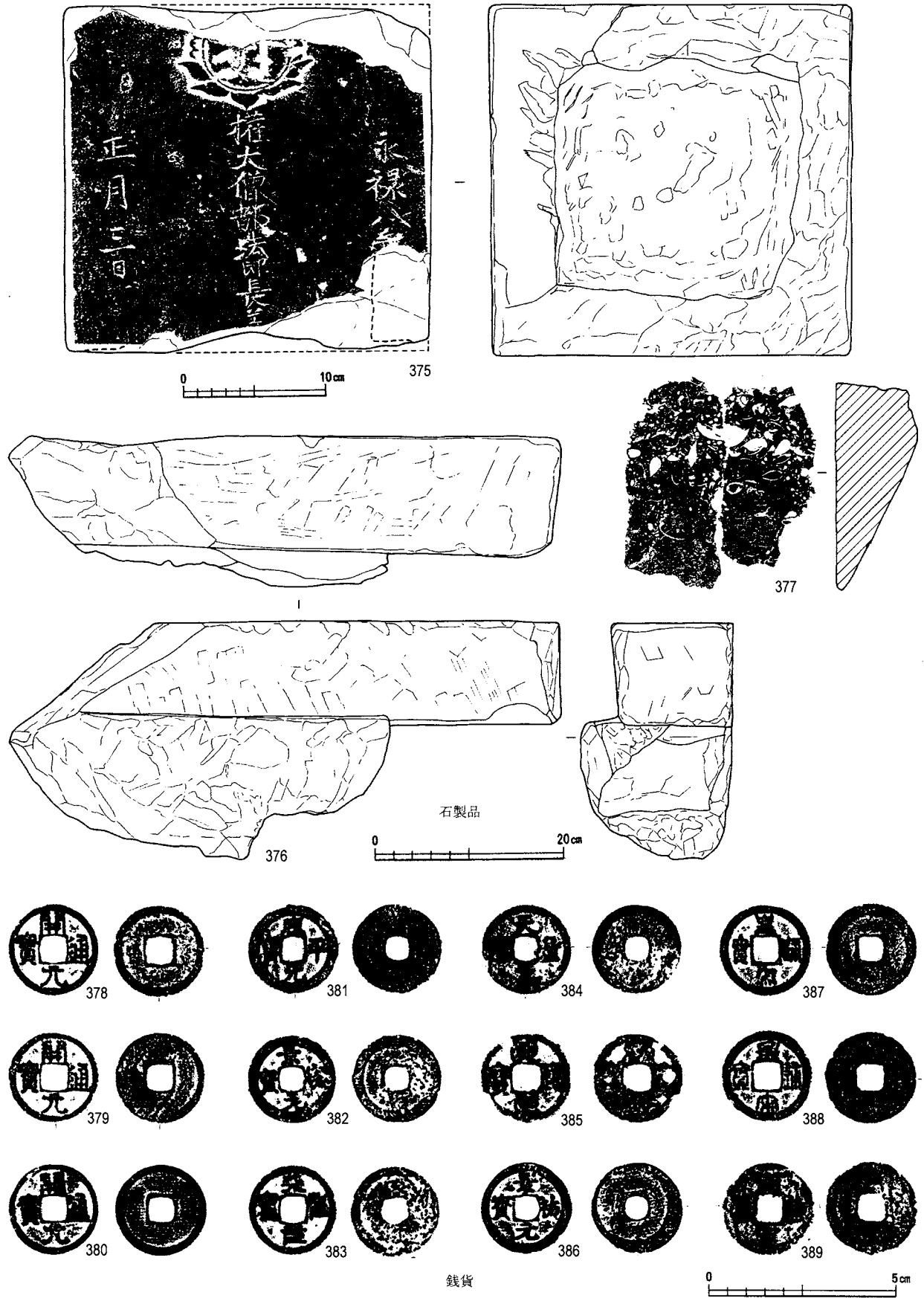
第42図 第74次調査 土製品、金属製品、木製品(縮尺1/2、1/3、1/4)



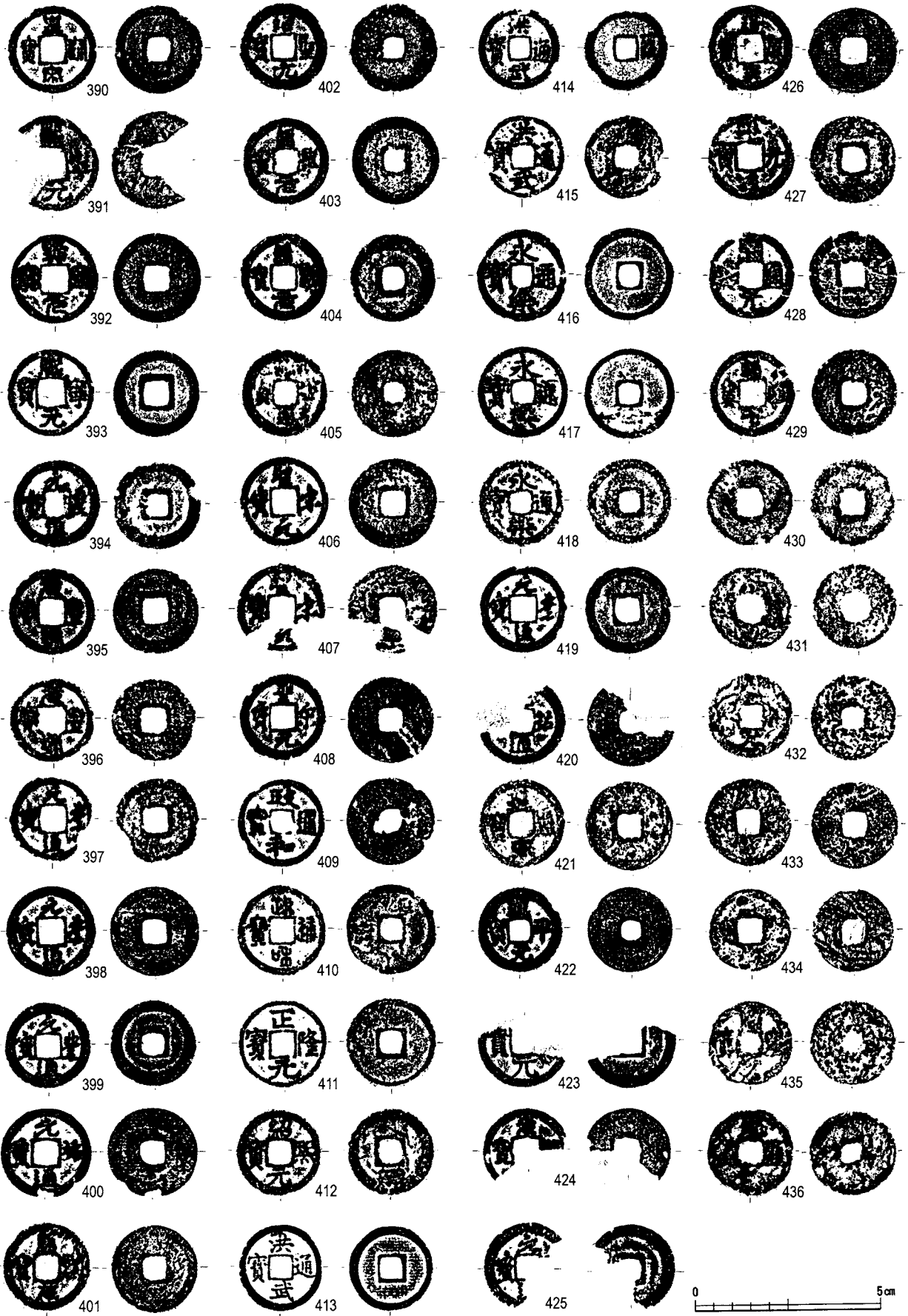
第43図 第74次調査 石製品(縮尺 1/2、1/3、1/4)



第44図 第74次調査 石製品(縮尺1/4)



第45図 第74次調査 石製品、銭貨、その他(縮尺2/3、1/4、1/6)



第46圖 第74次調査 錢貨(縮尺2/3)

第4表 第74次調査出土遺物観察表(PL. 55~67 第31~46図)
包含層出土土器(PL. 55~59 第31~35図)

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
1	越前焼壺	口: 20.0 高: 18.0 焼: 良好 色: 茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/8	口縁部:直線状に短く立ち上がる/口 端部内側は突出/口唇部は丸く収める 胴部:球形に膨らむ 底部:平坦	外:口縁部~胴部回転ナデ 内:口縁部~胴部ナデ/胴部指頭痕4 段/シャープな仕上げ	第Ⅱ区域 G48/炭混暗褐色土 外:降灰
2	越前焼播鉢	口: 22.4 高: 7.2 底: 11.8 焼: 良好 色: 淡灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部やや内湾/口端面平坦 底部:平坦	外:口縁部~体部中位回転ナデ/体部 下位回転ヘラケズリ/底面粗いナデ 内:体部回転ナデ/底部半弧状播目/ 幅2.0cm・9条の播目	耕作土
3	越前焼播鉢	口: 32.0 高: 12.1 底: 14.8 焼: 良好 色: 淡赤橙色	微砂粒 白色粒子 堅緻 土師質 4/5	口縁部:やや外反して立ち上がる/口 唇部は丸く収める/口端面内側に浅い 段をもつ/ 底部:平坦	外:口縁部~体部中位回転ナデ/底部 周縁縄目痕/底面摩耗 内:口縁部~体部回転ナデ/幅2.8cm・ 9条の卸目/底面播目交差/摩耗/シャ ープな仕上げ	第Ⅲ区域 C50/灰褐色土
4	越前焼播鉢	口: 29.0 高: 9.5 底: 13.4 焼: 不良 色: 褐白色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部やや内湾/口端部内側に凹 線/口端面平坦 底部:平坦	外:口縁部~体部中位回転ナデ/体部 下位縄目痕/底部未調整 内:口縁部~体部回転ナデ/体部下位 摩耗/幅2.8cm・8条の播目	第Ⅲ区域 F47/炭混黒灰色土 全体摩耗
5	越前焼播鉢	口: 33.0 高: 10.9 底: 13.6 焼: 良好 色: 橙褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端面平坦/口端部内側に凹線 底部:平坦	外:口縁部~体部回転ナデ/体部下位 縄目痕/底面粗いナデ 内:口縁部~体部回転ナデ/体部下位 ~底面摩耗/幅3.2cm・13条の播目	第Ⅰ区域 N41/黄色土下層
6	越前焼播鉢	口: 32.0 高: 10.0 底: 12.0 焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端面摩耗/口端部内側に段あり 底部:平坦	外:口縁部~体部回転ナデ/底面摩耗 内:口縁部~体部回転ナデ/体部下位 ~底面摩耗/幅3.0cm・11条の播目粗 くめぐる/上位に弧状播目	第Ⅰ区域 P44/黄褐色土
7	越前焼播鉢	口: 26.8 高: 8.0 底: 13.4 焼: 良好 色: 橙色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端面浅い凹面 底部:平坦	外:口縁部~体部回転ナデ/底部周縁 縄目痕/底面摩耗 内:口縁部~体部回転ナデ/幅2.3cm ・9条の播目粗くめぐる/シャープな 仕上げ	第Ⅲ区域 D51/茶褐色土
8	越前焼播鉢	口: 38.6 高: 11.5 底: 16.6 焼: 良好 色: 淡灰茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/8	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端面平坦/口端部内側に凹線 底部:平坦	外:口縁部~体部回転ナデ/底部周縁 縄目痕/底面粗いナデ 内:口縁部~体部回転ナデ/幅2.8cm ・12条の播目粗くめぐる/シャープ な仕上げ/上位に弧状播目	第Ⅲ区域 E45/炭混黒灰色土 E46/炭混黒灰色土
9	越前焼播鉢	口: 34.0 高: 11.3 底: 15.0 焼: 良好 色: 白褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端面浅い凹面/口端部内側に 凹線 底部:平坦	外:口縁部~体部回転ナデ/底部周縁 縄目痕/底面ナデ 内:口縁部~体部回転ナデ/幅2.9cm・ 11条の播目/底面播目	第Ⅲ区域 E50/炭混暗褐色土 X005 全体摩耗
10	越前焼播鉢	口: 31.4 高: 10.8 底: 15.0 焼: 良好 色: 淡赤茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端面平坦/口端部内側に凹線 底部:平坦	外:口縁部~体部回転ナデ/底部周縁 縄目痕/底面粗いナデ 内:口縁部~体部回転ナデ/幅2.6cm・ 9条の播目/底面播目/シャープな 仕上げ	第Ⅲ区域 D45・46/炭混暗褐 色土 E45・46/暗褐色土
11	越前焼播鉢	焼: 良好 色: 淡橙色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端面平坦/口端部内側に凹線	外:口縁部~体部回転ナデ 内:口縁部~体部回転ナデ/幅2.6cm・ 10条の播目/シャープな仕上げ	第Ⅲ区域 E52/焼土
12	越前焼播鉢	口: 26.4 高: 8.0 底: 13.6 焼: 良好 色: 淡橙灰色	微砂粒 白色粒子 軟質 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端面平坦/口端部内側に沈線 底部:平坦	外:口縁部~体部回転ナデ/底部周縁 縄目痕/底面粗いナデ 内:口縁部~体部回転ナデ/幅2.7cm・ 12条の播目	第Ⅰ区域 L41/暗褐色土 M41/茶褐色土
13	越前焼播鉢	口: 43.3 高: 15.3 底: 17.8 焼: 良好 色: 濃茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端面平坦/口端部内側に沈線 底部:平坦	外:口縁部~体部回転ナデ/体部下位 回転ヘラケズリ/底部周縁縄目痕/底 面粗いナデ 内:口縁部~体部回転ナデ/幅3.0cm・ 10条の播目/密/上位に弧状播目・指 頭痕	第Ⅰ区域 M43/黄色土下灰層 X002 N45/茶褐色土 外:ヤキムラ
14	越前焼播鉢	口: 42.9 高: 16.3 底: 18.0 焼: 良好 色: 橙色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端面平坦/口端部内側に沈線 底部:平坦	外:口縁部~体部回転ナデ/底部周縁 縄目痕/底面粗いナデ 内:口縁部~体部回転ナデ/幅4.8cm・ 15条の播目/底面播目	第Ⅲ区域 C47/炭混暗褐色土 D47/炭混暗灰色土

7. 第74次調査遺物

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
15	越前焼 卸皿	口: 16.6 高: 4.0 底: 13.0 焼: 良好 色: 赤茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 4/8	口縁部: やや内湾して短く外方へ立ち上がる/口端面平坦 底部: 平坦	外: 口縁部~体部回転ナデ/底部周縁へラナデ/底面摩耗 内: 口縁部~体部回転ナデ/幅2.4cm・9条の播目/底面播目	第Ⅲ区域 E42/茶褐色土
16	越前焼 鉢	口: 16.0 高: 5.5 底: 13.0 焼: 良好 色: 赤茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/10以下	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端面外側に凹面/口端部下に波状文突帯がめぐる	外: 口縁部~体部回転ナデ/波状文突帯の上下にケガキの×字文・3個1組の円形浮文がめぐる 内: 口縁部~体部回転ナデ	第Ⅲ区域 C44/炭混暗褐色土
17	土師器 小皿	口: 6.8 高: 2.0 底: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 E48/炭混黒灰色土 F48/炭混黒灰色土 片口状に歪む
18	土師器 小皿	口: 6.6 高: 2.0 底: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 8/9	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 黄色土下層 口端部全周スス附着
19	土師器 小皿	口: 6.9 高: 2.0 底: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F48/炭混暗褐色土 片口状に歪む
20	土師器 小皿	口: 6.4 高: 2.7 底: 2.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 H46/炭混暗褐色土 片口状に歪む
21	土師器 小皿	口: 6.6 高: 1.8 底: 1.8 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅰ区域 N43/黄色土下層 片口状に歪む 口端部一部スス附着
22	土師器 小皿	口: 6.6 高: 1.8 底: 1.8 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 L43/暗褐色土 片口状に大きく歪む 口端部一部スス附着
23	土師器 小皿	口: 6.2 高: 1.6 底: 1.6 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅰ区域 M52/茶褐色土 片口状に歪む
24	土師器 小皿	口: 6.4 高: 1.9 底: 1.9 焼: 良好 色: 淡茶灰色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ 口縁部に意図的な欠損か?	第Ⅲ区域 F47/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部一部スス附着
25	土師器 小皿	口: 7.2 高: 1.7 底: 1.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 表土 口端部1/4周スス附着
26	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.6 底: 1.6 焼: 良好 色: 黄褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 炭混暗灰色土 片口状に歪む
27	土師器 小皿	口: 7.4 高: 2.1 底: 2.1 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F47/炭混黒灰色土 片口状に大きく歪む 口端部一部スス附着
28	土師器 小皿	口: 7.2 高: 1.6 底: 1.6 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ 内: 口縁部~底部ヨコナデ	第Ⅲ区域 炭混暗灰色土 片口状に歪む
29	土師器 小皿	口: 3.8 高: 1.0 底: 1.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 炭混暗褐色土
30	土師器 小皿	口: 6.2 高: 1.5 底: 1.5 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部で短く外反/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部ヨコナデ/体部ナデ 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 暗灰色土 片口状に歪む 口端部部分的スス附着
31	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.6 底: 1.6 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5*	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 G44/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部一部スス附着
32	土師器 小皿	口: 8.6 高: 1.8 底: 1.8 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部~底部ナデ 内: 口縁部~底部ヨコナデ	第Ⅲ区域 F41/炭混暗灰色土 片口状に歪む

IV. 第74・75次調査

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
33	土師器 小皿	口: 8.9 高: 2.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 I46/暗褐色土 片口状に大きく歪む
34	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 E47・48/炭混黒灰色土 片口状に歪む 口端部一部スス付着
35	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F44/炭混暗灰色土 口端部半周スス付着
36	土師器 小皿	口: 8.6 高: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅰ区域 N42/黄色土下層 片口状に歪む 口端部1/3周スス付着
37	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 炭混暗褐色土 片口状に歪む 体部一部スス付着
38	土師器 小皿	口: 8.9 高: 2.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E45/炭混暗灰色土 片口状に歪む
39	土師器 小皿	口: 7.4 高: 1.9 焼: 良好 色: 橙色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ヨコナデ	第Ⅲ区域 F46/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部一部スス付着
40	土師器 小皿	口: 7.6 高: 1.8 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 G48/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部一部スス付着
41	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.3 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 G46/炭混黒色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
42	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.8 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F48/炭混黒灰色土 片口状に歪む 口端部一部スス付着
43	土師器 小皿	口: 6.9 高: 1.4 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	排土 片口状に歪む
44	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.5 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F45/炭混暗灰色土 片口状に歪む
45	土師器 小皿	口: 7.4 高: 1.5 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 K51/焼土混黄色粘土 片口状に大きく歪む
46	土師器 小皿	口: 5.8 高: 1.5 底: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F48/炭混黒灰色土 片口状に大きく歪む
47	土師器 小皿	口: 6.6 高: 1.3 底: 3.3 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅰ区域 M44/炭混褐色土 片口状に歪む
48	土師器 小皿	口: 6.6 高: 1.5 底: 3.6 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	排土 片口状に大きく歪む 外:ヤキムラ

7. 第74次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
49	土師器 小皿	口: 7.4 高: 1.5 底: 3.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F45・46/炭混黒灰色土 片口状に大きく歪む
50	土師器 小皿	口: 8.0 高: 1.5 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F41/炭混黒灰色土 片口状に歪む
51	土師器 小皿	口: 8.8 高: 1.8 底: 4.5 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	排土 片口状に歪む
52	土師器 小皿	口: 8.6 高: 1.8 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D42/炭混暗褐色土 片口状に歪む
53	土師器 小皿	口: 8.5 高: 1.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E48/炭混黒灰色土 片口状に歪む 口端部一部スス付着
54	土師器 小皿	口: 9.2 高: 1.6 底: 4.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ/赤色 化粧土残存	第Ⅲ区域 F45/炭混暗灰色土 片口状に歪む 口端部一部スス付着
55	土師器 小皿	口: 8.6 高: 1.6 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部~底部ヨコナデ	第Ⅲ区域 F45・46/炭混黒灰色土 片口状に歪む 口端部1/3周スス付着
56	土師器 小皿	口: 10.6 高: 2.6 底: 4.6 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:体部下位で屈曲/直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部~底部ヨコナデ	排土 片口状に歪む 外:スス付着 内:スス付着
57	土師器 小皿	口: 10.8 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部~底部ヨコナデ	第Ⅱ区域 G47/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
58	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:体部下位で屈曲/直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部~底部ヨコナデ	第Ⅰ区域 N43/黄色土下炭層 片口状に歪む 口端部半周スス付着
59	土師器 小皿	口: 8.9 高: 2.0 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部~底部ヨコナデ	第Ⅱ区域 不明/炭混黒色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
60	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅱ区域 G46/炭混黒色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
61	土師器 小皿	口: 8.6 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部外方へ屈曲/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E45/炭混黒灰色土 片口状に歪む 口端部一部スス付着
62	土師器 小皿	口: 8.2 高: 1.8 底: 4.0 焼: 良好 色: 黄褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部外方へ屈曲/口端部内側に受口状の段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 不明/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着

IV. 第74・75次調査

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
63	土師器 小皿	口: 9.0 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D44/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部3/4周スス附着
64	土師器 小皿	口: 10.0 高: 2.6 底: 5.0 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 D45/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部3/4周スス附着
65	土師器 小皿	口: 11.0 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 G44/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
66	土師器 小皿	口: 11.6 高: 2.0 底: 6.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部未調整 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F43/炭混暗灰色土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
67	土師器 小皿	口: 15.8 高: 2.0 底: 6.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部外方へ屈曲/口端部内側に受口状の段あり 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅰ区域 M49/炭混整地土 片口状に歪む 内:附着物
68	土師器 耳皿	口: 10.8 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E48/炭混黒灰色土 片口状に大きく歪む 口端部全周スス附着
69	土師器 甕	口: 11.0 高: 2.2 底: 5.0 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E42/炭混暗灰色土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
70	土師器 小皿	口: 10.4 高: 2.2 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F47/炭混黒灰色土 片口状に歪む 口端部半周スス附着
71	土師器 小皿	口: 11.3 高: 2.3 底: 5.5 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E48/炭混黒灰色土 F48/炭混黒灰色土 口端部一部スス附着
72	土師器 小皿	口: 13.2 高: 2.7 底: 7.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F44/炭混暗灰色土 口端部全周スス附着 外:底部被熱・スス附着
73	土師器 小皿	口: 12.8 高: 2.4 底: 6.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D46/炭混暗褐色土 口端部2/3周スス附着 片口状に大きく歪む
74	土師器 小皿	口: 11.8 高: 2.5 底: 6.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅰ区域 M49/炭混整地土 外:附着物 内:底面黒斑
75	土師器 小皿	口: 13.0 高: 2.5 底: 7.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D45/炭混暗褐色土 口端部一部スス附着
76	土師器 小皿	口: 12.4 高: 2.2 底: 7.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F43/炭混暗灰色土 片口状に歪む

7. 第74次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
77	土師器 小皿	口: 13.8 高: 2.9 底: 8.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ/スノコ状圧痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 N52/焼土上面
78	土師器 小皿	口: 6.2 高: 1.2 底: 3.3 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第I区域 不明/下層 片口状に歪む
79	土師器 小皿	口: 6.2 高: 1.2 底: 3.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第III区域 D41/炭混暗灰色土 片口状に歪む
80	土師器 小皿	口: 6.2 高: 1.3 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第III区域 D47/炭混暗褐色土
81	土師器 小皿	口: 7.4 高: 1.6 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第III区域 E47/炭混黒灰色土 片口状に歪む
82	土師器 小皿	口: 8.2 高: 1.6 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部外方へ屈曲/口端部内側に受口状の段あり 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第II区域 G46/炭混黒色土
83	土師器 小皿	口: 8.2 高: 2.0 底: 4.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	排土 片口状に歪む 口端部3/4周スス附着
84	土師器 小皿	口: 8.6 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第III区域 C47/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部3/4周スス附着
85	土師器 小皿	口: 8.0 高: 2.4 底: 4.6 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第III区域 E45/炭混黒灰色土 片口状に歪む 口端部1/4周スス附着
86	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第III区域 不明/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
87	土師器 小皿	口: 8.6 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第III区域 C41/炭混暗灰色土 口端部全周スス附着
88	土師器 小皿	口: 8.9 高: 1.9 底: 4.3 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第III区域 D47/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
89	土師器 小皿	口: 8.9 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第II区域 G48/炭混暗褐色土 片口状に大きく歪む 口端部一部スス附着
90	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ヨコナデ	第I区域 L41/暗褐色土 片口状に大きく歪む 口端部3/4周スス附着

IV. 第74・75次調査

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
91	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 4.3 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	排土 片口状に大きく歪む 口端部3/4周スス付着
92	土師器 小皿	口: 8.9 高: 2.2 底: 3.4 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	不明 黄色土下層 片口状に歪む 口端部一部スス付着
93	土師器 小皿	口: 9.6 高: 2.4 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E41/炭混暗灰色土
94	土師器 小皿	口: 9.4 高: 2.3 底: 4.4 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E48/炭混黒灰色土 F48/炭混黒灰色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
95	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.6 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E45/炭混黒灰色土 片口状に歪む
96	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.1 底: 4.3 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部でやや外方に屈曲/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 E48/炭混黒灰色土 F48/炭混黒灰色土 片口状に歪む
97	土師器 小皿	口: 10.0 高: 2.2 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E45/炭混黒灰色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
98	土師器 小皿	口: 9.6 高: 2.4 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 6/7	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口端部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F41/炭混暗灰色土 口端部一部スス付着
99	土師器 小皿	口: 10.4 高: 2.4 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底/中央凹む	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F45/炭混暗灰色土 口端部部分的にスス付着
100	土師器 小皿	口: 9.4 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F45/炭混暗灰色土 片口状に歪む 口端部部分的にスス付着
101	土師器 小皿	口: 9.8 高: 2.4 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D42/炭混暗灰色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
102	土師器 小皿	口: 10.4 高: 2.3 底: 5.3 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底/中央凹む	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 G46/炭混黒色土 口端部全周スス付着
103	土師器 小皿	口: 10.8 高: 2.4 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底/中央凹む	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部未調整/型押し成形 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F44/炭混暗褐色土 口端部全周スス付着
104	土師器 小皿	口: 11.2 高: 2.4 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 G42/炭混暗灰色土 片口状に大きく歪む 口端部一部スス付着

7. 第74次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
105	土師器 小皿	口: 10.8 高: 2.5 底: 5.8 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅰ区域 P44/黄灰色土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
106	土師器 小皿	口: 9.6 高: 2.4 底: 4.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F46/炭混暗灰色土 片口状に大きく歪む 口端部半周スス附着
107	土師器 小皿	口: 11.0 高: 2.9 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部外方へ屈曲/体部に段あり/口端部内側に受口状の段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F41/炭混暗灰色土 口端部全周スス附着
108	土師器 小皿	口: 10.7 高: 2.5 底: 4.8 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底/中央凹む	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F47/炭混暗褐色土 口端部全周スス附着
109	土師器 甕	口: 10.4 高: 2.5 底: 5.6 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 G46/炭混黒色土
110	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.0 底: 4.2 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E41/炭混暗灰色土 片口状に歪む
111	土師器 小皿	口: 8.9 高: 1.8 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D47/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部半周スス附着
112	土師器 小皿	口: 11.2 高: 2.2 底: 6.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F41/炭混暗灰色土 口端部一部スス附着 内:底面スス附着
113	土師器 小皿	口: 10.8 高: 2.0 底: 5.4 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 不明/炭混黒灰色土 口端部一部スス附着 外:底面黒斑
114	土師器 小皿	口: 10.6 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F45/炭混暗灰色土 片口状に大きく歪む
115	土師器 小皿	口: 10.6 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 8/9	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 F44/炭混暗灰色土 片口状に大きく歪む 口端部全周スス附着
116	土師器 小皿	口: 11.0 高: 2.5 底: 5.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部で上方へ屈曲/体部に段あり/口唇部は平坦 底部:平底/中央凹む	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D48/炭混暗褐色土 片口状に歪む 口端部3/4周スス附着
117	土師器 小皿	口: 11.8 高: 2.4 底: 6.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E41/炭混暗灰色土 口端部全周スス附着
118	土師器 小皿	口: 12.0 高: 2.2 底: 6.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 8/9	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底/中央凹む	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F48/炭混暗褐色土

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
119	土師器 小皿	口: 9.6 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D43/炭混暗灰色土 片口状に歪む
120	土師器 小皿	口: 8.8 高: 1.6 底: 3.8 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅲ区域 E48/炭混黒灰色土 片口状に大きく歪む
121	土師器 小皿	口: 9.0 高: 1.8 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 8/9	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める/口端部内側に受口状の段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E47/炭混黒灰色土 口端部半周スス付着 内:底面に紅付着
122	土師器 小皿	口: 8.6 高: 1.7 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E47/炭混黒灰色土 口端部全周スス付着
123	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	不明 黄色土下層 口端部全周スス付着
124	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.1 底: 4.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F43/炭混黒灰色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
125	土師器 小皿	口: 10.5 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D45/炭混暗灰色土 片口状に歪む
126	土師器 小皿	口: 10.2 高: 1.9 底: 5.4 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E41/炭混暗灰色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
127	土師器 小皿	口: 10.6 高: 2.1 底: 5.2 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 F44~46/清掃 片口状に歪む 外:スス付着 内:スス・油付着
128	土師器 小皿	口: 10.2 高: 2.1 底: 4.2 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 E41/炭混暗灰色土 片口状に歪む
129	土師器 小皿	口: 12.0 高: 2.7 底: 6.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	微砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D47/炭混暗褐色土 口端部全周スス付着
130	土師器 小皿	口: 12.8 高: 2.5 底: 7.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅲ区域 D48/炭混暗褐色土 口端部全周スス付着
131	土師器 小皿	口: 13.8 高: 2.6 底: 6.8 焼: 良好 色: 淡褐色	極砂粒 軟質 1/8	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に受口状の段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ後ハケ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅱ区域 G47/炭混暗灰色土
132	土師器 小皿	口: 13.2 高: 2.4 底: 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に受口状の段あり 底部欠損	外:口縁部ヨコナデ後ハケ/体部ナデ 内:口縁部ヨコナデ	第Ⅲ区域 F47/炭混黒灰色土 E48/炭混黒灰色土

7. 第74次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点
						備考
133	土師器 小皿	口: 13.8 高: 1.8 焼: 良好 色: 金色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部で外方に屈曲/口唇部丸く収める 底部欠損	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ 内:口縁部ヨコナデ	第Ⅲ区域 C47/山土混褐色土 外:金箔 内:金箔
134	土師器 丸皿	口: 4.6 高: 1.2 底: 4.5 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に短く上方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ミガキ 内:口縁部~底部ミガキ	第Ⅱ区域 G44/炭混黒色土
135	土師器 丸皿	口: 4.8 高: 1.1 底: 5.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に短く上方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ミガキ 内:口縁部~底部ミガキ	第Ⅲ区域 D47/炭混暗褐色土
136	土師器 丸皿	口: 5.0 高: 1.3 底: 3.3 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に短く上方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ナデ/底部ミガキ 内:口縁部~底部ミガキ	第Ⅲ区域 E48/炭混黒灰色土 F48/炭混黒灰色土
137	土師器 丸皿	口: 5.4 高: 1.2 底: 5.2 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に短く上方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ミガキ 内:口縁部~底部ミガキ	第Ⅲ区域 D48/炭混暗褐色土
138	土師器 羽釜	口: 11.8 高: 9.5 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:直上へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 受部:平滑/幅1.3cm 体部~底部:丸底	外:口縁部~受部回転ナデ/体部ナデ 内:口縁部~底部部回転ナデ後指頭痕	第Ⅱ区域 G47/炭混暗灰色土 外:受部~底部スス付着
139	土師器 羽釜	口: 14.3 高: 8.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:やや外傾して直上へ短く立ち上がる/口唇部は丸く収める 受部:平滑/幅1.3cm 体部~底部:丸底	外:口縁部~受部回転ナデ/体部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/体部~底部部回転ナデ後指頭痕	第Ⅲ区域 D48/炭混暗褐色土 外:受部~底部スス付着
140	土師器 羽釜	口: 13.1 高: 5.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:やや外傾して直上へ短く立ち上がる/口唇部は丸く収める 受部:平滑/幅1.5cm 体部~底部:丸底	外:口縁部~受部回転ナデ/体部ナデ 後指頭痕 内:口縁部~体部回転ナデ後指頭痕	第Ⅲ区域 D48/炭混暗褐色土
141	土師器 羽釜	口: 13.3 高: 9.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/8	口縁部:直上へ短く立ち上がる/口唇部は丸く収める 受部:平滑/幅1.2cm 体部~底部:丸底	外:口縁部~受部回転ナデ/体部ナデ 内:口縁部~体部回転ナデ後指頭痕	第Ⅲ区域 F46/炭混暗灰色土 外:受部~底部スス付着
142	土師器 羽釜	口: 14.0 高: 6.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:内湾して短く立ち上がる/口唇部は丸く収める 受部:平滑/幅1.0cm 体部~底部:丸底	外:口縁部~受部回転ナデ/体部ヘラナデ 内:口縁部~体部回転ナデ後指頭痕	第Ⅲ区域 E48/炭混黒灰色土 外:受部~体部スス付着
143	土師器 羽釜	口: 18.4 高: 6.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:直上へ短く立ち上がる/口唇部は丸く収める 受部:平滑/幅1.0cm 体部~底部:丸底	外:口縁部~受部回転ナデ/体部ナデ 後指頭痕 内:口縁部~体部回転ナデ後指頭痕	第Ⅰ~Ⅲ区域 不明 外:受部~体部スス付着
144	土師器 羽釜	口: 10.0 高: 7.7 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5以下	口縁部:直上へ短く立ち上がる/口唇部は丸く収める 受部:平滑/幅0.9cm 体部~底部:丸底	外:口縁部~受部回転ナデ/体部ナデ 内:口縁部~体部回転ナデ後指頭痕	第Ⅱ区域 G44/炭混黒色土 外:受部~体部スス付着
145	土師器 壺	口: 6.3 高: 11.4 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/6	口縁部:直線状に短く上方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 胴部:上位は肩が張る/下位で窄まる 底部:平坦	外:口縁部~胴部上位ヨコナデ/胴部上位~底部ミガキ 内:口縁部~胴部中位ヨコナデ/底部シボリ	第Ⅲ区域 H47/暗灰色土
146	瀬戸美濃 鉄釉 瓶	口: 2.4 高: 2.8 底: 2.8 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 2/3	口縁部:短く上方へ立ち上がる 体部~底部:フラスコ形/体部下位で張り出す/ボタン上の浮文が左右に付く	外:口縁部~体部下位回転ナデ/底部回転糸切り痕 内:口縁部~底部回転ナデ	第Ⅰ区域 P42/黄色土下層 体部下位露胎
147	瀬戸美濃 鉄釉 茶入	口: 2.2 高: 3.0 底: 3.0 焼: 良好 色: 茶褐色	精緻 1/1	口縁部:短く上方へ立ち上がる 体部~底部:扁球形/体部中位で張り出す 底部:平坦	外:口縁部~体部下位回転ナデ/底部回転糸切り痕 内:口縁部~底部回転ナデ	第Ⅰ区域 N43/黄褐色土 体部下位露胎
148	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 11.0 高: 4.7 焼: 良好 色: 黒色	精緻 1/10以下	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上がり、口端部で上方に屈曲/口唇部は短く外傾し丸く収める	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第Ⅱ区域 K51/茶褐色土 体部下位露胎

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
149	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 11.0 高: 5.8 焼: 良好 色: 黒色	精緻 2/3	口縁部: やや内湾して外方へ立ち上がり、口端部でやや外反/口唇部は短く外傾し丸く収める	外: 口縁部～体部下位回転ナデ 内: 口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅰ区域 L44/暗褐色土 P41/暗茶褐色土 P41・42/黒灰色土 体部下位露胎
150	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.2 高: 5.4 焼: 良好 色: 淡茶色	精緻 1/6	口縁部: やや内湾して外方へ立ち上がり、口端部で上方に屈曲。口唇部は短く外傾し丸く収める	外: 口縁部～体部下位回転ナデ 内: 口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅱ区域 I46/炭混暗褐色土 体部下位露胎
151	瀬戸美濃 鉄釉 皿	高: 1.3 底: 5.6 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 1/10以下	底部: 削出高台	外: 底部部回転ナデ 内: 底部部ナデ/底面中央に菊花文押印	第Ⅱ区域 G46/炭混黒色土 体部下位～底部露胎
152	灰釉 鉢	口: 30.3 高: 2.6 焼: 良好 色: 灰色	極砂粒 堅緻 須恵質 1/10以下	口縁部: 直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部波状	外: 口縁部回転ナデ 内: 口縁部回転ナデ	第Ⅱ区域 K48/茶褐色土 外: 自然釉 内: 自然釉
153	灰釉 小皿	口: 11.0 高: 2.5 底: 6.0 焼: 良好 色: 浅黄緑色	堅緻 1/10以下	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/ 口端部外反/口唇部は丸く収める 底部: 削出高台	外: 口縁部～体部下位回転ナデ 内: 口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅲ区域 F48/炭混暗褐色土
154	灰釉 小皿	口: 9.6 高: 2.3 底: 5.0 焼: 良好 色: 浅黄緑色	堅緻 2/3	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/ 口端部外反/口唇部は丸く収める 底部: 削出高台	外: 口縁部～体部下位回転ナデ/底面に 輪トチン痕 内: 口縁部～体部下位回転ナデ/底面 中央に菊花文押印	第Ⅰ区域 M43/黄色土下灰層 体部下位～底部露胎
155	灰釉 小皿	高: 1.7 底: 5.6 焼: 良好 色: 浅黄緑色	精緻 1/5	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる 底部: 削出高台	外: 体部下位回転ナデ/底面に輪トチン痕 内: 体部下位回転ナデ/底面中央に花 文押印	第Ⅲ区域 E47・48/炭混黒灰 色土 高台露胎
156	灰釉 小皿	口: 8.4 高: 2.3 底: 4.6 焼: 良好 色: 浅黄緑色	堅緻 1/10以下	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/ 口端部外反/口唇部は丸く収める 底部: 削出高台	外: 口縁部～体部下位回転ナデ 内: 口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅰ区域 N43/黄褐色土 高台露胎
157	青磁 皿	高: 1.3 底: 6.8 焼: 良好 色: オリーブ灰色	精緻 1/10以下	体部: 内湾して外方へ開く 底部: 削出高台	外: 鎚蓮花文を陰刻	第Ⅰ区域 Q23/炭混暗灰色土 高台露胎
158	青磁 稜花皿	口: 10.6 高: 2.8 底: 5.2 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/2	口縁部: 外反して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収め、緩い波状に成形 し花卉状にする 底部: 削出高台/端面は丸みをもつ	内: 口端部に波状線刻・花文線刻が めぐる/底面中央に「卍」陰刻	第Ⅱ区域 G36/床土 K36/床土 第Ⅳ区域 内: 高台周縁露胎
159	青磁 稜花皿	口: 12.2 高: 3.0 底: 5.8 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 2/3	口縁部: 外反して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収め、緩い波状に成形 し花卉状にする 底部: 高台端面は平坦	内: 口端部に波状線刻がめぐる/口縁 部に曲線線刻がめぐる	第Ⅲ区域 C46/炭混暗褐色土 内: 高台周縁露胎
160	青磁 輪花皿	口: 12.0 高: 3.2 底: 6.6 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/2	口縁部: 内湾して外方へ立ち上がる/ 口端部やや外反/口唇部は丸く収め、 緩い波状に成形し花卉状にする 底部: 削出高台/端面は丸みをもつ	外: 口縁部に鎚蓮花文がめぐる 内: 口縁部に鎚蓮花文がめぐる	第Ⅱ区域 H45/砂層 第Ⅴ区域 I36/床土 高台端面露胎
161	白磁 皿	口: 20.0 高: 4.0 底: 12.0 焼: 良好 色: 透灰色	精緻 1/4	口縁部: 緩やかに外反して斜め外方へ 立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 削出高台	外: 貫入多し	第Ⅰ区域 P50・52/焼土 M52/茶褐色土 第Ⅱ区域 L47/焼土混褐色土 高台端面露胎
162	白磁 皿	口: 12.9 高: 2.8 底: 7.0 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/8	口縁部: 緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる/口端部やや外反/口唇部 は丸く収める 底部: 削出高台	外: 漆継ぎの痕	第Ⅲ区域 D47/炭混暗褐色土 高台端面露胎
163	白磁 皿	口: 10.0 高: 2.2 底: 4.0 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/6	口縁部: 緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口唇部は丸く収める 底部: 削出高台/割り高台		不明 外: 体部下位～高台底 面露胎
164	白磁 皿	高: 1.3 底: 4.0 焼: 良好 色: 透白褐色	精緻 1/10以下	底部: 削出高台/割り高台	外: 底面中央に墨書「□□内」 内: 底面トチン	第Ⅲ区域 C44/炭混暗灰色土 外: 体部下位～高台底 面露胎

7. 第74次調査遺物

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
165	染付碗	高: 1.8 底: 2.2 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/4	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:底面中央に呉須「福」 内:底面中央に呉須の圏線1・「壽」	第Ⅲ区域 E47/炭混黒灰色土 外:高台端面露胎
166	染付碗	口: 11.0 高: 3.3 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/10以下	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上がる /口唇部は丸く収める	外:口縁部上位に呉須の文様帯・圏 線2/体部に呉須の芭蕉文 内:口縁部上位に圏線1	第Ⅰ区域 O41/炭混茶褐色土 P41/暗茶褐色土 P42/焼土混砂質土
167	染付碗	口: 12.0 高: 5.0 焼: 良好 色: 透灰色	精緻 1/8	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上がる /口唇部は丸く収める	外:口縁部上位に呉須の圏線1・文様 帯・圏線2/体部に呉須の芭蕉文 内:口縁部上位に圏線2	第Ⅱ区域 G42/暗褐色土
168	染付碗	口: 14.0 高: 6.0 底: 5.9 焼: 良好 色: 透灰色	精緻 1/8	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部上位に呉須の文様帯・圏 線1/体部に呉須の文様/体部下位に 山形文 内:口端部に圏線1/体部下位に圏線 2/底面中央に文様	第Ⅲ区域 F44/炭混暗褐色土 D44/炭混暗褐色土 高台端面露胎
169	染付碗	口: 12.8 高: 5.7 底: 5.2 焼: 良好 色: 透青灰色	精緻 1/4	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部上位～体部に不鮮明な呉 須の文様 内:口端部に不鮮明な呉須の文様/底 面中央に呉須の花文	第Ⅲ区域 D42・45・46/炭混暗 褐色土 F48/炭混暗褐色土 高台端面露胎
170	染付碗	高: 1.7 底: 4.0 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/5	底部:削出高台	外:底部に呉須圏線3/底面中央に圏 線2・「大明年造」 内:底部中央に圏線2/圏線内に牡丹 文	第Ⅰ区域 N41/茶褐色土 高台端面露胎
171	染付皿	高: 1.0 底: 6.6 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/8	底部:削出高台	外:底部に呉須圏線2 内:底部中央に圏線2/圏線内に玉抱 き獅子文	不明 耕作土 高台端面露胎
172	染付皿	口: 12.0 高: 3.0 底: 7.0 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/5	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる/口端部やや外反/口唇部 は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部上位に呉須圏線2/体部に 呉須の牡丹文 内:口端部に圏線2/底面中央に呉須 の花文	第Ⅲ区域 F44～46 高台端面露胎
173	染付皿	口: 11.6 高: 2.7 底: 6.2 焼: 良好 色: 透青灰色	精緻 1/5	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸 く収める 底部:削出高台	内:口端部に圏線1/底面周縁に呉須 の圏線2	第Ⅲ区域 D44/炭混暗褐色土 E45/炭混暗褐色土 高台端面露胎
174	染付皿	高: 2.9 底: 5.8 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/3	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる 底部:削出高台	外:体部に呉須文様 内:底部中央に呉須圏線2/圏線内に 牡丹文	第Ⅲ区域 D47/炭混暗褐色土 D48/茶褐色土 高台端面露胎
175	染付皿	高: 2.8 底: 5.8 焼: 不良 色: 透青灰色	精緻 1/4	口縁部:屈曲して斜め外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部に呉須文様 内:底部中央に牡丹文	第Ⅲ区域 F44～46 高台端面露胎
176	染付碗	高: 3.5 底: 6.0 焼: 良好 色: 透青灰色	精緻 1/8	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部に呉須アラベスク文/体部下 位に圏線1/底部に圏線2 内:底部中央に呉須圏線2・アラベス ク文	第Ⅲ区域 D48/炭混暗褐色土 第Ⅱ区域 J38/床土 高台端面露胎
177	染付碗	高: 3.0 底: 6.2 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/4	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部下位に圏線2/底部に圏線2 内/底部中央に呉須圏線2・圏線内 に梅花文	第Ⅱ区域 H52/褐色土 第Ⅲ区域 E45/炭混黒灰色土 F38/小礫混茶褐色土 F48/炭混暗褐色土 高台端面露胎
178	染付碗	口: 13.8 高: 4.3 底: 5.6 焼: 良好 色: 淡灰黄色	精緻 1/6	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部上位に呉須圏線1/体部に 呉須文様 内:口端部に圏線1/底面中央に圏線1 ・圏線内に呉須文様	第Ⅲ区域 E45/炭混暗灰色 E49/茶色土 高台端面露胎
179	染付皿	高: 1.5 底: 2.6 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/5	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる 底部:碁笥高台	外:体部下位に呉須芭蕉文 内:底部中央に呉須捻花	第Ⅲ区域 C48/茶褐色土 高台端面露胎
180	朝鮮 茶碗	高: 2.5 底: 5.0 焼: 良好 色: 暗灰茶色	堅緻 1/5	口縁部:底部から屈曲/やや外反して 外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部～底部回転ヘラケズリ 内:底部周縁に段	第Ⅰ区域 P41/黒灰色土 全体に暗灰色釉

遺構出土土器(PL. 59~63 第35~41図)

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
181	土師器 小皿	口: 8.6 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 P49/SB3976 片口状に歪む 口端部3/4周スス付着
182	土師器 小皿	口: 10.4 高: 2.5 底: 5.3 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ 全体シャープな仕上げ	第I区域 N49/SB3976 褐色砂質土下
183	朝鮮 白磁 碗	高: 2.5 底: 5.0 焼: 良好 色: 白褐色	軟質 1/5	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部下位回転ヘラケズリ/底面中央渦文 内:底面にトチン痕4ヶ所	第I区域 P50/SB3976 褐色砂質土
184	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.0 高: 5.4 焼: 良好 色: 黒茶色	極砂粒 精緻 1/5	口縁部:直線状に外方へ立ち上がり、口端部で上方に屈曲。口唇部は短く外傾し丸く収める	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第I区域 P47/SB3977 P48/畦付近 外:体部下位露胎
185	朝鮮 鉄釉 瓶	高: 3.3 焼: 良好 色: 黒褐色	極砂粒 精緻 1/10以下	頸部:内湾して窄まる/段がめぐる 胴部:上位で肩が大きく張る	外:頸部~胴部上位回転ナデ 内:頸部~胴部上位回転ナデ	第I区域 P46/SB3977/焼土 P45/茶色土 263と同一個体か?
186	白磁 皿	口: 12.4 高: 1.9 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/8	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部は外反する/口唇部は丸く収める		第I区域 N48/SB3977 灰黄色土
187	白磁 稜花皿	口: 16.0 高: 1.8 焼: 良好 色: 濃白色	精緻 1/10以下	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/口端部は稜をもつ波状/口唇部は丸く収める	外:体部鎬蓮花文 内:体部鎬蓮花文	第I区域 P46/SB3977/焼土 P44/茶褐色土
188	白磁 皿	高: 1.8 底: 6.6 焼: 良好 色: 明青白色	精緻 1/10以下	体部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部鎬蓮花文/底部鎬蓮花文 底面中央に具須圏線2・「天下太平」 内:体部鎬蓮花文	第I区域 P48/SB3977 高台端面に付着物
189	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.0 高: 6.7 底: 4.4 焼: 良好 色: 黒茶色	極砂粒 堅緻 3/4	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/口唇部は短く外傾し丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第I区域 M42/SB3978/青色土 M41/暗褐色土 外:体部下位露胎
190	青磁 碗	口: 11.4 高: 4.5 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/3	口縁部:内湾して上方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める	内:体部下位に沈線1	第I区域 N43/SB3978 L43/暗褐色土
191	瓦質 土器 瓦燈	天: 8.0 高: 17.8 底: 16.7 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 白色粒子 精緻 2/3	天井部:浅い皿状に開く/中央に径0.5cmの穿孔/芯残存 体部/釣鐘形/背面上位に楕円形の開口部/体部中央に半月状の開口部	外:全体黒色磨研のミガキ 内:回転ナデ後黒色磨研のミガキ シャープな仕上げ	第I区域 P43/SB3978/焼土 P44・N44/焼土混砂質土(黄色土下) O41/茶褐色土
192	越前焼 播鉢	口: 34.4 高: 10.2 底: 15.6 焼: 良好 色: 橙色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/6	口縁部:直線状に外方へ開く/口端部は丸く収める/口端部内側に沈線がめぐる	外:口縁部~胴部下位回転ナデ 内:回転ナデ/0.5~0.8cm間隔でヨコ方向の条線を施す/幅2.8cm・10条の播目/密にめぐる/シャープな仕上げ	第I区域 M44/SB4097/黄灰色土
193	越前焼 播鉢	口: 34.1 高: 11.8 底: 14.0 焼: 良好 色: 白褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 4/5	口縁部:直線状に外方へ開く/口端部は平坦/口端部内側に沈線がめぐる 底部:平坦	外:口縁部~胴部下位回転ナデ/底面摩耗/吊り下げ痕2ヶ所 内:回転ナデ/幅2.2cm・8条の播目/粗くめぐる/底面播目3本交差	第I区域 M44/SB4097/黄灰色土 L43/暗褐色土 第II区域 I46/炭混暗褐色土 半身ナマヤケ
194	土師器 小皿	口: 9.4 高: 1.9 底: 4.4 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 N44/SD4097 片口状に歪む 口端部半周スス付着
195	越前焼 壺	口: 16.0 高: 6.7 焼: 良好 色: 橙色	極砂粒 白色粒子 精緻 1/10以下	口縁部:直線状に短く上方へ立ち上がる 体部/倒卵形/上位で膨らむ	外:口縁部~胴部上位回転ナデ/胴部上位にヘラ記号 内:口縁部~胴部上位回転ナデ後指頭痕	第I区域 N~P45/SA4098

7. 第74次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
196	越前焼 壺	口: 16.0 高: 13.9 焼: 不良 色: 白褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/10以下	口縁部:短く上方へ立ち上がる/口端 面は平坦 胴部:上位で肩が張る	外:回転ナデ 内:回転ナデ シャープな仕上げ	第Ⅱ区域 L45/SD3986 全体ナマヤケ
197	越前焼 播鉢	口: 39.0 高: 10.0 焼: 良好 色: 橙褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 1/10以下	口縁部:やや内湾して外方へ開く/口 端面は平坦/口端部内側に段をもつ	外:口縁部～体部回転ナデ 内:口縁部～体部回転ナデ/幅2.3cm ・8条の播目/密にめぐる/シャープ な仕上げ	第Ⅰ区域 O41/SD3987
198	越前焼 播鉢	口: 43.6 高: 15.5 底: 18.0 焼: 良好 色: 暗灰茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 須恵質 1/4	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面 は平坦/口端部内側は凹状の段をもつ 底部:縄目痕	外:回転ナデ 内:回転ナデ/底面弧状の播目 内面に幅3.3cm・10条の播目/密にめ ぐる/シャープな仕上げ	第Ⅰ区域 O41/SD3987 X004 第Ⅱ区域 H46/炭混暗褐色土
199	土師器 小皿	口: 7.4 高: 1.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅰ区域 N41/SD3987
200	土師器 小皿	口: 10.2 高: 2.0 底: 5.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅰ区域 P41/SD3987 片口状に歪む 口端部全周スス付着
201	土師器 小皿	口: 9.2 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅰ区域 P50/SE3990 焼土
202	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.3 底: 4.3 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅰ区域 P50/SE3990/焼土 片口状に歪む 口端部半周スス付着
203	土師器 小皿	口: 13.2 高: 2.4 底: 7.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部未調 整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅰ区域 P50/SE3990/焼土 外:スス付着
204	越前焼 茶入	口: 3.7 高: 6.9 底: 3.4 焼: 良好 色: 暗灰色	極砂粒 堅緻 1/1	口縁部:直線状に短く外方へ立ち上 がる/口端部平坦 胴部:上位で肩が張り出す 底部:平底	外:口縁部～体部下位回転ナデ/底部 ナデ 内:口縁部～底部回転ナデ	第Ⅰ区域 O50/SE3990 体部ヤキムラ
205	瀬戸美濃 鉄釉 茶入	口: 6.2 高: 5.5 底: 4.9 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 精緻 1/1	口縁部:短く外反して立ち上がる/口 唇部は短く丸く収める 胴部:扁球形/上位で肩が張り出す 底部:平底	外:口縁部～体部下位回転ナデ/体部 下位回転ヘラケズリ 内:口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅰ区域 O50/SE3990 外:体部下位～底部 露胎
206	越前焼 壺	高: 21.8 底: 17.0 焼: 不良 色: 赤茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/3	胴部:短砲弾形/上位で肩が張る	外:胴部中位回転ナデ/底部に意図的 な剥離痕/底面ナデ/ヘラ記号 内:胴部回転ナデ後指頭痕/底面ナ デ/中央にヘラ記号「介」	第Ⅰ区域 P50/SF3990 外:ヒブクレ多し
207	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 8.2 高: 4.5 底: 3.2 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 3/4	口縁部:直線状に外方へ立ち上がり、 口端部で上方に屈曲/口唇部は短く外 傾し丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部～体部下位回転ナデ 内:口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅰ区域 P50/SF3990 外:体部下位～底部 露胎
208	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 8.8 高: 4.5 底: 3.0 焼: 良好 色: 黒色	精緻 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がり、 口端部で上方に屈曲/口唇部は短く外 傾し丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部～体部中位回転ナデ/体部 下位回転ヘラケズリ/高台外端面 面取り 内:口縁部～底部回転ナデ	第Ⅰ区域 P50/SF3990 外:体部下位～底部 露胎
209	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 11.4 高: 5.7 底: 4.4 焼: 良好 色: 黒色	精緻 1/1	口縁部:直線状に外方へ立ち上がり、 口端部で上方に屈曲/口唇部は短く外 傾し丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部～体部中位回転ナデ/体部 下位回転ヘラケズリ 内:口縁部～底部回転ナデ	第Ⅰ区域 P50/SF3990 外:体部下位～底部 露胎
210	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.0 高: 5.5 焼: 良好 色: 茶色	堅緻 1/6	口縁部:直線状に外方へ立ち上がり、 口端部で上方に屈曲/口唇部は短く外 傾し丸く収める	外:口縁部～体部中位回転ナデ/体部 下位回転ヘラケズリ 内:口縁部～底部回転ナデ	第Ⅰ区域 P50/SF3990 外:体部下位～底部 露胎

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
211	青磁 香炉	口: 8.8 高: 6.7 底: 8.8 焼: 良好 色: 灰オリーブ	精緻 4/5	口縁部:寸胴形/直線状に上方へ立ち上がる/口端部内側突出/口端部は浅く凹む 底部:三角形の平坦な脚を底部周縁に3ヶ所付ける/底面中央で接地	外:回転ナデ/2条の沈線が口端部、体部中位、体部下位にめぐる 内:回転ナデ	第I区域 P50/SE3990 外:底面露胎
212	瓦質 香炉	天: 9.4 高: 4.0 底: 8.0 焼: 良好 色: 淡褐黄色	極砂粒 白色粒子 堅緻 1/2	口縁部:寸胴形/直線状に上方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:脚部剥離	外:口縁部~体部回転ナデ/体部に列点凹形文を施す 内:口縁部~体部回転ナデ シャープな仕上げ	第I区域 P50/SE3990 全体平滑
213	越前焼 播鉢	口: 42.2 高: 18.0 底: 18.0 焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 2/3	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面は平坦/口端部内側は凹状の段をもつ 底部:縄目痕	外:口縁部~体部回転ナデ/底面摩耗 内:回転ナデ/幅2.2cm・8条の播目/体部~底部摩耗/底面播目交差/シャープな仕上げ	第I区域 P48/SE3991 P48/SB3977
214	越前焼 壺	高: 15.6 底: 11.0 焼: 良好 色: 赤茶色	微砂粒 堅緻 1/6	頸部:内傾して窄まる 胴部:短砲弾形	外:胴部上位~中位回転ナデ/胴部下位ヘラケズリ/胴部上位にヘラ記号 内:胴部回転ナデ後指頭痕・ユビナデ	第I区域 48/SF3996 胴部上位降灰
215	土師器 小皿	口: 7.4 高: 2.0 底: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部受口状に屈曲/内側に段あり 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ	第I区域 N48/SF3997 灰層
216	土師器 小皿	口: 9.0 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 N48/SF3997 片口状に歪む 口端部一部スス付着
217	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 4.5 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 堅緻 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部はやや外反して丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 N48/SF3997 片口状に歪む
218	土師器 小皿	口: 9.4 高: 2.3 底: 3.8 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 N48/SF3997 片口状に歪む 口端部全周スス付着
219	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部はやや外反して丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 N48/SF3997 片口状に歪む 口端部一部スス付着
220	土師器 小皿	口: 13.0 高: 2.5 底: 7.7 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 8/9	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部はやや外反して丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 N48/SF3997/灰層 片口状に歪む 口端部3/4周スス付着
221	土師器 小皿	口: 12.4 高: 2.2 底: 6.8 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部はやや外反して丸く収める 底部:平底/中央凹む	外:口縁部ヨコナデ/底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 M48/SF3996/青色粘 口端部3/4周スス付着 内:底面ヤキムラ
222	土師器 小皿	口: 10.0 高: 2.3 底: 4.7 焼: 良好 色: 淡茶灰色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部はやや外反して丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 N46/SF3998 外:スス付着
223	越前焼 壺	口: 39.6 高: 69.4 最: 62.0 底: 23.0 焼: 良好 色: 灰黒色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/2	口縁部:短く外傾して立ち上がる/口端面は平坦/口端部内側に段をもつ/胴部:上位で大きく張る/上位~底部にかけて窄まる 底部:平坦	外:口縁部ヨコナデ/胴部上位~下位ナデ/胴部上位に1種類の押印文(大)/胴部下位ヘラナデ 内:口縁部ヨコナデ/胴部は幅8.0cmの粘土板を11~13段輪積み/接合部指頭痕/上位~下位指頭痕11段	第I区域 N52/SE4022 第II区域 J51/SK4003/P5 I50/SK4003/P1 I50/SK4003/P2 I43/SX4020 I49/SX4012 口縁部~胴部中位自然釉/胴部下位降灰
224	土師器 羽釜	口: 12.4 高: 5.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/8	口縁部:直上へ短く立ち上がる/口唇部は丸く収める 受部:平滑/幅1.2cm 体部~底部:丸底	外:口縁部~受部回転ナデ/体部ナデ 内:口縁部~体部回転ナデ後指頭痕	第I区域 P43/SB4013 外:受部~底部スス付着

7. 第74次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
225	土師器 小皿	口: 11.4 高: 2.6 底: 4.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部: やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部はやや外反して丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部ナデ 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第I区域 M43/SX4024/青色粘土 片口状に歪む
226	土師器 丸皿	口: 5.8 高: 1.2 底: 3.8 焼: 良好 色: 橙赤色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: 直線状に短く上方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部~底部ナデ 内: 口縁部~底部ナデ	第I区域 M43/SX4024/青色粘土 片口状に歪む
227	越前焼 播鉢	口: 22.8 高: 8.0 底: 11.8 焼: 良好 色: 淡赤茶色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 2/3	口縁部: 直線状に外方へ開く/口端部内側に段をもつ/口唇部は丸く収める 底部: 平坦/縄目痕	外: 体部回転ヘラケズリ/底面粗いナデ 内: 回転ナデ/幅2.8cm・10条の播目/底面播目交差	第I区域 N43/SX4025 X001 茶褐色土 L43/暗褐色土
228	越前焼 壺	高: 8.0 底: 16.4 焼: 良好 色: 暗茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/8	胴部: 短砲弾形 底部: 平坦	外: 胴部下位回転ナデ/底部ナデ中央ヘラ記号 内: 胴部回転ナデ後ユビナデ/底部ナデ	第II区域 J52/SB3973/焼土
229	越前焼 播鉢	焼: 良好 色: 黄褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/10以下	底部: 平坦	外: 底部摩擦 内: 底部/幅2.5cm・10条の卸目/底面卸目交差	第II区域 I52/SB3973
230	土師器 小皿	口: 6.6 高: 1.4 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部短く上方へ屈曲/口端部内側に段あり 底部: 平底	外: 口縁部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部~底部ナデ	第II区域 I52/SB3973 片口状に歪む
231	土師器 小皿	口: 8.9 高: 2.4 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: やや外反して斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第II区域 I52/SB3973 片口状に歪む 口端部一部スス付着
232	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.1 底: 4.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第II区域 I52/SB3973 片口状に歪む 口端部全周スス付着
233	土師器 小皿	口: 8.4 高: 2.4 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段をもつ 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第II区域 J52/SB3973 片口状に歪む 口端部全周スス付着
234	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 3.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部で外方へ屈曲/口唇部は丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部~底部ナデ 内: 口縁部~底部ナデ	第II区域 I52/SB3973 片口状に歪む 口端部全周スス付着
235	白磁 皿	高: 1.1 底: 2.2 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/6	口縁部: 緩やかに内湾して外方へ立ち上がる 底部: 削出高台		第II区域 J50/SB3973
236	越前焼 壺	口: 19.0 高: 5.2 底: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部: 直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部外側把厚/口端部下端に条線1	外: 口縁部回転ナデ 内: 口縁部回転ナデ	第II区域 L47/SB3974 L43/暗褐色土
237	土師器 小皿	焼: 良好 色: 橙褐色	精緻 1/10以下	底部: 平坦	外: 底面凹凸あり 内: 底面線刻文様	第II区域 K48/SB3974
238	灰釉 卸皿	口: 12.0 高: 2.0 底: 良好 色: 浅緑黄色	極砂粒 堅緻 1/10以下	口縁部: 緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部内側は受口状に浅く凹む/口唇部は丸く収める	外: 口縁部回転ナデ/体部下位回転ナデ 内: 口縁部回転ナデ	第II区域 L48/SB3974 外: 体部下位露胎
239	青磁 皿	口: 13.0 高: 3.3 底: 5.4 焼: 不良 色: 灰オリーブ	精緻 1/5	口縁部: 外反して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部: 削出高台/高台端面は平坦/底部周縁面取り		第II区域 L46/SB3974 J46/SX4012 K47/茶褐色土 外: 底面~高台周縁露胎

IV. 第74・75次調査

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
240	青磁 皿	口: 13.0 高: 2.7 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/5	口縁部:外反して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める		第Ⅱ区域 L46/SB3974
241	青磁 稜花皿	口: 11.4 高: 2.0 焼: 良好 色: 灰オリーブ	精緻 1/8	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部やや外反/口唇部は丸く収め、 緩い波状に成形し花弁状にする		第Ⅱ区域 L46/SB3974
242	青磁 稜花盤	口: 31.8 高: 7.0 底: 12.0 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/4	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口端部で外方へ屈曲/口唇部は丸く収め、 緩い波状に成形し花弁状にする	外:口端部に条線が2条めぐり/体部 に浅い鑄蓮花文 内:口端部に花文状沈線・陰刻草花 文がめぐり	第Ⅱ区域 L46/SB3974 N45・M45/SD3986 第Ⅲ区域 B42/SS4008
243	青白磁 花入	口: 4.6 高: 1.6 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	口縁部:直線状に上方へ立ち上がる/ 口端部は外方へ屈曲/口唇部は丸く収 める/244と同一個体か?		第Ⅱ区域 L45/SB3974 第Ⅰ区域 N48/SB3977/褐色土
244	青白磁 花入	高: 7.8 底: 5.0 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	胴部:方柱状/琮形瓶 底部:高さ1.4cm/高台端面平坦	外:体部に算木状の文様陽刻	第Ⅱ区域 L43/SB3974 第Ⅰ区域 N47/SB3977/茶褐色土 M49/灰混整地土
245	白磁 壺	高: 2.0 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	胴部:上位で肩が張る		第Ⅱ区域 L45/SB3974
246	白磁 皿	口: 11.0 高: 1.9 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口端部は外反する/口唇部は 丸く収める		第Ⅱ区域 L46/SB3974
247	白磁 皿	口: 11.8 高: 2.2 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口端部は外反する/口唇部は 丸く収める		第Ⅱ区域 L46・47/SB3974
248	白磁 輪花皿	口: 11.2 高: 1.6 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/6	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収め、緩い波状に成形 し花弁状にする	外:口縁部～体部鑄蓮花文 内:口縁部～体部鑄蓮花文	第Ⅱ区域 L46/SB3974
249	白磁 輪花皿	口: 11.4 高: 3.7 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収め、緩い波状に成形 し花弁状にする 底部:削出高台	外:口縁部～体部鑄蓮花文 内:口縁部～体部鑄蓮花文	第Ⅱ区域 L46/SB3974
250	白磁 皿	口: 17.0 高: 2.5 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口端部は外反する/口唇部は 丸く収める		第Ⅱ区域 L46/SB3974
251	白磁 皿	口: 16.1 高: 2.6 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口端部は外反/口唇部は丸く 収める		第Ⅱ区域 L46/SB3974
252	染付 皿	口: 10.3 高: 1.5 焼: 良好 色: 透淡緑黄色	堅緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる	外:口端部に圏線2・圏線内に呉須列 点文を2段施す 内:口端部に圏線2	第Ⅱ区域 L48/SB3974
253	染付 皿	口: 11.6 高: 1.8 焼: 良好 色: 透青白色	堅緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる/口端部やや外反/口唇部 は丸く収める	外:体部に呉須文様 内:口端部に圏線1	第Ⅱ区域 L47/SB3974
254	染付 皿	高: 1.2 底: 9.0 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	底部:削出高台/碁笥高台	内:底部中央に呉須文様	第Ⅱ区域 L47/SB3974
255	越前焼 壺	口: 6.0 最: 12.2 高: 10.0 底: 9.0 焼: 良好 色: 黒茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/2	口縁部:直線状に短く外方へ開く/口 唇部は丸く収める 胴部:寸胴形/中位で肩が張る 底部:平坦	外:口縁部～胴部下位回転ナデ/底部 周縁ヨコナデ/胴部上位にヘラ記号 内:口縁部～胴部中位輪積み痕/胴部 中位～下位剥離痕	第Ⅱ区域 J45/SA4012 G44/炭混暗褐色土 G46/灰茶色土 外:胴部上位降灰/胴 部下位スス付着
256	越前焼 壺	最: 12.4 高: 9.0 底: 7.3 焼: 良好 色: 灰茶色	微砂粒 堅緻 1/3	胴部:中位で肩が張る 底部:平坦	外:胴部上位～中位回転ナデ/胴部下 位ヘラケズリ 内:胴部回転ナデ後指頭痕・ユビ ナデ	第Ⅱ区域 J45/SA4012 M45・N45/SD3986 外:降灰

7. 第74次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点
						備 考
257	越前焼壺	最: 11.4 高: 9.0 底: 8.0 焼: 良好 色: 暗赤茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/6	胴部:短砲弾形/中で肩が張る 底部:平坦	外:胴部上位~中位回転ナデ/胴部下 位回転ヘラケズリ 内:胴部回転ナデ後指頭痕	第II区域 J46/SA4012 第III区域 C41/炭混暗褐色土 E40/SS4066 外:降灰
258	越前焼水瓶	最: 8.4 高: 9.6 底: 6.8 焼: 良好 色: 暗赤茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/4	頸部:内傾して窄まる 胴部:下位で張る 底部:平坦	外:胴部上位~中位回転ナデ/胴部下 位回転ヘラケズリ/底部ナデ 内:胴部上位~中位回転ナデ/胴部 下位ナデ シャープな仕上げ	第II区域 J45~48/SA4012 I47~49/SA4012
259	越前焼火桶	口: 24.0 高: 7.8 焼: 良好 色: 暗灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:直線状に外傾して開く/口端 面は平坦	外:胴部上位回転ナデ 内:胴部上位回転ナデ/胴部中位摩擦	第II区域 J45/SA4012
260	越前焼播鉢	口: 24.0 高: 7.5 底: 12.0 焼: 良好 色: 赤茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/3	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面 は浅い凹面 底部:縄目痕	外:口縁部~体部回転ナデ/底面摩擦 内:回転ナデ/幅2.6cm・10条の播目	第II区域 J45/SA4012
261	越前焼播鉢	口: 40.8 高: 8.3 焼: 良好 色: 橙色	微砂粒 白色粒子 軟質 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部でやや上方へ屈曲/口端部 平坦/口端部内側に凹線	外:体部回転ナデ 内:体部回転ナデ/幅3.1cm・8条の播目/ 密 全体シャープな仕上げ	第II区域 J46/SA4012
262	瀬戸美濃鉄釉天目茶碗	口: 12.0 高: 5.7 焼: 良好 色: 茶黒色	極砂粒 精緻 1/6	口縁部:直線状に外方へ立ち上がり、 口端部で上方に屈曲/口唇部は短く外 傾し丸く収める	外:口縁部~体部中位回転ナデ 内:口縁部~底部回転ナデ	第II区域 J45/SA4012 外:体部下位露胎
263	朝鮮鉄釉瓶	高: 2.2 底: 14.0 焼: 良好 色: 黒褐色	極砂粒 精緻 1/10以下	底部:平底	外:体部下位回転ナデ 内:体部下位回転ナデ	第II区域 J45/SA4012 外:体部下位露胎 185の壺と同一個体
264	白磁皿	口: 12.2 高: 2.9 底: 6.8 焼: 良好 色: 透灰色	精緻 1/4	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる/口端部やや外反/口唇部 は丸く収める 底部:削出高台		第II区域 I49/SA4012/褐色土 第III区域 C52/灰褐色土 高台端面露胎
265	白磁皿	高: 1.2 底: 6.0 焼: 良好 色: 淡白灰色	精緻 1/10以下	底部:削出高台/基筒高台		第II区域 J46/SA4012 外:高台端面露胎
266	瀬戸美濃鉄釉天目茶碗	高: 3.1 底: 4.3 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 精緻 1/10以下	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部下位回転ヘラケズリ 内:口縁部~底部回転ナデ	第II区域 J46/SG4026 体部下位~底部露胎
267	土師器小皿	口: 6.6 高: 1.9 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第II区域 K50/SX4010 口端部一部スス付着
268	染付皿	高: 1.2 底: 4.0 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	底部:削出高台	外:底部に圏線2/底面に圏線2 内:底面に圏線2/圏線内に花文	第II区域 K49/SX4010
269	青磁稜花盤	口: 13.4 高: 2.3 焼: 良好 色: 暗オリーブ灰	精緻 1/10以下	口縁部:外反して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収め、緩い波状に成形 し花卉状にする	内:口端部に花文状沈線がめぐる	第II区域 M46/SS4005
270	越前焼壺	口: 11.0 高: 9.5 焼: 良好 色: 濃茶色	極砂粒 白色粒子 堅緻 1/8	口縁部:直線状に短く外方へ開く/口 端面はやや凹面 胴部:短砲弾形/中で張る	外:口縁部~胴部中位回転ナデ 内:口縁部回転ナデ/胴部回転ナデ後 指頭痕・ユビナデ シャープな仕上げ	第II区域 M45/SS4005 第I区域 N45/SD3986 N46/SF3998 外:胴部上位降灰
271	越前焼壺	高: 2.2 底: 8.0 焼: 良好 色: 暗茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/10以下	底部:平坦/条線1	外:胴部下位回転ナデ 内:胴部回転ナデ後ユビナデ	第II区域 M46/SS4005
272	越前焼播鉢	焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/10以下	口縁部:直線状に外方に立ち上がる/ 口端部で上方に外反/口端面内側に浅 い段をもつ	外:口縁部粗い回転ナデ 内:口縁部回転ナデ/幅2.8cm・10条 の播目	第II区域 M46/SS4005

IV. 第74・75次調査

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調 整 / 文 様	出土地点 備 考
273	越前焼 播鉢	焼: 良好 色: 淡橙褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/10以下	口縁部:直線状に外方に立ち上がる/ 口端面内側に浅い段をもつ/口端部 内側平坦	外:口縁部回転ナデ 内:口縁部回転ナデ/播目	第Ⅱ区域 M48/SS4005
274	越前焼 播鉢	焼: 良好 色: 白褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/10以下	口縁部:直線状に外方に立ち上がる/ 口端面内側に浅い段をもつ/口端部 平坦	外:口縁部回転ナデ 内:口縁部回転ナデ/幅3.0cm・10条 の播目	第Ⅱ区域 M48/SS4005
275	土師器 小皿	口: 11.8 高: 2.1 底: 7.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕/底部未調整 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ/体部 に同一方向から梵字・「鬼」・棒線 を記す/底部周縁に圏線/圏線内に棒線・ 呪文・星を記す	第Ⅱ区域 M47/SS4005
276	土師器 小皿	口: 11.8 高: 2.5 底: 6.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/体部に同一方向 から梵字・「三光」を記す/底部周縁 に圏線	第Ⅱ区域 M47/SS4005
277	灰釉 小皿	高: 1.2 底: 6.0 焼: 良好 色: 浅黄緑色	極砂粒 堅緻 1/10以下	底部:削出高台	外:底部中央回転ヘラケズリ	第Ⅱ区域 M46/SS4005
278	瀬戸美濃 鉄釉 皿	口: 10.4 高: 2.3 焼: 良好 色: 黒茶色	極砂粒 精緻 1/8	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める	外:口縁部～体部下位回転ナデ後回 転ヘラケズリ 内:口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅱ区域 M45/SS4005
279	瀬戸美濃 鉄釉 皿	口: 6.2 高: 1.4 焼: 良好 色: 明茶色	極砂粒 精緻 1/10以下	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める	外:口縁部回転ナデ/体部下位回転ヘ ラケズリ 内:口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅱ区域 M45/SS4005 外:体部下位露胎
280	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.4 高: 6.0 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 精緻 1/8	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上 がり、口端部で上方に屈曲/口唇部は短 く外傾し丸く収める	外:口縁部～体部下位回転ナデ 内:口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅱ区域 M47/SS4005 外:体部下位露胎
281	鉄釉 花瓶	最: 17.0 高: 3.8 焼: 良好 色: 暗灰色	極砂粒 堅緻 1/10以下	頸部:窄まりながら上方へ立ち上 がる 胴部:碗形/内湾して上方に立ち上 がる	外:頸部～胴部上位回転ナデ 内:頸部～胴部上位回転ナデ/指頭痕 がる	第Ⅱ区域 M48/SS4005
282	青磁 稜花盤	口: 13.8 高: 2.4 焼: 不良 色: 褐オリーブ灰	堅緻 1/10以下	口縁部:外反して外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収め、緩い波状に成形 し花卉状にする	内:口端部に花文状沈線2	第Ⅱ区域 M46/SS4005
283	白磁 皿	口: 12.0 高: 2.2 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立 ち上がる/口端部は外反する/口唇部は 丸く収める		第Ⅱ区域 M46/SS4005
284	白磁 皿	高: 1.7 底: 7.0 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立 ち上がる 底部:削出高台		第Ⅱ区域 M46/SS4005 高台端面露胎
285	染付 皿	口: 11.0 高: 2.2 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して斜め外 方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は 丸く収める	外:口端部に圏線1・呉須変形唐草文 内:口端部に圏線1	第Ⅱ区域 M46/SS4005
286	染付 皿	口: 12.0 高: 2.8 底: 6.6 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/5	口縁部:緩やかに内湾して斜め外 方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は 丸く収める	外:口端部に圏線1・呉須変形唐草文 内:口端部に圏線2/底面周縁に圏線 2/圏線内に花文	第Ⅱ区域 M46/SS4005
287	中国製品 交趾三彩 鉛釉 稜花皿	口: 6.0 高: 1.1 底: 3.8 焼: 良好 色: 暗赤色	精緻 1/10以下	口縁部:直線状に外方へ立ち上 がる/ 口端部外反/口唇部は丸く収め、緩い 波状に成形し花卉状にする		第Ⅱ区域 M46/SS4005 高台端面露胎
288	朝鮮 花入	口: 6.9 高: 4.1 焼: 良好 色: 暗赤紫灰色	極砂粒 精緻 1/10以下	口縁部:内湾して上方へ立ち上 がる/ 口端面平坦	外:口縁部回転ナデ 内:口縁部回転ナデ	第Ⅱ区域 M48/SS4005

7. 第74次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点
						備 考
289	土師器 小皿	口: 11.4 高: 2.5 底: 6.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底/中央凹む	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第II区域 E40/SS4066 片口状に歪む 口端部全周スス付着
290	越前焼 播鉢	焼: 良好 色: 橙色	微砂粒 白色粒子 軟質 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる	外:体部回転ナデ/花押墨書 内:体部回転ナデ/幅2.8cm・9条の播目/密 シャープな仕上げ	第II区域 D~I40/SS4066 第IV区域 K40/SD4058
291	灰釉 小皿	高: 1.6 底: 6.2 焼: 良好 色: 浅黄緑色	極砂粒 堅緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる 底部:削出高台/碁笥高台	外:口縁部回転ナデ/体部下位回転ヘラケズリ 内:口縁部回転ナデ	第II区域 I51/SS4007
292	土師器 小皿	口: 7.4 高: 1.8 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ヨコナデ	第II区域 I40/SD4090 片口状に歪む 内:一部スス付着
293	染付 皿	高: 2.2 底: 5.8 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/3	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部に唐草文/底部に團縁2 内:底部周縁に團縁2/團縁内に十字文	第II区域 I40/SD4090 高台端面露胎
294	越前焼 甕	口: 76.5 高: 85.5 最: 46.9 底: 28.3 焼: 良好 色: 暗灰色	極砂粒 白色粒子 堅緻 2/3	口縁部:短く外傾して立ち上がる/口端面は平坦/口縁部中央に沈線/口端部内側に段をもつ 胴部:上位で大きく張る/上位~底部にかけて窄まる 底部:平坦	外:口縁部ヨコナデ/胴部上位~下位ナデ/中位~下位ヘラナデ 内:口縁部ヨコナデ/胴部は幅10.0cmの粘土板を推定12段輪積み/接合部指頭痕/胴部下位~底部ナデ	第II区域 J51/SK4002
295	越前焼 甕	口: 82.0 高: 82.7 最: 88.2 底: 27.5 焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/8	口縁部:短く外傾して立ち上がる/口端面は平坦/口縁部中央に沈線/沈線下に稜あり/口端部内側に段をもつ 胴部:上位で大きく張る/上位~底部にかけて窄まる	外:口縁部ヨコナデ/胴部上位~下位ナデ/胴部上位に1種類の押印文(格子文)3点以上/中位~下位ヘラナデ4段 内:口縁部ヨコナデ/胴部は幅10.0cmの粘土板を推定10~12段輪積み/接合部指頭痕/上位~下位指頭痕5段	第II区域 I50/SK4003/P1
296	越前焼 甕	口: 76.5 高: 83.3 最: 81.4 底: 27.5 焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 4/5	口縁部:短く外傾して立ち上がる/口端面は平坦/口縁部中央に沈線/口端部内側に段をもつ 胴部:上位で大きく張る/上位~底部にかけて窄まる 底部:平坦	外:口縁部ヨコナデ/胴部上位~下位ナデ/胴部上位に3種類の押印文(三日月状の線刻+本+格子文)/下位ヘラナデ2段 内:口縁部ヨコナデ/胴部は幅10.0cmの粘土板を8段輪積み/接合部指頭痕/上位~下位指頭痕8~9段	第II区域 I50/SK4003/P2 I49/SX4012 外:胴部中位溶着剥がし痕 外:口縁部~胴部下位 半身自然釉付着
297	越前焼 甕	口: 82.0 高: 87.3 最: 85.0 底: 27.5 焼: 良好 色: 淡茶灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 4/5	口縁部:短く外傾して立ち上がる/口端面は平坦/口縁部中央に沈線/口端部内側に段をもつ 胴部:上位で大きく張る/上位~底部にかけて窄まる 底部:平坦	外:口縁部ヨコナデ/胴部上位~下位ナデ/胴部上位に2種類の押印文(大の線刻+本+格子文)/上位ヘラナデ1段/中位~下位ヘラナデ5段 内:口縁部ヨコナデ/胴部は幅6.5cmの粘土板を12段輪積み/接合部指頭痕/上位~下位指頭痕13~15段	第II区域 I50/SK4003/P3 I50/SK4003/P2 H50/褐色土 I49/SX4012 外:胴部中位溶着剥がし痕 外:口縁部~胴部下位 半身自然釉付着
298	越前焼 甕	口: 32.8 高: 10.0 最: 42.5 底: 27.7 焼: 良好 色: 茶色	極砂粒 白色粒子 精緻 1/6	口縁部:短く外傾して立ち上がる/口端面は平坦 胴部:上位で大きく張る 299と同一個体の可能性あり	外:口縁部ヨコナデ/胴部上位回転ナデ 内:口縁部ヨコナデ/胴部上位回転ナデ後指頭痕 シャープな仕上げ	第II区域 I50/SK4003/P2 J51/炭混焼土 第I区域 M50/SS4005 口縁部~胴部上位 自然釉
299	越前焼 甕	高: 17.5 最: 42.0 底: 11.4 焼: 良好 色: 淡茶灰色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/8	底部:平坦 298と同一個体の可能性あり	外:胴部下位回転ナデ 内:胴部下位回転ナデ/接合部指頭痕	第II区域 I50/SK4003/P2 I50/SK4003/P3 第I区域 N52/SE4022 内:降灰
300	越前焼 甕	口: 85.5 高: 89.8 最: 91.1 底: 27.7 焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 4/5	口縁部:短く外傾して立ち上がる/口端面は平坦/口縁部中央に沈線/口端部内側に段をもつ/平面楕円形 胴部:上位で大きく張る/上位~底部にかけて窄まる 底部:平坦	外:口縁部ヨコナデ/胴部上位~下位ナデ/胴部上位に3種類の押印文(T字の線刻)/上位~下位ヘラナデ6段 内:口縁部ヨコナデ/胴部は幅6.5cmの粘土板を17段輪積み/接合部指頭痕/上位~下位指頭痕8段/ユビナデ4段	第II区域 J50/SK4003/P4 I50/SK4003/P1 内:胴部中位部分的に スス付着/廃棄後に被 熱した?

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
301	越前焼壺	口: 24.7 高: 48.6 最: 43.1 底: 15.7 焼: 良好 色: 灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 須恵質 4/5	口縁部:短く外傾して立ち上がる/口 端面は平坦/口端部内側に段をもつ/ 胴部:上位で大きく張る/上位~底部 にかけて窄まる 底部:平坦	外:口縁部ヨコナデ/鈍い突帯2/胴部 上位~下位ナデ/胴部上位に1種類の 押印文(入)/胴部最下位ヘラナデ 内:口縁部ヨコナデ/胴部は幅8.0cm の粘土板を8~10段輪積み/接合部指 頭痕/上位~下位指頭痕6段	第Ⅱ区域 J51/SK4003/P5 内:口縁部~胴部中位 スス付着
302	越前焼壺	口: 10.0 高: 3.8 焼: 良好 色: 暗灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:短く内傾して短く立ち上がる/ 口端部下位に突帯/口端部は平坦	外:口縁部回転ナデ 内:口縁部回転ナデ	第Ⅲ区域 F52/SB3972
303	越前焼播鉢	焼: 不良 色: 白褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/10以下	口縁部:直線状に外方へ開く/口端部 は内側平坦/口端部内側に段をもつ	外:口縁部摩耗 内:回転ナデ/幅2.7cm・9条の播目	第Ⅲ区域 F52/SB3972
304	越前焼甕	高: 9.5 底: 15.8 焼: 良好 色: 茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	底部:平坦	外:体部下位体部回転ナデ/底部ヘラ ナデ/底面ナデ 内:回転ナデ後指頭痕/底面ナデ	第Ⅲ区域 C52/SB3972 E52/SB3972/焼土 D52/SB3972 内:降灰
305	土師器 小皿	口: 7.4 高: 1.8 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕 内:口縁部~底部ヨコナデ	第Ⅲ区域 D52/SB3972 片口状に歪む 内:一部スス付着
306	灰釉 小皿	口: 11.4 高: 2.9 底: 6.2 焼: 良好 色: 浅黄緑色	堅緻 1/3	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上 がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部~体部下位回転ナデ/底面 に輪トチン痕 内:口縁部~体部下位回転ナデ/底面 中央に菊花文押印	第Ⅲ区域 D52/SB3972 D52/炭混暗灰色土
307	越前焼播鉢	口: 23.2 高: 7.8 底: 13.0 焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/8	口縁部:直線状に外方へ開く/口端部 で上方にやや屈曲/口唇部は丸く収 める 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部~体部中位回転ナデ/底面 ナデ 内:回転ナデ/幅2.3cm・8条の播目/ 密	第Ⅲ区域 B43/SS4008 F44/炭混暗灰色土
308	越前焼播鉢	口: 42.0 高: 12.2 焼: 良好 色: 白褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/8	口縁部:直線状に外方へ開く/口端部 平坦/口端部内側に段をもつ	外:口縁部~体部下位回転ナデ/摩耗 内:口縁部~体部下位回転ナデ/幅 3.2cm・12条の播目/密	第Ⅲ区域 B49/SS4008
309	越前焼甕	口: 20.2 高: 6.2 焼: 良好 色: 灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:直線状に短く外方へ開く/口 端部平坦 胴部:上位で張る	外:口縁部~胴部上位回転ナデ 内:口縁部~胴部上位回転ナデ後指 頭痕/頸部接合痕	第Ⅲ区域 B42/SS4008
310	青磁鉢	口: 27.8 高: 8.6 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/10以下	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:欠損	外:体部に鎗蓮花文 内:体部に草花文	第Ⅲ区域 B44/SS4008 D51/茶色土 第Ⅴ区域 C34/暗褐色土
311	越前焼播鉢	口: 25.8 高: 8.3 底: 12.3 焼: 不良 色: 橙褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 3/4	口縁部:直線状に外方へ開く/口端部 浅く凹む/口端部内側に段をもつ 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部~体部中位回転ナデ/体部 最下位回転ヘラケズリ/底面未調整 内:回転ナデ/幅2.2cm・8条の播目/粗	第Ⅲ区域 F52/SE3993
312	越前焼播鉢	焼: 良好 色: 暗灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 須恵質 1/10以下	口縁部:直線状に外方へ開く/口端部 は浅い凹面/口端部内側に段をもつ	外:口縁部~体部中位回転ナデ 内:回転ナデ/幅2.6cm・10条の播目/ 密	第Ⅲ区域 F52/SE3993 E51・52/焼土
313	越前焼卸皿	焼: 良好 色: 暗赤褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 1/10以下	口縁部:直線状に短く外方へ立ち上 がる/口端部は浅い凹面/口端部内側に 段をもつ	外:口縁部回転ナデ 内:回転ナデ/幅2.3cm・8条の播目 シャープな仕上げ	第Ⅲ区域 F52/SE3993 E51・52/焼土
314	越前焼火桶	口: 23.4 高: 15.4 焼: 良好 色: 淡紫灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:直線状に外傾して立ち上がる/ 口端部平坦	外:口縁部~体部中位体部回転ナデ 内:回転ナデ後指頭痕 シャープな仕上げ	第Ⅲ区域 F52/SE3993
315	越前焼壺	高: 7.2 底: 14.0 焼: 良好 色: 灰褐色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	底部:平坦	外:体部下位体部回転ナデ/底面ナデ 内:回転ナデ後指頭痕/底面ナデ	第Ⅲ区域 F52/SE3993 外:水垢付着

7. 第74次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
316	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.2 高: 2.7 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 1/10以下	口縁部: やや内湾して外方へ立ち上がり、口端部で上方に屈曲/口唇部は短く外傾し丸く収める	外: 口縁部~体部下位回転ナデ 内: 口縁部~体部下位回転ナデ	第Ⅲ区域 F52/SE3993
317	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	高: 1.2 底: 4.6 焼: 良好 色: 暗紫灰色	精緻 1/10以下	底部: 削出高台		第Ⅲ区域 F52/SE3993 外: 底部露胎
318	青磁 瓶	最: 27.6 高: 13.2 焼: 良好 色: オリーブ灰	堅緻 1/10以下	胴部: 上位で張る	外: 胴部中に草花文・鋪蓮花文 内: 胴部回転ナデ	第Ⅲ区域 F52/SE3993 I51/SK4003-P3
319	白磁 皿	高: 2.3 底: 6.0 焼: 良好 色: 赤褐色	精緻 1/10以下	口縁部: 緩やかに内湾して外方へ立ち上がる 底部: 削出高台		第Ⅲ区域 F52/SE3993 全体水垢 高台端部露胎
320	白磁 杯	口: 8.2 高: 4.0 底: 2.9 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/2	口縁部: 緩やかに外反して立ち上がる 底部: 削出高台		第Ⅲ区域 F52/SE3993 F51/焼土 第Ⅱ区域 G52/焼土
321	染付 碗	口: 12.0 高: 4.3 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/8	口縁部: 緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める	外: 口縁部上位に具須園線2/体部に具須花文 内: 口端部に園線2	第Ⅲ区域 F52/SE3993 F51/焼土

土製品(PL. 63 第42図)

単位:cm/g

単位:cm/g

No	器種	長 幅	厚 重	残 存	材質 色調	特 徴	出土地点	No	器種	長 幅	厚 重	残 存	材質 色調	特 徴	出土地点
322	土製模造品 鉢	2.8 3.4	-	1/2	土師質 白褐色	外: ミガキ 内: ミガキ	第Ⅲ区域 E44/黒灰色土	339	火箸	14.7 0.4	0.4 -	1/2	銅製品	先端は土筆状に加工/断面円形	第Ⅲ区域 D43/暗灰色土
323	土製模造品 鉢	3.0 2.8	-	1/8	土師質 白褐色	外: ミガキ 内: ミガキ	第Ⅱ区域 G50/遺構面	340	火箸	7.8 0.5	0.4 -	1/3	銅製品		第Ⅲ区域 F43/暗灰色土
324	土製模造品 甌	6.0 3.4	-	1/10	土師質 白褐色	口縁部左右耳に 径0.2cmの穿孔 外: ミガキ 内: ミガキ	第Ⅲ区域 E48/黒灰色土	341	煙管 雁首	6.7 1.0	0.1 -	1/1	銅製品	火皿径1.7cm 火皿高0.8cm Ⅵ段階1900年以降	第Ⅲ区域 D46/茶褐色土
325	蓋	6.0 1.7	-	1/4	土師質 橙褐色	外: ミガキ 内: ミガキ	第Ⅲ区域 E48/黒灰色土	342	煙管 雁首	6.3 1.3	0.1 -	1/1	銅製品	火皿径1.7cm 火皿高0.9cm 小口圧潰 Ⅱ段階1650~1700年	第Ⅰ区域 P47/SB3977
326	瓦質土器 器台	8.0 3.7	5.5 -	1/4	瓦質 黒色	外: 黒色磨研 内: 黒色磨研	第Ⅲ区域 F41/暗灰色土	343	煙管 雁首	5.8 0.8	0.1 -	1/1	銅製品	火皿径1.6cm 火皿高0.8cm Ⅴ段階1800~1900年	第Ⅲ区域 E45/茶色土
327	灯心押さえ	3.3 -	- 0.3	1/1	土師質 淡橙褐色	灯芯孔0.5cm スス付着	排土	344	煙管 吸口	6.3 1.3	0.1 -	1/1	銅製品	小口径1.0cm 吸口径0.5cm	第Ⅲ区域 E43/茶褐色土
328	薬研	13.8 -	- 2.8	1/2	越前焼 淡赤茶色	方形柄孔1.6cm 周縁摩耗	第Ⅲ区域 F45/黒灰色土	345	矢柄	5.0 1.1	1.0 -	-	銅製品	鉄鏃の茎: 径0.5cm 木芯を被覆?	第Ⅲ区域 P49/SE3990

金属製品(PL. 64 第42図)

単位:cm/g

No	器種	長 幅	厚 重	残 存	材質 色調	特 徴	出土地点	No	器種	長 幅	厚 重	残 存	材質 色調	特 徴	出土地点
329	指輪	2.3 2.1	0.5 -	1/1	銅製品	中石: 宝珠形 中石径: 0.6cm 中石高: 0.3cm 指内径: 1.4cm	第Ⅲ区域 E47/黒灰色土	346	筒状金具	5.0 1.0	0.2 -	1/2	銅製品		第Ⅲ区域 E50/黄褐色土
330	兜金	4.0 1.0	0.1 -	1/4	銅製品	径0.3cmの円孔2 断面U字形	第Ⅲ区域 E48/黒灰色土	347	筒状金具	6.6 1.5	0.1 -	-	銅製品	上端欠損 圧潰	第Ⅲ区域 P49/SE3990 焼土
331	鉄砲玉	1.1 1.3	0.9 -	1/1	鉛製品	凹みあり	第Ⅲ区域 D51/茶色土	348	筒状金具	8.0 0.9	0.1 -	1/2	銅製品	両端欠損	第Ⅲ区域 P49/SE3990
332	小柄	9.8 1.5	0.5 -	1/1	銅製品	柄部	第Ⅲ区域 D47/暗褐色土	349	責金具	3.2 0.8	0.2 -	1/1	銅製品	一部金付着 全体歪む	第Ⅱ区域 H45/砂層
333	小柄	4.4 1.4	0.3 -	1/4	銅製品		第Ⅰ区域 M50/整地土	350	責金具	3.3 0.8	0.2 -	1/1	鉄製品	全体錆化 断面三角形	第Ⅰ区域 O44/焼土
334	花瓶	14.0 1.8	0.2 -	1/10	銅製品		第Ⅱ区域 P48/SE3991/ 焼土	351	飾金具	13.5 0.2	0.2 -	1/1	銅製品	先端1/3屈曲 金箔付着	第Ⅲ区域 D48/暗灰色土
335	引手	12.0 4.7	0.6 -	1/1	鉄製品	形状: コの字形 両端をJ字に屈曲/ 装着金具が残る	第Ⅲ区域 B52/SS4008	352	飾金具	4.0 4.5	0.1 -	1/1	銅製品	形状: 林檎形	第Ⅰ区域 Q45/畦
336	鉄釘	4.0 0.5	0.4 -	1/2	鉄製品	釘頭平坦	第Ⅲ区域 D46/暗灰色土	353	板状金具	10.5 0.8	0.1 -	1/3	銅製品	薄板	第Ⅲ区域 F48/暗褐色土
337	環付金具	4.4 2.9	0.8 -	1/1	鉄製品	環: 楕円形 径: 3.0cm 断面径0.3cm 座金具: 左右押圧	第Ⅱ区域 P48/SE3991 焼土								
338	灯心押さえ	1.2 1.2	0.1 -	1/1	銅製品	中央孔: 径0.5cm	第Ⅲ区域 B42/SS4008								

IV. 第74・75次調査

木製品(PL.64 第42図)(樹種同定:鈴木三男・能城修一(355～359)、渡邊英明(354))

単位:cm

No	器種	法量(最大値)		残存	木取 樹種	特徴	出土地点
		長 幅	高 材厚				
354	漆器椀	12.9	5.0	1/10	榎目 ブナ属	体部は内傾して上方へ立ち上がる 体部外面:黒漆地に朱漆で開扇文を描く 体部内面:朱漆/歪み大	第Ⅲ区域 C43/SF4000 青灰色腐植土
		-	1.0				
355	錠前	3.5	-	1/1	榎目 ヒノキ	形状:コの字形/上端面はやや丸みをもつ/下端部中央をコの字に挟る 下端部左右に径0.3cmの穿孔 断面:杏仁形	第Ⅰ区域 P50/SE3990 焼土
		2.2	1.3				
356	木筒	9.3	-	-	板目 ヒノキ	薄手の板材/上端は平坦 表裏面:墨書の痕跡 断面:扁平	第Ⅱ区域 L43/SD2261 暗褐色土
		1.1	0.3				
357	木筒	11.5	-	1/1	榎目 ヒノキ	薄手の板材/上端左右隅は面取り 表面:「□南無」 裏面:「□□□」 断面:扁平	第Ⅱ区域 L43/暗褐色土
		2.3	0.4				
358	木筒	14.7	-	-	榎目 ヒノキ	薄手の板材/上端は平坦 表面:「□為?□稻□升」の墨書 断面:扁平	第Ⅱ区域 L41/耕作土下 褐色砂質土
		2.8	0.4				
359	木筒	24.9	-	1/1	板目 ヒノキ	薄手の板材/上端左右隅は面取り 表面:「□□□ひと」 断面:扁平	第Ⅱ区域 L43/暗褐色土
		3.0	0.4				

石製品(PL.65・66 第43～45図)

単位:cm

No	器種	法量(最大値)				残存	石材 色調 材質	調整・特徴	備考	出土地点
		長径	短径	厚	重					
360	石硯	10.1	8.0	2.3	-	1/10 以下	安山岩 暗赤灰色 硬質	形状:板状 外:竹林・鳥を陽刻	全体平滑 岡:摩滅/海:摩滅/ 墨付着 挿手処あり	第Ⅰ区域 O45/表土
361	石硯	3.1	2.0	0.5	-	1/2	粘板岩 黒色 硬質	形状:板状 額幅0.3cm、高さ0.5cm 表:欠損	全体平滑 岡:欠損/海:欠損 挿手処あり/懐中 硯	第Ⅲ区域 G51/焼土
362	温石	6.3	3.0	1.3	-	1/1	デイサイト 明茶色 硬質	形状:板状の直方体/上位に径0.6cmの 円孔を穿つ 研面:表裏面・左右側面 下端部欠損	研面4	第Ⅰ区域 P47/SB3977
363	石臼 上臼	口径 30.0	高 11.0	底径 30.1	-	1/2	笏谷石 暗灰色 軟質	形状:扁平円柱 上面:平坦/周縁帯は厚さ2.7cm、高さ 1.8cmと推定 側面:タタキ/側面中位に長方形の挽柄 穴1ヶ所 下面:中心に径2.2cm、深さ4.4cmの軸受 穴を穿孔/凹面	播面主溝は8分画し、 1分画に右下がりの 副溝を7条刻む/ 分画は不均一/主 溝幅3～4mm、深さ 1.2mm/溝の断面は V字形 大半破損/意図的 に破壊を受けて いる	第Ⅰ区域 排土
364	茶臼 下臼	上端 径 19.9	播面 高 3.4 高 12.5	最大 39.7 底径 32.0	-	1/2	笏谷石 淡緑灰色 軟質	形状:皿形扁平円柱 上面:播面/平坦/中心に径2.3cm、深さ 8.4cmの軸受穴を穿孔/播面周縁に受部/ 幅9.8cm/端面幅2.4cm 側面:ハの字に踏ん張る底部に内湾して 立ち上がる受部が付く/タタキ 底部:側面/平滑/底面/軸受穴を中心に 凹面/タタキ	播面摩擦 大半破損。意図的 に破壊している 外:受部スス付着	第Ⅱ区域 L45/畦
365	茶臼 下臼	上端 径 20.0	播面 高 4.8 高 11.8	最大 38.7 底径 30.8	-	1/2	笏谷石 淡緑灰色 軟質	形状:皿形扁平円柱 上面:播面/平坦/中心に径2.3cm、深さ 7.0cmの軸受穴を穿孔/播面周縁に受部/ 幅7.1cm 側面:ハの字に踏ん張る底部に内湾して 立ち上がる受部が付く/平滑 底部:側面/平滑/底面/軸受穴を中心に 凹面/タタキ	播面主溝は7分画 と推定/1分画に右 下がりの副溝を4～ 6条刻む/分画は不 均一/補刻は乱雑/ 主溝幅2mm、深さ 1.2mm/溝の断面は V字形 大半破損/意図的 に破壊を受けて いる	表土
366	石鉢	口径 31.0	高 9.8	-	-	1/10 以下	笏谷石 暗灰色 軟質	形状:円形 外:平滑/口縁部は内湾して上方へ立ち 上がる/口端部平坦/幅2.5cm 内:口端部内側は突出 下位欠損	全体平滑/水垢付着	第Ⅰ区域 N52/SE4022
367	石盤	-	高 6.3	底径 36.1	-	1/4	笏谷石 暗灰色 軟質	形状:円形 外:口縁部欠損/底部平滑 内:底部平滑 底部に高さ2.8cmの脚部2ヶ所	全体平滑	第Ⅰ区域 P48/SE3991

7. 第74次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量(最大値)				残存	石材 色調 材質	調整・特徴	備考	出土地点
		長径	短径	厚	重					
368	石盤	口径 39.0	高 10.0	底径 32.8	-	1/3	笏谷石 茶色 軟質	形状:楕円形 外:平滑/口縁部幅1.5cm/体部平滑/底部粗いタタキ 内:体部平滑/底面タタキ 底部に高さ0.8cmの脚部/推定4ヶ所	全体平滑	第Ⅲ区域 F52/SE3993
369	石盤	口径 41.0	高 11.0	底径 34.0	-	1/2	笏谷石 淡緑灰色 軟質	形状:楕円形 外:平滑/口縁部幅1.5cm/体部タタキ/底部粗いタタキ 内:体部平滑/底面タタキ 底部に高さ1.8cmの脚部/推定4ヶ所	全体平滑	第Ⅰ区域 P48/SE3991
370	石櫃	口径 14.5	高 12.5	4.1	-	1/10 以下	笏谷石 淡青緑色 軟質	形状:方形(推定) 外:口縁部幅2.5cm/平坦/内外面取り/体部タタキ 内:体部平滑	全体平滑	排土
371	バンドコ	横幅 15.7	高 4.0	奥行 15.7	-	1/2	笏谷石 淡灰褐色 軟質	D形バンドコの蓋 外:笠状に成形/平滑/中央に径6.0cm(推定)の楕円形透孔 内:身と接合する周縁に段をつくる/左半欠損	全体平滑	第Ⅰ区域 M45/SS4005
372	バンドコ	横幅 21.7	高 9.0	奥行 17.4	-	1/3	笏谷石 淡緑青色 軟質	D形バンドコ 外:平滑/正面に幅1.7cmの長方形透孔が4ヶ所あったと推定/左右側底部に脚/奥側では脚は無し 内:粗いタタキ	全体平滑	第Ⅱ区域 G40/SS4066
373	石仏	13.8	16.1	6.9	-	1/2	笏谷石 淡緑青色 軟質	地藏菩薩/立像 表:左手に宝珠/右手に錫杖 裏:粗いタタキ 頭部・脚部欠損		第Ⅲ区域 B51/SS4008
374	五輪塔 (火輪)	上幅 10.7	高 13.6	下幅 16.8	-	1/1	笏谷石 淡緑灰色 軟質	形状:平面方形/笠形 外:上端部中央に径6.7cm、深さ4.0cmの円孔を穿つ/笠部に「蓮」の線刻/金泥残存 底面:平坦/中央に径8.8cm、深さ6.0cmの円孔を穿つ	全体水垢/本来は上から「妙法蓮華経」と刻まれていたと推定	第Ⅰ区域 N52/SE4022
375	五輪塔 (地輪)	幅 26.0	高 24.8	奥行 25.3	-	4/5	笏谷石 茶褐色 軟質	形状:方柱 上端部:一部欠損/隅は面取り 正面:月輪、蓮座、梵字、法名、命日を線刻/蓮座周辺に金泥残存 下端部:一部欠損/一辺15cm四方、深さ17.5cmの削り抜き/粗いタガネ	全体水垢 正面中央:上位中央に月輪と蓮座文を施し月輪中央に梵字「ア」を施す 月輪下:「権大僧都法印長善」 正面右:永祿八年 正面左:正月三日	第Ⅲ区域 F52/SE3993
376	井戸枠	58.3	高 25.0	16.0	-	1/10 以下	笏谷石 淡灰緑色 軟質	板材/井戸枠上端が残存 井戸枠:横12.5cm×縦11.0cm/断面方形	全体/タガネ	第Ⅲ区域 F52/SE3993
377	化石	22.0	19.0	8.7	-	1/10 以下	砂岩 黄褐色 硬質	「桑島の爪石」と呼称 シジミガイを主とする砂岩質の化石/シジミガイの石灰分が溶け出し、爪跡に見える	主に白山手取続の岩層で産出 鑑賞飾りとして搬入したものか?	第Ⅲ区域 F52/SE3993

錢貨(PL.66・67 第45・46図)

単位:cm/g

単位:cm/g

No	種類 台帳番号	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点	No	種類 台帳番号	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点
		径	厚	重						径	厚	重			
378	開元通寶 32394	2.5	0.13	2.8	1/1	唐 初鑄621年	排土	408	聖宋元寶 31936	2.4	0.13	2.6	1/1	北宋 初鑄1101年	不明
379	開元通寶 7009	2.5	0.10	2.6	1/1	唐 初鑄621年	第Ⅱ区域 L46/SB3974	409	政和通寶 7334	2.4	0.10	2.9	1/1	北宋 初鑄1111年	第Ⅰ区域 M42/SB4013 青色山土
380	開元通寶 8208	2.5	0.10	2.8	1/1	唐 初鑄621年	第Ⅰ区域 N41/遺構面	410	政和通寶 8535	2.5	0.15	3.1	1/1	北宋 初鑄1111年	第Ⅰ区域 N44/SB4097
381	咸平元寶 4083	2.5	0.10	2.7	1/1	北宋 初鑄998年	第Ⅱ区域 H50/SS4007	411	正隆元寶 7007	2.5	0.14	2.9	1/1	金 初鑄1157年	第Ⅱ区域 L46/SB3974
382	景德元寶 30100	2.4	0.15	2.4	1/1	北宋 初鑄1004年	第Ⅲ区域 F45/炭混暗灰色土	412	紹熙元寶 4808	2.4	0.14	2.1	1/1	南宋 初鑄1190年	第Ⅱ区域 I47褐色土
383	天聖元寶 11911	2.4	0.10	2.0	1/1	北宋 初鑄1023年	第Ⅲ区域 F47/灰茶色砂層	413	洪武通寶 27118	2.3	0.14	2.3	1/1	明 初鑄1368年	第Ⅱ区域 L52/遺構面
384	天聖元寶 7600	2.5	0.14	2.6	1/1	北宋 初鑄1023年	第Ⅰ区域 M44/SB4097 褐色炭混土	414	洪武通寶 3503	2.3	0.18	1.8	4/5	明 初鑄1368年	第Ⅲ区域 F62遺構面
385	明道元寶 9016	2.4	0.04	0.8	2/3	北宋 初鑄1032年	第Ⅰ区域 N52/SE4022 褐色砂質土	415	洪武通寶 25992	2.3	0.12	1.7	4/5	明 初鑄1368年	第Ⅱ区域 G49/遺構面
386	景祐元寶 29878	2.5	0.11	2.8	1/1	北宋 初鑄1034年	第Ⅲ区域 F44/炭混暗灰色土	416	永樂通寶 31642	2.5	0.14	2.2	1/1	明 初鑄1408年	不明
387	皇宋通寶 7008	2.5	0.10	2.0	1/1	北宋 初鑄1038年	第Ⅱ区域 L46/SB3974	417	永樂通寶 32395	2.5	0.14	2.8	1/1	明 初鑄1408年	排土
388	皇宋通寶 9208	2.5	0.09	2.3	1/1	北宋 初鑄1038年	第Ⅰ区域 O41/黄色土下層	418	永樂通寶 3978	2.3	0.10	1.4	1/1	模造錢 中世末～ 近世初	第Ⅱ区域 H50/褐色土
389	皇宋通寶 455	2.5	0.18	2.9	1/1	北宋 初鑄1038年	第Ⅲ区域 B43/SS4008	419	元豐通寶 5921	2.4	0.14	1.8	1/1	模造錢 中世末～ 近世初	第Ⅱ区域 J51/SK4002
390	皇宋通寶 11077	2.4	0.10	2.1	1/1	北宋 初鑄1038年	第Ⅲ区域 C41/SB3971 茶褐色砂層	420	元祐通寶 9622	2.4	0.11	1.3	1/2	模造錢 中世末～ 近世初	第Ⅰ区域 O49/SB3976
391	熙寧元寶 6459	2.7	0.11	1.7	3/4	北宋 初鑄1068年	第Ⅱ区域 K51/SD3984	421	□□□寶 6543	2.4	0.14	2.7	1/1	-	第Ⅱ区域 K52/SD3984 炭混褐色土
392	熙寧元寶 8536	2.4	0.13	3.5	1/1	北宋 初鑄1068年	第Ⅰ区域 N44/SB4097	422	□□□寶 8537	2.3	0.10	2.3	1/1	-	第Ⅰ区域 N44/SB4097
393	熙寧元寶 10503	2.4	0.13	3.3	1/1	北宋 初鑄1068年	第Ⅰ区域 P45/黄色土下層	423	□□元寶 11670	2.5	0.13	1.2	2/5	-	第Ⅲ区域 E48/茶色砂礫層
394	元豐通寶 7071	2.4	0.15	3.4	1/1	北宋 初鑄1078年	第Ⅱ区域 L47/燒土混褐色土	424	元□□寶 12717	2.4	0.10	1.3	1/2	-	第Ⅰ区域 N45/茶褐色砂層
395	元豐通寶 10278	2.4	0.11	2.7	1/1	北宋 初鑄1078年	第Ⅰ区域 P43/SB4013	425	元□□寶 8960	2.4	0.13	1.9	1/2	-	第Ⅰ区域 N50/SB3976 灰黄色土
396	元豐通寶 10914	2.3	0.10	1.6	1/1	北宋 初鑄1078年	第Ⅰ区域 P50/SB3976/燒土	426	□□□□ 20086	2.3	0.08	2.0	1/1	-	第Ⅲ区域 F43/炭混暗褐色土
397	元豐通寶 17314	2.3	0.14	1.6	4/5	北宋 初鑄1078年	第Ⅲ区域 E44/炭混黑灰色土	427	□□元寶 20733	2.4	0.13	2.7	1/1	-	第Ⅲ区域 F45/炭混暗褐色土
398	元豐通寶 26686	2.5	0.12	2.8	1/1	北宋 初鑄1078年	第Ⅰ区域 P44/下層黄灰色土	428	□□□□ 27119	2.4	0.13	1.5	1/1	-	第Ⅱ区域 L52/遺構面
399	元豐通寶 32396	2.4	0.13	3.2	1/1	北宋 初鑄1078年	排土	429	□□□□ 29058	2.4	0.14	2.5	1/1	-	第Ⅲ区域 E45/炭混暗灰色土
400	元祐通寶 26687	2.5	0.10	2.3	4/5	北宋 初鑄1086年	第Ⅰ区域 P44/下層黄灰色土	430	□□□寶 5920	2.5	0.18	2.5	1/1	-	第Ⅱ区域 J51/SK4002
401	紹聖元寶 12759	2.4	0.15	3.1	1/1	北宋 初鑄1094年	第Ⅰ区域 N46/SB3977 茶褐色砂層	431	□□□□ 6305	2.3	0.90	1.4	1/1	-	第Ⅱ区域 K48/SB3974
402	紹聖元寶 31569	2.4	0.13	3.0	1/1	北宋 初鑄1094年	第Ⅰ区域 P52/SX4093 燒土層	432	□□□□ 27606	2.4	0.14	2.7	1/1	-	第Ⅲ区域 C46/SA3970 炭混暗灰色土
403	紹聖元寶 7072	2.4	0.14	2.8	1/1	北宋 初鑄1094年	第Ⅱ区域 L47/燒土混褐色土	433	□□□□ 32397	2.4	0.14	2.7	1/1	-	排土
404	紹聖元寶 8835	2.4	0.14	3.1	1/1	北宋 初鑄1094年	第Ⅰ区域 N48/SD3985	434	□□□□ 32398	2.3	0.12	2.1	1/1	-	排土
405	紹聖元寶 8538	2.4	0.14	2.6	1/1	北宋 初鑄1094年	第Ⅰ区域 N44/SB4097	435	□□□寶 473	2.3	0.14	3.1	1/1	-	第Ⅲ区域 B44/SS4008
406	聖宋元寶 8391	2.5	0.14	2.4	1/1	北宋 初鑄1101年	第Ⅰ区域 N43/SB3978 黄色土/下層	436	□□□□ 10614	2.4	0.12	2.5	1/1	-	第Ⅰ区域 P46/SB3977 燒土
407	聖宋元寶 22771	2.5	0.13	1.6	2/3	北宋 初鑄1101年	第Ⅲ区域 F48/炭混暗褐色土								

8. 第75次調査遺物 (PL. 68～78 第47～61図、第5表)

遺物は、第Ⅳ・Ⅴ区域の土器(陶磁器類)1～257、土製品 258～263、金属製品 264～292、骨角製品 293・294、石製品 295～314、木製品 315～323、繊維 324、銭貨 325～512を図化した。詳細は第5表に記した。

第Ⅳ・Ⅴ区域包含層出土土器 (PL. 68・69 第47・48図)

越前焼 1は外面底部周縁に縄目痕をもつ。2は口径 22.0 cmを測る短頸壺である。越前焼はこれだけではなく、Ⅳ・Ⅴ区域では鉢が多く出土しているが、諸事情により、これらの資料についてはあらためて別稿で報告する。土師器皿 3～45は、68・74 次の分類と照合すると、下記のタイプに区分された。

- ①【3～6】:器形は浅鉢形。B類に属す。口縁部は内湾して立ち上がる。口径 6.2～6.4 cm、器高 1.3～2.0 cm。底部は丸底。内外面の調整はナデ後指頭痕を伴う。
- ②【7～9・11・13】:器形は浅皿形。C類に属す。口縁部は直線状に斜め外方へ立ち上がる。底部は平底。口径 7.8～9.2 cm、器高 1.3～2.2 cm、底径 4.0～4.8 cmを測る。外面体部はナデ後指頭痕が残る。
- ③【14】:器形は浅皿形。C類に属す。②の小型品。口縁部は直線状に斜め外方、または外反して立ち上がる。底部は平底。口径 7.2 cm、器高 1.5 cm、底径 3.0 cmを測る。
- ④【15～42】:器形は杯形。C類に属す。口縁部は直線状に斜め外方、またはやや外反して立ち上がる。底部は平底。外面口縁部中位に強いヨコナデによる段を有す。口径 8.4～11.6 cm、器高 1.6～2.6 cm、底径 3.7～6.0 cmを測る。口唇部は丸く収める。口端部内側に段をもつ。法量でさらに区分される。
- ⑤包含層出土の土師器皿でタイプ⑤の個体なし。
- ⑥【43～45】:器形は盤形。D類に属す。大型品。口縁部は直線状に斜め外方に立ち上がる。底部は平底。口径 14.8～19.8 cm、器高 2.3～2.6 cm、底径 6.6～10.5 cmを測る。口縁部中位に強いヨコナデによる段を有す。底部は未調整であり、型押し成形でつくられている。

鉄釉 48～50は、48が茶入れ、49が香炉である。50の鉢は漆継ぎの痕が残る。灰釉皿 52は内面底部中央に酢漿草^{かたばみ}の押印をもつ。灰釉香炉 54は底部周縁に三角板の脚を3ヶ所配置しているが、底部中央で接地している。瓦質香炉 55・56は寸胴形の体部を有し、ミガキで調整されている。55にはS字渦卷文、56には円形列点文が施されている。青磁碗 57は線刻で蓮華文が施され、皿 59は内外面に花卉状の鎬をいれている。皿 60は口縁部に切れ込みをいれて、花卉状に成形している。皿 61は口径 10.4 cmを測る。白磁皿 63・64・66の底部は割り高台であり、63と66の内面底面にトチン痕が残る。皿 67は内外に蓮花文の鎬をいれた優品である。染付は69～73あり、皿 71は外面口端部に波濤文、底部に芭蕉文を描き、底は碁笥底である。皿 72は底面に花瓶挿した梅花文、杯 73は内面底面に太湖石を描いている。

第Ⅳ区域遺構出土土器 (PL. 69～72 第48～51図)

SB4051 出土 (PL. 69 第48図) 越前焼 74・75、土師器皿 76～79、瓦質香炉 80が出土した。74はお歯黒壺であり、胴部上位にヘラ記号をもつ。75は胴部上位に突帯が付き、備前焼の模倣品の可能性がある。土師器皿 79はタイプ④であり、内面底部に墨書で葛^{かずら}を描き、体部に波状線をめぐらせ、桃・柏葉・カブなど描いている。外面底面には呪符の記号を記している。瓦質香炉 80は黒色磨研し、外面体部に円形列点文が施されている。

SB4048 出土 (PL. 70 第48・49図) 土師器皿 81～93、青磁碗 94、鉄釉天目茶碗 95～97、白磁 98・99、染付 100・101が出土した。土師器皿は全てタイプ④である。青磁碗 94は深身で高台が高く、外面体部に蓮花文が陰刻されている。白磁皿 98・99は口径 12.0～13.0 cm、器高 3.0～3.1 cmを測り、口端部が外反する。染付皿 100は外面体部に簡略した蓮華を描き、蓮華の左右に葉を配置している。皿 101は内面底面に仏器(転法輪または羯磨)を意匠にした十字文と圏線を描き、外面体部には草花文を描いている。

SB4049 出土 (PL. 70 第49図) 越前焼播鉢102は口径41.0cmを測る大型品であり、体部下位に縄目痕が残る。体部中位には「八日市」の墨書が見える。

SB4078 出土 (PL. 70 第49図) SE4061、SX4084などの井戸や洗い場を含む礎石建物である。土師器皿105・106はタイプ②、111はタイプ⑥であり、104・107～110・112・113はタイプ④である。青白磁115は稜花皿であり、内面底部に呉須で十字花文を描く。染付皿116は内面に玉抱き獅子文、外面に草花文を施す。朝鮮鉢117は口端部が外方へ突帯状に屈曲し、斜行押圧を加えている。

SB4054 出土 (PL. 71 第49図) 越前焼播鉢118は体部下位に縄目痕が残り、内面底部で播目が交差する。白磁皿119・120は優品である。

SV4073 出土 (PL. 71 第49図) 鉄釉壺123・124は同一個体である可能性が高い。底部は平底である。

SD4058 出土 (PL. 71 第50図) 第I区域と第IV区域の境となる溝である。越前焼播鉢125は体部下位に縄目痕が残り、内面底部で播目が交差する。灰釉壺127は胴部上位で肩が張り、内外面に回転ナデが残る。土師器羽釜128は径10.0cmを測り、受部は平滑であり、体部にススが付着する。染付皿130は内面底面に圏線2、呉須文様を施し、外面に簡略した呉須文様を配置する。底部は碁笥底である。

SD4059 出土 (PL. 71 第50図) 越前焼火鉢131は寸胴形の体部を有し、口径21.0cm、器高18.8cmを測る。内面は回転ナデ後、指頭痕が残る。灰釉皿135は内面底部に菊花文の押印をもつ。青磁香炉136は底部周縁に三角板の脚が3方向に付き、脚の外面に簡略化された獣面が線刻されている。

SD4057 出土 (PL. 71・72 第50・51図) 土師器139・140・143・144がタイプ①、138・141・142はタイプ③、145～150はタイプ④、151はタイプ⑥である。鉄釉瓶子155はフラスコ形の器形を呈し、体部下位に回転ヘラケズリ、底面に回転ヘラ切りの痕が残る。青磁碗156は浅身の碗である。染付碗159の外面口端部には呉須の文様帯を描き、体部下位に芭蕉文を施す。朝鮮壺161は下膨れの器形を有し、器壁は極薄である。朝鮮鉢162は口端部が帯状に突出しているが、体部の器壁は162と同様に薄い。

SE4061 出土 (PL. 72 第51図) 高杯163は古墳時代前期の高杯脚柱部であり、混入品である。越前焼壺164は短砲弾形の器形を呈し、胴部上位にヘラ記号をもつ。底部は平底だが未調整である。

第V区域遺構出土土器 (PL. 72～74 第51～54図)

SB4043 出土 (PL. 72 第51図) 土師器174・176はタイプ①、178はタイプ②、175・177はタイプ③、166～173・179～181はタイプ④である。9・140・143・144がタイプ①、138・141・142はタイプ③、145～150はタイプ④、151はタイプ⑥である。灰釉碗183は深身の器形で高台はベタ高台に近い。鉄釉茶入186は芋子形であり、体部下位は露胎している。青磁皿188は内面底部に陰刻をもつ。白磁皿189～191の口端部は外反して、口唇部は丸く収める。

SB4045 出土 (PL. 72 第51・52図) 越前焼壺193は口径14.9cm、器高16.9cmを測る。器形は寸胴形であり、頸部は短く屈曲する。底面は未調整である。SB4053出土の破片と接合した。土師器194～196はタイプ④、197はタイプ④だが、中央が凹み、A群の特徴をもつ。鉄釉天目茶碗198は暗茶色の釉調である。瓦質火鉢は灰黒色を呈し、雲形の脚をもつ。白磁皿200は内外に鎬をもつ稜花皿である。梅瓶(PL. 72/写1)は青白磁である。

SB4053 出土 (PL. 73 第52図) 越前焼播鉢203・204は底部周縁に縄目痕をもつ。土師器皿208は口径12.6cmを測り、内外面に漆を塗布した後、金箔が押されている。タイプ④に属す。鉄釉鉢209は器壁が厚く、底部が回転ヘラケズリで調整されている。白磁は210～213が出土し、210は八角杯であり、割り高台をもつ。内面にトチン痕が4ヶ所見える。皿211は体部と高台に境がなく、そのまま外反して開く。朝鮮壺214は暗赤褐色を呈し、器壁が非常に薄く、底部は凹む。

SB4046 出土(PL. 73 第52図) 土師器皿 215・217はタイプ②、216・218～221はタイプ④である。土師器羽釜 222は口径 6.0 cmの小型品である。瓦質香炉 223は内外面が黒色磨研され、外面体部に菊花文が押印されている。瓦質鉢 224は底部周縁に幅 0.5 cmの突帯がめぐる。

SB4047 出土(PL. 73 第52図) 越前焼壺 226は灰黒色を呈し自然釉・降灰が厚く付着している。胴部上位に2種類のヘラ記号をもつ。播鉢 227は底部周縁に縄目痕を有し、内面底部に播目が及ぶ。

SA4042 出土(PL. 73 第53図) 越前焼壺 229の頸部は短く屈曲し、口端部内側に段をもつ。胴部上位にヘラ記号「本(奉)」をもつ。播鉢 230は底部周縁に縄目痕をもつ。体部は摩耗が著しい。土師器皿 231はタイプ②、232～235はタイプ④である。

SE4060 出土(PL. 74 第53・54図) 越前焼が多く出土し、壺239は胴部上位が張る備前焼の影響を受けている。240はお歯黒壺であり、精緻な仕上がりが、底部は未調整である。瓶 241は胴部上位に双耳をもつ。SD4057出土の破片と接合した。播鉢 243～245は底部に縄目痕をもつ。甕 249は寸胴形の胴部に短く屈曲する口縁部をもつ。第IV区域SE4061、SV4070 出土の破片と接合した。青磁碗 246は口唇部に切れ込みを入れ、口縁部を花卉状に仕上げている。外面底面に放射状のケガキ線。内面底面周縁に陰刻花文を入れている。

SX4081 出土(PL. 74 第54図) 土師器皿 250はタイプ①、251～257はタイプ④であり、灯明皿として使われた。

土製品(PL. 74 第54図) 土鈴 258～261は幅 2.7～3.2 cm、高さ3.0～3.2 cmを測る。頂部は摘まみだされ、紐孔を入れる。258と261の鈴口は紐孔と直交し、259・260は平行する。261には径 1.2 cmの土師珠が残っていた。砥石 263は越前焼の大甕の破片を2次利用したものである。

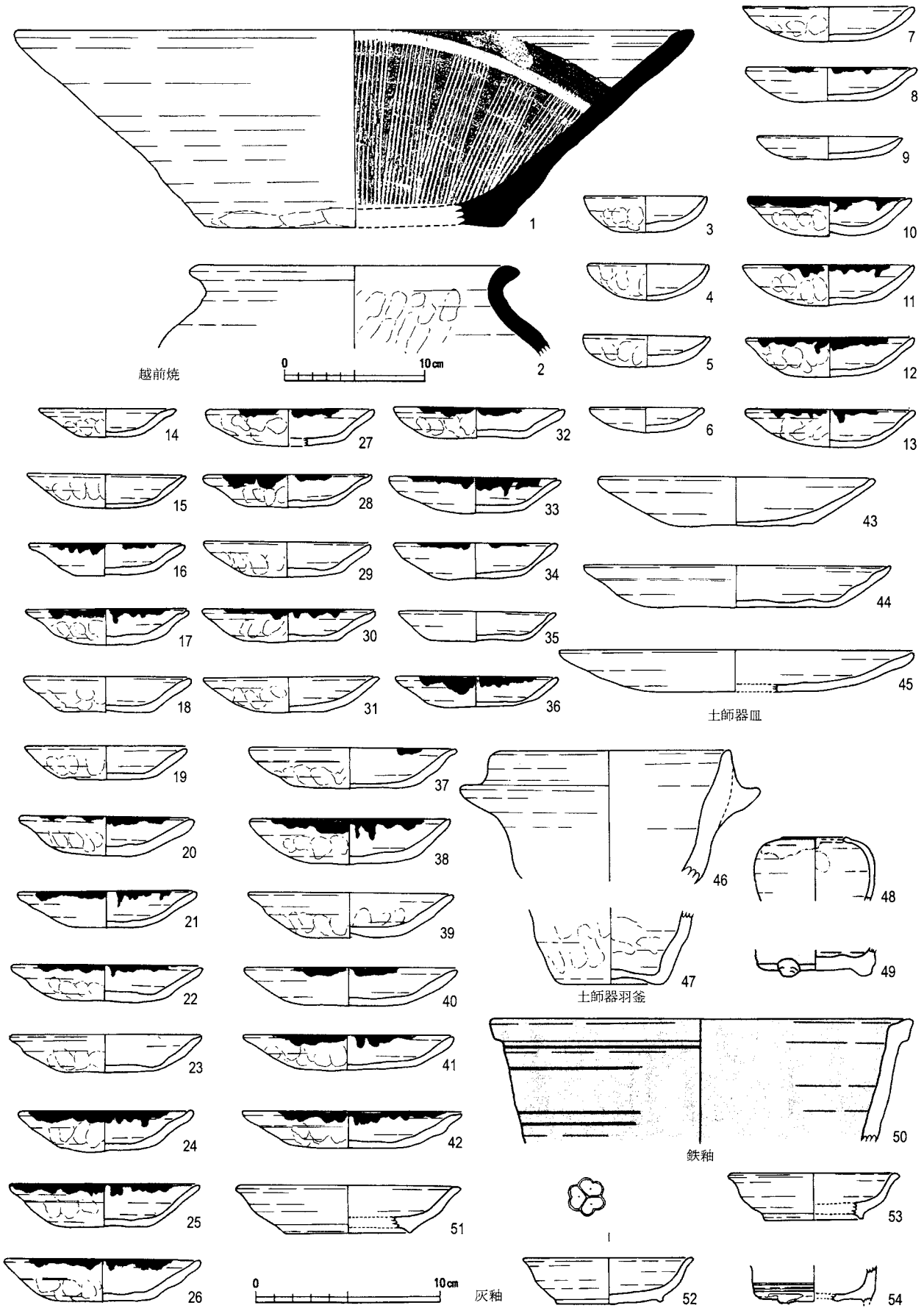
金属製品(PL. 74 第54・55図) 火箸 273は銅製品であり、長さ16.9 cmを測り、持手の端部に抉りがはいる。小柄 279は小刀の茎に巻かれた銅板であり、毛彫りの笹葉文が3ヶ所配され、笹葉文以外の余白を魚子打している。281にも同様な加工が見てとれる。責金具 281は楕円形を呈し、黒漆が残る。短軸の左右に柏葉の飾りが付く。切羽 283は中央に長さ刃部幅 1.6 cm、刃部厚 0.6 cmの孔をもつ。菊皿 286は銅製であり、内面底部に斜格子文を線刻した房が打ち込まれている。鍍金の痕跡が残る。飾金具 289・290・291は銅製品で用途不明であるが、289・291には鍍金の痕跡が残る。引手金具 292は引手の底金具である。

骨角製品(PL. 75 第55図) 293・294は鹿角製と考える。駒石 293は円盤状に成形され、径 1.9 cm、厚さ0.4 cmを測る。賽子 294は一辺 1.0 cmの立方体であり、上下端面が欠損、表裏面/左右側面は研磨されている。

石製品(PL. 75 第55～57図) 温石 295は滑石製石鍋の転用品と考える。短冊状の直方体に加工し、「春」「侶」「仙」の文字が線刻されている。上位に紐を通す穿孔をもつ。石硯 296・297・298は粘板岩製と考えられ、全体は平滑である。297・298は挿手処をもつ。表裏に渦巻を入れた301は石鬼の一部と考える。石臼 302は上臼であり、周縁帯が意図的に破壊されている。風炉 303・304、石盤 305～309、バンドコ310～312、井戸枠 314は全て笏谷石製である。307は正円形を呈し円形脚部が3ヶ所付く。内面は被熱しており、火鉢として使用されたと考える。308・309は横長の楕円形を呈し、浅身である。309は内外面にススが付着している。

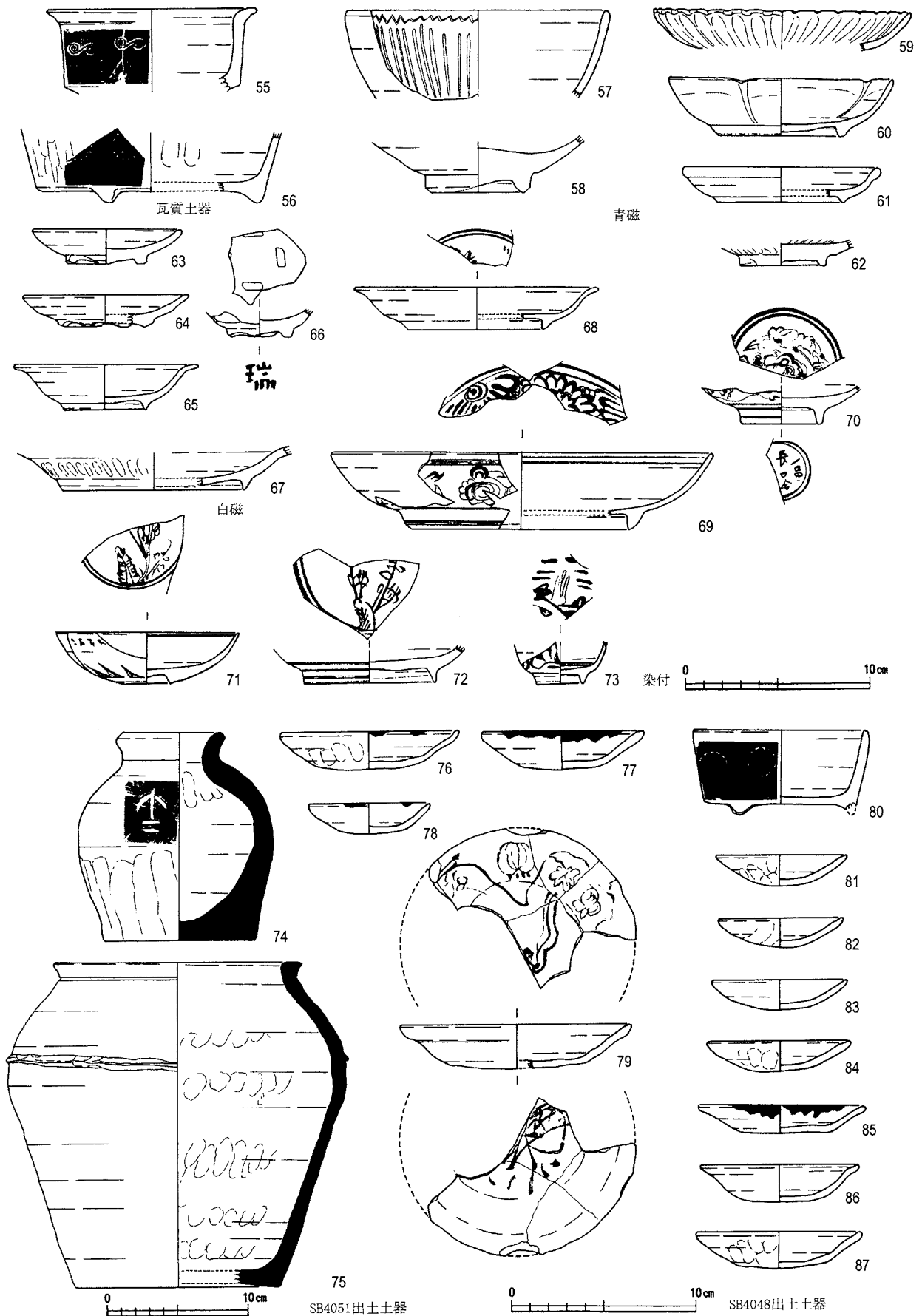
木製品(PL. 75 第57図) 横櫛 315は漆被膜だけが形状をとどめる。雪下駄 317～319の樹種はスギである。漆器皿 321は優品であり、SB3043から出土した。内外面を朱漆で仕上げ、外面底部を黒漆地のままにして、朱漆で「相」の一字を書いている。323はSE4060で出土し、黒漆地の内面に朱漆の文様を描く。

銭貨(PL. 75～78 第58～61図) 325～512の188枚が出土した。開元通寶(初鑄 621年)、祥符元寶(初鑄 1009年)、皇宋通寶(初鑄 1038年)、熙寧元寶(初鑄 1068年)、元豊通寶(初鑄 1078年)、政和通寶(初鑄 1111年)などが一定量を占める。遺構別に見ると、SB4045で50枚、SB4053で18枚、SB4048で9枚、SB4043で6枚出土した。SB4045のものは緡銭としてX009 地点(PL. 46)で検出されたものである。

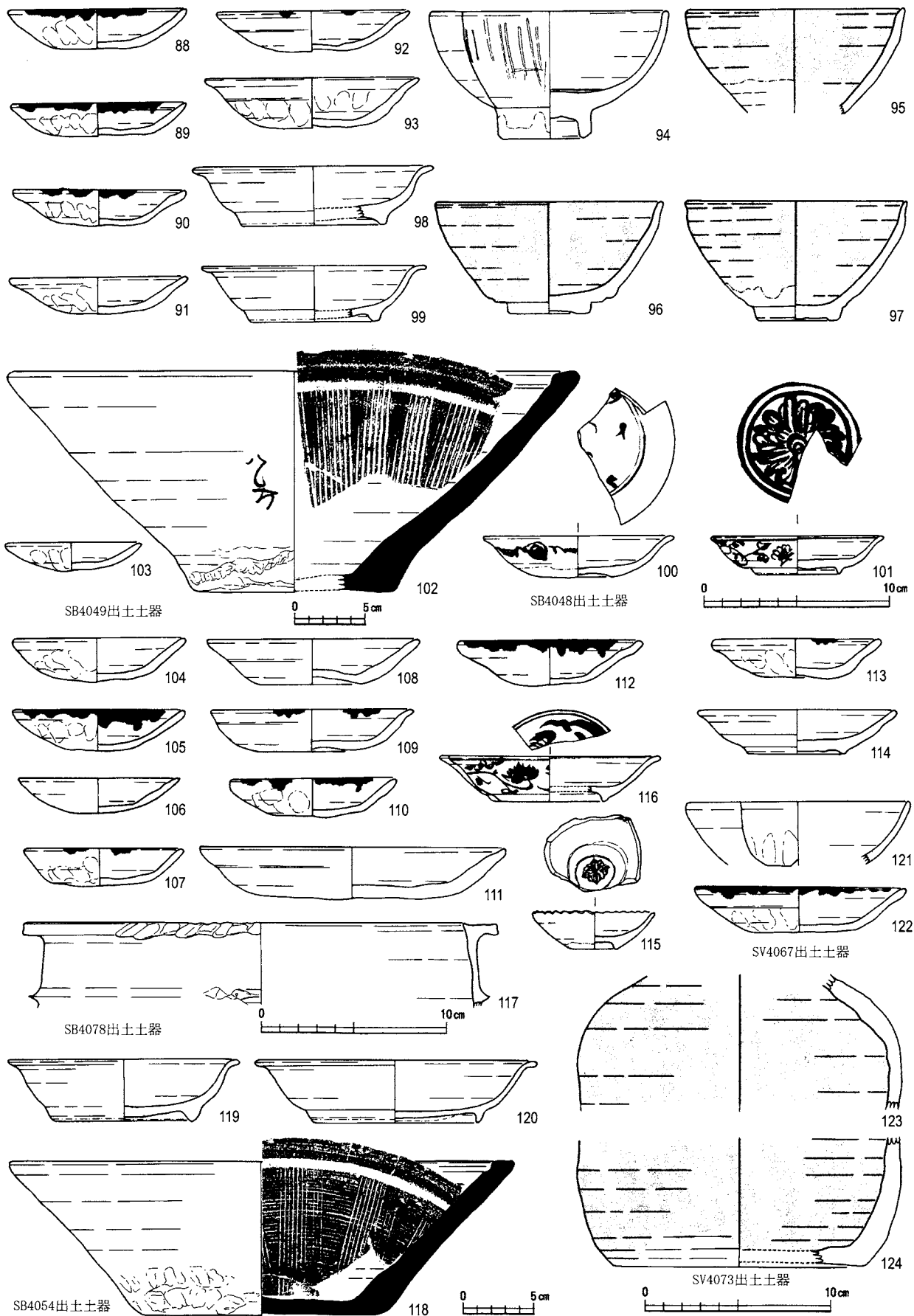


第 47 図 第 75 次調査 包含層出土土器(縮尺 1/3、1/4)

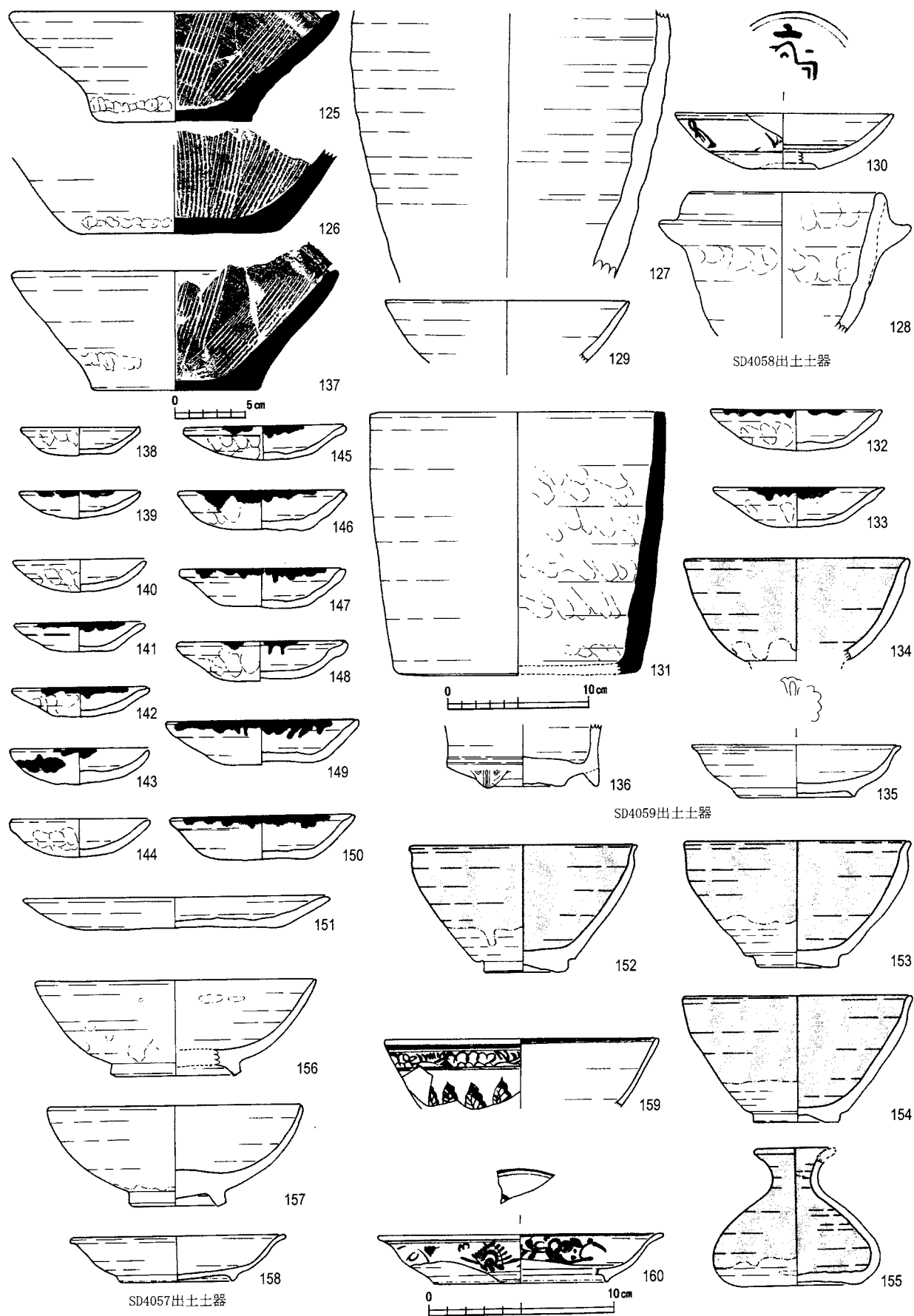
8. 第75次調査遺物



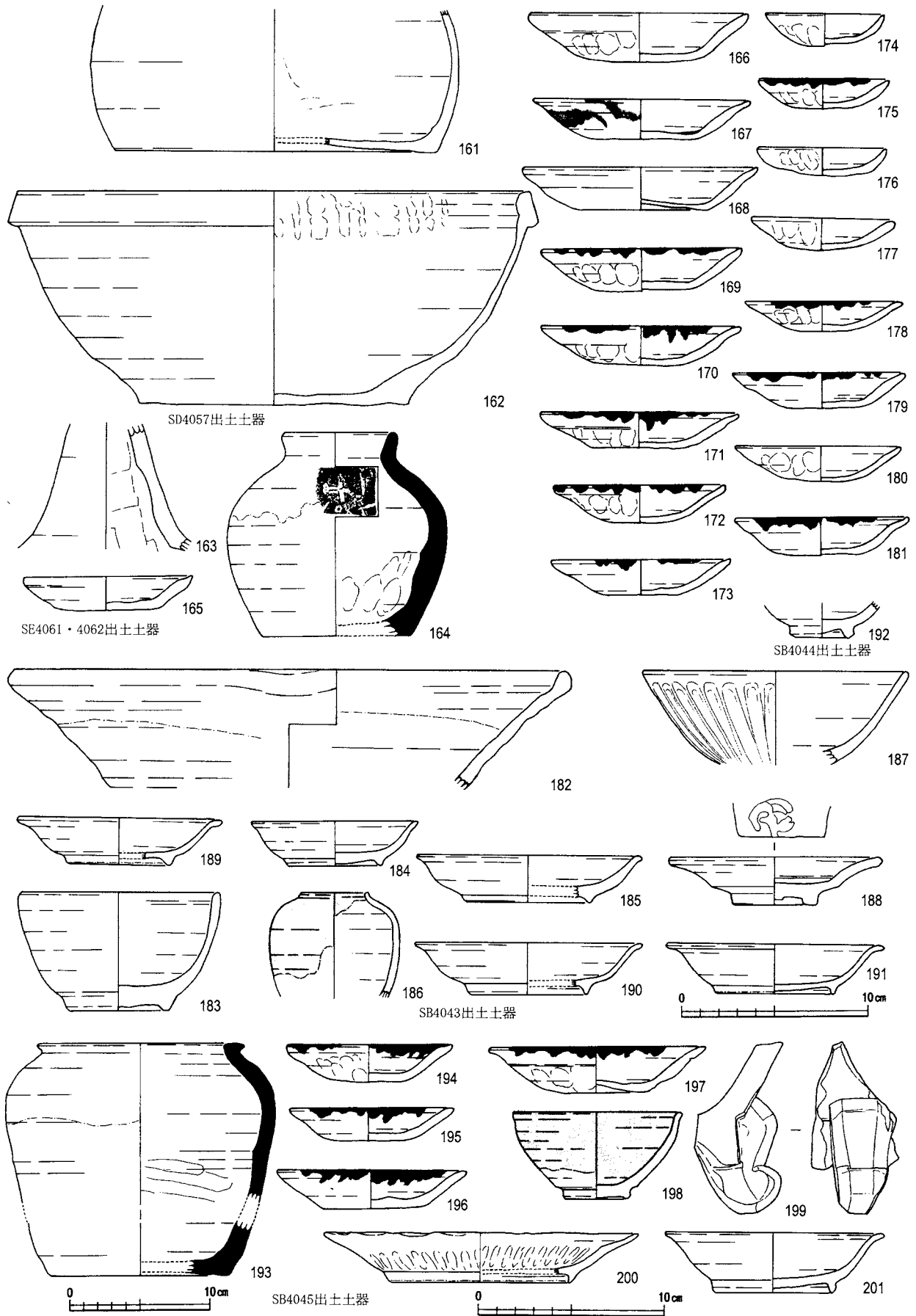
第48图 第75次調査 包含層出土土器、第IV区域遺構出土土器(縮尺 1/3、1/4)



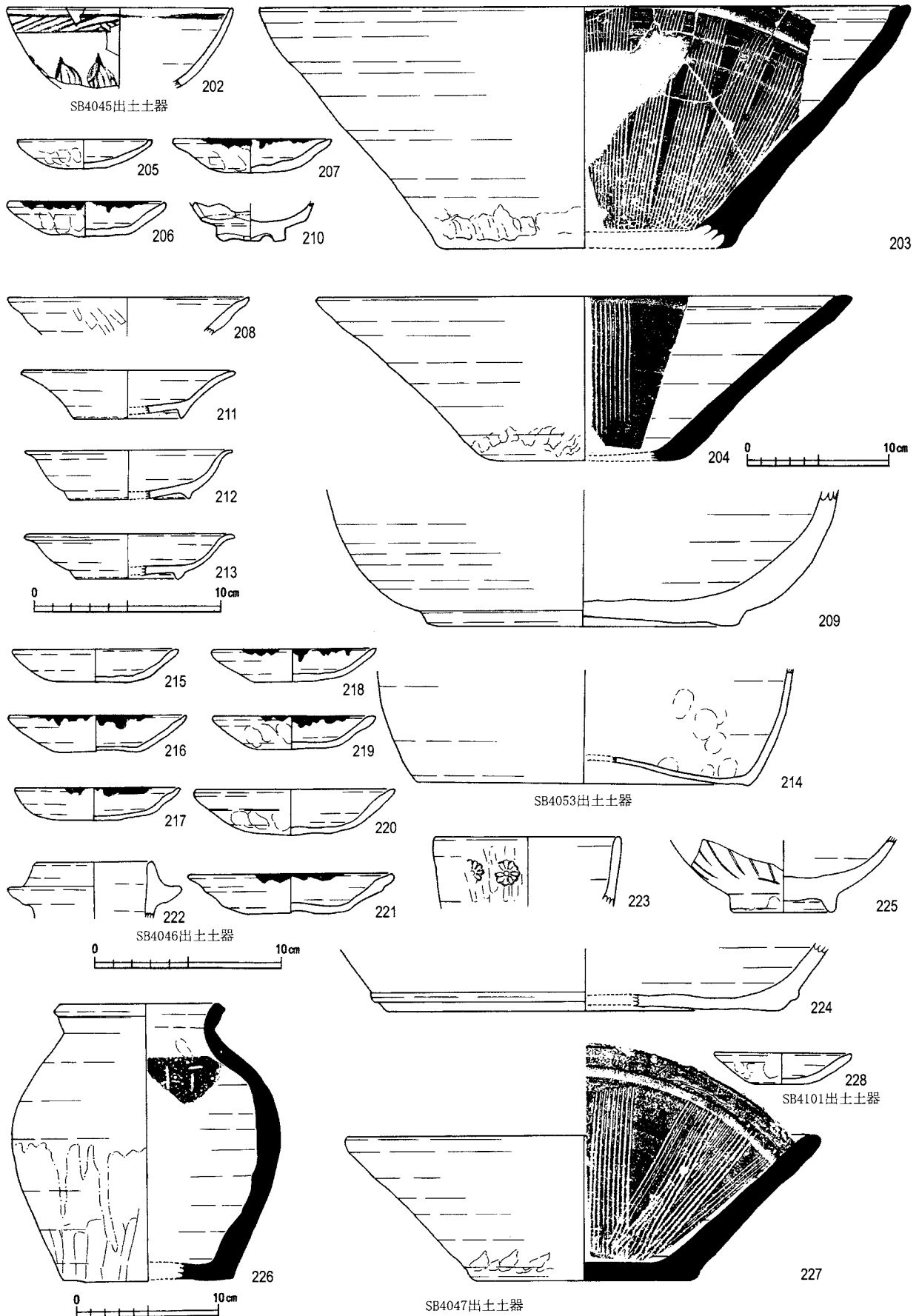
第 49 図 第 75 次調査 第 IV 区域遺構出土土器(縮尺 1/3、1/4)



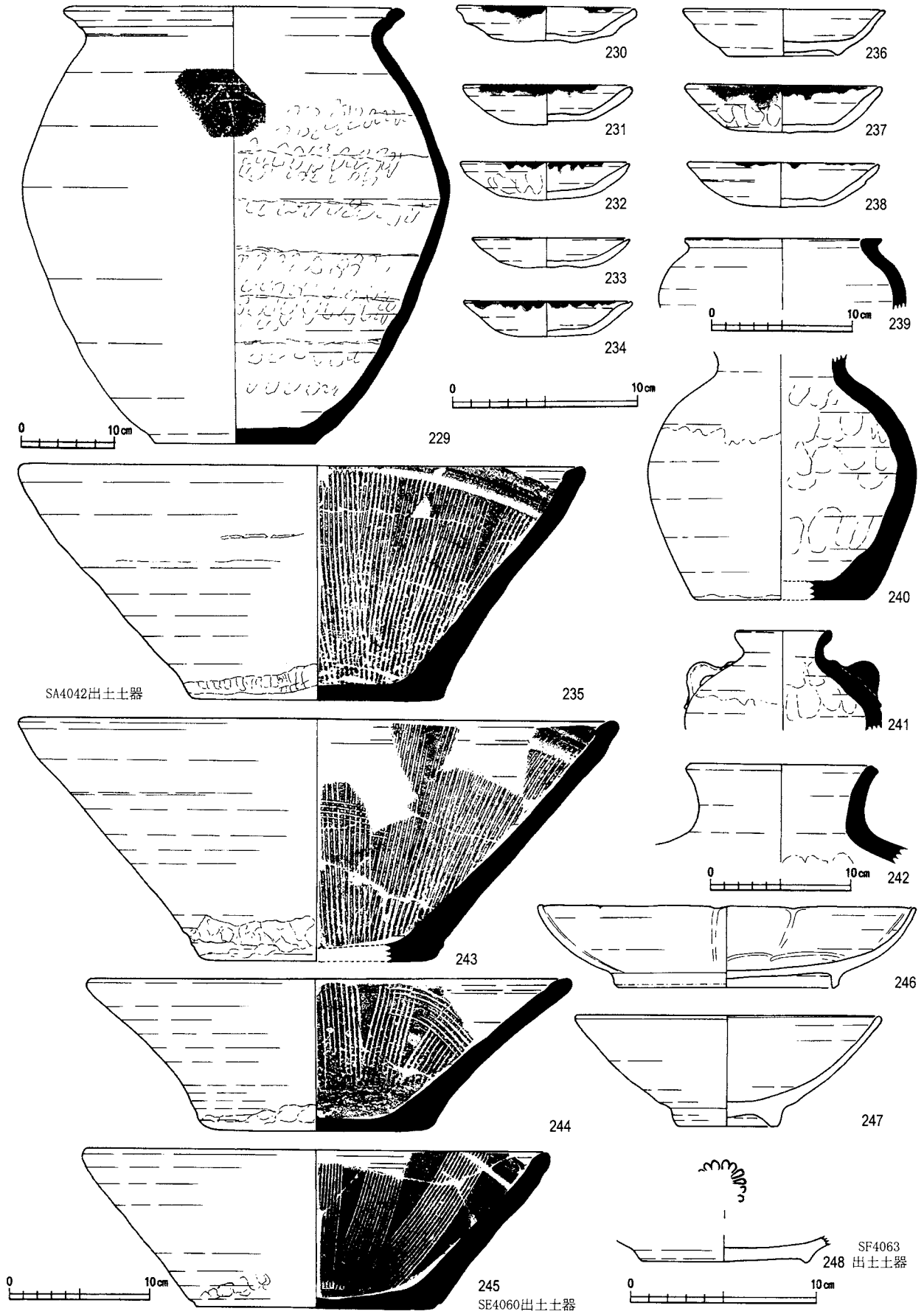
第50图 第75次調査 第IV区域遺構出土土器(縮尺 1/3、1/4)



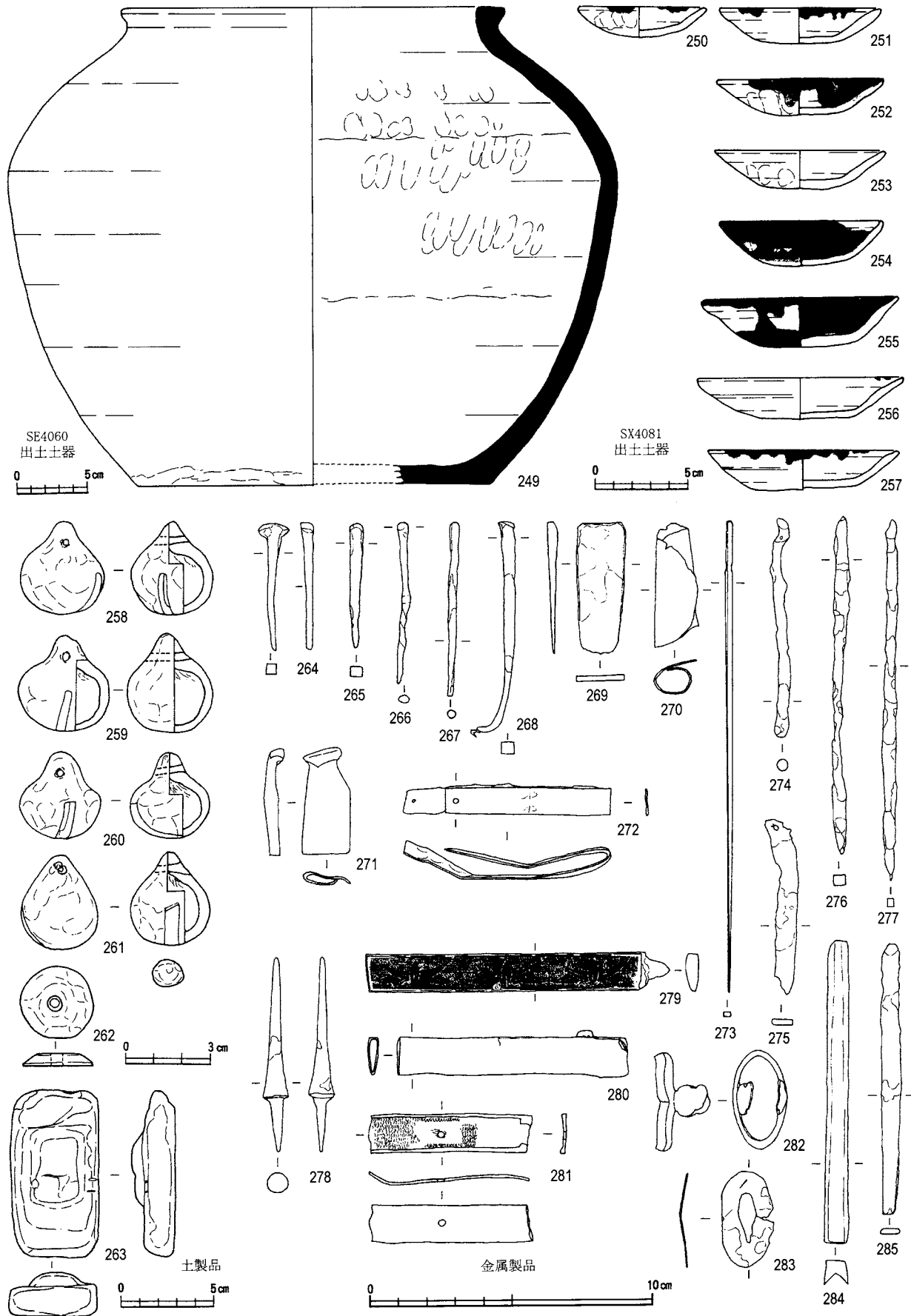
第51図 第75次調査 第IV・V区域遺構出土土器(縮尺1/3、1/4)



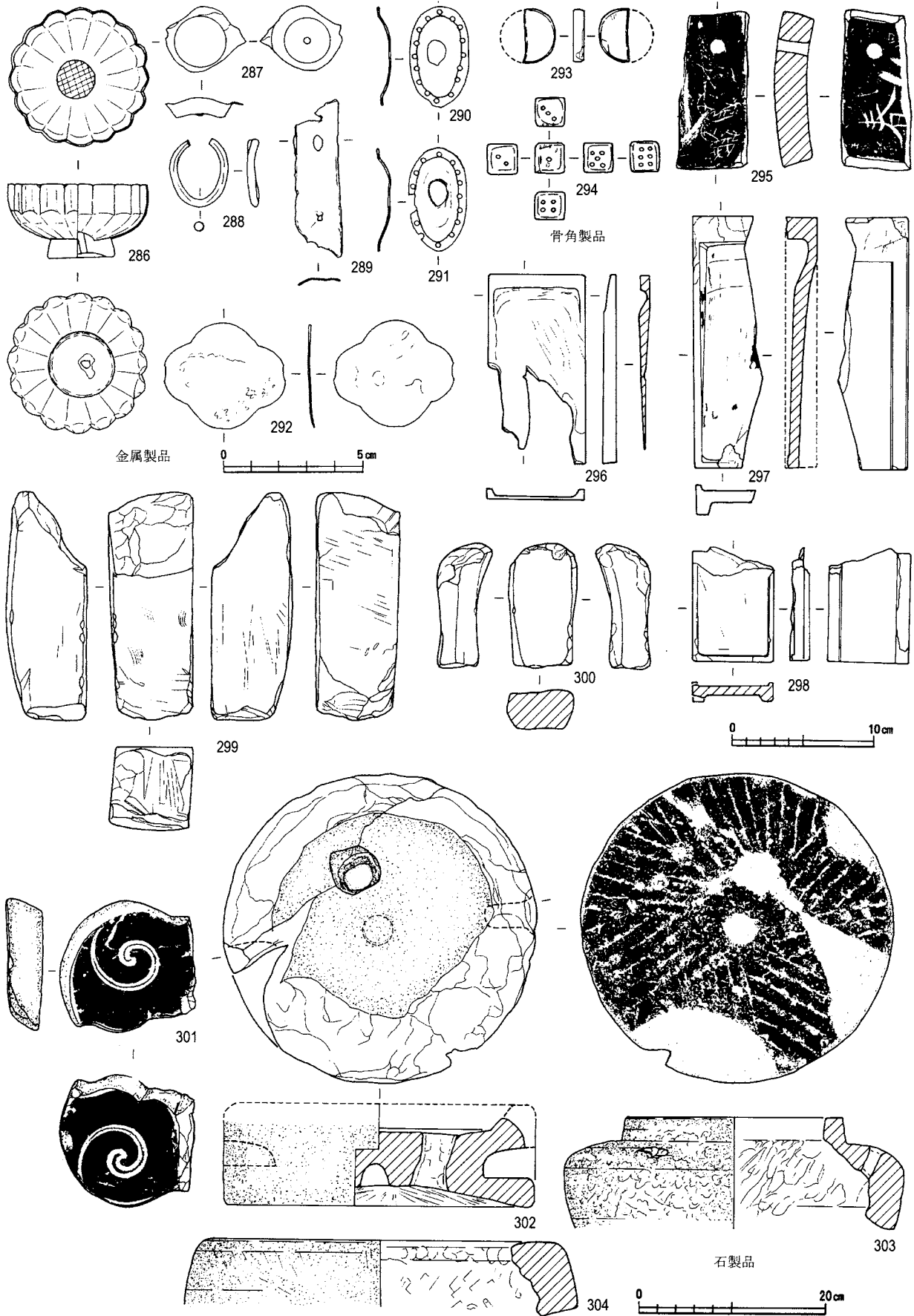
第 52 図 第 75 次調査 第 V 区域遺構出土土器(縮尺 1/3、1/4)



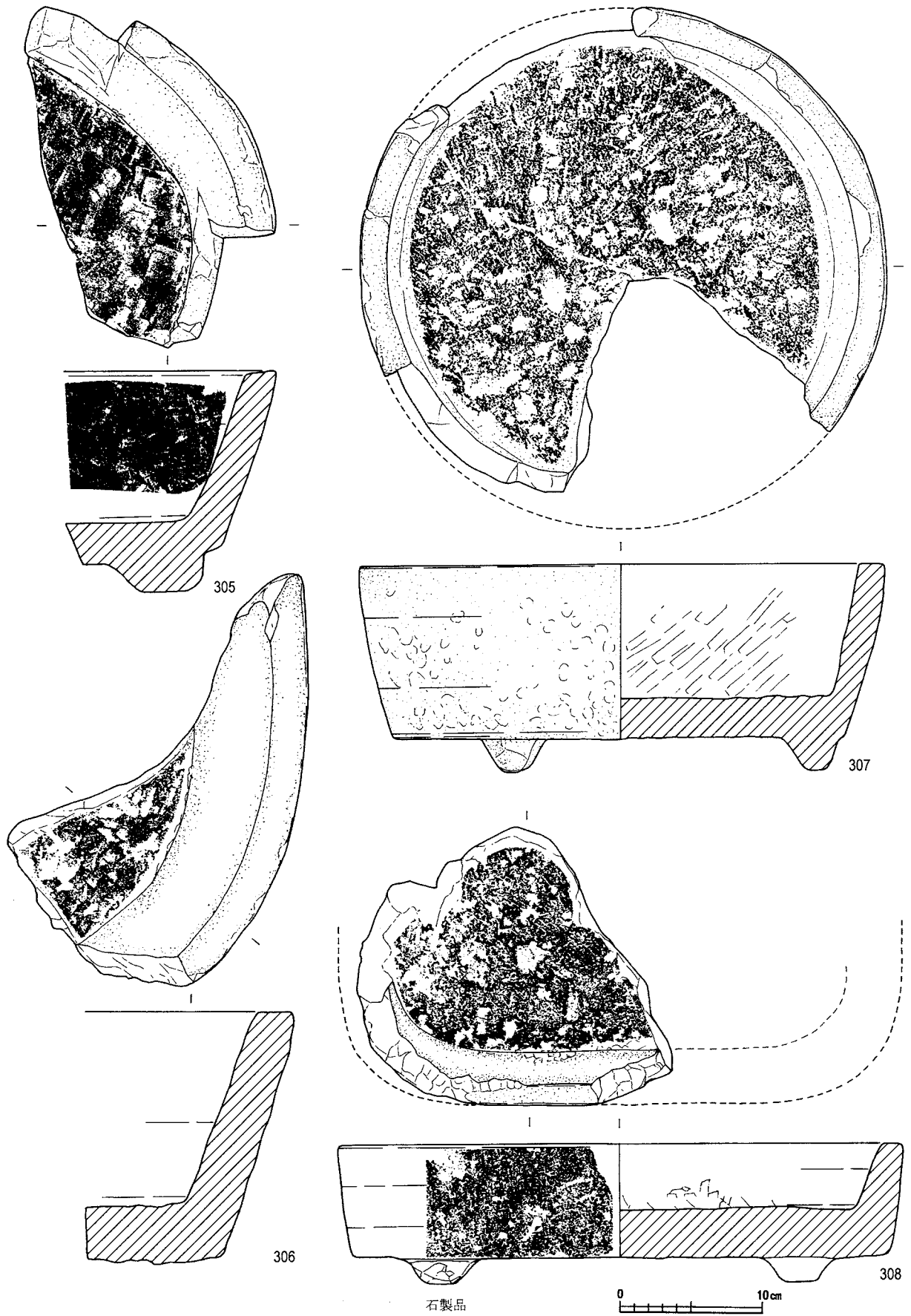
第53図 第75次調査 第V区域遺構出土土器(縮尺 1/3、1/4、1/6)



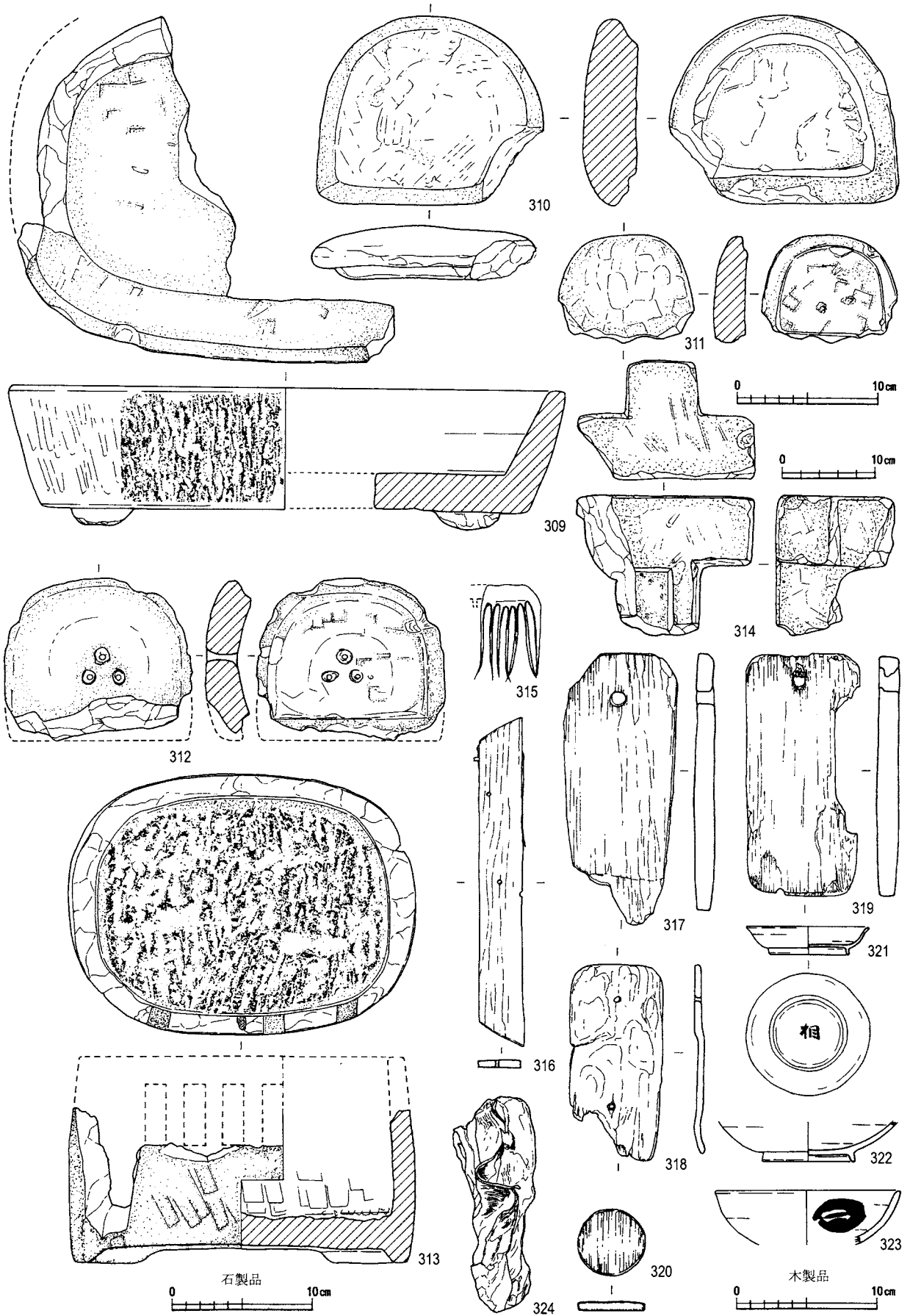
第54图 第75次調査 第V区域遺構出土土器、土製品、金属製品(縮尺1/2、1/3、1/4)



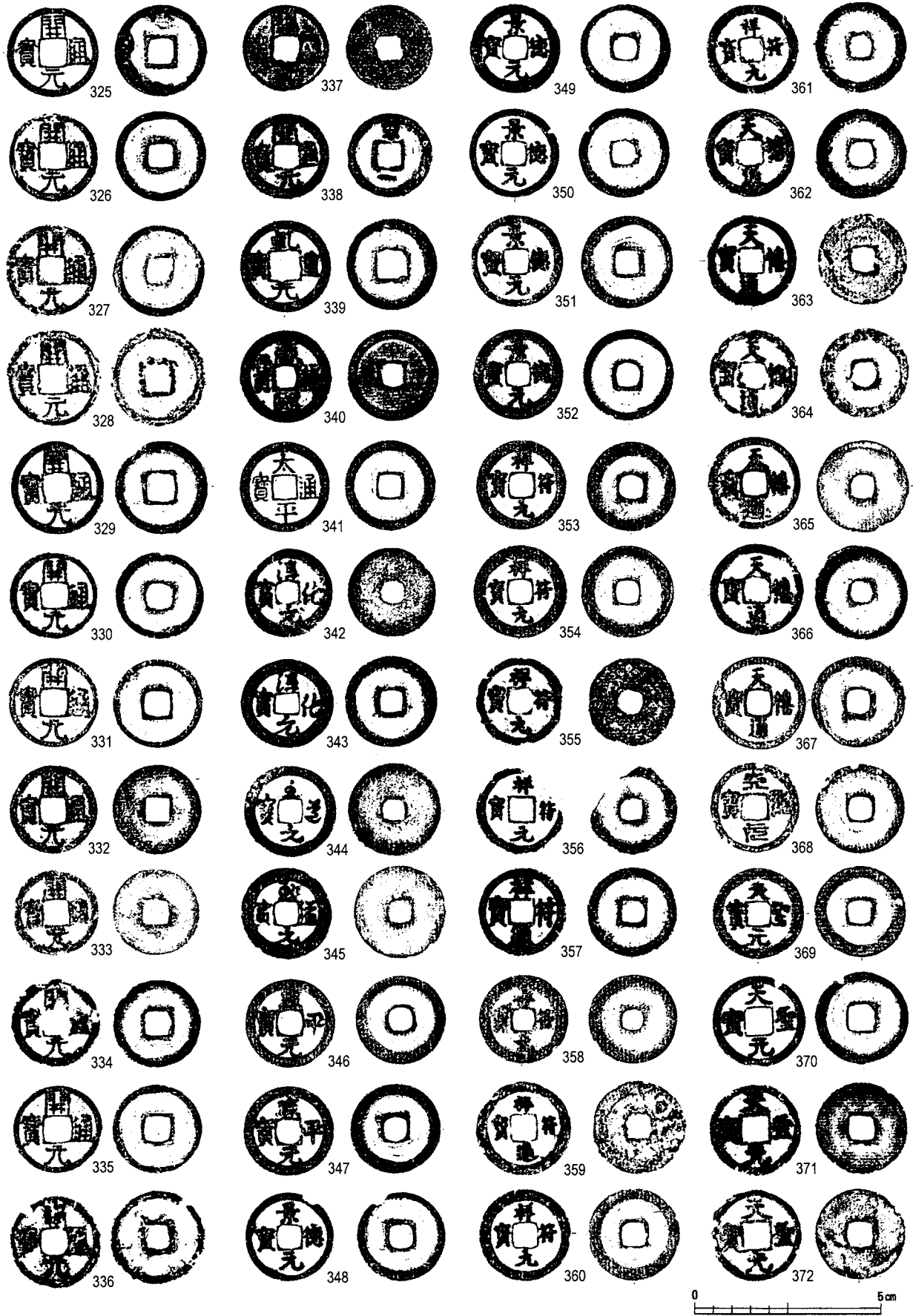
第55図 第75次調査 金属製品、石製品(縮尺1/2、1/3、1/4、1/6)



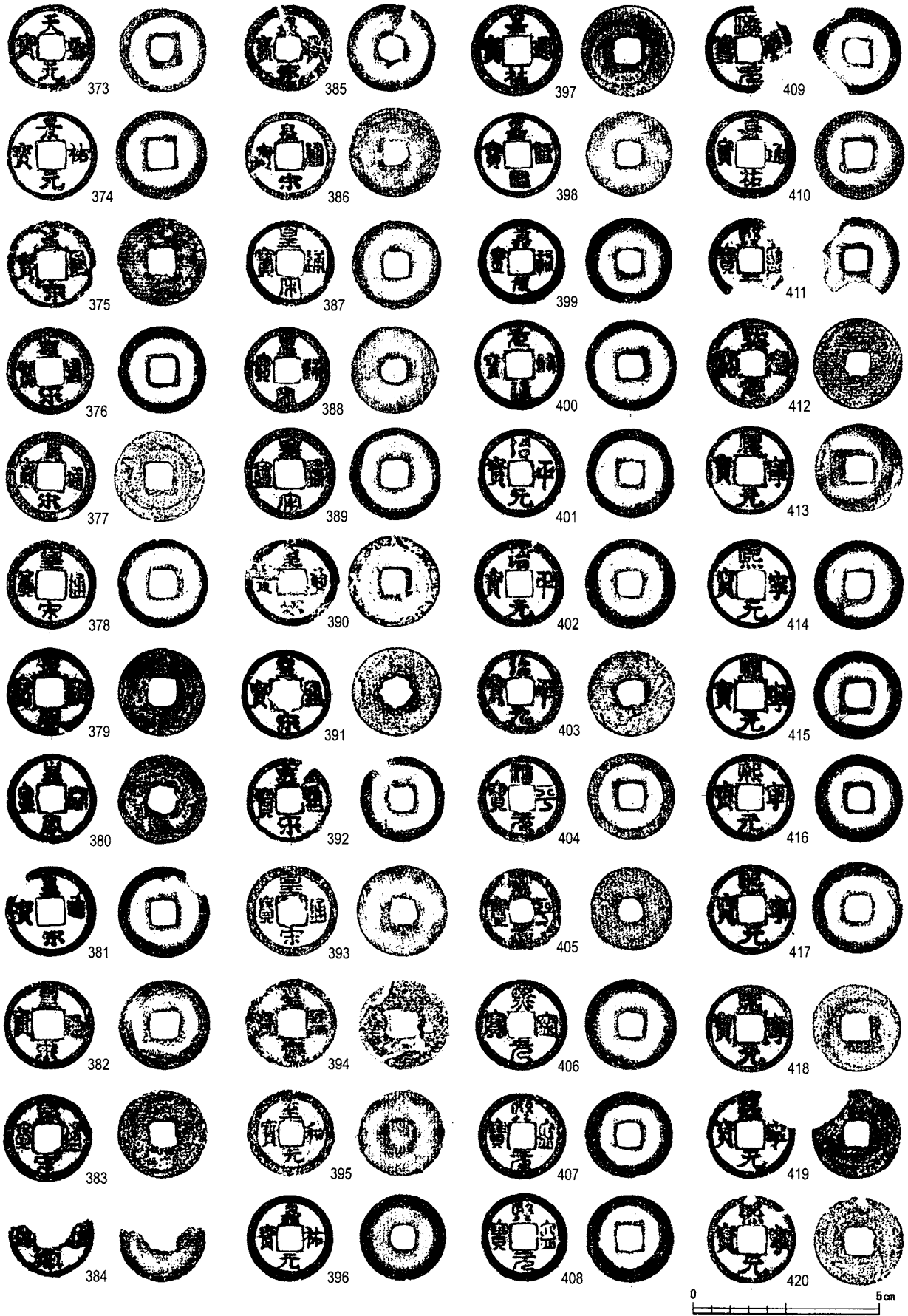
第 56 図 第 75 次調査 石製品(縮尺 1/4)



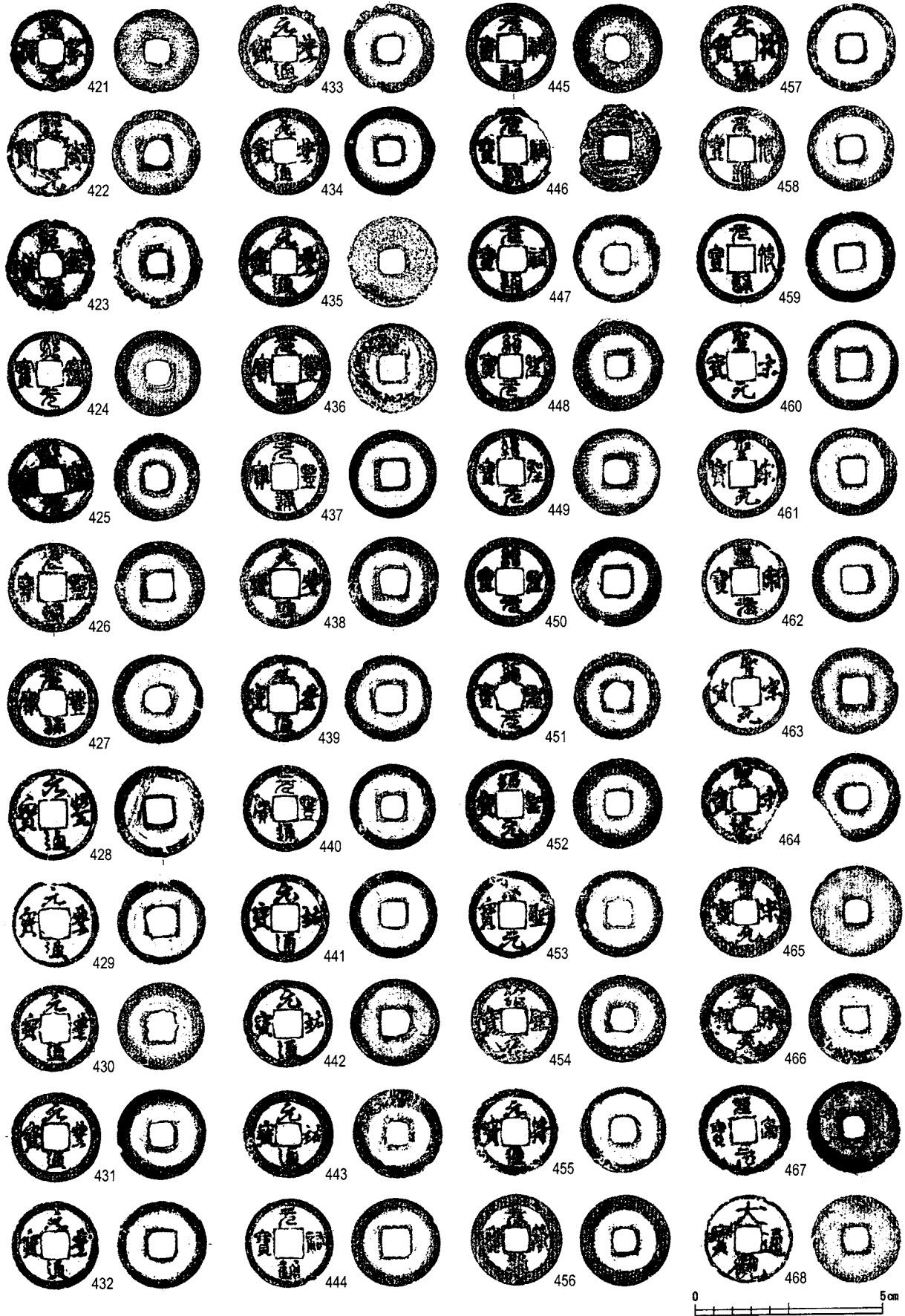
第 57 図 第 75 次調査 石製品、木製品(縮尺 1/3、1/4、1/6)



第 58 圖 第 75 次調査 錢貨(縮尺 2/3)



第59図 第75次調査 銭貨(縮尺2/3)



第 60 図 第 75 次調査 錢貨(縮尺 2/3)

第5表 第75次調査出土遺物観察表(PL. 68~78 第47~61図)
包含層出土土器(PL. 68・69 第47・48図)

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
1	越前焼 播鉢	口: 48.5 高: 14.5 底: 21.0 焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/8	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面は平坦/口端部内側は凹状の段をもつ 底部:縄目痕	外:口縁部~底部回転ナデ 内:口縁部~底部回転ナデ 内面に幅2.6cm・9条の播目/密/シャープな仕上げ	第Ⅳ区域 I32/茶褐色土
2	越前焼 壺	口: 22.0 高: 6.0 焼: 良好 色: 濃茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/10以下	口縁部:直線状に短く外反して立ち上がる/口端部は平坦	外:口縁部~胴部上位回転ナデ 内:口縁部~胴部上位回転ナデ/胴部指頭痕	第Ⅴ区域 I33/床土 外:降灰 歪みあり
3	土師器 小皿	口: 6.4 高: 2.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅴ区域 I36/床土 片口状に歪む
4	土師器 小皿	口: 6.2 高: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅴ区域 I36/床土 片口状に歪む
5	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.6 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6*	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅳ区域 J38//暗褐色土 片口状に大きく歪む
6	土師器 小皿	口: 6.2 高: 1.3 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅳ区域 K39/床土 片口状に歪む
7	土師器 小皿	口: 9.2 高: 1.9 底: 4.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 K38/床土 片口状に歪む 口縁部意図的に欠く?
8	土師器 小皿	口: 8.7 高: 1.9 底: 4.8 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 堅緻 8/9	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 G38/灰色粘土 口端部全周スス付着
9	土師器 小皿	口: 7.8 高: 1.3 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/6	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 体部:浅い皿状 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ 内:口縁部~底部ナデ/底面に径0.3cmの穿孔3ヶ所/破片になった段階で穿孔している	第Ⅳ区域 L38/炭混暗褐色土 片口状に歪む
10	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.1 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 H31/灰色粘土 口端部全周スス付着
11	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.2 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 F35/床土 片口状に歪む 口端部半周スス付着
12	土師器 小皿	口: 9.1 高: 2.1 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕/底部未調整 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 E37/整地土 片口状に歪む 口端部1/3周スス付着
13	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.0 底: 4.6 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 8/9	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 G31/炭混粘土 片口状に歪む 口端部1/4周スス付着
14	土師器 小皿	口: 7.2 高: 1.5 底: 3.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ	第Ⅴ区域 E37/整地土 片口状に歪む
15	土師器 小皿	口: 8.6 高: 1.9 底: 4.2 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 J33/褐色土(整地土) 片口状に歪む

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点
						備 考
16	土師器 小皿	口: 8.4 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外方へ屈曲/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部~底部ナデ 内外に化粧土か?	第V区域 G31/炭混粘土 片口状に歪む 口端部部分的にスス附着
17	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.0 底: 4.2 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 K39/床土 口端部全周スス附着
18	土師器 小皿	口: 9.0 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 K40/床土 片口状に歪む
19	土師器 小皿	口: 8.7 高: 1.8 底: 4.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~体部ナデ後指頭痕/底部未調整 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 L39/床土 片口状に歪む
20	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.4 底: 4.1 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 堅緻 8/9	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G32/炭混粘土 片口状に歪む 口端部半周スス附着
21	土師器 小皿	口: 9.8 高: 2.0 底: 4.4 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 8/9	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H31/炭混粘土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
22	土師器 小皿	口: 10.2 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 I32/褐色土(整地土) 片口状に歪む 口端部1/4周スス附着
23	土師器 小皿	口: 10.2 高: 2.0 底: 5.5 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H31/炭混粘土 片口状に歪む
24	土師器 小皿	口: 9.4 高: 2.1 底: 4.3 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外に屈曲/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 K37/床土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
25	土師器 小皿	口: 9.4 高: 2.1 底: 4.3 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外に屈曲/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 K37/床土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
26	土師器 小皿	口: 10.4 高: 2.3 底: 5.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~体部ナデ後指頭痕/底部未調整 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J38/暗褐色土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
27	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 3.7 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G32/灰色粘土 口端部全周・底部スス附着
28	土師器 小皿	口: 9.0 高: 1.8 底: 5.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部外傾/内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G31/炭混粘土 片口状に歪む 口端部半周スス附着
29	土師器 小皿	口: 9.0 高: 1.9 底: 4.7 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G31/炭混粘土 片口状に歪む

8. 第75次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
30	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 9.2 1.8 4.7 良好 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:やや外反して斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G31/炭混粘土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
31	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 9.2 2.0 4.0 良好 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H31/炭混粘土 片口状に歪む
32	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 9.0 1.6 4.8 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕/底部未調整 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	表土 口端部1/4周スス付着
33	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 9.3 2.0 4.3 良好 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 L38/炭混暗褐色土 片口状に大きく歪む 口端部全周スス付着
34	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 9.0 1.8 4.0 良好 淡橙白色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J36/暗褐色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
35	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 8.4 1.6 4.7 良好 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	床土 片口状に歪む
36	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 8.6 1.7 4.5 良好 白褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G32/灰色粘土 片口状に大きく歪む 口端部3/4周スス付着
37	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 11.0 2.6 5.5 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ 底面に径0.8cmの焼成後穿孔1ヶ所	第V区域 G32/灰色粘土 片口状に歪む 口端部一部スス付着
38	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 10.4 2.4 5.0 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 I33/床土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
39	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 11.0 2.5 5.5 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ後指頭痕/底部ナデ	第IV区域 J32/褐色土(整地土) 片口状に歪む
40	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 11.4 2.0 5.5 良好 淡橙褐色	極砂粒 堅緻 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G31/炭混粘土 片口状に歪む 口端部一部スス付着
41	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 11.2 1.9 5.6 良好 淡橙褐色	極砂粒 堅緻 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G31/炭混粘土 片口状に歪む 口端部1/3周スス付着
42	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 11.6 2.0 6.0 良好 淡橙褐色	極砂粒 堅緻 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G32/炭混粘土 片口状に歪む 口端部3/4周スス付着
43	土師器 小皿	口: 高: 底: 焼: 色: 14.8 2.6 6.6 良好 橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/体部に段あり/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕/底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 G38/床土 片口状に歪む

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
44	土師器 小皿	口: 16.5 高: 2.3 底: 10.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 体部に段あり/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕/底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 I32/茶褐色土
45	土師器 小皿	口: 19.0 高: 2.3 底: 10.5 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 堅緻 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部 未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G31/炭混粘土 H31/炭混粘土 外:底面黒斑 内:底面黒斑
46	土師器 羽釜	口: 12.4 高: 6.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 堅緻 1/10以下	口縁部:直上へ短く立ち上がる/口唇 部は丸く収める 受部:平滑/幅1.2cm 体部~底部:丸底	外:口縁部~受部回転ナデ/体部ナデ 内:口縁部~体部回転ナデ	第IV区域 J32/褐色土(整地土)
47	土師器 羽釜	高: 4.0 底: 5.7 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 軟質 1/6	底部:平坦	外:体部~底部回転ナデ後指頭痕 内:体部~底部回転ナデ後指頭痕	第V区域 E37/整地土 外:体部~底部スス 附着
48	瀬戸美濃 鉄釉 茶入	口: 2.8 高: 3.3 最: 6.4 焼: 良好 色: 暗茶色	精緻 1/5	口縁部:内傾/口唇部は短く丸く収める 胴部:扁球形/上位で張る	外:底部回転ヘラ切り 内:底部位回転ナデ	第IV区域 J38/暗褐色土 内:胴部上位~中位 露胎
49	瀬戸美濃 鉄釉 香炉	高: 1.6 底: 6.0 焼: 良好 色: 黒色	精緻 1/10以下	底部:脚は底部周縁に3ヶ所付ける	外:底部回転糸切り痕 内:口縁部~底部回転ナデ	第V区域 B39/灰色色土 中国製?
50	瀬戸美濃 鉄釉 鉢	口: 22.0 高: 6.7 焼: 良好 色: 暗紫灰色	精緻 1/10以下	口縁部:直線状に外傾して立ち上がる/ 口端部に突帯/口端部平坦	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第V区域 G31/炭混暗粘土 漆継ぎ痕
51	灰釉 小皿	口: 12.0 高: 2.6 底: 6.8 焼: 良好 色: 淡茶褐色	堅緻 1/10以下	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/ 口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台/碁筈高台	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第IV区域 J37/床土
52	灰釉 小皿	口: 9.2 高: 2.4 底: 3.8 焼: 良好 色: 浅黄緑色	堅緻 1/2	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/ 口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部~体部下位回転ナデ/底面 にトチン痕 内:口縁部~体部下位回転ナデ/底面 中央に花文押印	第V区域 E37/整地土
53	灰釉 小皿	口: 9.2 高: 2.5 底: 5.2 焼: 不良 色: 灰白色	軟質 1/10以下	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/ 口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第V区域 B33/耕作土下礫混土 外:口縁部~底部釉 ハケ
54	灰釉 香炉	高: 2.0 底: 6.0 焼: 良好 色: 浅黄緑色	堅緻 1/10以下	体部:寸胴形 底部:三角形の平坦な脚を底部周縁に 3ヶ所付ける/底面中央で接地/トチン 痕	外:回転ナデ/体部下位に3条の沈線 内:回転ナデ	第V区域 B33/耕作土下礫混土
55	瓦質 香炉	口: 11.2 高: 4.5 底: 9.2 焼: 良好 色: 暗灰色	極砂粒 軟質 1/8	口縁部:寸胴形/底部で屈曲して直線 状に上方へ立ち上がる/口端部外反/ 口唇部は丸く収める	外:口縁部~体部回転ナデ後ミガキ/ 体部にS字渦巻押印 内:口縁部~体部ナデ	第V区域 I32/茶褐色土
56	瓦質 香炉	高: 4.0 底: 12.0 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 軟質 1/10以下	底部:脚部周縁に三角形の脚が付く	外:体部黒色磨研のミガキ/円形列点 文 内:体部~底部黒色磨研のミガキ シャープな仕上げ	第IV区域 K36/床土
57	青磁 碗	口: 14.0 高: 4.5 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/10以下	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める	外:体部に線刻蓮花文	第IV区域 J36
58	青磁 碗	高: 2.7 底: 5.0 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/6	体部:内湾して外方へ立ち上がる 底部:削出高台/端面内側で接地		第IV区域 L40 外:底面周縁露胎
59	青磁 輪花碗	口: 14.0 高: 2.0 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/8	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める/口端部を波状 に成形 底部:削出高台/端面内側で接地	外:体部に鎊蓮花文 内:体部に鎊蓮花文	第V区域 G35/床土

8. 第75次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点	
						備考	
60	青磁 輪花皿	口: 12.0 高: 3.0 底: 6.4 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/6	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部は花卉状に成形/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部は花卉状に膨らみをもつ 内:口縁部は花卉状に膨らみをもつ	第V区域 H36/床土	
61	青磁 皿	口: 10.4 高: 1.9 底: 6.8 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/8	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める/口唇部は玉縁状の突帯 底部:削出高台		第V区域 耕作土 外:高台～底面露胎	
62	青磁 皿	高: 1.2 底: 4.2 焼: 良好 色: オリーブ灰	堅緻 1/8	底部:削出高台/端面内側で接地	外:体部に線刻蓮花 内:底面に線刻蓮花文	第IV区域 I32/床土 外:高台～底面露胎	
63	白磁 皿	口: 8.0 高: 1.9 底: 4.2 焼: 良好 色: 淡白褐色	精緻 1/2	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:削出高台/割り高台	外:体部下位回転ヘラケズリ 内:底面にトチン痕	不明	
64	白磁 皿	口: 8.9 高: 1.7 底: 4.8 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/6	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部やや上方へ屈曲/ 口唇部は丸く収める 底部:削出高台/割り高台	外:口縁部～体部回転ナデ	第V区域 G31/炭混粘土 外:高台端面露胎	
65	白磁 皿	口: 9.8 高: 2.5 底: 4.4 焼: 良好 色: 透灰色	精緻 1/6	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台		第V区域 E34/床土 外:高台端面露胎	
66	白磁 皿	高: 1.3 底: 3.4 焼: 良好 色: 透白灰色	精緻 1/10以下	底部:削出高台/割り高台	外:底面中央「瑞」の朱書 内:底面周縁トチン痕	第V区域 耕作土	
67	白磁 皿	高: 2.2 底: 9.8 焼: 良好 色: 透白灰色	精緻 1/10以下	体部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部に錦蓮花文 内:体部に錦蓮花文	第IV区域 I34/床土	
68	染付 皿	口: 13.0 高: 2.3 底: 7.2 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口端部に呉須圏線1 内:底部に圏線2/圏線内に文様	第IV区域 K32/褐色土(整地土) 高台端面露胎	
69	染付 盤	口: 20.4 高: 4.0 底: 11.6 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/8	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口端部に呉須圏線2/呉須草花文/ 高台に呉須圏線2 内:口端部に圏線2/底面に圏線2/圏線内に花文	第IV区域 K～M35/床土 M34/床土	
70	染付 碗	高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 透淡灰色	精緻 1/8	体部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部に呉須文様/底部に呉須圏線3/底面中央に呉須「一邑長口令」 内:底部に圏線2/圏線内に呉須草花文	第IV区域 L39/床土	
71	染付 皿	口: 9.8 高: 2.7 底: 2.4 焼: 良好 色: 透青灰色	精緻 1/3	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:削出高台/基筒底	外:口端部に変形唐草文/体部下位に芭蕉文 内:口端部に圏線1/底面に圏線2/圏線内に草花文	第IV区域 M38/床 体部下位～高台露胎	
72	染付 碗	高: 2.0 底: 7.0 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/8	体部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部下位に呉須圏線1/底部に呉須圏線1 内:底部に圏線2/圏線内に呉須草花文	第V区域 F37・I39/床土	
73	染付 杯	高: 2.2 底: 2.4 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/2	体部:底部で屈曲して内湾して斜め外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:体部に呉須文様・圏線1/底面に呉須「福」 内:底部に圏線2/圏線内に呉須太湖石	第V区域 C38/礫混茶褐色土	

遺構出土土器(PL. 69～74 第48～54図)

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点	
						備考	
74	越前焼 壺	口: 5.6 高: 11.0 底: 8.0 焼: 良好 色: 濃茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 4/5	口縁部:短く外反して立ち上がる/口唇部は丸く収める 胴部:短砲弾形/上位で肩が張る 底部:平坦	外:口縁部～胴部中位ナデ/胴部下位ヘラケズリ/胴部上位にヘラ記号/底部未調整 内:口縁部～胴部下位回転ナデ後頸部指頭痕	第IV区域 J39/SB4051/暗褐色土	

IV. 第74・75次調査

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
75	越前焼 甕	口: 17.8 高: 23.3 底: 14.4 焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 2/3	口縁部:短く屈曲して外方に立ち上がる/口端面平坦 胴部:上位で肩が張る/上位に突帯貼付 底部:平坦	外:口縁部～胴部下位回転ナデ/口縁部下位に沈線1/底面ナデ 内:口縁部～胴部下位回転ナデ後指頭痕 備前焼の模倣品か	第IV区域 J39・K39SB4051/暗褐色土
76	土師器 小皿	口: 9.4 高: 2.1 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 K39/SB4051 片口状に歪む 口端部部分的スス附着
77	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.0 底: 3.8 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 K39/SB4051 片口状に歪む 口端部部分的スス附着
78	土師器 小皿	口: 6.4 高: 1.6 底: 2.7 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ/底面摩耗 内:口縁部～底部ナデ	第IV区域 K39/SB4051 片口状に大きく歪む 口端部一部スス附着
79	土師器 小皿	口: 12.5 高: 2.3 底: 7.0 焼: 良好 色: 暗灰色	極砂粒 軟質 1/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部未調整/底面中央に重ね字の墨書 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ/体部にカブ・桃・柏の葉・蔓を墨書	第IV区域 J38/SB4051
80	瓦質 香炉	口: 9.4 高: 4.5 底: 8.0 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 精緻 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底/周縁に三角形の脚が付く	外:口縁部～底部黒色磨研のミガキ/体部に円形列点文2/底部中央ナデ/周縁ヘラケズリ 内:口縁部～底部回転ナデ/底面ミガキ/シャープな仕上げ	第IV区域 K39/B4051 第V区域 C～F39/SA4042 E45/炭混黒灰色土
81	土師器 小皿	口: 7.1 高: 1.8 焼: 良好 色: 暗灰色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕/口縁部一部意図的に欠く 内:口縁部～底部ヨコナデ	第IV区域 J37/SB4080
82	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.6 底: 4.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J37/SB4080/下層 片口状に歪む
83	土師器 小皿	口: 7.2 高: 1.7 底: 4.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J35/SB4080/下層
84	土師器 小皿	口: 7.9 高: 1.6 底: 4.7 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ミガキ	第IV区域 J38/SB4080/下層 片口状に歪む
85	土師器 小皿	口: 9.0 高: 1.5 底: 4.7 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J37/SB4080/下層 片口状に大きく歪む 口端部全周スス附着
86	土師器 小皿	口: 8.4 高: 2.0 底: 4.5 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部受口状に屈曲/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J37/SB4080/暗褐色土 片口状に歪む
87	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 4.8 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J37/SB4080/炭層 片口状に歪む
88	土師器 小皿	口: 9.6 高: 2.1 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 I36/SB4048 片口状に歪む 口端部半周スス附着
89	土師器 小皿	口: 9.2 高: 1.8 底: 5.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部内側に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J36/SB4048 片口状に歪む 口端部全周スス附着

8. 第75次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
90	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.0 底: 4.6 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側受口 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J37/SB4048 片口状に歪む 口端部部分的スス附着
91	土師器 小皿	口: 9.3 高: 2.0 底: 3.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J37/SB4048/暗褐色土 片口状に歪む
92	土師器 小皿	口: 10.0 高: 2.1 底: 5.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 J37/SB4048/暗褐色土 片口状に歪む 口端部部分的スス附着
93	土師器 小皿	口: 11.6 高: 2.8 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/体部に段あり/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ 口端部一部意図的に欠く?	第IV区域 J38/SB4048 片口状に歪む
94	青磁 碗	口: 12.6 高: 6.8 底: 5.0 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/2	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:削出高台/端面内側で接地	外:体部に線刻蓮花文	第IV区域 K37/SB4048 外:高台~底面露胎
95	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 11.8 高: 5.6 底: 4.2 焼: 良好 色: 黒色	精緻 3/4	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上がり、口端部で上方に屈曲。口唇部は短く外傾して丸く収める	外:口縁部~体部下位回転ナデ/体部下位回転ヘラケズリ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第IV区域 J35/SB4048/黄褐色土 L36/SB4078/黄褐色土 外:体部下位露胎
96	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.0 高: 6.0 底: 4.2 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 2/3	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上がり、口端部で上方に屈曲。口唇部は短く外傾して丸く収める 高台:削出高台/中央凹む	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第IV区域 J35/SB4048/黄褐色土 J36/床土 K35/床土 外:体部下位~底部露胎
97	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 11.6 高: 6.4 底: 4.0 焼: 良好 色: 黒色	精緻 4/5	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上がり、口端部で上方に屈曲。口唇部は短く外傾して丸く収める 高台:削出高台	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第IV区域 J37/SB4048/黄褐色土 外:体部下位~底部露胎
98	白磁 皿	口: 13.0 高: 3.1 底: 7.6 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/4	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台		第IV区域 J37/SB4048/暗褐色土 高台端面露胎
99	白磁 皿	口: 12.0 高: 3.0 底: 6.8 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/8	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台		第IV区域 J37/SB4048/暗褐色土 J36/床土 J36/黄褐色土 高台端面露胎
100	染付 皿	口: 10.2 高: 2.2 底: 3.6 焼: 良好 色: 暗灰色	精緻 1/4	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台/基筒高台	外:口端部に呉須圏線1/呉須文様 内:底部に圏線2/圏線内に唐草文	第IV区域 J36/SB4048/黄褐色土 J36/床土 体部下位~高台露胎
101	染付 皿	口: 9.9 高: 2.1 底: 4.2 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/2	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口端部に呉須圏線1/呉須草花文 内:口端部に圏線2/底面に圏線2/圏線内に十字文	第IV区域 J37/SB4048/暗褐色土 K36・37/床土 M39/床土 体部下位~高台露胎
102	越前焼 播鉢	口: 41.0 高: 15.9 底: 14.0 焼: 良好 色: 赤茶色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/2	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面平坦/口端部内側に段あり 底部:平坦/体部下位に縄目痕	外:口縁部~体部下位回転ナデ/底面摩耗/体部中に「八日市」墨書 内:回転ナデ/幅2.7cm・8条の播目/密/底面播目交差 シャープな仕上げ	第IV区域 K35/SB4049 第II区域 J41/暗褐色土 L43/暗褐色土
103	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 底: 2.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 K35/SB4049 片口状に歪む
104	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.4 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 L37/SB4078 片口状に歪む

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
105	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.3 焼: 良好 色: 橙色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部: 丸底	外: 口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 L37/SB4078 片口状に歪む 口端部全周スス付着 内: 全面スス付着
106	土師器 小皿	口: 8.6 高: 2.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める/口端部に径0.3cmの穿孔2 底部: 丸底	外: 口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 K37/SB4078 片口状に歪む
107	土師器 小皿	口: 8.6 高: 2.1 底: 5.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 L37/SB4078 片口状に歪む 口端部部分的スス付着
108	土師器 小皿	口: 11.4 高: 2.5 底: 5.3 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部丸く収める 底部: 平底/中央凹む	外: 口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部未調整/型押し成形 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 K37/SB4078
109	土師器 小皿	口: 10.8 高: 2.2 底: 5.7 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/体部に段あり/口唇部丸く収める 底部: 平底/中央凹む	外: 口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部未調整/型押し成形 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 L37/SB4078
110	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 K36/SB4078/暗褐色土 片口状に歪む 口端部全周スス付着
111	土師器 小皿	口: 16.4 高: 2.7 底: 10.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 L37/SB4078 外: 底部周縁スス付着 内: 底面黒斑
112	土師器 小皿	口: 10.0 高: 2.3 底: 3.4 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部で受口状に屈曲/口唇部丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 L37/SB4078 片口状に歪む 口端部全周スス付着
113	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.1 底: 4.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部: 直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部丸く収める 底部: 平底	外: 口縁部ヨコナデ/体部～底部未調整/型押し成形 内: 口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 L37/SB4078 片口状に歪む 口端部一部スス付着
114	灰釉 小皿	口: 10.6 高: 2.5 底: 5.2 焼: 良好 色: 浅黄緑色	堅緻 1/2	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部: 削出高台	外: 口縁部～体部下位回転ナデ/底面回転ヘラ切り痕・輪トチン痕 内: 口縁部～体部下位回転ナデ	第Ⅳ区域 L37/SB4078 第Ⅴ区域 I34/床土
115	青白磁 稜花皿	口: 6.4 高: 2.0 底: 2.4 焼: 良好 色: 透青白色	精緻 1/10以下	口縁部: 内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部は波状/口唇部は丸く収める 底部: 削出高台/基筒高台	内: 底部中央に呉須十字文/底面周縁釉露胎	第Ⅳ区域 L37/SB4078
116	染付 皿	口: 11.8 高: 2.4 底: 6.0 焼: 良好 色: 透青灰色	精緻 1/6	口縁部: 緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部: 削出高台	外: 口端部に呉須圏線1/呉須草花文 内: 口端部に圏線1/圏線内に玉抱き獅子文	第Ⅳ区域 K36/SB4078/暗褐色土
117	朝鮮 鉢	高: 25.0 底: 4.6 焼: 良好 色: 暗茶黒色	堅緻 1/10以下	口縁部: 内傾して上方へ立ち上がる/口端部は外方へ突帯状に屈曲/突帯外面に斜行押圧/口端部下位に断面三角形突帯がめぐる/一部斜行押圧	外: 口縁部回転ナデ 内: 口縁部回転ナデ	第Ⅳ区域 L36/SB4078/黄褐色土
118	越前焼 播鉢	口: 36.0 高: 11.0 底: 16.0 焼: 良好 色: 淡赤茶色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/2	口縁部: 直線状に外方へ開く/口端面浅い凹面/口端部内側に段あり 底部: 平坦/縄目痕	外: 口縁部～体部下位回転ナデ/底面摩擦 内: 回転ナデ/幅3.0cm・10条の播目/粗/体部下位～底面摩擦/底面で播目交差/シャープな仕上げ	第Ⅳ区域 K34/SB4054 L37/SB4100
119	白磁 皿	口: 12.4 高: 3.2 底: 7.4 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/2	口縁部: 緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部: 削出高台		第Ⅳ区域 K34/SB4054

8. 第75次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
120	白磁皿	口: 15.0 高: 3.3 底: 8.6 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/3	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台		第IV区域 K34/SB4054 K34/褐色土(整地土)
121	青磁碗	口: 12.0 高: 3.5 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/10以下	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める	外: 体部に鑄蓮花文	第IV区域 L35/SV4067
122	土師器 小皿	口: 11.1 高: 2.5 底: 5.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 体部に段あり//口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕/底部未調整 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 L35/SV4067 口端部全周スス付着
123	鉄釉壺	高: 8.5 最: 17.1 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 1/10以下	胴部:上位で肩が張る/短砲弾形	外:頸部~胴部上位~中位回転ナデ 内:頸部~胴部上位~中位回転ナデ	第IV区域 M38/SV4073/暗褐色土 L38・M38/床土 124と同一個体
124	鉄釉壺	高: 7.0 最: 17.5 底: 13.4 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 1/10以下	胴部:短砲弾形 底部:平坦	外:頸部~胴部上位回転ナデ/胴部最下位回転ヘラケズリ/底面摩耗 内:胴部下位~底部回転ナデ	第IV区域 M38/SV4073/暗褐色土 M36・38/床土 123と同一個体
125	越前焼 播鉢	口: 23.4 高: 8.0 底: 11.0 焼: 良好 色: 橙色	微砂粒 白色粒子 精緻 3/4	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面 浅い凹面/口端部内側に段あり 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部~体部下位回転ナデ/底面 ナデ 内:回転ナデ/幅2.4cm・8条の播目/ 12本/底面で播目交差	第IV区域 K40/SD4058 N44・45/茶褐色土 外:ヤキムラ
126	越前焼 播鉢	高: 6.0 底: 14.0 焼: 良好 色: 淡橙灰色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/10以下	底部:平坦/縄目痕	外:底面摩耗 内:回転ナデ/幅3.0cm・11条の播目/ 密/底面で播目交差	第IV区域 L39/SD4058 M39/SD4058
127	灰釉壺	高: 14.6 最: 17.0 焼: 良好 色: 濃濁緑色	精緻 1/6	胴部:胴部上位で肩が張る	外:胴部回転ナデ 内:胴部回転ヘラケズリ シャープな仕上げ	第IV区域 J40/SD4058/褐色土 第V区域 B39/礫混灰色粘土
128	土師器 羽釜	口: 10.0 高: 7.8 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/8	口縁部:直上へ短く立ち上がる/口唇部は丸く収める 受部:平滑/幅1.1cm	外:口縁部~受部回転ナデ/体部ナデ/ 受部下端ナデ後指頭痕 内:口縁部~体部回転ナデ後指頭痕	第IV区域 I39/SD4058 外:体部スス付着
129	青磁碗	口: 13.0 高: 3.4 焼: 良好 色: 灰オリーブ	精緻 1/10以下	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める		第IV区域 L39・M39/SD4058/ 下層
130	染付皿	口: 11.6 高: 3.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 透緑黄色	精緻 1/6	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:削出高台/基筋底	外:口端部に圏線1・具須文様 内:底面周縁に圏線2/圏線内に具須文	第IV区域 L39・M39/SD4058 外:底面露胎
131	越前焼 火鉢	口: 21.0 高: 18.8 底: 19.2 焼: 良好 色: 淡灰褐色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/3	口縁部:やや外傾して直線状に上方へ立ち上がる/口端面浅い凹面 体部:寸胴形 底部:平坦	外:口縁部~体部下位回転ナデ/底面 摩耗 内:回転ナデ後指頭痕 シャープな仕上げ	第IV区域 L33/SD4059 L34~36/床土
132	土師器 小皿	口: 9.1 高: 2.1 底: 3.9 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 L33/SD4059 片口状に歪む 口端部全周スス付着
133	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.2 底: 3.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 L33/SD4059 片口状に歪む 口端部1/3周スス付着
134	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.0 高: 5.5 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 1/4	口縁部:直線状に外方へ立ち上がり、 口端部で上方にやや屈曲/口唇部は短く外傾し丸く収める	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第IV区域 L33/SD4059 L35/下層 外:体部下位露胎

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
135	灰釉 皿	口: 11.0 高: 2.7 底: 6.0 焼: 良好 色: 淡黄緑色	堅緻 1/2	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口端部やや外反/口唇部は丸 く収める 底部:削出高台	外:口縁部～体部下位回転ナデ/底面 輪トチン痕 内:口縁部～体部下位回転ナデ/底面 中央菊花文押印	第Ⅳ区域 L33/SD4059 X007
136	青磁 香炉	高: 3.5 底: 8.0 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/8	体部:寸胴形/直線状に上方へ立ち上 がる 底部:底部周縁に三角板状に脚3/底面 中央で接地	外:体部回転ナデ/底部周縁に糸線2/ 脚外面に簡略化した獣面線刻 内:体部回転ナデ	第Ⅳ区域 L33/SD4059 M33/床土 外:底面露胎
137	越前焼 播鉢	口: 23.4 高: 8.5 底: 12.0 焼: 良好 色: 暗灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 須恵質 1/8	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面 浅い凹面/口端部内側に段あり 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部～体部下位回転ナデ/底面 摩耗 内:回転ナデ/幅3.0cm・10条の挿目/ シャープな仕上げ	第Ⅳ区域 I35～38/SD4057 J37/床土 第Ⅴ区域 H36/床土 D36/整地土
138	土師器 小皿	口: 6.2 高: 1.4 底: 3.4 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅳ区域 I33/SD4057
139	土師器 小皿	口: 6.6 高: 1.5 底: 1.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち 上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅳ区域 I39/SD4057/褐色土 片口状に歪む 口端部1/3周スス附着
140	土師器 小皿	口: 7.2 高: 1.8 底: 1.8 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち 上がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部～底部ナデ後ヘラケズリ 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅳ区域 I35～38/SD4057
141	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.7 底: 2.7 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 I39/SD4057 片口状に歪む 口端部半周スス附着
142	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.7 底: 1.7 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ミカ キ/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/体部～底部指頭 痕	第Ⅳ区域 I39/SD4057 口端部半周スス附着
143	土師器 小皿	口: 7.4 高: 2.0 底: 3.0 焼: 良好 色: 淡灰茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち 上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅳ区域 I39/SD4057 片口状に歪む 口端部全周スス附着 内:スス附着
144	土師器 小皿	口: 7.4 高: 2.0 底: 2.5 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち 上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅳ区域 I39/SD4057 片口状に歪む
145	土師器 小皿	口: 8.6 高: 1.8 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部やや外反/体部に段あり/口 唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 I39/SD4057 片口状に歪む 口端部部分的スス附着
146	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 4.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 I33/SD4057 片口状に歪む 口端部全周スス附着
147	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.1 底: 4.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部 未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 I39/SD4057/粘土 片口状に歪む 口端部全周スス附着
148	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.1 底: 4.4 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち 上がる/口端部内側受口状に屈曲 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 I35～38/SD4057 片口状に歪む
149	土師器 小皿	口: 10.3 高: 2.8 底: 5.2 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅳ区域 I33/SD4057 片口状に大きく歪む 口端部半周スス附着

8. 第75次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色调	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
150	土師器 小皿	口: 10.0 高: 2.3 底: 4.3 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 I38/SD4057 片口状に歪む 口端部全周スス付着
151	土師器 盤	口: 16.0 高: 1.9 底: 10.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第IV区域 I35/SD4057/黄褐色土 外:底面黒斑 内:底面黒斑
152	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.0 高: 6.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 2/3	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部で上方に屈曲。口唇部は短く 外傾し丸く収める 底部:削出高台/中央凹む	外:口縁部~体部中位回転ナデ/体部 下位回転ヘラケズリ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第IV区域 I37・38/SD4057 I38/床土 外:体部下位~底面 露胎
153	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.0 高: 6.8 底: 4.3 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 1/2	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部で上方に屈曲。口唇部は短く 外傾し丸く収める 底部:削出高台/中央凹む	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第IV区域 I35~38/SD4057 外:体部下位~底面 露胎
154	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 12.1 高: 6.9 底: 4.4 焼: 良好 色: 黒茶色	精緻 1/8	口縁部:直線状に外方へ立ち上がる/ 口端部で上方にやや屈曲。口唇部は 短く外傾し丸く収める 底部:削出高台/中央凹む	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第IV区域 I39/SD4057/褐色土 I37/床土 外:体部下位~底面 露胎
155	瀬戸美濃 鉄釉 瓶子	口: 4.2 高: 7.4 底: 6.4 焼: 良好 色: 茶黒色	精緻 2/3	口縁部:外反して斜め上方へ立ち上がる/ 口唇部丸く収める 体部:フラスコ形/体部下位で張る 底部:平坦	外:口縁部~体部下位回転ナデ/体部 下位回転ヘラケズリ/底面回転ヘラ切 り 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第IV区域 I37/SD4057 J34・K34/床土 K36/暗褐色土 K38/床土 K39/SB4051 外:体部下位~底面 露胎
156	青磁 碗	口: 15.0 高: 5.0 底: 6.6 焼: 良好 色: 淡オリーブ灰	精緻 1/2	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:削出高台/端面内側で接地		第IV区域 I38・39/SD4057/褐色 土 外:高台端面~底面 露胎
157	青磁 碗	口: 13.6 高: 5.4 底: 4.4 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/3	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:削出高台/端面内側で接地		第IV区域 I38/SD4057/褐色土 外:体部下位~底面 露胎
158	白磁 皿	口: 11.4 高: 2.4 底: 6.0 焼: 良好 色: 透灰色	精緻 1/8	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口端部外反/口唇部は丸く 収める 底部:削出高台		第IV区域 I34/SD4057 外:高台端面~底面 露胎
159	染付 碗	口: 14.6 高: 3.8 底: 良好 色: 透青灰色	精緻 1/6	口縁部:やや内湾して外方へ立ち上 がる/口唇部丸く収める	外:口端部に呉須圏線2/圏線内に文 様帯/体部に呉須色蕉文 内:口端部に呉須圏線1	第IV区域 I38/SD4057 K37/SV4072(SB4078)
160	染付 皿	口: 15.2 高: 2.1 底: 9.0 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/8	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口端部外反/口唇部は丸く収 める 底部:削出高台	外:口端部に呉須圏線2/体部に呉須 草花文 内:口端部に呉須圏線1/体部に呉須 草花文/底面に呉須圏線2/圏線内に 呉須文様	第IV区域 I35~38/SD4057 J35/床土
161	朝鮮 壺	高: 7.7 底: 17.0 焼: 良好 色: 黒褐色	精緻 1/10以下	胴部:短砲弾形/内傾して上方へ立ち 上がる 底部:平坦	外:胴部下位回転ナデ 内:胴部下位回転ナデ/底面ナデ	第IV区域 I39/SD4057 外・内:体部下位~底 面自然釉
162	朝鮮 鉢	口: 27.4 高: 11.5 底: 14.4 焼: 良好 色: 暗赤茶色	極砂粒 白色粒子 精緻 1/2	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口端部外側は突帯状に成形/口端面は 平坦 底部:削出高台	外:口縁部~胴部下位回転ナデ/底面 摩耗 内:口縁部回転ナデ/胴部上位~底面 ナデ	第IV区域 I34/SD4057 J36/SB4048/黄褐色土 外:底面露胎 内:口縁部一部露胎
163	土師器 高杯	高: 6.0 底: 良好 色: 淡赤茶色	微砂粒 軟質 1/10以下	脚部:脚柱部は直線状に斜め外方へ開 く/脚裾部は屈曲して外方へ開く 弥生時代後期末~古墳時代前期の高杯	外:脚部ナデ 内:脚部ナデ後ヘラケズリ	第IV区域 K36/SE4061
164	越前焼 壺	口: 6.2 高: 11.0 底: 7.8 焼: 良好 色: 灰黒色	微砂粒 白色粒子 精緻 4/5	口縁部:直線状に短く外反して立ち上 がる/口唇部は丸く収める 胴部:上位で肩が張る 底部:平坦	外:口縁部~胴部中位回転ナデ/胴部 下位回転ヘラケズリ/胴部上位に2種 類のヘラ記号/底部未調整 内:口縁部~胴部下位回転ナデ/胴部 下位指頭痕	第IV区域 K36/SE4061 J36/SB4048/黄褐色土 外:胴部上位降灰 内:胴部下位降灰

単位: cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
165	土師器 小皿	口: 9.0 高: 1.8 底: 5.3 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に受口状の段あり/体部に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ 口縁部2ヶ所に意図的な剥離痕	第Ⅳ区域 K36/SE4061 片口状に大きく歪む
166	土師器 小皿	口: 11.8 高: 2.6 底: 5.7 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 F33/SB4043 片口状に歪む 口端部一部スス附着
167	土師器 小皿	口: 11.6 高: 2.0 底: 5.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 G33/SB4043 片口状に歪む 外:体部スス附着 内:体部スス附着
168	土師器 小皿	口: 12.8 高: 2.3 底: 7.0 焼: 良好 色: 淡褐白色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に受口状の段あり/体部に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 F32/SB4043 片口状に歪む
169	土師器 小皿	口: 10.6 高: 2.3 底: 5.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 F33/SB4043 片口状に歪む 口端部全周スス附着
170	土師器 小皿	口: 10.8 高: 2.1 底: 4.8 焼: 良好 色: 淡黄褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ 底面に白色残留物	第Ⅴ区域 F33/SB4043 片口状に歪む 口端部全周スス附着
171	土師器 小皿	口: 10.8 高: 2.0 底: 5.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 G32/SB4043 片口状に歪む 口端部3/4周スス附着
172	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 F32/SB4043 片口状に歪む 口端部全周スス附着
173	土師器 小皿	口: 9.6 高: 2.0 底: 4.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 F32/SB4043 片口状に歪む 口端部全周スス附着
174	土師器 小皿	口: 6.2 高: 1.8 底: 2.7 焼: 良好 色: 赤橙色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 G32/SB4043/灰層 X008 片口状に歪む
175	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.6 底: 2.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 F33/SB4043 片口状に歪む 口端部半周スス附着
176	土師器 小皿	口: 7.0 高: 1.5 底: 3.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部～底部ナデ	第Ⅴ区域 F33/SB4043 片口状に大きく歪む
177	土師器 小皿	口: 7.6 高: 1.7 底: 3.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 G32/SB4043/灰色粘土
178	土師器 小皿	口: 8.3 高: 1.6 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第Ⅴ区域 F33/SB4043 片口状に歪む 口端部全周スス附着

8. 第75次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
179	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.0 底: 4.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 F32/SB4043 片口状に歪む 口端部全周スス付着
180	土師器 小皿	口: 8.9 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 F33/SB4043 片口状に歪む
181	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.0 底: 4.3 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 F33/SB4043 片口状に歪む 口端部4/5周スス付着
182	灰釉 捏鉢	口: 30.0 高: 6.5 底: 5.2 焼: 良好 色: 褐緑色	堅緻 1/8	口縁部:直線状に外方へ開く/口端部内側は上方へ立ち上がる/口縁部片口	外:口縁部~底部回転ナデ 内:口縁部~底部回転ナデ	第V区域 G32/SB4043/灰色粘土 H31/灰色粘土 外:体部下位露胎 内:体部下位摩耗
183	灰釉 碗	口: 10.8 高: 6.4 底: 5.2 焼: 良好 色: 浅黄緑色	堅緻 2/3	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部回転ナデ	第V区域 G33/SB4043 G33/炭混粘土 H32/炭混粘土 外:底面露胎
184	灰釉 皿	高: 9.0 底: 2.4 焼: 良好 色: 浅黄緑色	堅緻 2/3	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部回転ナデ	第V区域 G32/SB4043/灰色粘土 G32/灰色粘土 G32/炭混粘土 外:底面露胎/トチン痕
185	灰釉 皿	高: 12.0 底: 2.5 底: 6.8 焼: 良好 色: 浅黄緑色	堅緻 1/5	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部回転ナデ	第V区域 G33/SB4043/灰色粘土 G32/炭混粘土
186	瀬戸美濃 鉄釉 茶入	口: 3.6 高: 5.5 底: 5.5 焼: 良好 色: 黒茶色	極砂粒 精緻 1/8	口縁部:内傾/内湾/口唇部は短く外傾し丸く収める 体部:体部上位で張る	外:口縁部~体部下位回転ナデ 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第V区域 F33/SB4043/炭混粘土 外:体部中位露胎 内:体部上・下位露胎
187	青磁 碗	口: 14.2 高: 5.0 底: 4.2 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/10以下	口縁部:体部下位で内湾して直線状に外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める	外:口縁部~体部に浅い錦蓮花文 内:口縁部~体部貫入	第V区域 F34/SB4043 H33/床土
188	青磁 皿	口: 11.2 高: 2.6 底: 4.2 焼: 良好 色: 灰オリーブ	精緻 1/4	口縁部:体部下位で屈曲/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台/端面平坦	内:底部に陰刻	第V区域 F33/SB4043/炭混粘土 外:高台端面~底面露胎
189	白磁 皿	口: 11.0 高: 2.5 底: 5.2 焼: 良好 色: 灰白色	精緻 1/4	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台		第V区域 F34/SB4043/床土 G33/SB4043/床土 G35/炭層 外:高台端面露胎
190	白磁 皿	口: 12.0 高: 2.8 底: 6.2 焼: 良好 色: 透灰色	精緻 1/8	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台		第V区域 F33/SB4043/炭混粘土 外:高台端面露胎
191	白磁 皿	口: 11.6 高: 2.7 底: 6.4 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/2	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸く収める 底部:削出高台		第V区域 F34/SB4043/炭混粘土 E33・34/床土 I35/床土 外:高台端面露胎
192	白磁 杯	高: 2.0 底: 2.8 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/8	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち上がる 底部:削出高台	外:高台端面外側面取り	第V区域 D33/SB4044 J37床土 外:高台端面露胎
193	越前焼 壺	口: 14.9 高: 16.9 底: 12.9 焼: 良好 色: 濃茶色	極砂粒 白色粒子 精緻 1/8	口縁部:短く屈曲/口端面は平坦 胴部:寸胴形/上位で肩が張る 底部:平坦	外:口縁部~胴部下位回転ナデ/底面未調整 内:口縁部~胴部下位回転ナデ/胴部中位ユビナデ/シャープな仕上げ	第V区域 H33/SB4045 H35/SB4053 外:胴部上位降灰 内:胴部中・下位降灰

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
194	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G33/SB4045 口端部全周スス付着
195	土師器 小皿	口: 8.8 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G33/SB4045 片口状に歪む 口端部1/4周スス付着
196	土師器 小皿	口: 10.0 高: 2.1 底: 5.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/2	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部 未調整/型押し成形 内:口縁部～底部ナデ	第V区域 H32/SB4045 片口状に歪む 口端部全周スス付着
197	土師器 小皿	口: 11.6 高: 2.5 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口端部やや外反/体部に段あり/口 唇部は丸く収める 底部:平底/中央凹む	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ/底部 未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H32/SB4045 片口状に歪む 口端部全周スス付着
198	瀬戸美濃 鉄釉 天目茶碗	口: 9.6 高: 4.8 底: 3.4 焼: 良好 色: 暗茶色	精緻 1/2	口縁部:直線状に外方へ立ち上がり、 口端部で上方に屈曲。口唇部は短く 外傾し丸く収める	外:口縁部～体部下位回転ナデ 内:口縁部～体部下位回転ナデ	第V区域 H32/SB4045 第IV区域 外:体部下位～底面 露胎
199	瓦質土器 火鉢	焼: 良好 色: 灰黒色	軟質 1/10以下	底部:雲形脚残存	外:脚部面取り	第V区域 H34/SB4045/灰色粘土
200	白磁 稜花皿	口: 16.6 高: 2.7 底: 9.6 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/10以下	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ 立ち上がる/口端部で外方に屈曲/口 唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:体部に菊花文 内:体部に菊花文	第V区域 G33/SB4045/床土 外:高台端面露胎
201	白磁 皿	口: 11.0 高: 3.1 底: 6.2 焼: 良好 色: 透灰色	精緻 1/3	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立ち 上がる/口端部外反/口唇部は丸く収 める 底部:削出高台		第V区域 H32/SB4045/床土 外:高台端面露胎
202	染付 碗	口: 12.0 高: 4.2 焼: 良好 色: 淡黄白色	精緻 1/4	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる/ 口唇部丸く収める	外:口端部に呉須圏線2/圏線内に斜 行文/体部に呉須蓄文 内:口端部に呉須圏線1 全体貫入	第V区域 H33/SB4045/床土G34/ SB4043/床土 D38・39/床土 H33・36/床土
203	越前焼 播鉢	口: 46.0 高: 17.5 底: 20.0 焼: 良好 色: 淡赤茶色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/6	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面 は平坦/口端部内側は凹状の段をもつ 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部～体部下位回転ナデ 内:口縁部～体部中位回転ナデ/幅 2.3cm・9条の播目/体部下位摩耗 シャープな仕上げ	第V区域 I33/SB4053/炭混粘土 I32/茶褐色土 I32・33/床土
204	越前焼 播鉢	口: 38.0 高: 11.8 底: 13.0 焼: 良好 色: 淡赤橙色	微砂粒 白色粒子 堅緻 2/3	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面 は平坦/口端部内側は条線の段をもつ 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部～体部回転ナデ 内:口縁部～体部回転ナデ/幅2.9cm ・9条の播目/シャープな仕上げ	第V区域 G34/SB4053/灰色粘土 H33/灰色粘土 B33/SS4008
205	土師器 小皿	口: 7.1 高: 1.6 底: 2.5 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部～底部ミガキ 内:口縁部～底部ミガキ 全体に白い化粧土をかけている	第V区域 G34/SB4053/炭混粘土 片口状に歪む
206	土師器 小皿	口: 8.4 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H36/SB4053 片口状に歪む 口端部全周スス付着
207	土師器 小皿	口: 8.2 高: 2.0 底: 3.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部～底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H34/SB4053/炭混粘土 片口状に歪む 口端部半周スス付着
208	土師器 小皿	口: 12.6 高: 2.0 焼: 良好 色: 茶褐色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/ 口端部受口状に屈曲/口唇部は丸 く収める	外:口縁部～体部ミガキ 内:口縁部～体部ミガキ/金箔残存	第V区域 G34/SB4053/灰色粘土

8. 第75次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
209	瀬戸美濃 鉄釉鉢	高: 7.4 底: 16.6 焼: 良好 色: 暗赤茶色	堅緻 1/3	胴部:内湾して直線状に上方へ立ち上 がる 底部:削出高台	外:胴部下位回転ヘラケズリ/底部中 央ナデ/底部周縁回転ヘラケズリ 内:口縁部~底部回転ナデ	第V区域 G34/SB4053/灰色粘土 G34/整地土 H35・36/床土
210	白磁 杯	高: 2.0 底: 3.8 焼: 良好 色: 透白灰色	精緻 1/8	体部:平面八角形/面取り 底部:削出高台/割り高台 八角杯	内:トチン痕4ヶ所	第V区域 H36/SB4053/炭混粘土
211	白磁 皿	口: 11.3 高: 2.1 底: 5.6 焼: 良好 色: 透灰白色	精緻 1/6	口縁部:緩やかに外反して斜め外方へ 立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:削出高台		第V区域 I34/SB4053/床土 外:高台端面露胎
212	白磁 皿	口: 11.0 高: 2.5 底: 6.2 焼: 良好 色: 透白色	精緻 1/6	口縁部:緩やかに外反して斜め外方へ 立ち上がる/口端部外反/口唇部は丸 く収める 底部:削出高台		第V区域 H34/SB4053/床土 H35・36/床土 外:高台端面露胎
213	白磁 皿	口: 11.4 高: 2.4 底: 5.1 焼: 不良 色: 透灰色	精緻 1/8	口縁部:緩やかに外反して斜め外方 へ立ち上がる/口端部外反/口唇部は 丸く収める 底部:削出高台		第V区域 I34/SB4053/床土 E35/床土 外:高台端面露胎
214	朝鮮 壺	高: 6.2 底: 17.8 焼: 良好 色: 暗赤茶色	精緻 1/6	底部:平坦/中央凹む	外:胴部下位回転ナデ後指頭痕/底部 にトチン痕 内:胴部回転ナデ/底部ナデ	第V区域 G34/SB4053/炭混粘土 E36/床土 外:高台端面露胎
215	土師器 小皿	口: 8.5 高: 1.8 底: 4.8 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G35/SB4046/下層 片口状に歪む
216	土師器 小皿	口: 9.4 高: 1.9 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G35/SB4046/下層 片口状に歪む 口端部3ヶ所スス附着
217	土師器 小皿	口: 8.8 高: 1.7 底: 4.8 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部受口状に屈曲/口唇部丸 く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G35/SB4046/下層 片口状に歪む 口端部一部スス附着
218	土師器 小皿	口: 8.8 高: 1.8 底: 4.6 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G35/SB4046/下層 片口状に歪む 口端部1/3周スス附着
219	土師器 小皿	口: 8.4 高: 1.8 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部内側に段あり/口唇部丸く収 める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G35/SB4046/下層 口端部1/4周スス附着
220	土師器 小皿	口: 10.2 高: 2.4 底: 5.3 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/体部に段あり/口唇部は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G35/SB4046 片口状に歪む
221	土師器 小皿	口: 11.0 高: 2.1 底: 5.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部外反/体部に段あり/口唇部 は丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕/底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G35/SB4046/下層 片口状に歪む 口端部部分的スス附着
222	土師器 羽釜	口: 6.0 高: 3.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/10以下	口縁部:直上へ短く立ち上がる/口唇 部は丸く収める 受部:平滑/幅1.1cm	外:口縁部~受部ヨコナデ/体部ナデ 内:口縁部~体部ナデ	第V区域 G35/SB4046/下層
223	瓦質 香炉	天: 10.0 高: 3.7 焼: 良好 色: 黒色	精緻 1/10以下	口縁部:寸胴形/直線状に上方へ立ち 上がる/口唇部は丸く収める	外:口縁部~体部回転ナデ後黒色磨 研/体部に菊花文2 内:口縁部~体部回転ナデ後黒色 磨研	第V区域 G35/SB4046/下層
224	瓦質 鉢	高: 3.3 底: 21.0 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 軟質 1/10以下	底部:脚部周縁に幅0.5cmの突帯がめ ぐる	外:底面ナデ 内:底面ナデ	第V区域 G36/SB4046/炭混粘土

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形 状	調整 / 文様	出土地点 備 考
225	青磁碗	高: 3.8 底: 5.4 焼: 不良 色: 暗オリーブ灰	精緻 1/8	口縁部:内湾して外方へ立ち上がる	外: 体部に浅い線刻蓮花文	第V区域 G36/SB4046 外: 高台端面~底面露胎 内: 底面中央露胎
226	越前焼壺	口: 12.2 高: 20.0 最: 19.0 底: 12.0 焼: 良好 色: 灰黒色	微砂粒 白色粒子 精緻 2/3	口縁部:短く外傾して立ち上がる/口 端面は平坦 胴部:中位で大きく張る 底部:平坦	外:口縁部~胴部中位回転ナデ/胴部 上位に2種類のヘラ記号/胴部下位ヘ ラナデ 内:口縁部~胴部下位回転ナデ	第V区域 I39/SB4047 J38/暗褐色土 第V区域 H35/SB4047 G35・H36・37/床土 外:口縁部~胴部下位 自然釉 内:口縁部降灰/胴部 中位~底部降灰/剥 離痕
227	越前焼播鉢	口: 33.8 高: 10.4 底: 15.0 焼: 良好 色: 黄褐色	微砂粒 白色粒子 軟質 土師質 1/6	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面 は平坦/口端部内側に沈線/口唇部丸 く収める 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部~体部下位回転ナデ/底面 粗いナデ 内:口縁部~体部中位回転ナデ/幅 2.7cm・9条の播目/底面に播目 シャープな仕上げ	第V区域 H36/SB4047/下層
228	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.0 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 G33/SB4101 口端部全周スス附着
229	越前焼壺	口: 37.0 高: 48.1 最: 46.2 底: 17.4 焼: 良好 色: 暗灰黒色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/2	口縁部:短く外反して立ち上がる/口 端面は平坦/口端部内側に段あり 胴部:中位で大きく張る 底部:平坦	外:口縁部~胴部下位ナデ/胴部上位 に1種類のヘラ記号(本)/底面ナデ 内:口縁部~胴部ナデ/幅8.0cmの粘 土板輪積み9~11段/指頭痕7段	第V区域 I39/SA4042 第IV区域 K37/SB4078 外:口縁部~胴部下位 自然釉 内:口縁部降灰/胴部 中位~底部降灰
230	越前焼播鉢	口: 40.8 高: 17.0 底: 17.4 焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 軟質 3/4	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面 は平坦/口端部内側に沈線 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部~体部下位回転ナデ/体部 下位~底面摩擦 内:口縁部~体部中位回転ナデ/体部 下位摩擦/幅2.8cm・9条の播目/密/ 底面に播目/シャープな仕上げ	第V区域 C~E39/SA4042 内: 体部上位スス附着
231	土師器 小皿	口: 9.4 高: 1.9 底: 4.9 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部外反/口端部内側に段あり 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 I39/SA4042
232	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.1 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 4/5	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 I39/SA4042 片口状に歪む 口端部全周スス附着
233	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 3/4	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 I39/SA4042 片口状に歪む 口端部全周スス附着
234	土師器 小皿	口: 8.0 高: 1.7 底: 3.8 焼: 良好 色: 白褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 I39/SA4042 片口状に歪む
235	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 4.5 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口端部やや外傾/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭 痕/底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 I39/SA4042 片口状に歪む 口端部全周スス附着
236	灰釉皿	高: 10.8 底: 2.4 底: 6.0 焼: 不良 色: 暗オリーブ灰	精緻 1/2	口縁部:緩やかに内湾して外方へ立 ち上がる/口端部やや外反/口唇部は丸 く収める 底部:削出高台	外:口縁部~体部下位回転ナデ/底面 輪トチン痕 内:口縁部~体部下位回転ナデ	第V区域 H36/SE4060 H33/SB4045 片口状に歪む
237	土師器 小皿	口: 10.6 高: 2.5 底: 5.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上 がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H36/SE4060 片口状に歪む 口端部全周スス附着

8. 第75次調査遺物

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点
						備考
238	土師器 小皿	口: 10.2 高: 2.6 底: 4.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部ナデ後指頭痕/底部未調整/型押し成形 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H36/SE4060 片口状に歪む 口端部全周スス付着
239	越前焼 壺	高: 14.0 最: 17.8 底: 5.2 焼: 良好 色: 灰黒色	極砂粒 白色粒子 精緻 1/5	口縁部:短く屈曲/口端面は平坦 胴部:寸胴形/上位で肩が張る	外:口縁部~胴部上位回転ナデ 内:口縁部~胴部上位回転ナデ シャープな仕上げ 備前焼の模倣品?	第V区域 H36/SE4060 H35/SB4046
240	越前焼 壺	高: 13.3 最: 14.2 底: 9.2 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 白色粒子 精緻 1/2	口縁部:短く屈曲して上方へ立ち上がる 胴部:球形/上位で肩が張る 底部:平坦	外:口縁部~胴部下位回転ナデ/底面未調整 内:口縁部~胴部下位回転ナデ後胴部指頭痕	第V区域 H36/SE4060 外:胴部上位降灰/底面スス付着
241	越前焼 瓶	口: 5.0 高: 5.3 最: 10.2 焼: 良好 色: 淡茶色	微砂粒 白色粒子 精緻 1/4	口縁部:短く外反して屈曲/口唇部丸く収める 胴部:扁球形/上位で肩が張る/環状双耳	外:口縁部~胴部中位回転ナデ 内:口縁部~胴部中位回転ナデ後ユビナデ	第V区域 H36/SE4060 第IV区域 I34/SD4057 外:口縁部~胴部自然釉
242	越前焼 壺	口: 13.9 高: 7.0 焼: 良好 色: 黒色	極砂粒 白色粒子 精緻 1/2	口縁部:短く外反して上方へ立ち上がる	外:口縁部回転ナデ 内:口縁部回転ナデ/胴部上位指頭痕	第V区域 H36/SE4060 C35/黒色土 外・内:口縁部自然釉
243	越前焼 播鉢	口: 43.0 高: 17.5 底: 16.0 焼: 良好 色: 淡赤茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/2	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面は平坦/口端部内側に凹線状の段あり 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部回転ナデ/体部回転ヘラケズリ/体部下位回転ナデ/底面摩擦 内:口縁部~体部下位回転ナデ/幅2.8cm・8条の播目/体部上位にヨコ播目/底面に播目/シャープな仕上げ	第V区域 H36/SE4060 第IV区域 I33/SD4057 I34/SB4053 K34・L33/SB4054
244	越前焼 播鉢	口: 33.0 高: 11.0 底: 16.0 焼: 良好 色: 暗灰色	微砂粒 白色粒子 堅緻 須恵質 1/2	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面は平坦/口端部内側に凹線状の段あり 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部~体部回転ナデ/底面摩擦 内:口縁部~体部下位回転ナデ/体部中位~下位摩擦/幅2.6cm・8条の播目/体部中位にヨコ播目/底面に播目/シャープな仕上げ	第V区域 H36/SE4060 I39/SA4042 H36/床土
245	越前焼 播鉢	口: 33.4 高: 11.4 底: 17.0 焼: 良好 色: 淡赤茶色	微砂粒 白色粒子 堅緻 2/3	口縁部:直線状に外方へ開く/口端面は丸みをもつ/口端部内側に凹線状の段あり 底部:平坦/縄目痕	外:口縁部~体部回転ナデ/底面ナデ/底面周縁摩擦 内:口縁部~体部下位回転ナデ/幅2.8cm・12条の播目/底面に播目交差/シャープな仕上げ	第V区域 H36/SE4060 H36/床土 第IV区域 I35~38/SD4057
246	青磁 輪花盤	口: 20.0 高: 4.5 底: 11.6 焼: 良好 色: オリーブ灰	精緻 1/4	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める/口端部は花卉状に成形 底部:削出高台	外:底面に放射状のケガキ 内:底面周縁に陰刻花文	第V区域 H36/SE4060 C38/褐色土 外:高台端面露胎
247	朝鮮 碗	口: 16.6 高: 6.0 底: 5.5 焼: 良好 色: 明灰色	堅緻 1/2	口縁部:緩やかに内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部は丸く収める 底部:削出高台	外:口縁部~体部中位回転ナデ/体部下位回転ヘラケズリ 内:口縁部~底部/灰色地に白いハケメを一巡描く/底面にトチン痕	第V区域 H36/SE4060 第IV区域 M37・38/褐色土 L35/黄褐色土 外:高台端面摩擦
248	灰釉 小皿	高: 1.5 底: 9.0 焼: 良好 色: 濃黄緑色	極砂粒 堅緻 1/3	底部:削出高台	外:底部トチン痕 内:底面中央に菊花文押印	第V区域 I39/SF4063 外:底面露胎
249	越前焼 甕	口: 27.2 高: 34.5 最: 43.8 底: 25.0 焼: 良好 色: 灰黒色	微砂粒 白色粒子 堅緻 1/2	口縁部:短く屈曲して立ち上がる/口端面は平坦 胴部:上位で大きく張る 底部:平坦	外:口縁部~胴部下位ナデ/底面スノコ状圧痕/底面周縁ユビナデ 内:口縁部回転ナデ/胴部中位回転ナデ後指頭痕/胴部下位~底部ナデ	第V区域 H36/SE4060 C~I39/SA4042 第IV区域 M34/SV4070 K36/SE4061 外:胴部上位降灰 外・内/タール付着
250	土師器 小皿	口: 6.8 高: 1.6 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:やや内湾して斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:丸底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H32/SX4081 片口状に歪む 口端部一部スス付着
251	土師器 小皿	口: 8.4 高: 2.0 底: 4.3 焼: 良好 色: 淡茶色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H32/SX4081 片口状に歪む 口端部半周スス付着

単位:cm

No	器種	法量/焼成/色調	胎土 残存	形状	調整 / 文様	出土地点 備考
252	土師器 小皿	口: 9.0 高: 2.0 底: 4.2 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H32/SX4081 片口状に歪む 口端部半周スス付着
253	土師器 小皿	口: 9.2 高: 2.3 底: 4.0 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H32/SX4081 片口状に歪む 口端部半周スス付着
254	土師器 小皿	口: 8.8 高: 2.4 底: 4.3 焼: 良好 色: 茶色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H32/SX4081 片口状に歪む 外・内:スス付着
255	土師器 小皿	口: 10.6 高: 2.6 底: 5.0 焼: 良好 色: 淡橙褐色	極砂粒 軟質 5/6	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/口端部内側に段あり/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H32/SX4081 片口状に歪む 内:スス付着
256	土師器 小皿	口: 11.0 高: 2.0 底: 5.5 焼: 良好 色: 淡黄褐色	極砂粒 軟質 2/3	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ後指頭痕 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H32/SX4081 片口状に歪む
257	土師器 小皿	口: 10.2 高: 2.2 底: 5.4 焼: 良好 色: 橙褐色	極砂粒 軟質 1/1	口縁部:直線状に斜め外方へ立ち上がる/体部に段あり/口唇部丸く収める 底部:平底	外:口縁部ヨコナデ/体部~底部ナデ 内:口縁部ヨコナデ/底部ナデ	第V区域 H32/SX4081 片口状に歪む 口端部3/4周スス付着

土製品(PL.74 第54区)

単位:cm

No	器種	幅 高	孔 厚	残存	材質 色調	特徴	出土地点
258	土鈴	3.0 3.3	0.2 0.3	2/3	土師質 白褐色	外:ナデ 内:ナデ/シボリ 鈴口は孔と直交	第IV区域 I38/SD4057
259	土鈴	3.2 3.4	0.2 0.3	2/3	土師質 白褐色	外:ナデ 内:ナデ/シボリ 鈴口は孔と平行	第IV区域 I39/SD4057
260	土鈴	2.9 3.0	0.2 0.2	2/3	土師質 橙褐色	外:ナデ 内:ナデ/シボリ 鈴口は孔と平行	第IV区域 L33/SD4059
261	土鈴	2.7 3.4	0.2 0.3	2/3	土師質 白褐色	外:ナデ 内:ナデ/シボリ 鈴口は孔と直交 径1.2cmの土師珠	第IV区域 K37/SV4072

単位:cm

No	器種	幅 高	孔 厚	残存	材質 色調	特徴	出土地点
262	灯心押さえ	2.4 0.4	0.3 0.4	1/1	土師質 暗灰色	上径1.4cm 下径3.4cm	第V区域 G31/炭混粘土
263	砥石状 土製品	4.7 9.0	- 1.7	1/1	越前焼 須恵質 赤茶色	越前焼の破片を砥石に転用/片面に3.4cm×2.7cm×0.5cmの突起面を削出 裏・左右側面磨面/上下端面摩耗	第V区域 F32/床土

金属製品(PL.74 第54・55区)

単位:cm/g

No	器種	長 幅	厚 重	残存	材質	特徴	出土地点
264	鉄釘	4.6 1.1	0.35 -	4/5	鉄製品	釘頭T字/平坦/断面方形	第V区域 G34/SB4053
265	鉄釘	4.5 0.4	0.35 -	-	鉄製品	上端部欠損 断面長方形	第V区域 G34/SB4053
266	鉄釘	6.8 0.4	1.0 -	1/1	鉄製品	断面楕円形	第IV区域 K37/床土
267	鉄釘	6.3 0.3	0.2 -	1/1	鉄製品	断面円形	第IV区域 J38/暗褐色土
268	鉄釘	7.5 0.6	0.4 -	1/1	鉄製品	釘頭平坦/断面方形	第IV区域 I37/SD4057/ 暗褐色土
269	クサビ	4.7 1.7	0.4 -	1/1	鉄製品	上端幅1.8cm 下端幅1.3cm	表土
270	筒状金具	4.4 1.5	0.05 -	-	銅製品	筒状の銅製品/ 圧潰/煙管?	第V区域 G33/SB4045 灰層
271	筒状金具	3.8 1.7	0.05 -	-	銅製品	筒状の銅製品/ 圧潰/煙管?	表土
272	板状金具	13.5 1.0	0.05 -	-	銅製品	細板/両端に径0.2cmの穿孔/ 折れ曲がる	表土

単位:cm/g

No	器種	長 幅	厚 重	残存	材質	特徴	出土地点
273	火箸	16.9 0.25	0.18 -	1/1	銅製品	先端は鋭く加工/ 端から1.6cmの箇所 に段/断面方形/ 部分的に鍍金	第IV区域 K37/SV4072
274	火箸	7.8 0.4	0.4 -	-	銅製品	断面円形	第IV区域 I38/SD4057/ 茶褐色土
275	火箸	12.1 0.5	0.4 -	-	銅製品	断面方形	第IV区域 I38/SD4057/ 茶褐色土
276	火箸	12.9 0.5	0.4 -	-	銅製品	断面方形	表土
277	板状金具	6.3 0.7	0.2 -	-	銅製品	板状金具/両端に 径0.2cmの穿孔	表土
278	鉄鏃	7.0 0.9	0.9 -	1/1	鉄製品	鏃身部:5.0cm/ 断面は円形 基部:2.0cm	第IV区域 J37/SB4048/ 暗褐色土
279	小柄	10.9 1.3	0.4 -	-	銅製品	表面:毛彫り笹 葉文3ヶ所/余白 を魚子打/鍍金	第IV区域 I39/SD4057 焼土
280	小柄	8.2 1.3	0.4 -	-	銅製品	両端欠損	第IV区域 K36/SB4048/炭層

8. 第75次調査遺物

単位: cm/g

単位: cm/g

No	器種	長 幅	厚 重	残 存	材質	特 徴	出土地点	No	器種	長 幅	厚 重	残 存	材質	特 徴	出土地点
281	小柄	5.8 1.3	0.2 -	1/2	銅製品	表面:魚子打	第IV区域 J36/SB4048	287	菊皿	2.6 2.2	0.05 -	1/8	銅製品	底部:中央に径 0.2cmの穿孔	第IV区域 K37/SB4078/炭混 暗褐色土
282	黄金具	3.5 2.0	0.2 5.15	1/1	銅製品	表面:黒褐色の黒漆 被膜/短軸左右に稍 葉飾りが付く	第IV区域 表土	288	飾金具	3.0 2.0	0.3 -	1/1	銅製品	環状金具	表土
283	切羽	3.5 1.8	0.1 -	1/1	銅製品	中央に長1.6cm×幅 0.6cmの切込/鎖・ 付着物あり	第IV区域 H38/床土	289	飾金具	5.7 1.6	0.05 -	-	銅製品	板状/径0.2~0.4cm の穿孔2ヶ所/鍍金	第V区域 E37/整地土
284	棒状金具	10.9 0.9	0.8 -	-	銅製品	角柱/一側面にV 字状の切込	表土	290	飾金具	3.6 2.0	0.05 2.5	1/1	銅製品	形状:長楕円形/中 央に膨らみ/縁は 平坦/円文16/中央 に径0.8cmの穿孔	第IV区域 J36/暗褐色土
285	板状金具	9.7 0.8	0.1 -	-	銅製品	細板	表土	291	飾金具	3.7 2.1	0.05 -	1/1	銅製品	形状:長楕円形/中 央に膨らみ/縁は平 坦/円文16 中央に径0.9cmの穿 孔/鍍金・漆付着	第IV区域 J36/暗褐色土
286	菊皿	口 5.0 高 2.7	0.1 -	1/1	銅製品	口縁部:内湾して上 方へ屈曲/蓮弁16 内:底面中央に斜行 格子文線刻/鍍金 高台:径2.2cm/高0.7 cm/紅皿または蓮子	第IV区域 K37/SB4048	292	引手金具	4.1 3.7	0.1 -	1/1	銅製品	引手の底金具	第IV区域 J35/黄褐色土

石製品・骨角製品(PL. 75 第55~57図)

単位: cm

No	器種	法 量(最大値)				残存	石材 色調 材質	調 整・特 徴	備 考	出土地点
		長径	短径	厚	重					
293	駒石	1.9	1.9	0.4	-	1/2	鹿角? 灰色 硬質	形状:円形/半身欠損		第IV区域 J35/床土
294	養子	1.0	1.0	1.0	-	4/5	鹿角? 薄桃色 硬質	形状:板状の直方体/上下端部欠損/表 裏面・左右側面は研面	砥面4 粒度:密 中砥/左右側面の 砥面/粗い擦痕	第IV区域 K38/SB4051
295	温石	11.5	4.9	2.4	-	1/1	滑石 黒色 硬質	形状:板状の直方体/上位に径0.7cmの 円孔を穿つ 研面:表裏面・左右側面・上下端面/下 端部・左側面に粗い擦痕	研面6 石鍋の転用品 表花押[春・侶・仙]の線刻 裏:重ね字の線刻	第IV区域 O40/表土
296	石硯	13.3	6.9	1.0	-	1/2	粘板岩 灰黒色 硬質	形状:板状 額幅1.0cm、高さ0.8 周縁幅0.4cm、高さ1.0cm	全体平滑 周:摩滅/海:摩滅/ 墨付着 挿手処あり	第V区域 H34/SB4053 床土
297	石硯	18.0	4.8	2.1	-	1/2	粘板岩 暗灰色 硬質	形状:板状 額幅1.8cm、高さ2.2 周縁幅0.4cm、高さ2.3cm 脚部幅0.8cm、高さ0.9cm	全体平滑 周:摩滅/海:摩滅/ 墨付着 挿手処あり	第V区域 排土
298	石硯	8.2	5.7	1.3	-	2/3	粘板岩 青灰色 硬質	形状:板状/額欠損 周縁幅0.3cm、高さ1.3cm 脚部幅0.8cm、高さ0.4cm	全体平滑 周:摩滅 挿手処あり	第V区域 C39/SA4042 炭混灰色粘土
299	砥石	11.5	5.8	5.8	-	2/3	凝灰岩 黒灰色 硬質	形状:柱状直方体/上端部欠損 砥面/表裏面・左右側面・下端部 断面四角形	砥面5 粒度:密 中砥	第V区域 H36/SE4060
300	砥石	9.0	4.0	4.0	-	1/1	凝灰岩 灰褐色 軟質	形状:柱状直方体/下端部欠損 砥面/表裏面・左右側面・上端面 断面六角形	砥面6 粒度:密 荒砥	第IV区域 M34/SV4074 床土
301	石鬼	14.2	14.2	3.8	-	1/10 以下	笏谷石 淡緑灰色 軟質	石鬼の鬣 上から側縁は弧状に成形/下は波状に 成形	全体平滑	第IV区域 L33/SD4059
302	石臼 上臼	口径 33.4	高 11.0 推定	底径 33.0	-	3/4	笏谷石 淡青緑色 軟質	形状:扁平円柱 上面:上面は平坦/上面周縁帯は厚さ 2.5cm、高さ2.9cmと推定/中心と周縁 帯の間に長方形の物入れを1つ穿つ/ 物入れは上下面から穿孔 側面:側面中位左右に長方形の挽柄穴 を設ける 下面:下面は軸受穴を中心に凹面	主溝は7分画し、1分 画に右下がりの副 溝を5~9条刻む。 分画は不均一/主 溝幅3~4mm、深さ 1.2mm。溝の断面は V字形周縁上面大半 破損。意図的に破 壊している	第IV区域 L44/SS4066
303	風炉	22.8	高 12.0	-	-	1/6	笏谷石 淡緑灰色 軟質	口縁部:短く上方へ立ち上がる/口唇部 は平坦 胴部:上位大きく張る/逆三角形の透 孔3ヶ所	外:タタキ 内:粗いタタキ 外:口縁部スス付着	第IV区域 J38/SB4051 J37/SB4048 炭層
304	風炉	37.6	高 8.0	4.5	-	1/10 以下	笏谷石 淡緑灰色 軟質	口縁部:内傾して立ち上がる/口唇部は 平坦/口端部内側は平坦	外:平滑 内:内面粗いタタキ	第V区域 I36/床土
305	石盤	-	15.8	5.0	-	1/10 以下	笏谷石 淡青緑色 軟質	形状:円形 外:平滑/口縁部幅2.0cm/底面タタキ 内:体部平滑/底面周縁タタキ 底部に高さ3.0cmの脚部あり		第IV区域 M34/SV4074 床土
306	石盤	口径 29.5	高 18.0	19.5	-	1/8	笏谷石 明緑灰色 軟質	形状:楕円形 外:平滑/口縁部幅2.5cm/体部タタキ/ 底面粗いタタキ 内:体部平滑/底面平滑		第V区域 I36/SD4057

単位:cm

No	器種	法 量(最大値)				残存	石材 色調 材質	調 整・特 徴	備 考	出土地点
		長径	短径	厚	重					
307	石盤	口径 37.4	高 14.7	底径 32.2	-	3/4	笏谷石 淡青緑色 軟質	形状:円形 外:平滑/口縁部幅1.9cm/体部平滑/底 部粗いたタキ 内:体部タタキ/底面タタキ 底部に高さ2.2cmの円形脚部3ヶ所	全体平滑 外:口縁部スス付着 内:口縁部・底面中 央スス付着	第V区域 G34/SB4053 炭混土
308	石盤	口径 40.0 推定	高 10.0	底径 38.0 推定	-	1/4	笏谷石 淡青緑色 軟質	形状:楕円形 外:平滑/口縁部幅1.5cm/体部平滑/底 部粗いたタキ 内:体部平滑/底面タタキ 底部に高さ1.8cmの脚部4ヶ所	全体平滑	第V区域 H36/床土
309	石盤	口径 40.0 推定	高 10.1	26.5 推定	-	1/4	笏谷石 淡緑灰色 軟質	形状:楕円形 外:平滑/口縁部幅3.4cm/体部~底部タ タキ 内:体部平滑/底面平滑 底部に高さ1.3cmの脚部推定4ヶ所	全体平滑/外面底部 スス付着 内面スス付着	第V区域 H36/SE4060
310	バンドコ	横幅 16.3	奥行 13.9	高 3.7	-	5/6	笏谷石 淡茶白色 軟質	D形バンドコの蓋 外:笠状に成形/加工痕 内:身と接合する周縁に段/右隅欠損	外:被熱して淡茶白 色に変色	第V区域 I36/ガラ石
311	バンドコ	横幅 9.7	奥行 8.7	高 2.4	-	5/6	笏谷石 淡緑灰色 軟質	D形バンドコの蓋 外:笠状に成形/加工痕 内:身と接合する周縁に段/正面欠損		第V区域 H36/SE4060
312	バンドコ	横幅 13.3	奥行 11.8	高 2.4	-	5/6	笏谷石 淡緑灰色 軟質	D形バンドコの蓋 外:笠状に成形/平滑/中央に径1.0cmの 円形透孔3ヶ所 内:身と接合する周縁に段をつくる/ 正面欠損		第V区域 C~E39/SA4042 覆土
313	バンドコ	横幅 24.8	奥行 18.8	高 11.0	-	1/2	笏谷石 茶褐色 軟質	O形バンドコの体部/ 外:平滑/正面に長さ4.5cm×幅1.3cmの 長方形透孔が5ヶ所(推定)/左右側底部 に脚 内:粗いたタキ	外:被熱して茶褐色 に変色	第V区域 E33/SB4043 炭混土(整地土下)
314	井戸枠	19.6	高 14.0	15.3	-	1/10 以下	笏谷石 淡青緑色 軟質	板材/井戸枠上端隅が残存 内:ホゾ穴は幅8.0cm、深さ5.0cm(推定) 外:平滑/内:平滑	厚さ7.8cmの板石状 に加工した井戸枠 がホゾ穴に接合し たと推定	第V区域 C~E39/SA4042 覆土

木製品(PL.75 第57図) 樹種同定:渡邊英明

単位:cm

No	器種	法 量(最大値)		残存	木取 樹種	特 徴	出土地点
		長 幅	高 材厚				
315	横櫛	3.5 2.2	- 0.2	1/4	- 未同定	櫛歯6本残存/漆被膜のみ残存	第IV区域 I39/床土
316	桶 底板	23.7 3.6	- 0.4	1/10 以下	板目 ヒノキ	底板:円形/表面:加工痕/裏面:加工痕/中央付近に径0.2の円孔2ヶ所 周縁:木釘が一部残存	第V区域 H36/SE4060
317	雪下駄	19.6 8.0	- 1.5	4/5	板目 スギ	足板:上・下端面の左右は隅丸に成形/上端側に鼻緒孔として径1.0cm の円孔を穿つ/左側辺下位の踵欠損 表面:平滑/ 裏面:平滑	第IV区域 J38/SB4051 灰色粘土
318	雪下駄	14.3 6.6	- 0.5	4/5	板目 スギ	足板:上・下端面の左右は隅丸に成形/上端側に鼻緒孔として径0.5cm の円孔を穿つ/左側辺下位の踵欠損 表面:平滑/左側辺上位に拇指痕 裏面:平滑	第V区域 G33/SB4045 灰層
319	雪下駄	17.5 8.1	- 1.6	4/5	板目 スギ	足板:上・下端面の左右は隅丸に成形/上端側に鼻緒孔として径1.2cm の円孔を穿つ/右側辺中位欠損 表面:平滑 裏面:平滑	第IV区域 J39/SB4041
320	曲物 底板	4.9 4.8	- 0.7	1/1	柾目 スギ	底板:円形 周縁:内面を斜めに面取	第IV区域 K39/SB4051 灰色粘土
321	漆器皿	口縁部 8.9	2.0	4/5	柾目取り 未同定	体部は緩やかに内湾して立ち上がる/口端部でやや外反する 体部外面:朱漆 底部外面:高台高0.5cm/高台端面:漆ハゲ/黒漆地/中央に朱漆で「相」 体部内面:朱漆	第V区域 F32/SB4043 灰層 X010
322	漆器皿	口縁部 6.6	3.3 0.5	1/4	横木取り ケヤキ	体部は緩やかに内湾して立ち上がる 体部外面:朱漆 底部外面:高台高0.7cm/高台端面:漆ハゲ/黒漆地/中央に朱点 体部内面:朱漆	第IV区域 L37/SB4078 炭層
323	漆器椀	口縁部 13.0	4.0	1/10 以下	柾目取り トチノキ	体部は内湾して斜め外方へ立ち上がる 体部外面:黒漆地 体部内面:黒漆地/中央と底面周縁に朱漆で文様を描く	第V区域 H36/SE4060
324	繊維	7.8 2.9	- 0.2	-	- 未同定	繊維が折りたたまれている	第IV区域 L37/SB4048

8. 第75次調査遺物

銭貨(PL.66・67 第45・46図)

単位:cm/g

単位:cm/g

No	種類 台帳番号	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点	No	種類 台帳番号	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点
		径	厚	重						径	厚	重			
325	開元通寶 5616	2.5	0.12	3.4	1/1	唐 初鑄621年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	349	景德元寶 5605	2.4	0.11	3.0	1/1	北宋 初鑄1004年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
326	開元通寶 13552	2.4	0.11	3.1	1/1	唐 初鑄621年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層	350	景德元寶 5607	2.4	0.10	3.0	1/1	北宋 初鑄1004年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
327	開元通寶 5683	2.4	0.13	2.2	1/1	唐 初鑄621年	第V区域 G34/床土	351	景德元寶 5610	2.5	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1004年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
328	開元通寶 5921	2.5	0.16	3.2	1/1	唐 初鑄621年	第V区域 G34/SB4053 炭混土(整地層下)	352	景德元寶 7398	2.4	0.11	3.1	1/1	北宋 初鑄1004年	第V区域 H33/SB4053 炭混土
329	開元通寶 6041	2.5	0.10	2.4	1/1	唐 初鑄621年	第V区域 G34/SB4053 灰層	353	祥符元寶 3590	2.4	0.11	3.1	1/1	北宋 初鑄1009年	第V区域 F33/SB4043 炭混土整地層
330	開元通寶 13524	2.4	0.12	3.3	1/1	唐 初鑄621年	第IV区域 J35/床土	354	祥符元寶 5596	2.5	0.09	2.9	1/1	北宋 初鑄1009年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
331	開元通寶 13561	2.4	0.13	3.1	1/1	唐 初鑄621年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層	355	祥符元寶 5937	2.4	0.10	1.9	1/1	北宋 初鑄1009年	第V区域 G34/SB4053 炭混土(整地層下)
332	開元通寶 13559	2.4	0.11	2.9	1/1	唐 初鑄621年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層	356	祥符元寶 12455	2.4	0.11	2.0	4/5	北宋 初鑄1009年	第V区域 I39/暗褐色土
333	開元通寶 13525	2.3	0.12	2.4	1/1	唐 初鑄621年	第IV区域 J35/床土	357	祥符通寶 13560	2.4	0.13	3.6	1/1	北宋 初鑄1009年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層
334	開元通寶 14047	2.4	0.11	3.0	1/1	唐 初鑄621年	第IV区域 J36	358	祥符元寶 13569	2.4	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1009年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層
335	開元通寶 14639	2.4	0.11	3.0	1/1	唐 初鑄621年	第IV区域 J37/SB4048	359	祥符通寶 13573	2.5	0.13	2.9	1/1	北宋 初鑄1009年	第IV区域 J35/下層遺構面 炭層
336	開元通寶 15976	2.5	0.12	2.5	1/1	唐 初鑄621年	第IV区域 K35/SB4049	360	祥符元寶 14067	2.5	0.10	2.7	1/1	北宋 初鑄1009年	第IV区域 J36
337	開元通寶 5917	2.3	0.08	2.0	1/1	唐 初鑄621年	第V区域 G34/SB4053 炭混土(整地層下)	361	祥符元寶 16169	2.5	0.12	3.3	1/1	北宋 初鑄1009年	第IV区域 K36/黄褐色土 整地土
338	開元通寶 5609	2.3	0.13	3.6		唐 紀地錢845年 背文京一	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	362	天禧通寶 13564	2.4	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1017年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層
339	乾元重寶 5590	2.4	0.10	2.2	1/1	唐 初鑄758年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	363	天禧通寶 16106	2.4	0.13	3.2	1/1	北宋 初鑄1017年	第IV区域 K36/SE4061
340	唐国通寶 5618	2.4	0.10	3.3	1/1	南唐 初鑄959年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	364	天禧通寶 13568	2.4	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1017年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層
341	太平通寶 5938	2.4	0.10	3.0	1/1	北宋 初鑄976年	第V区域 G34/SB4053 炭混土(整地層下)	365	天禧通寶 14048	2.5	0.11	3.0	1/1	北宋 初鑄1017年	第IV区域 J36
342	淳化元寶 13562	2.4	0.12	3.5	1/1	北宋 初鑄990年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層	366	天禧通寶 6346	2.5	0.10	3.2	1/1	北宋 初鑄1017年	第V区域 G35/SB4046
343	淳化元寶 5608	2.4	0.10	3.6	1/1	北宋 初鑄990年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	367	天禧通寶 13577	2.5	0.11	3.6	1/1	北宋 初鑄1017年	第IV区域 J35/下層遺構面 炭層
344	至道元寶 7405	2.5	0.10	2.4	1/1	北宋 初鑄995年	第V区域 H33/SB4053 炭混土	368	天聖元寶 13558	2.4	0.11	3.4	1/1	北宋 初鑄1023年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層
345	至道元寶 14064	2.5	0.10	3.1	1/1	北宋 初鑄995年	第IV区域 J36	369	天聖元寶 14052	2.5	0.10	3.0	1/1	北宋 初鑄1023年	第IV区域 J36
346	咸平元寶 14087	2.4	0.09	2.7	1/1	北宋 初鑄998年	第IV区域 J36/SB4048	370	天聖元寶 14070	2.5	0.12	3.2	1/1	北宋 初鑄1023年	第IV区域 J36
347	咸平元寶 14641	2.4	0.11	3.4	1/1	北宋 初鑄998年	第IV区域 J37/SB4048	371	天聖元寶 14072	2.5	0.10	2.3	1/1	北宋 初鑄1023年	第IV区域 J36
348	景德元寶 5588	2.4	0.12	3.3	1/1	北宋 初鑄1004年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	372	天聖元寶 17976	2.5	0.11	2.8	1/1	北宋 初鑄1023年	第IV区域 L34/SB4054

単位:cm/g

単位:cm/g

No	種類 台帳番号	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点	No	種類 台帳番号	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点
		径	厚	重						径	厚	重			
373	天聖元寶 13571	2.4	0.12	3.2	1/1	北宋 初鑄1023年	第IV区域 J35/下層遺構面 炭層	397	嘉祐通寶 5586	2.5	0.11	3.4	1/1	北宋 初鑄1056年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
374	景祐元寶 5577	2.5	0.12	3.2	1/1	北宋 初鑄1034年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	398	嘉祐通寶 14057	2.4	0.10	2.8	1/1	北宋 初鑄1056年	第IV区域 J36
375	皇宋通寶 3021	2.4	0.12	2.6	1/1	北宋 初鑄1038年	第V区域 E35/SB4046	399	嘉祐元寶 17669	2.4	0.12	3.2	1/1	北宋 初鑄1056年	第IV区域 L32/SB4055 暗褐色土
376	皇宋通寶 5584	2.4	0.10	3.0	1/1	北宋 初鑄1038年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	400	治平元寶 3592	2.4	0.13	3.0	1/1	北宋 初鑄1064年	第V区域 F33/SB4043 炭混整地土
377	皇宋通寶 5611	2.4	0.10	2.9	1/1	北宋 初鑄1038年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	401	元祐通寶 7400	2.4	0.13	3.7	1/1	北宋 初鑄1056年	第V区域 H33/SB4053 炭混土
378	皇宋通寶 5592	2.4	0.12	3.2	1/1	北宋 初鑄1038年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	402	治平元寶 14640	2.4	0.12	3.8	1/1	北宋 初鑄1064年	第IV区域 J37/SB4048
379	皇宋通寶 5613	2.4	0.09	2.7	1/1	北宋 初鑄1038年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	403	治平元寶 13806	2.3	0.10	2.7	1/1	北宋 初鑄1064年	第IV区域 J36/床土
380	皇宋通寶 5620	2.4	0.10	2.9	1/1	北宋 初鑄1038年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	404	治平元寶 14058	2.4	0.11	3.6	1/1	北宋 初鑄1064年	第IV区域 J36
381	皇宋通寶 6345	2.5	0.11	3.1	1/1	北宋 初鑄1038年	第V区域 G35/SB4046	405	治平元寶 14597	2.3	0.12	2.9	1/1	北宋 初鑄1064年	第IV区域 J37/SB4048
382	皇宋通寶 7399	2.4	0.10	2.8	1/1	北宋 初鑄1038年	第V区域 H33/SB4053 炭混土	406	熙寧元寶 5598	2.5	0.12	3.7	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
383	皇宋通寶 7401	2.4	0.12	3.5	1/1	北宋 初鑄1038年	第V区域 H33/SB4053 炭混土	407	熙寧元寶 5579	2.4	0.15	4.4	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
384	□宋通寶 11387	2.3	0.09	1.1	1/2	北宋 初鑄1038年	第V区域 I37/SD4057 暗褐色土	408	熙寧元寶 14069	2.4	0.13	3.1	1/1	北宋 初鑄1068年	第IV区域 J36
385	皇宋通寶 13523	2.4	0.09	2.5	1/1	北宋 初鑄1038年	第IV区域 J35/床土	409	熙寧元寶 14063	2.4	0.14	3.1	3/4	北宋 初鑄1068年	第IV区域 J36
386	皇宋通寶 14059	2.5	0.10	3.1	1/1	北宋 初鑄1038年	第IV区域 J36	410	嘉祐通寶 5612	2.4	0.13	3.8	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
387	皇宋通寶 14065	2.4	0.13	3.2	1/1	北宋 初鑄1038年	第IV区域 J36	411	熙寧元寶 14071	2.4	0.11	2.1	2/3	北宋 初鑄1068年	第IV区域 J36
388	皇宋通寶 14068	2.4	0.11	2.6	1/1	北宋 初鑄1038年	第IV区域 J36	412	熙寧元寶 7406	2.5	0.14	3.8	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 H33/SB4053 炭混土(整地土下)
389	皇宋通寶 5593	2.5	0.10	3.0	1/1	北宋 初鑄1038年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	413	熙寧元寶 5585	2.4	0.12	3.4	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
390	皇宋通寶 16753	2.5	0.11	2.8	1/1	北宋 初鑄1038年	第IV区域 K38/暗褐色土	414	熙寧元寶 5587	2.4	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
391	皇宋通寶 20612	2.4	0.10	2.8	1/1	北宋 初鑄1038年	表土	415	熙寧元寶 3593	2.4	0.11	3.1	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 F33/SB4043 暗褐色土(整地土下)
392	皇宋通寶 14066	2.3	0.09	1.7	4/5	北宋 初鑄1038年	第IV区域 J36	416	熙寧元寶 5614	2.4	0.12	3.6	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
393	皇宋通寶 14060	2.4	0.11	3.1	1/1	北宋 初鑄1038年	第IV区域 J36	417	熙寧元寶 8002	2.4	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 H35/SB4047
394	皇宋通寶 13553	2.5	0.13	2.6	1/1	北宋 初鑄1038年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層	418	熙寧元寶 5617	2.4	0.11	2.9	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
395	至和元寶 13554	2.4	0.11	2.9	1/1	北宋 初鑄1054年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層	419	熙寧元寶 5097	2.4	0.11	2.2	4/5	北宋 初鑄1068年	第V区域 G32/SB4045 炭混粘土
396	嘉祐元寶 5580	2.3	0.10	2.8	1/1	北宋 初鑄1056年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	420	熙寧元寶 2251	2.4	0.10	2.0	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 D34/暗褐色土 (床土下整地土)

8. 第75次調査遺物

単位:cm/g

No	種類 台帳番号	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点
		径	厚	重			
421	熙寧元寶 12041	2.3	0.09	2.1	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 I38/SB4057
422	熙寧元寶 13566	2.4	0.11	3.3	1/1	北宋 初鑄1068年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層
423	熙寧元寶 20623	2.4	0.11	3.1	1/1	北宋 初鑄1068年	表土
424	熙寧元寶 11261	2.3	0.14	3.7	1/1	北宋 初鑄1068年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
425	熙寧元寶 14073	2.4	0.10	2.7	1/1	北宋 初鑄1068年	第IV区域 J36
426	元豐通寶 9045	2.4	0.09	2.1	1/1	北宋 初鑄1078年	第V区域 I37/茶褐色土 整地層
427	元豐通寶 4717	2.4	0.11	2.9	1/1	北宋 初鑄1078年	第V区域 G32/SB4045
428	元豐通寶 20455	2.5	0.10	1.9	1/1	北宋 初鑄1078年	第IV区域 M38/SV4073 暗褐色土
429	元豐通寶 14083	2.4	0.11	2.6	1/1	北宋 初鑄1078年	第IV区域 J36/SB4048 炭層
430	元豐通寶 5604	2.4	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1078年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
431	元豐通寶 5591	2.4	0.12	3.5	1/1	北宋 初鑄1078年	第V区域 H38/暗褐色土
432	元豐通寶 4716	2.4	0.11	2.5	1/1	北宋 初鑄1078年	第V区域 G32/SB4045
433	元豐通寶 14082	2.5	0.10	3.0	1/1	北宋 初鑄1078年	第IV区域 J36/SB4048 炭層
434	元豐通寶 14081	2.4	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1078年	第IV区域 J36/SB4048 炭層
435	元豐通寶 7397	2.5	0.13	3.5	1/1	北宋 初鑄1078年	第V区域 H33/SB4053 炭混土
436	元豐通寶 5581	2.4	0.11	2.9	1/1	北宋 初鑄1078年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
437	元豐通寶 5615	2.4	0.11	3.4	1/1	北宋 初鑄1078年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
438	元豐通寶 13578	2.5	0.12	3.4	1/1	北宋 初鑄1078年	第IV区域 J35/下層遺構面 炭層
439	元豐通寶 13575	2.4	0.10	2.7	1/1	北宋 初鑄1078年	第IV区域 J35/下層遺構面 炭層
440	元豐通寶 5619	2.3	0.13	3.7	1/1	北宋 初鑄1078年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
441	元祐通寶 1176	2.4	0.12	2.1	1/1	北宋 初鑄1086年	第V区域 B34~36/SA4041
442	元祐通寶 5582	2.4	0.11	2.9	1/1	北宋 初鑄1086年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
443	元祐通寶 15975	2.4	0.10	2.5	1/1	北宋 初鑄1086年	第IV区域 K35/SB4049
444	元祐通寶 5595	2.4	0.12	3.5	1/1	北宋 初鑄1086年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層

単位:cm/g

No	種類 台帳番号	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点
		径	厚	重			
445	元祐通寶 5621	2.4	0.11	3.6	1/1	北宋 初鑄1086年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
446	元祐通寶 6347	2.5	0.13	2.7	4/5	北宋 初鑄1086年	第V区域 G35/SB4046
447	元祐通寶 14049	2.4	0.10	3.1	1/1	北宋 初鑄1086年	第IV区域 J36
448	紹聖元寶 5597	2.5	0.13	4.0	1/1	北宋 初鑄1094年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
449	紹聖元寶 5602	2.4	0.12	3.3	1/1	北宋 初鑄1094年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
450	紹聖元寶 14053	2.4	0.09	2.1	1/1	北宋 初鑄1094年	第IV区域 J36
451	紹聖元寶 7403	2.3	0.14	3.3	1/1	北宋 初鑄1094年	第V区域 H33/SB4053 炭混土
452	紹聖元寶 7404	2.4	0.10	3.4	1/1	北宋 初鑄1094年	第V区域 H33/SB4053 炭混土
453	紹聖元寶 14050	2.4	0.10	2.8	1/1	北宋 初鑄1094年	第IV区域 J36
454	紹聖元寶 7402	2.4	0.14	3.6	1/1	北宋 初鑄1094年	第V区域 H33/SB4053 炭混土
455	元符通寶 18186	2.3	0.10	2.3	1/1	北宋 初鑄1098年	第IV区域 L36/床土
456	元符通寶 15127	2.5	0.11	3.7	1/1	北宋 初鑄1098年	第IV区域 J38/SB4051 炭層
457	元符通寶 14084	2.4	0.12	3.2	1/1	北宋 初鑄1098年	第IV区域 J36/SB4048 炭層
458	元符通寶 13555	2.3	0.11	3.5	1/1	北宋 初鑄1098年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層
459	元符通寶 14056	2.4	0.12	3.3	1/1	北宋 初鑄1098年	第IV区域 J36
460	聖宋元寶 5600	2.4	0.11	3.4	1/1	北宋 初鑄1101年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
461	聖宋元寶 14085	2.4	0.12	3.5	1/1	北宋 初鑄1101年	第IV区域 J36/SB4048 炭層
462	聖宋元寶 14596	2.4	0.12	2.7	1/1	北宋 初鑄1101年	第IV区域 J37/SB4048
463	聖宋元寶 15126	2.4	0.10	3.0	1/1	北宋 初鑄1101年	第IV区域 J38/SB4051 炭層
464	聖宋元寶 13565	2.4	0.13	2.6	4/5	北宋 初鑄1101年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層
465	聖宋元寶 14062	2.5	0.10	2.9	1/1	北宋 初鑄1101年	第IV区域 J36
466	聖宋元寶 2019	2.5	0.14	3.9	1/1	北宋 初鑄1101年	第V区域 D32/SB4043 灰色粘土
467	聖宋元寶 5684	2.5	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1101年	第V区域 G34/床土
468	大觀通寶 13557	2.4	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1107年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層

単位:cm/g

単位:cm/g

No	種類 台帳番号	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点	No	種類 台帳番号	法量(最大値)			残存	特徴	出土地点
		径	厚	重						径	厚	重			
469	大観通寶 5920	2.5	0.13	2.8	1/1	北宋 初鑄1107年	第V区域 G34/SB4053 炭混土(整地層下)	491	永楽通寶 5965	2.5	0.12	3.1	1/1	明 初鑄1408年	第V区域 G34/SB4053 炭混土(整地層下)
470	政和通寶 13520	2.4	0.13	3.6	1/1	北宋 初鑄1111年	第IV区域 J35/床土	492	永楽通寶 13576	2.5	0.13	3.6	1/1	明 初鑄1408年	第IV区域 J35/下層遺構面 炭層
471	政和通寶 14086	2.4	0.14	2.9	1/1	北宋 初鑄1111年	第IV区域 J36/SB4048 炭層	493	永楽通寶 14055	2.5	0.10	2.6	1/1	明 初鑄1408年	第IV区域 J36
472	政和通寶 5583	2.4	0.13	3.4	1/1	北宋 初鑄1111年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	494	永楽通寶 17111	2.4	0.09	1.9	5/6	明 初鑄1408年	第IV区域 K39/床土
473	政和通寶 14051	2.4	0.11	2.5	1/1	北宋 初鑄1111年	第IV区域 J36	495	元祐通寶 748	2.3	0.10	2.0	1/1	模造銭 中世末～ 近世初	排土
474	政和通寶 3591	2.4	0.13	2.2	1/1	北宋 初鑄1111年	第V区域 F33/SB4043 炭混山土整地層	496	元祐通寶 5589	2.4	0.12	3.4	1/1	模造銭 中世末～ 近世初	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
475	政和通寶 13521	2.5	0.12	2.6	1/1	北宋 初鑄1111年	第IV区域 J35/床土	497	元祐通寶 20620	2.4	0.10	3.2	1/1	模造銭 中世末～ 近世初	表土
476	政和通寶 16168	2.4	0.11	3.2	1/1	北宋 初鑄1111年	第IV区域 K36/SE4061	498	元祐通寶 13572	2.4	0.12	3.4	1/1	模造銭 中世末～ 近世初	第IV区域 J35/下層遺構面 炭層
477	政和通寶 5096	2.4	0.13	3.1	1/1	北宋 初鑄1111年	第V区域 G32/SB4045 炭混粘土	499	元祐通寶 13522	2.3	0.08	2.3	1/1	模造銭 中世末～ 近世初	第IV区域 J35/床土
478	政和通寶 14061	2.5	0.12	2.5	1/1	北宋 初鑄1111年	第IV区域 J36	500	元祐通寶 8001	2.4	0.10	2.8	1/1	模造銭 中世末～ 近世初	第V区域 H35/SB4047
479	政和通寶 5207	2.5	0.12	3.0	1/1	北宋 初鑄1111年	第V区域 G32/SB4045 茶褐色土(灰層下)	501	祥符通寶 13574	2.5	0.12	3.3	1/1	模造銭 中世末～ 近世初	第IV区域 J35/下層遺構面 炭層
480	宣和通寶 5599	2.4	0.10	2.5	1/1	北宋 初鑄1119年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	502	祥符通寶 758	2.4	0.12	1.8	1/1	模造銭 中世末～ 近世初	表採
481	宣和通寶 5594	2.4	0.14	3.4	1/1	北宋 初鑄1119年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	503	祥符通寶 5603	2.4	0.09	2.3	1/1	模造銭 中世末～ 近世初	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層
482	淳熙元寶 9489	2.4	0.12	3.2	1/1	南宋 初鑄1174年	第V区域 I33/床土	504	祥符通寶 5919	2.4	0.10	2.7	1/1	模造銭 中世末～ 近世初	第V区域 G34/SB4053 炭混土(整地層下)
483	景定元寶 14054	2.4	0.10	2.5	1/1	南宋 初鑄1260年	第IV区域 J36	505	寛永通寶 16736	2.3	0.09	2.0	1/1	3期新寛永 1697～1781年	第IV区域 K38/床土
484	洪武通寶 7411	2.3	0.15	2.3	1/1	明 初鑄1368年	第V区域 H33/SX4074	506	□□□□ 5922	2.4	0.11	-	1/1	-	第V区域 G34/SB4053 炭混土(整地層下)
485	洪武通寶 13567	2.3	0.15	3.5	1/1	明 初鑄1368年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層	507	□□□□ 5923	-	-	-	1/1	-	第V区域 G34/SB4053 炭混土(整地層下)
486	洪武通寶 13556	2.3	0.15	3.6	1/1	明 初鑄1368年	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層	508	□□□□ 5924	2.4	0.07	-	1/1	-	第V区域 G34/SB4053 炭混土(整地層下)
487	永楽通寶 4715	2.5	0.15	3.6	1/1	明 初鑄1408年	第V区域 G32/SB4043 灰層	509	□□□□ 12042	2.4	0.14	3.0	1/1	-	第V区域 I38/SD4057
488	永楽通寶 5606	2.5	0.13	3.4	1/1	明 初鑄1408年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	510	□□□寶 13563	2.4	0.11	1.6	1/2	-	第IV区域 J35/黄褐色土 整地層
489	永楽通寶 5578	2.5	0.13	3.4	1/1	明 初鑄1408年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	511	□□□□ 13805	2.3	0.12	2.7	1/1	-	第IV区域 J36/床土
490	永楽通寶 5601	2.5	0.12	3.5	1/1	明 初鑄1408年	第V区域 G33/SB4045 X009地点/灰層	512	□□□□ 20613	2.4	0.12	2.6	1/1	-	表土

V. まとめ

1. 第 68 次調査

調査区が所在する城戸ノ内町中惣は、「一乗谷古絵図」では「朝倉式部大輔館跡」と記され、朝倉義景の従兄である「朝倉景鏡」の館、「景鏡館跡」と有力視されている。景鏡は、貞景の次男景高の子であり、景鏡の生年は、一説では大永 5 年(1525)頃とされ、貞景の長男孝景の子の義景より 8 才上の従兄であったと考えられる。父の景高は大野郡司でありながら天文 9 年(1540)に謀反により追放されたが、景鏡は謀反に同調せず、母が権中納言烏丸冬光の娘であることも一助となり、特別な咎めは受けず、朝倉一族の同名衆として名を連ねている。景鏡は、永禄 7 年(1564)、加賀出兵で敦賀郡司の朝倉景垧と大将の座を争い、景垧を憤死させ、以後、景垧の弟の景恒と対立してゆくことになる。同年 9 月に足利義秋が敦賀に入ると、景鏡は代官として遣わされ、義秋の敦賀滞在中に景鏡は「式部大輔」、景恒は「中務大輔」の官途を与えられたとされる。永禄 11 年(1568)5 月の義秋(昭)御成の際には、景恒の父景紀と席次を争い、反目を強めてゆき、元亀元年(1570)、信長が敦賀手筒山城・金ヶ崎城に攻勢をかけた時には、景鏡は府中から動かず、孤立した敦賀の景恒は退城を余儀なくされ、力を失ってゆく。景鏡はその後、堅田合戦や小谷城出兵でも活躍するが、天正元年(1573)7 月の刀禰坂の戦いに至ると、疲労を理由に義景との出兵を拒否し、一乗谷に数騎の手勢で撤退した義景を大野に移して自害させた。景鏡はその後、土橋信鏡と改名し、「大野ノ塚寺」に居を構えるが、同 2 年、平泉寺で一揆勢と戦い、討死にしたとされる。

「景鏡館跡」については、昭和 57 年(1982)、県道工事に伴って実施された 43 次調査によって、大規模館跡の存在を立証する考古学的事実を得た。それから 8 年後となる今回の調査では、南・北側土塁と濠の規模が改めて再確認され、一乗谷川から約 1/3 の面積は、河川の氾濫により遺構が存在しないことが判明した。

43・68 次調査区は隣接して館跡の中央を縦貫しながらも、館跡全体の約 1/4 の面積を調査したに過ぎず、後世の削平を受けていることもあって、未だ不明な点が多いと言わざるを得ないのが現状である。西側の 43 次の調査区の遺構は、同一方向、またはそれに直交して主軸をとる礎石建物がある程度まとまりをもって構築されており、鉤状に屈曲する溝に区画された SB2267・2269、庭跡 SG2295 や、本格的な地鎮具が出土した SB2264 などの有様から、これらは館の政務の中でも物資の管理や雑務を担う建物群と考えられる側面をもつ。一方、東側の 68 次の調査区では、第Ⅱ区域 SS3865・3866 が石敷の道路として存在し、SS3865 の直線上の延長には廊下と考えられる SB3844 があることから、さらに延長上にある土塁 SA3902 側に北門が構えられていた可能性がある。北濠 SD2261 から出土した漆器や祭祀具を中心とした木製品は、その傍証なるかもしれない。第Ⅲ区域の障壁 SA3845 は全長約 15.0m を測り、位置的に東側からの 43 次の建物群への視線の遮蔽を目的としたものとする。土蔵 SB3840 は床面全体を石敷で固めた倉庫であり、東側に入口をもつ。両者は東流する一乗谷川を利用して往来する物・人を意識して構築されており、地形的にも、外濠外寸で東辺約 107m、西辺約 110m、北辺約 115m、南辺約 112m の規模を誇る館跡は、川側に門を備える朝倉館と鏡写しのような構えをとっていたのではないかと考える。その場合、館跡の西側に、館の主に関連する建物遺構が存在する可能性が高く、今後の解明しなければならない課題となりえよう。

2. 第 74・75 次調査

調査区が所在する城戸ノ内町権殿は、「一乗谷古絵図」では「朝倉権ノ頭」と記される。「権守」の人物については、敦賀郡司朝倉景恒の子の「道景」とする説、波多野氏を継いだ朝倉道郷の孫の「道景」とする説がある。天正元年(1573)刀禰坂の戦いにおいて 16 才で討死したとあり、生年は永禄元年(1558)年と推定される。

景鏡館跡の北西に、景恒の官名である^{あさくらなかつかさのだうあと}「朝倉中務大輔跡」の地名があり、43次でも景鏡館跡の北西に別の館跡を構成する遺構の一部を確認している。道景が景恒の子とした場合、景鏡館跡を北と南で監視、警戒する敦賀郡司親子の姿が率直に浮かび、道郷の孫だったとしても、景鏡館跡の背後には「朝倉掃部ノ助跡^{かものすけあと}(朝倉景氏)」など刀禰坂の戦いで討死した重臣の地名も見られ、「一乗谷古絵図」から義景側の重臣が景鏡と一種、緊張関係にあった状態が読み取れる。

調査区は、景鏡館跡の南方約500mの地点あり、調査区背後の山麓中の「馬出」「上殿」の地名や、「小城」「小見放城」といった出城は、一乗城山を頂点とした家臣団の防衛ラインが存在したことをうかがわせる。調査の結果、第V区域において土塁石垣で区画された中規模武家屋敷跡、第I・IV区域において小規模建物群が広がる区画が明らかになった。第V区域の中規模武家屋敷跡は、立地的に「権守屋敷跡」としておく。屋敷跡は北西辺に土塁SA4042、南西辺に土塁SA4041を配し、主屋はSB4043～4046・4053などの礎石建物群で構成される。礎石建物は、まず敷地中央にSB4046が廃絶した後、整地をして敷地南側にSB4043～4045を構築していた。SB4045が構築される以前の石敷遺構SX4074は庭跡の可能性があり、近接するSX4081は灯明皿が一定量出土したことから、庭の景観に組み込まれた祠のような建築物が想定される。土塁SA4042内の中央南西側には、一乗谷川を越えた道幅谷の出入口を見据えるように、内寸幅4.8mを測る門跡SI4064を検出した。

小規模建物群について述べると、第IV区域のSB4048～4051・4078は、SD4057で区画されながらも権守屋敷跡を支える建物群と考えられ、SB4051は土蔵、SB4048は土蔵を管理する建物、SB4078は井戸SE4061や石敷遺構SX4084を併設した洗場と考えられ、それらはSB4050を廊下として結ばれていたと考える。

第I区域のSB3976～3978はSD3985～3987によって3つに区画され、SB3976・3977は同一主軸をもって隣接し、建物は、南東側に通路を有しながらもほぼ敷地いっぱいに建てられ、井戸、石積遺構を備えていた。出土遺物は少なく、町屋の様相を呈しているが、SB3977出土の白磁皿は下級武士の居宅の可能性も示唆している。SB3978は平面方形の礎石建物であり、北西側はSD3986に沿って障壁SA4098を設けていた。正面となる南西辺の前では、石敷遺構SX4024・4025、土器集中地点X001・002、石組溝SD3968が存在し、何がしかの祭祀行為の痕と捉えられた。遺物は鉄釉天目茶碗、青磁碗に加え、希少な瓦質瓦燈があり、社や御堂のような宗教的建物が想定できる。第II区域のSB3974は南西辺に庭跡SG4026・4028を伴っていたと考えられ、遺物は磁器が多く、特に青白磁壺243や稀少な青白磁琮形瓶(文10)の花入244は、SB3974が饗応の場であったことを暗示している。また、SB3974の北東辺に沿った道路SS4005から出土した呪符土師器皿275・276も、ここが非日常の空間として意識されていた傍証となろう。庭跡の上層の障壁SA4012は、北東辺が改変を受けており、南西辺が構築時の様相をとどめている。おそらくSB3974に後続するSB4091に伴うものと考えられる。

参考文献

Ⅲ. 第68次調査関連

1. 福井県立朝倉氏遺跡資料館編『特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡』-平成2年度発掘調査環境整備事業概要(22)-福井県立朝倉氏遺跡資料館 1991年3月
2. 同編『特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡 県道鯖江・美山線改良工事に伴う発掘調査報告』福井県教育委員会 1983年3月
3. 安波賀春日神社蔵『一乗谷古絵図』『福井市史』資料編別巻絵図・地図 福井市 1989年3月に所収
4. 福井県立朝倉氏遺跡資料館編『特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡』-平成3年度発掘調査概要(23)-福井県立朝倉氏遺跡資料館 1992年3月

Ⅳ. 第74・75次調査関連

5. 松原信之「3 朝倉英林孝景以後の庶流(同名祭)」『越前 朝倉一族』新人物往来社 1996年11月
6. 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館編『第19回企画展 戦国一乗谷の庭園-伝統と革新の庭園デザイン-』福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 2012年8月
7. 朝倉氏遺跡調査研究所編『特別史跡一乗谷 朝倉氏遺跡発掘調査報告』I-朝倉館跡の調査- 福井県教育委員会 1984年3月
8. 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館編『特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査報告』X -第51・52次- 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 2010年3月
9. 白川綾編『一乗谷朝倉氏遺跡』福井県埋蔵文化財報告第129集 福井県埋蔵文化財調査センター 2012年3月
10. 佐藤俊「#072いわき市番匠地遺跡出土の青磁琮形瓶について」『遺跡研究コラム』公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部 2019年1月

Ⅲ～V全般

11. 吉岡泰英「朝倉館と武家住宅」『実像の戦国城下町越前一乗谷』よみがえる中世6 小野正敏 水藤真編 平凡社 1990年6月
12. 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館編『特別展 戦国城下町研究の最前線』福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 2001年7月
13. 水野和雄・佐藤圭編『戦国大名朝倉氏と一乗谷』高志書院 2002年11月
14. 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館編『記念特別展戦国城下町一乗谷を歩く-発掘調査と環境整備のあゆみ-』福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 2011年7月
15. 松原信之『朝倉氏と戦国村一乗谷』吉川弘文館 2017年2月

写 真 图 版



(1) 第68次調査区遠景(南から)



(2) 第68次調査区遠景(西から)



(1) 第68次調査区遠景(北西から)



(2) 第68次調査区遠景(北から)



(1) 第68次調査区遺構全景(南西から)



(1) 第68次調査区遺構全景(北東から)



(1) 第 I 区域 f-f' 断面(北西から)



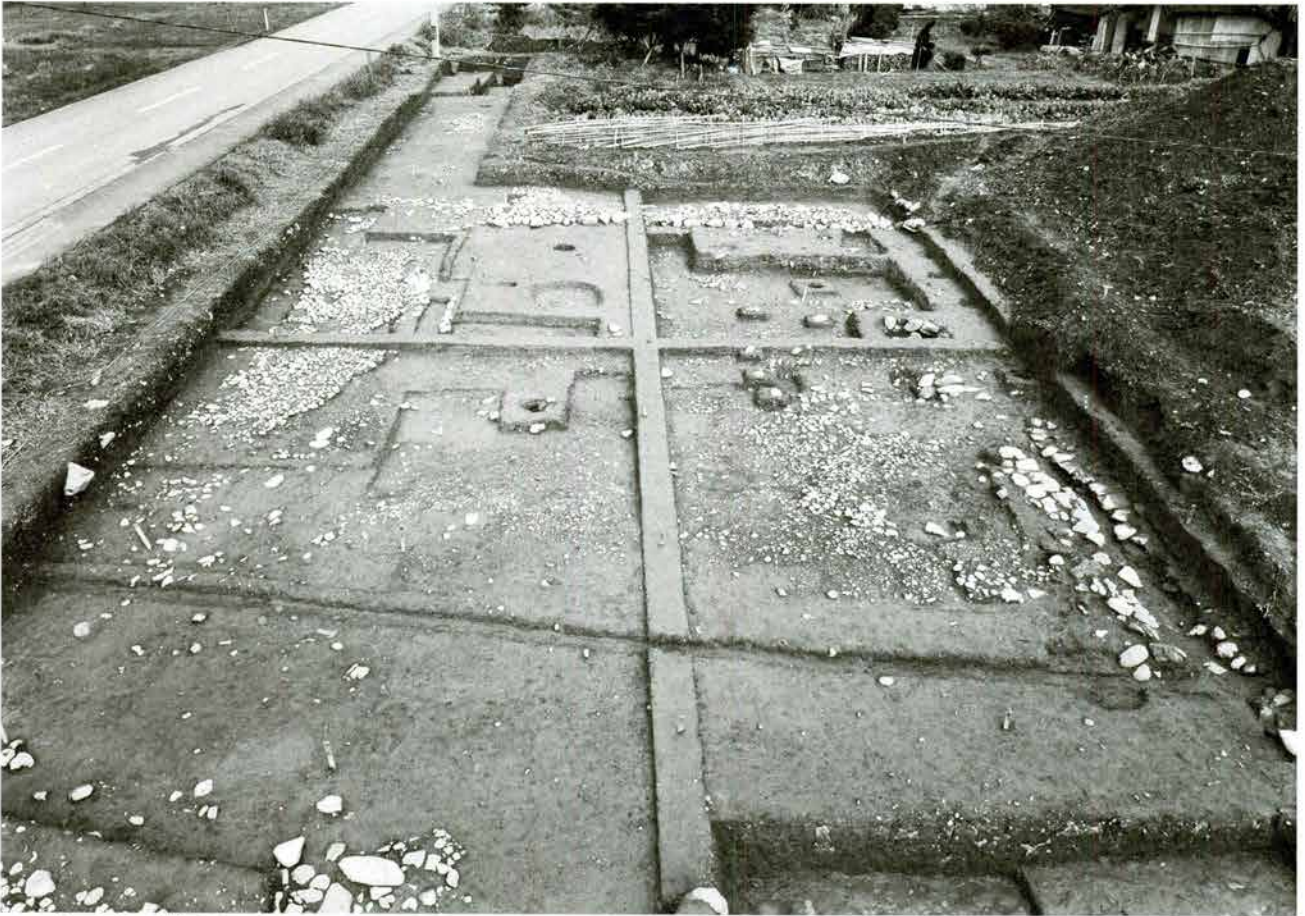
(2) 第 I 区域 f-f' 断面東端(西から)



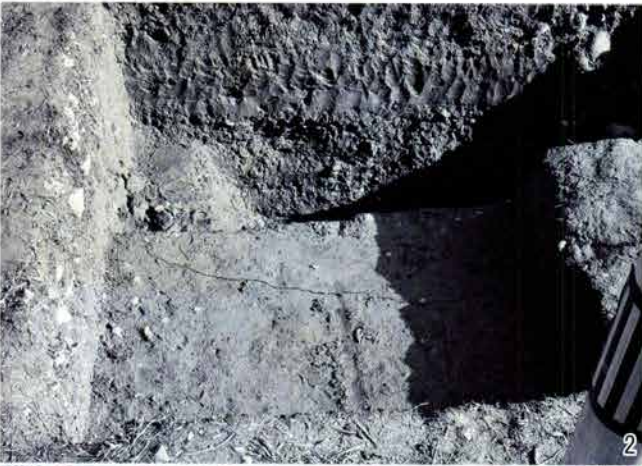
(3) 第 I 区域 g-g' 断面(北西から)



(4) 第 I 区域 g-g' 断面東端(北東から)



(1) 第Ⅱ区域遺構全景(南西から)



2



4



3



5

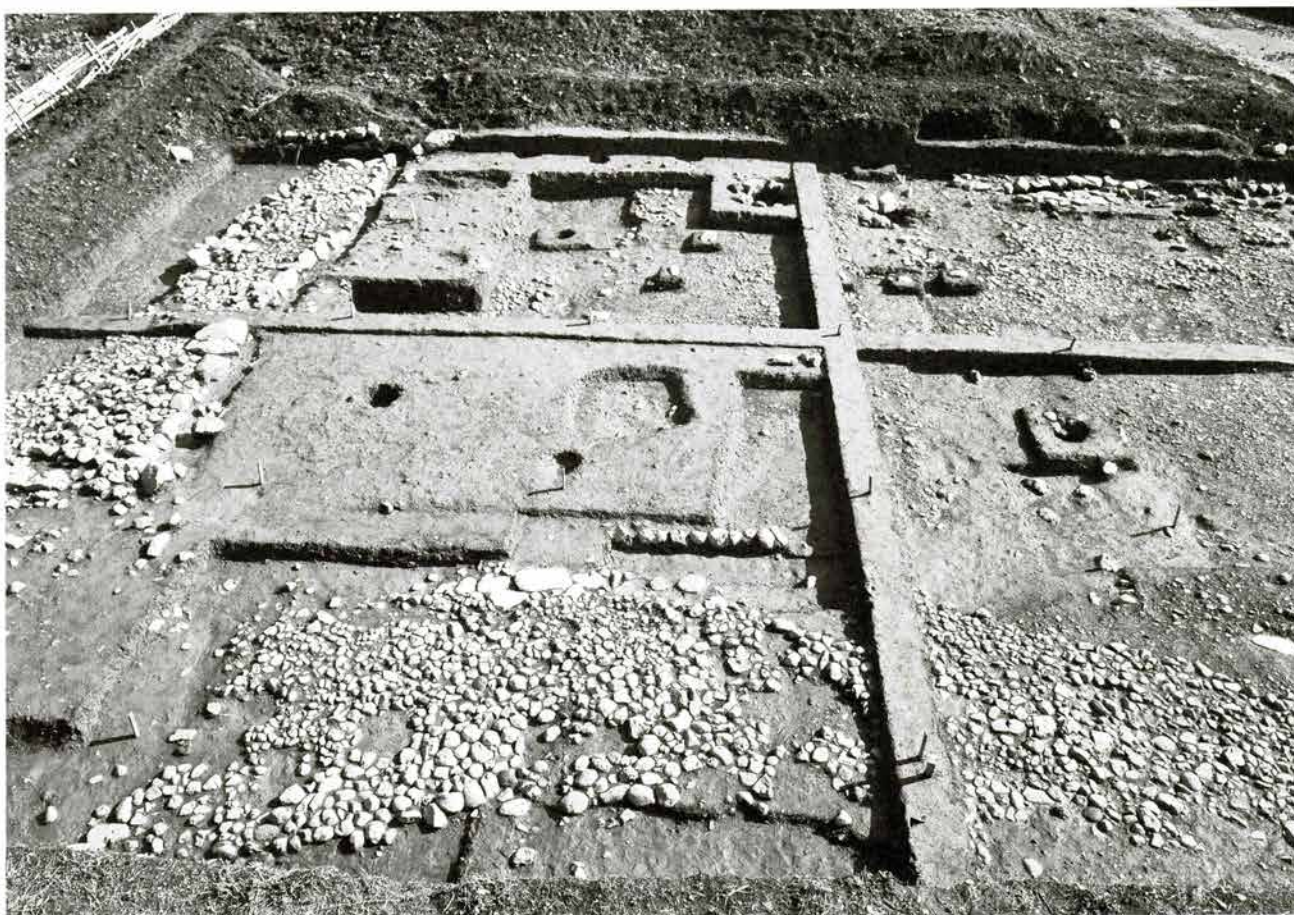
(2) 北濠SD2261断面(西から) (3)SD2261出土漆器碗197・199 (4)SD2261出土漆器碗193・196 (5)SD2261出土漆器碗192



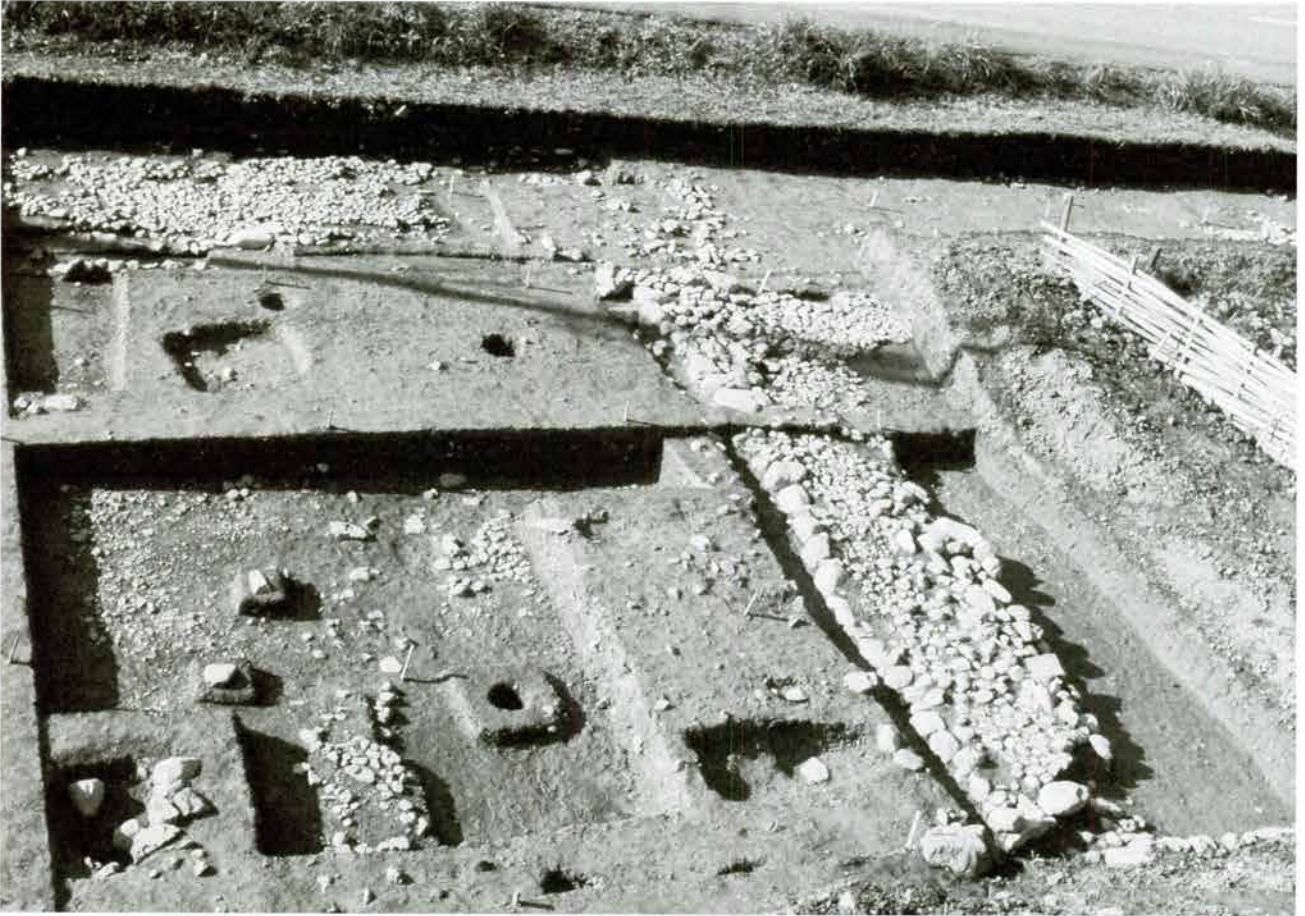
(1)SB3844(南西から)



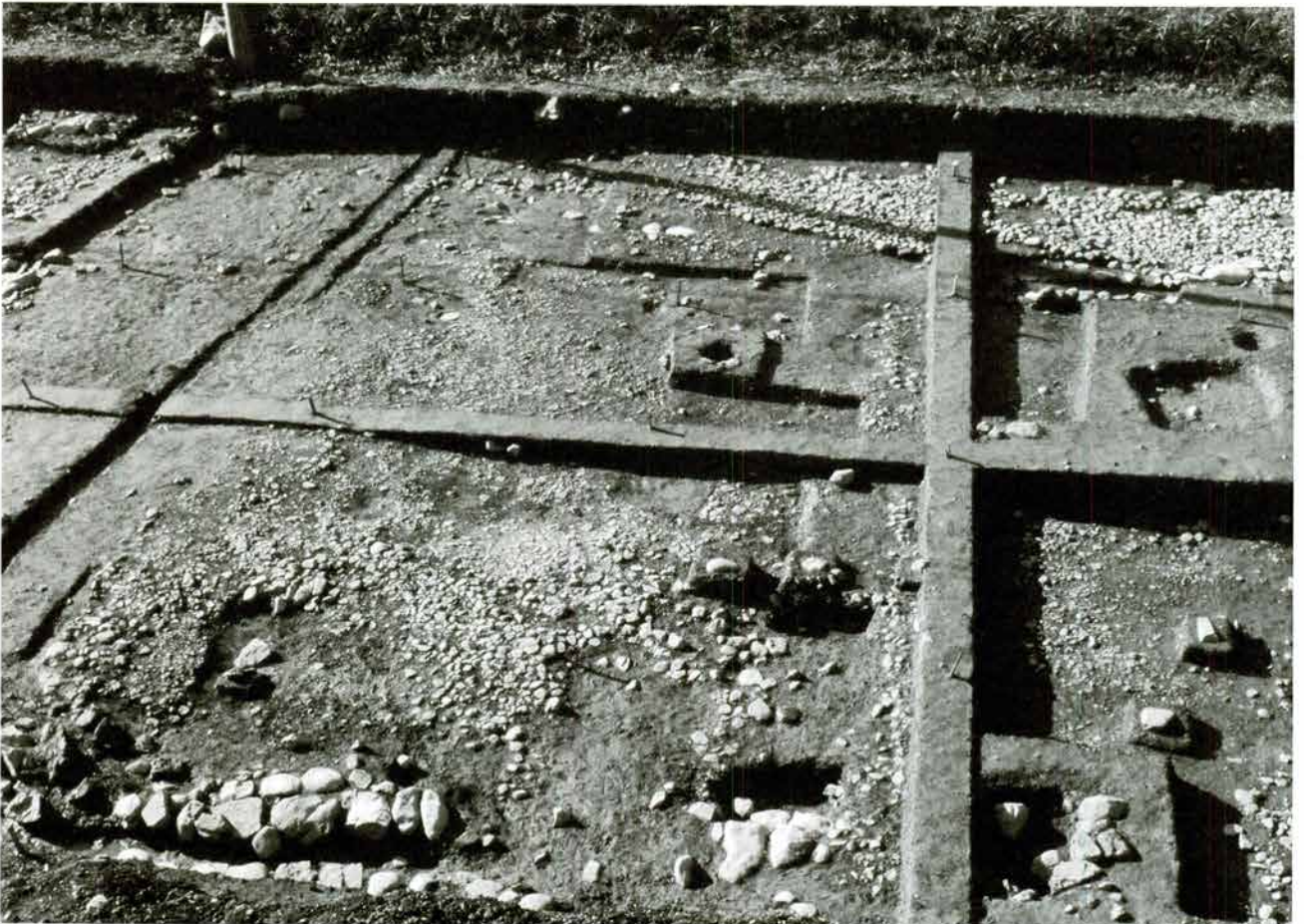
(2)SS3866(北西から)



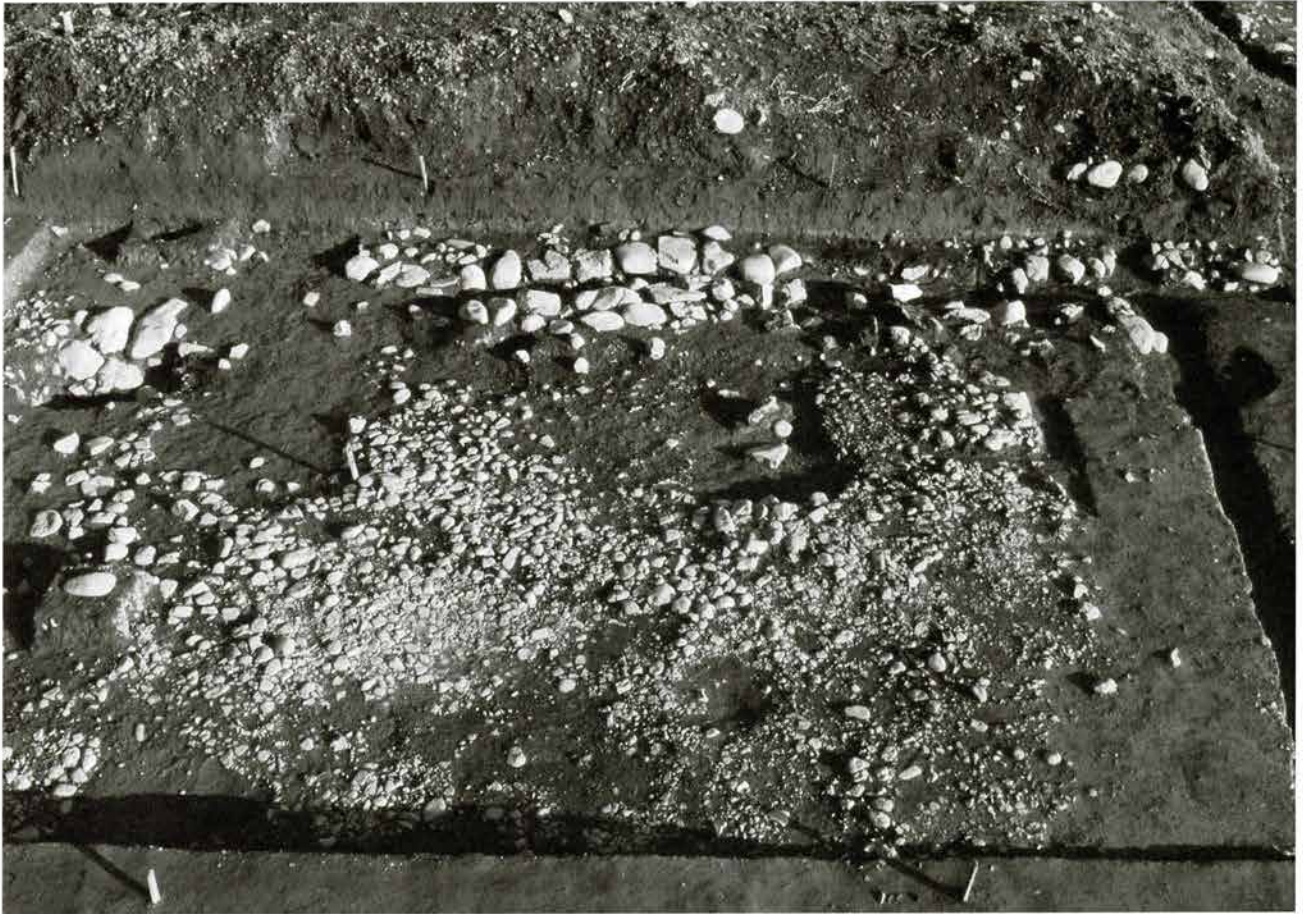
(3)SS3865・3866、SX3899、SK3858・3860、SD3849(北西から)



(1)SS3865・3866、SX3896・3899、SK3858・3859、SD3849(南東から)



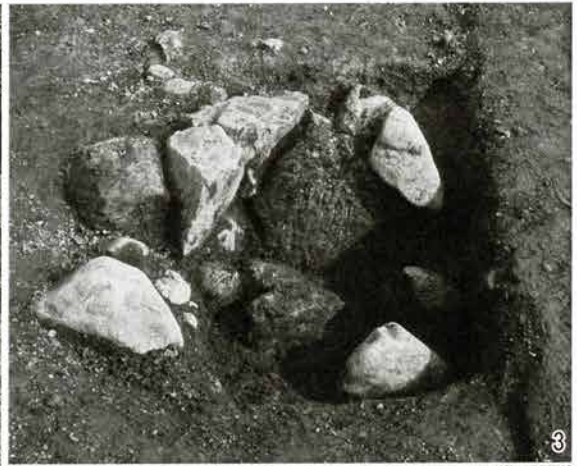
(2)SS3865、SX3895・3896・3899、SK3858、SD3848(北西から)



(1)SX3848・3894・3895・3899、SD3848(北西から)



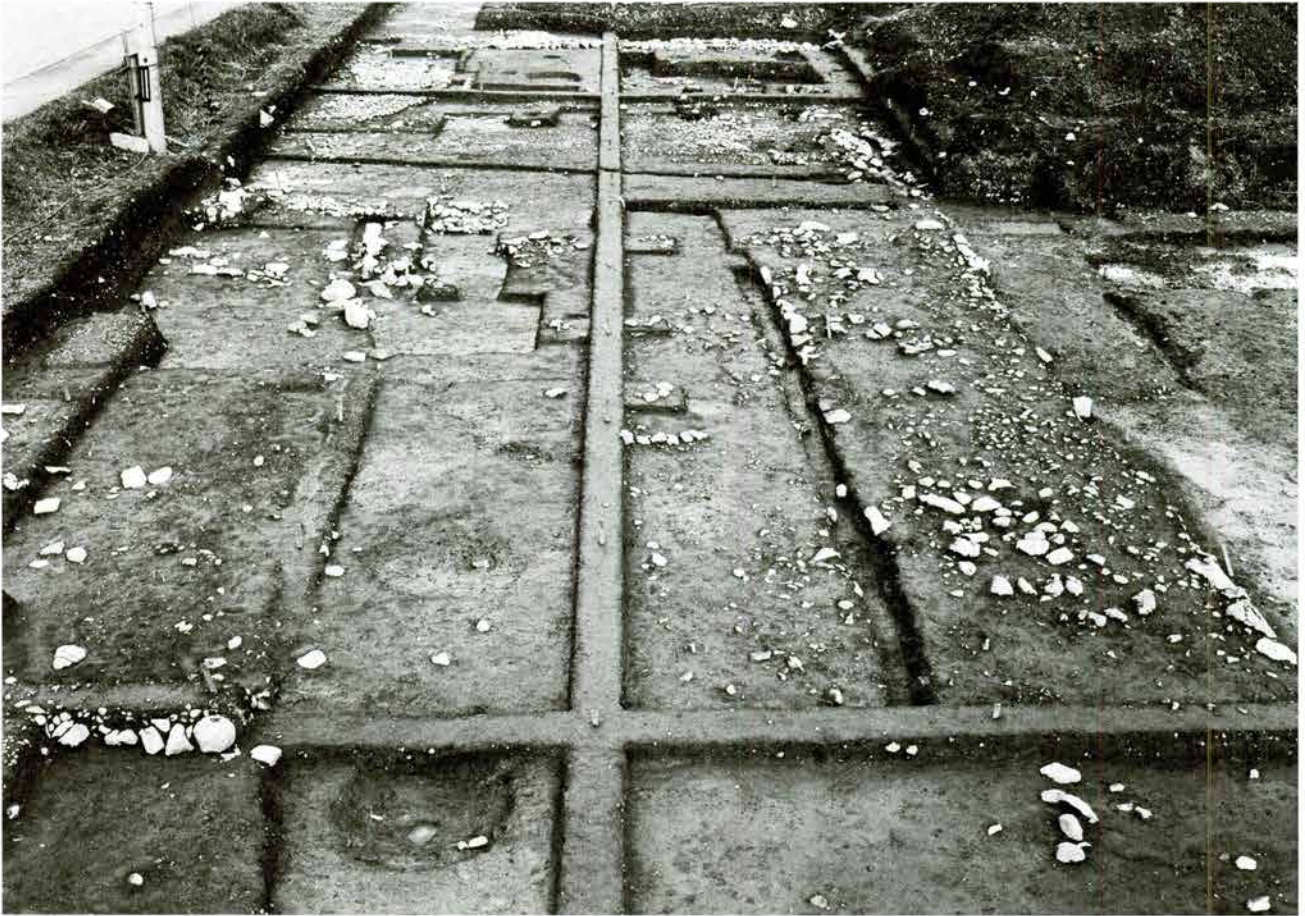
(2)SX3895・3896(北西から)



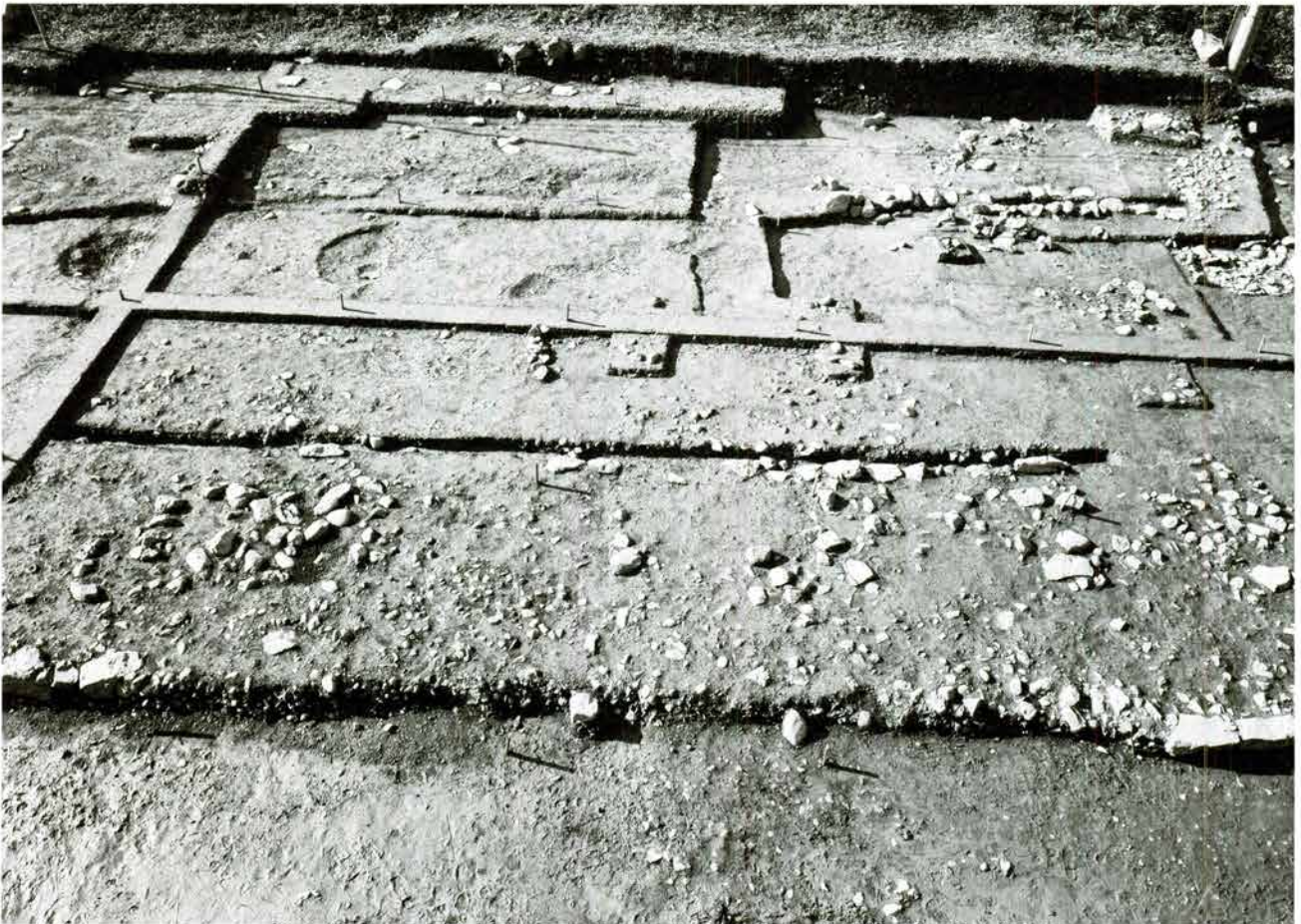
(3)SX3896(北西から)



(4)SX3895(南から)



(1)第Ⅲ区域遺構全景(南西から)



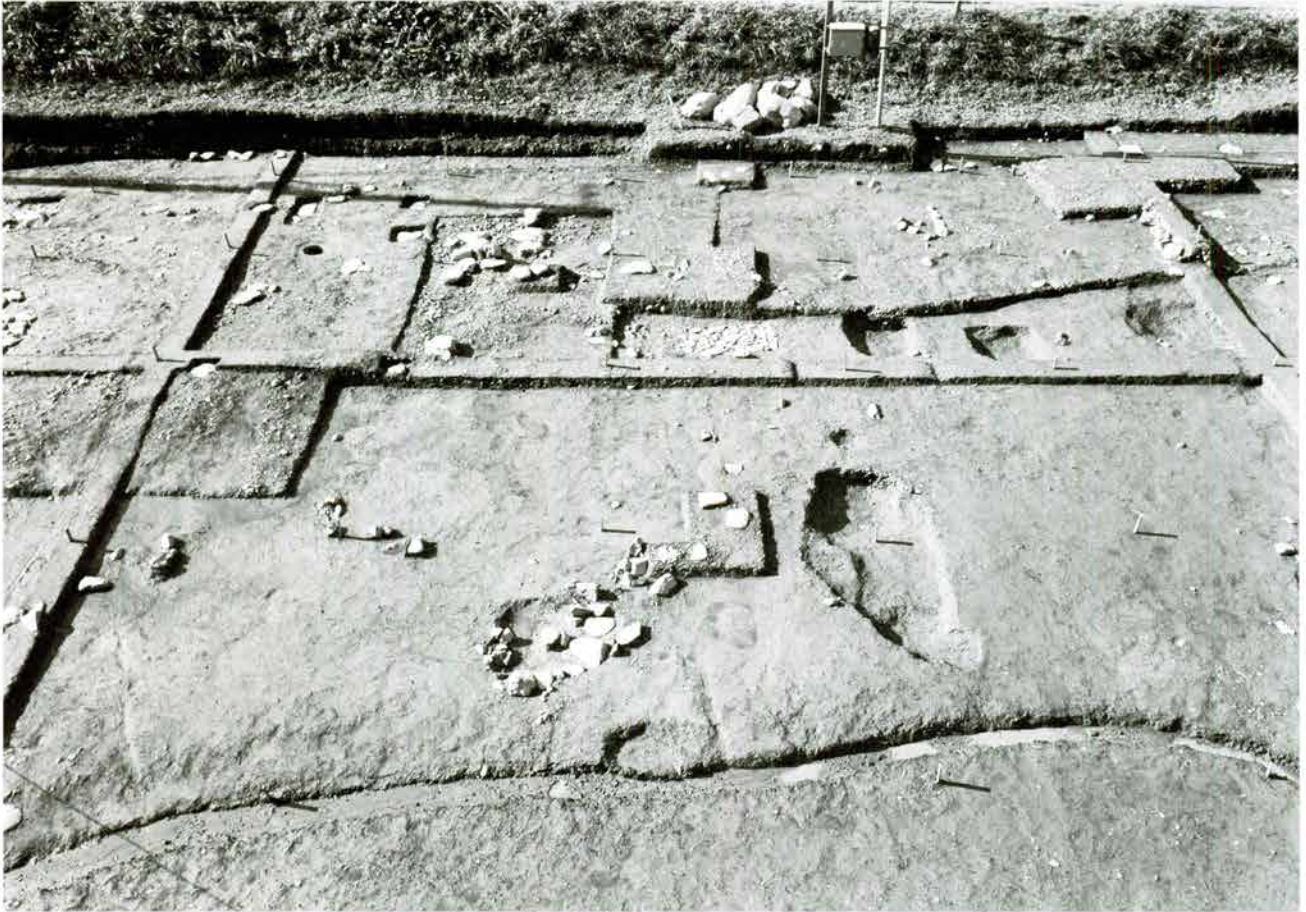
(2)SA3845(南東から)



(1)SD3847、SX3889・3890・3892・3893(東から)



(2)SB3843(東から)



(1)SB3841・3842、SX3883～3886、SK3852・3854(南東から)



(2)SB3841・3842、SX3885・3878(南東から)



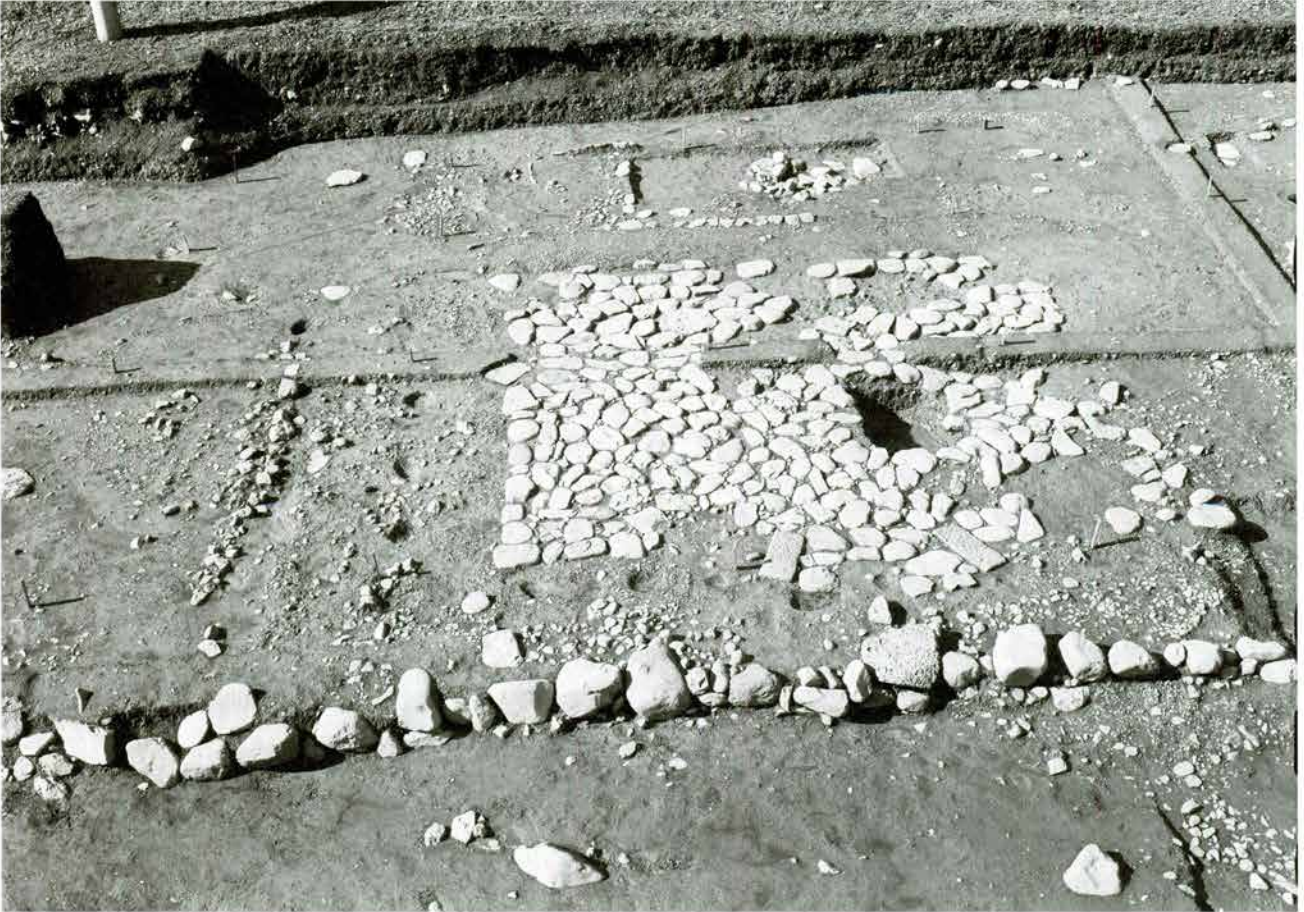
(1)SK3852~3855、SX3885(南から)



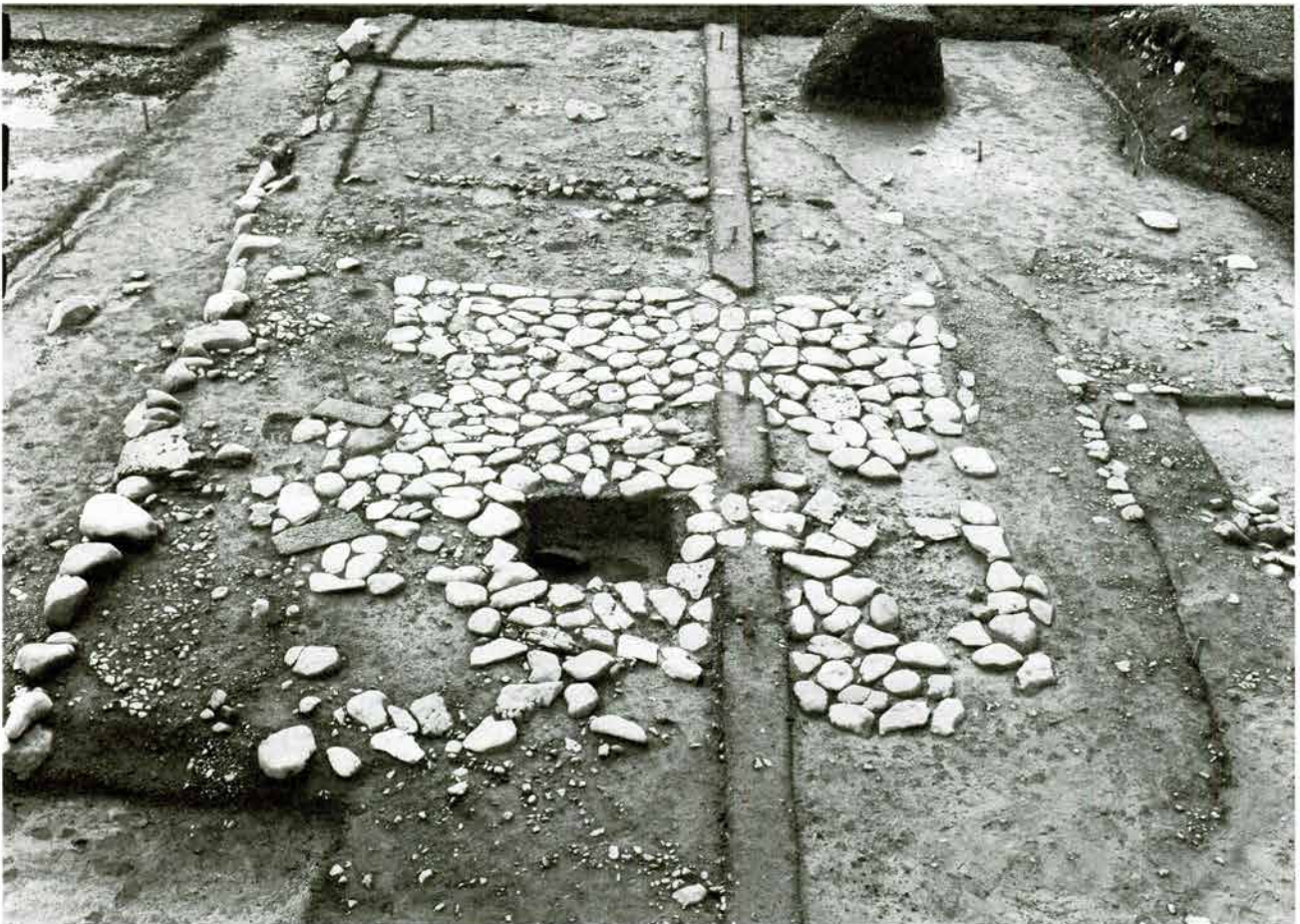
(3)SX3855(南東から) (4)SK3854(北西から)



(4)SB3840、SS3864、SX3870~3881、SV3867(南西から)



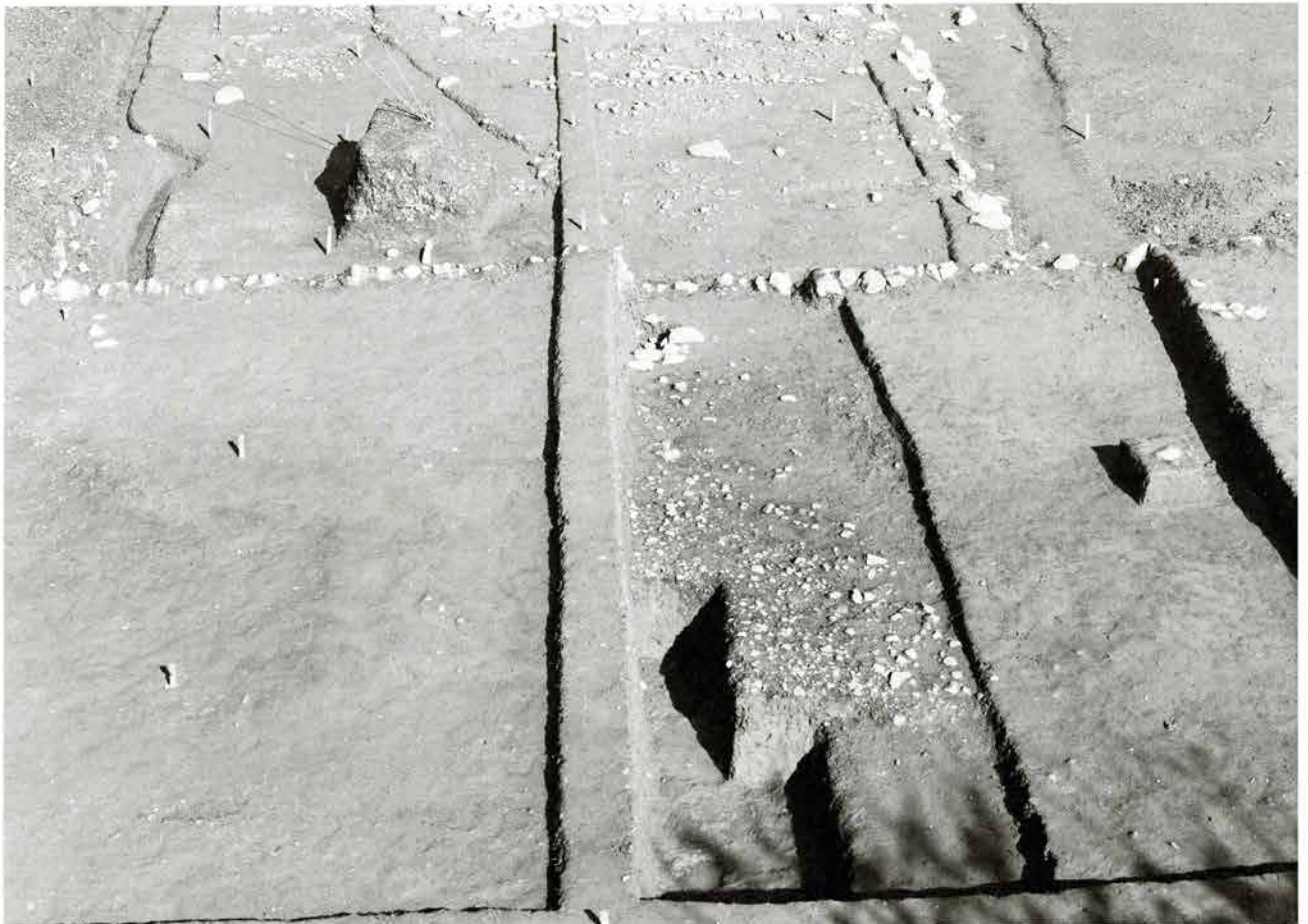
(1)SB3840、SS3864、SX3870・3879~3881、SV3867(南東から)



(2)SB3840、SS3864、SX3870・3879~3881、SV3867(北東から)



(1)SB3874、SS3864、SX3872・3874・3875(南東から)



(2)南側土塁SA3960、南濠SD2255(南西から)



(1) 第74・75次調査区遠景(北から)



(2) 第74・75次調査区遠景(西から)



(1) 第74・75次調査区(南西から)



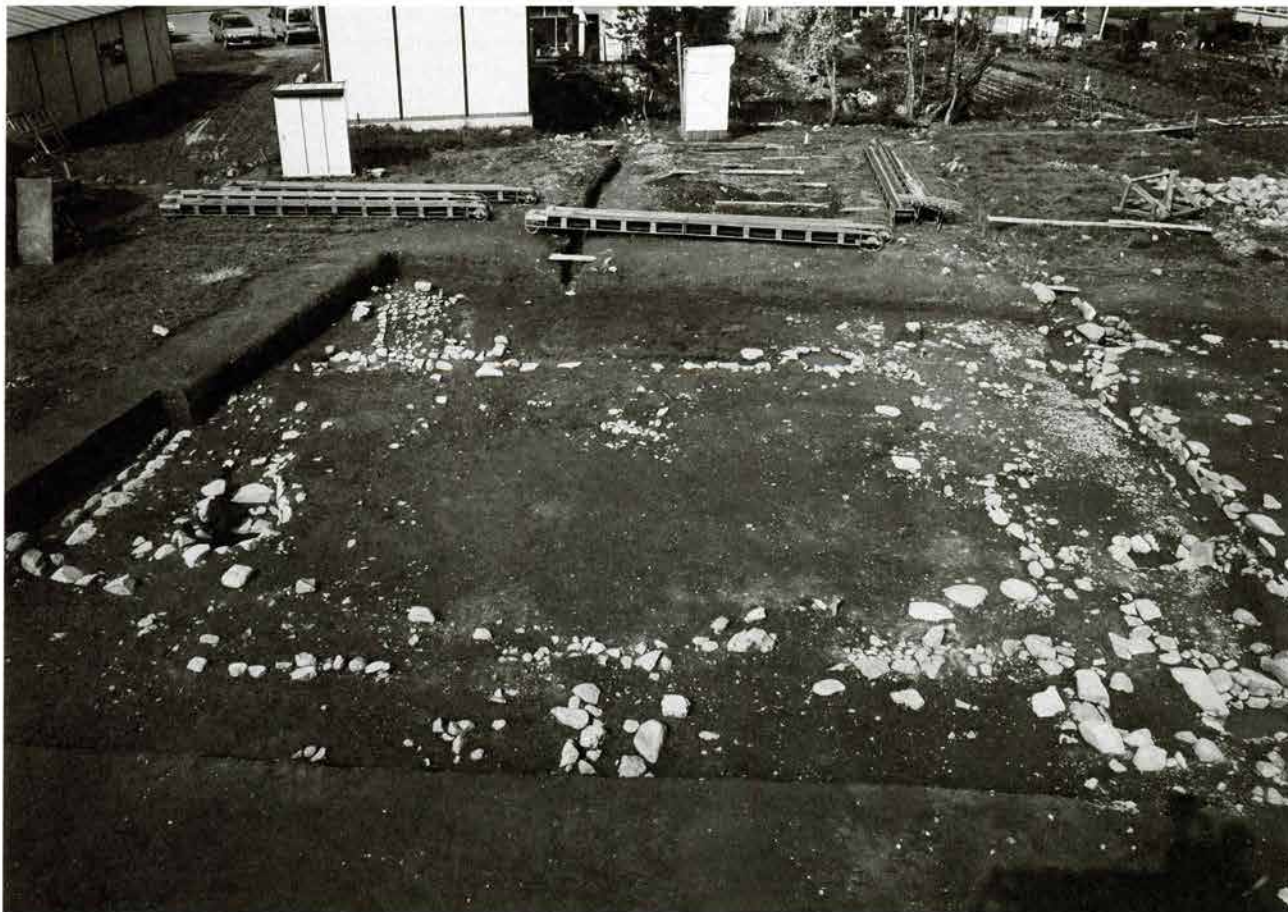
(2) 第74・75次調査区遠景(南東から)



(1) 第 I 区域遺構全景(北から)



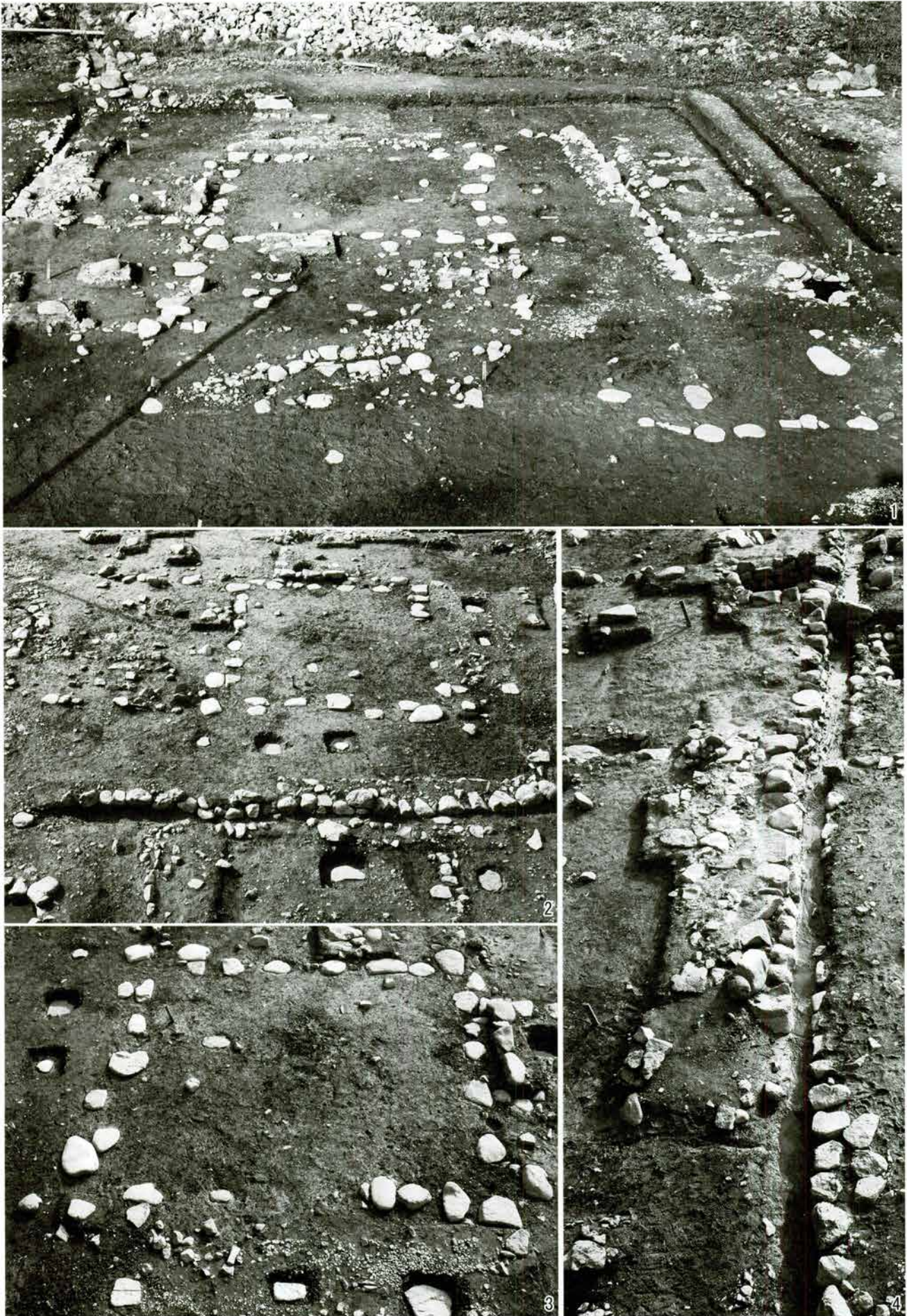
(2) 第 I 区域遺構全景(南東から)



(1)SB3976(北西から)



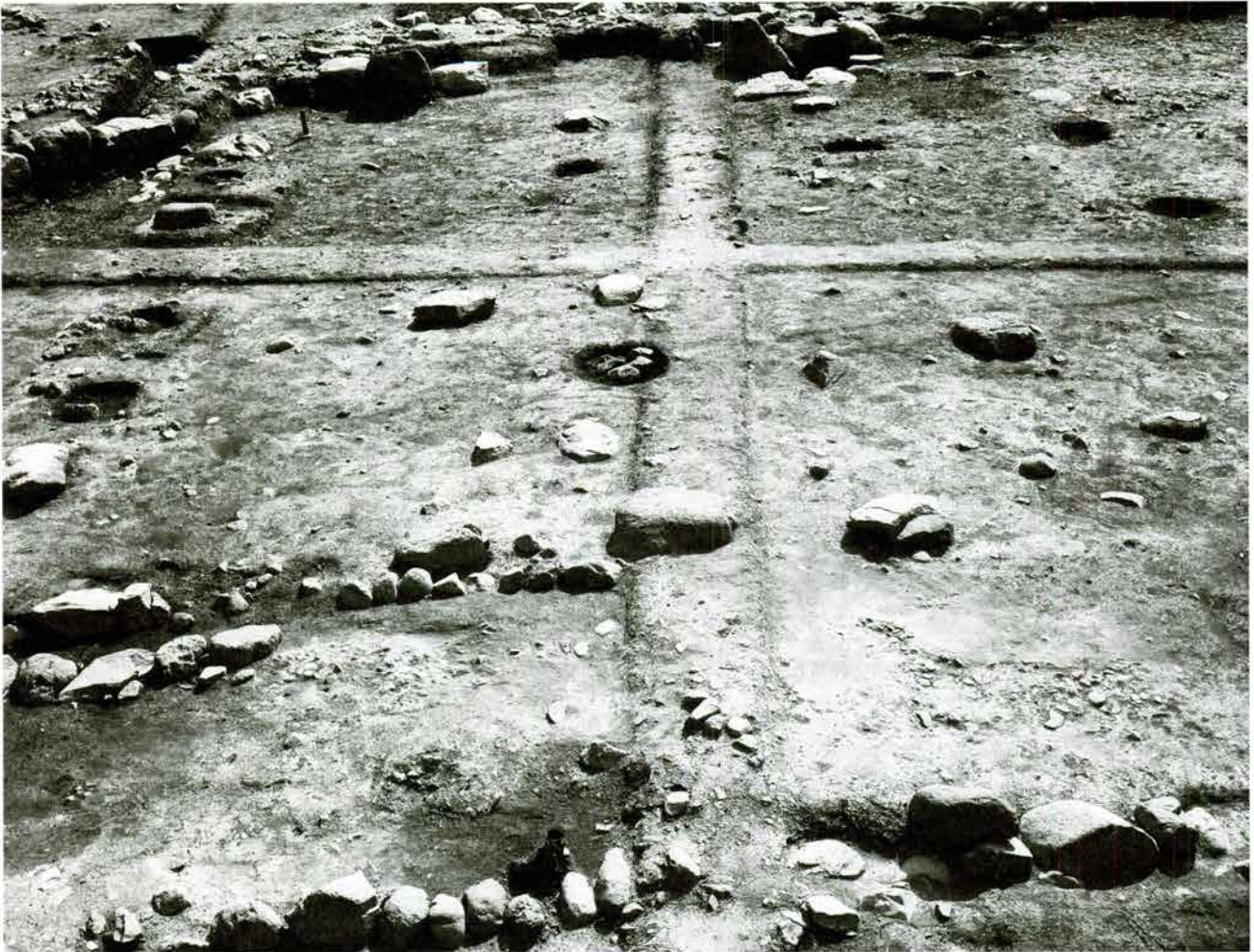
(2)SB3977、SS4005(南西から)



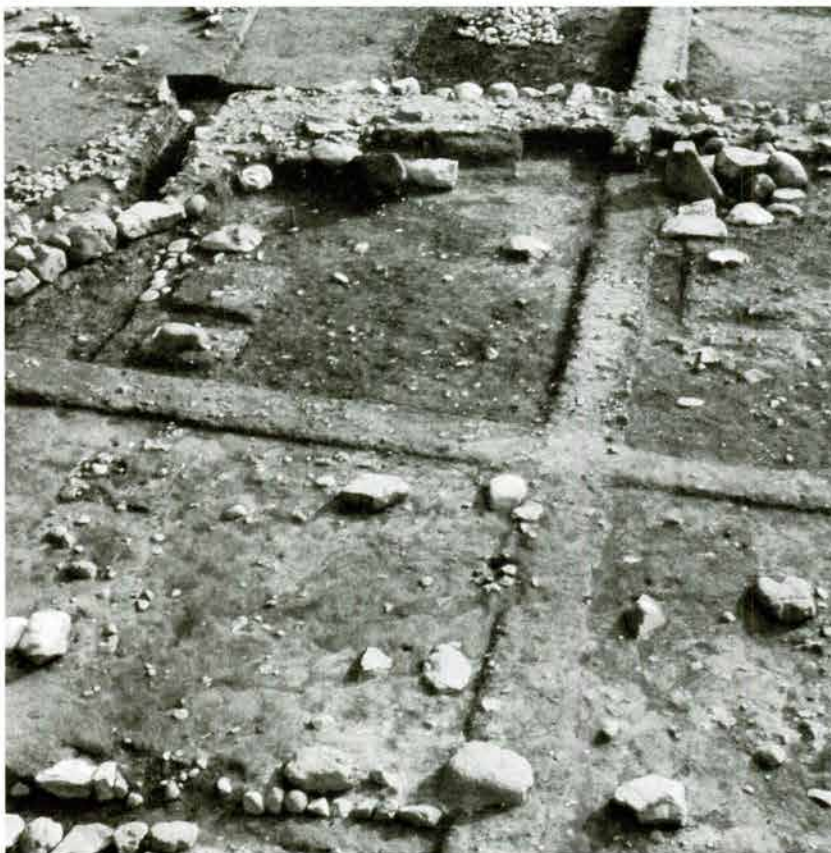
(1)SB3978(南西から) (2)SB3978(南東から) (3)SB3978(北東から) (4)SA4098、SD3986(北東から)



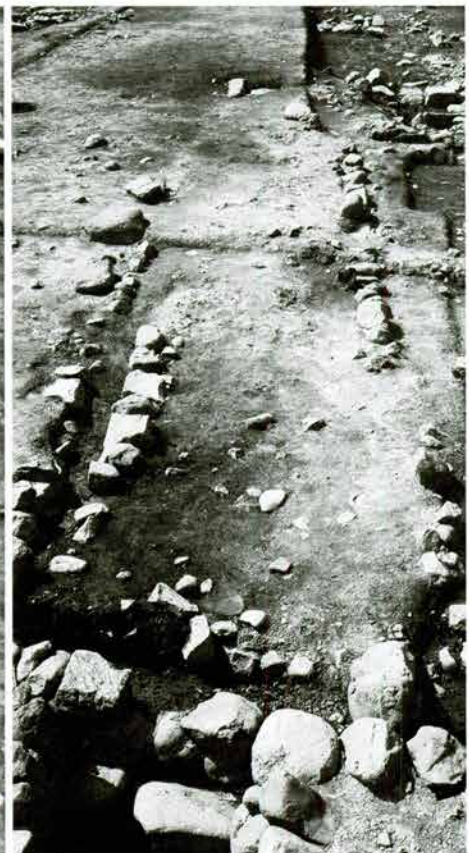
(1)第Ⅱ区域遺構全景(北西から)



(1)SB3974・4091、SS4005(北東から)



(2)SB3974(北東から)



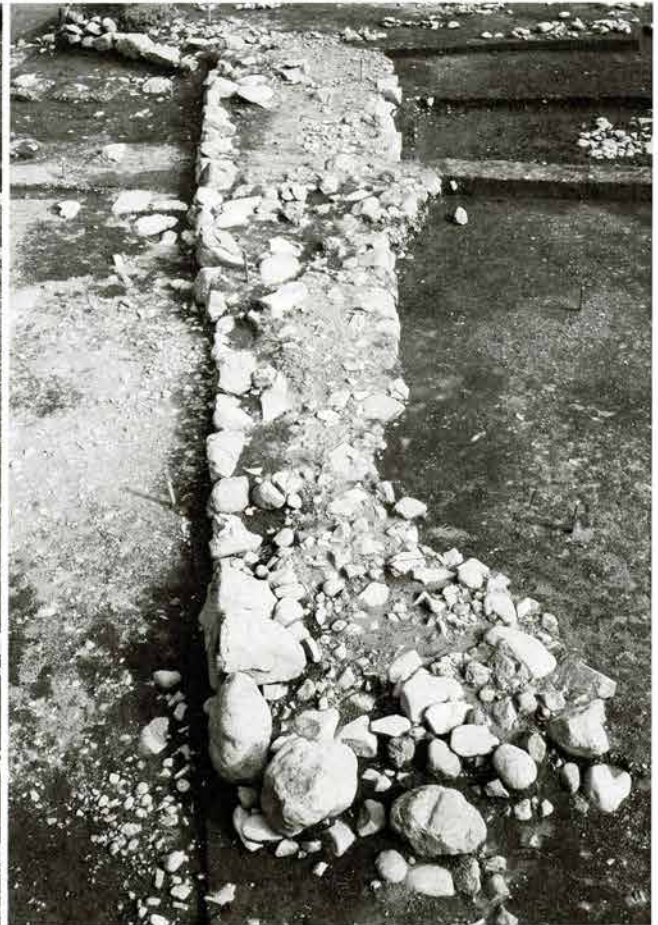
(3)SS4005(南東から)



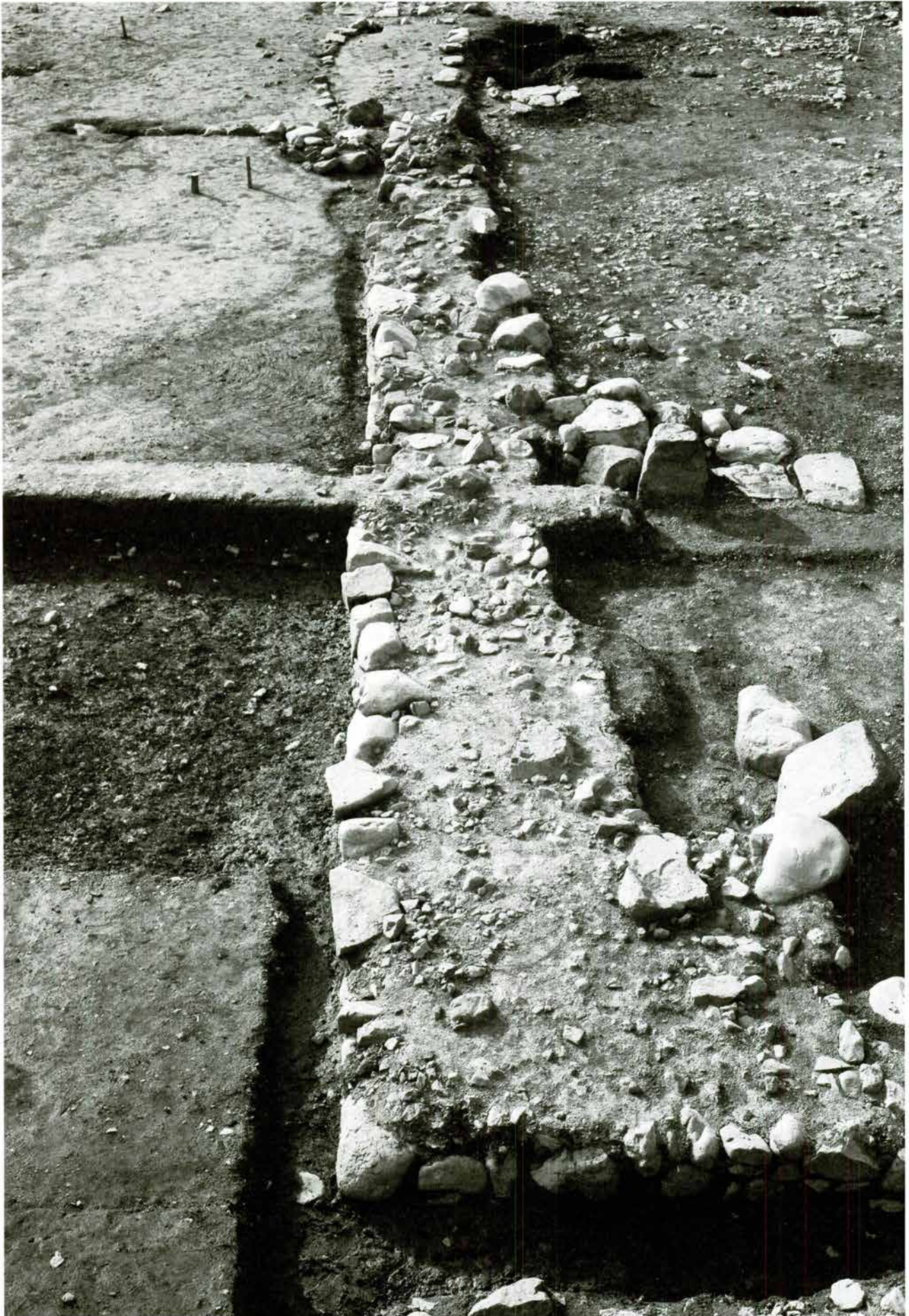
(1)SD3983・3984、SK4002・4003、SS4007、SX4010、SA4012、SG4028(北西から)



(2)SS4007、SA4012(北西から)



(3)SA4012、SG4026・4028(北西から)



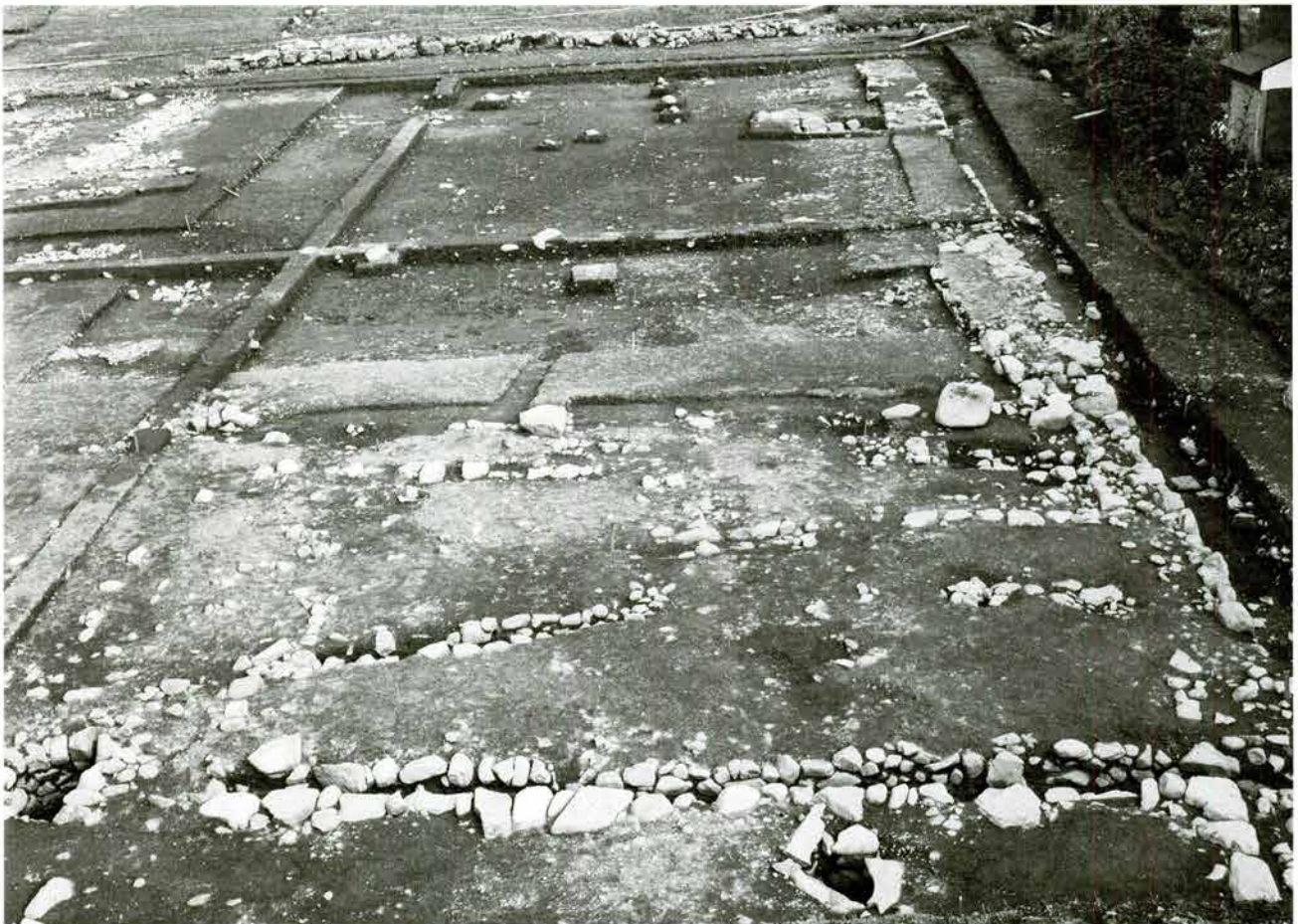
(1)SA4012、SG4026・4028(南東から)



(1)SX4019・4020、SB4096(南東から)



(1) 第三区域遺構全景(南西から)



(2) 第三区域遺構全景(北西から)



(1)SA3970、SS4008、SX4017、SF4001、SD3981、SZ4009・4092(北西から)



(1)SD3981、SZ4092(南西から) (2)SD3981、SZ4092(北西から) (3)SZ4092(北西から)



(4)SA3970、SZ4009(南西から) (5)SA3970、SD3981、SZ4009(東から) (6)SZ4009(北西から)



(1)SB3971、SF4000(北東から)



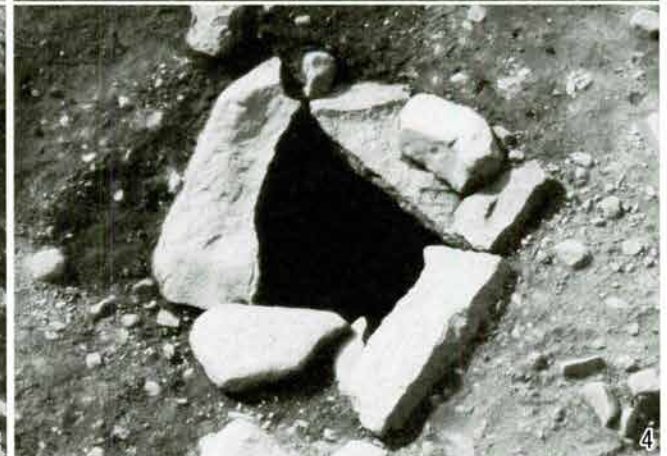
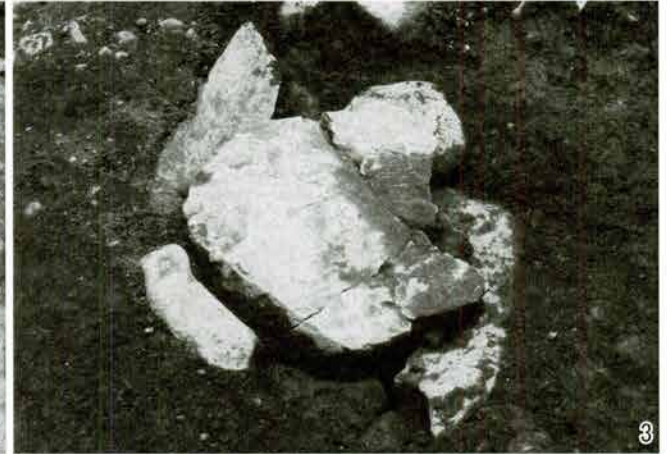
(2)SX4093、SD4094(南から)



(3)SE4022、SD4095(南東から)



(4)SE3990(南東から)



(1)SE3991(南東から) (2)SE3993(南東から) (3)SE3994(北西から) (4)SE3994蓋石除去後(南東から)



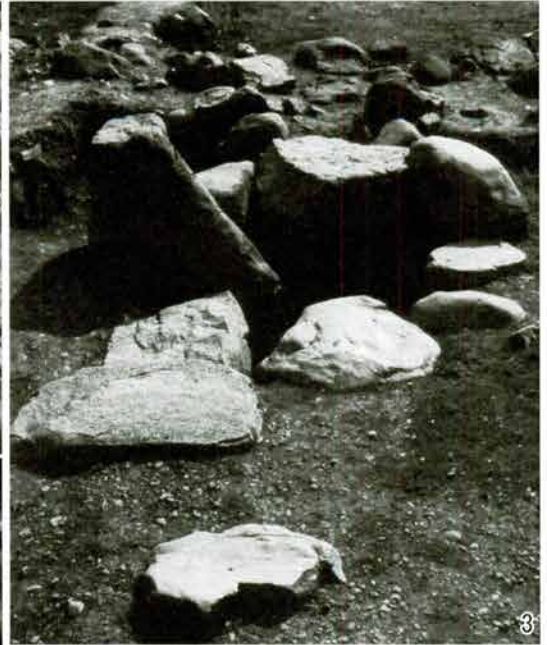
(5)SE3989(北西から) (6)SE3995(北西から) (7)SF3996・3997(南西から)



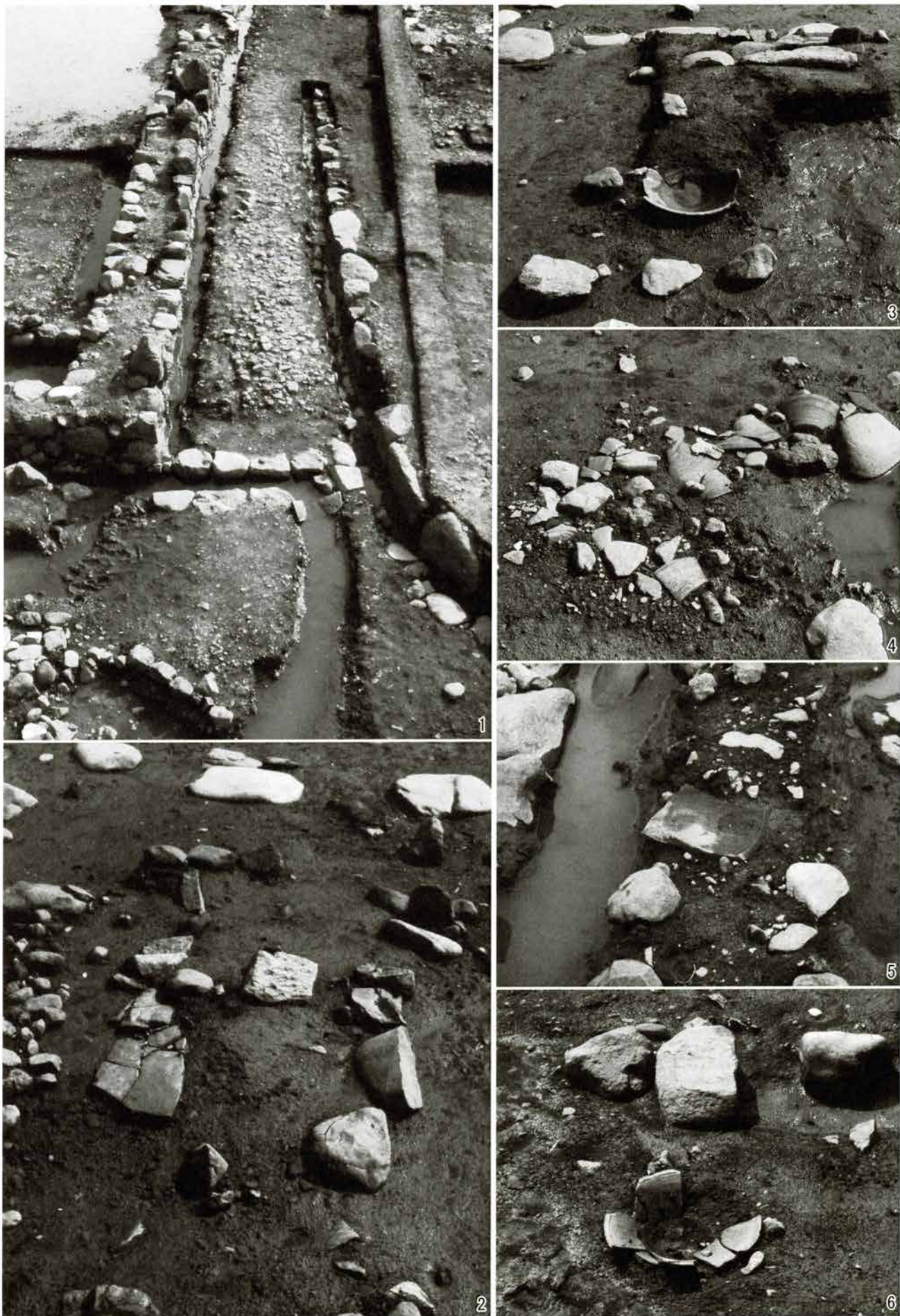
(1)SF3996・3997、SD3985(南東から)



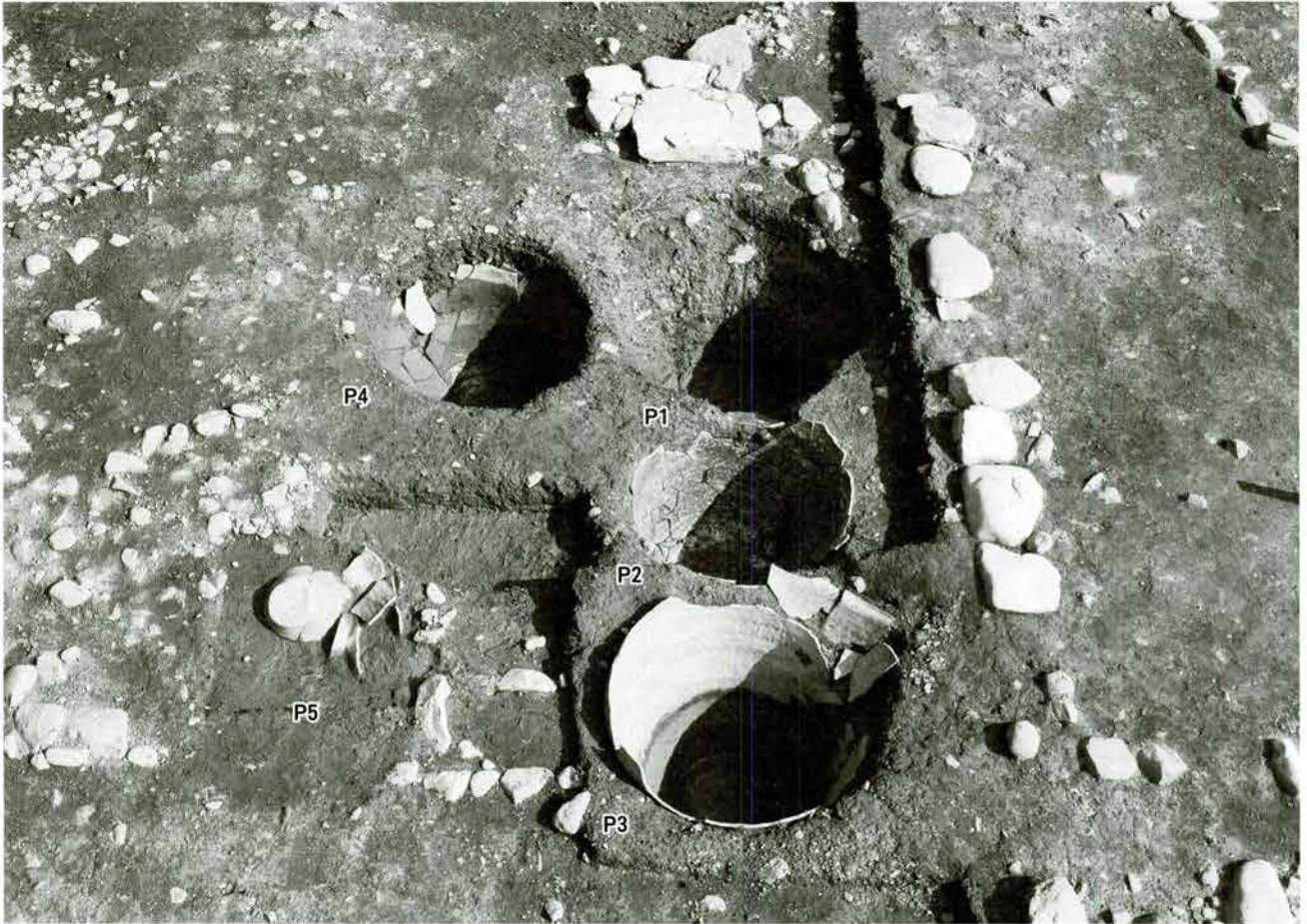
(2)SF3998・3999、SD3986(南東から)



(1)SF4000(北西から) (2)SF4001、SA3970(北西から) (3)SG4026(北東から) (4)SD3983(南西から)



(1)SS4066(北東から) (2)X001:N43越前焼甕227(南西から) (3)X002:N43越前焼播鉢13(南西から)
(4)X003:M43越前焼播鉢(南西から) (5)X004:O41越前焼播鉢198(南西から) (6)X005:E50越前焼播鉢9(北西から)



(1)SK4003-P1~5、SS4007(北西から)



(2)SK4003(南東から)



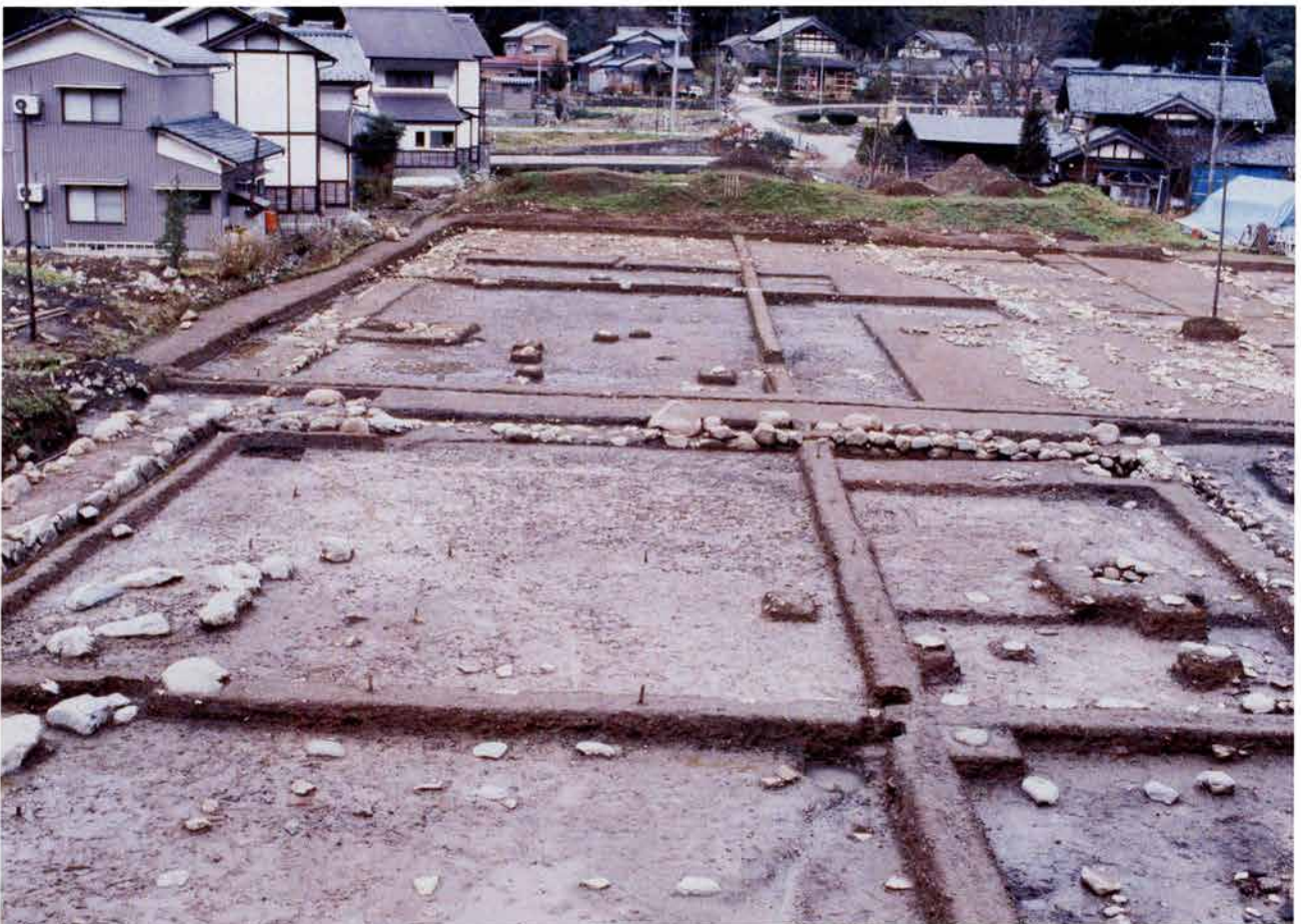
(3)SK4003-P1(南西から)



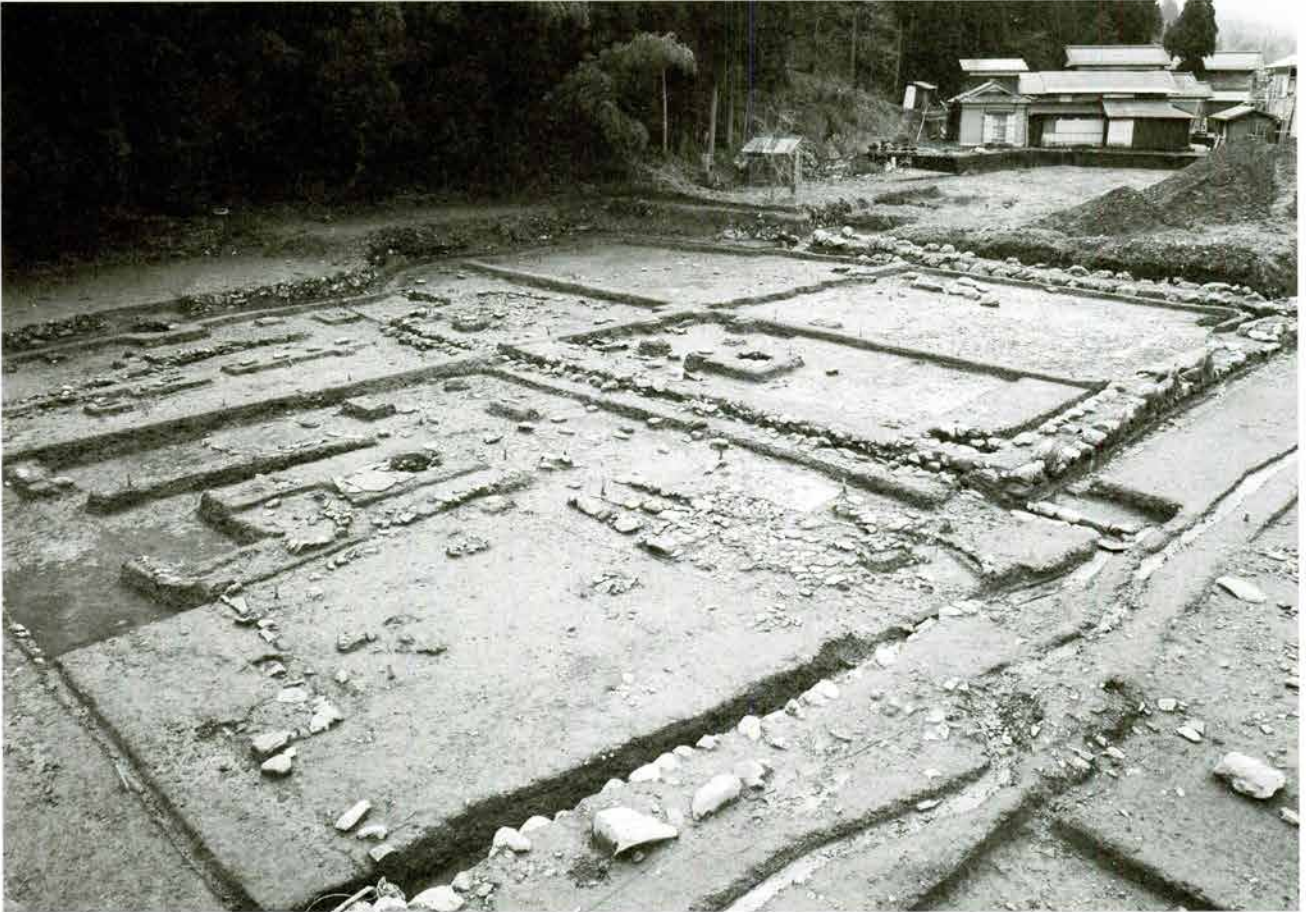
(4)SK4003-P3(南西から)



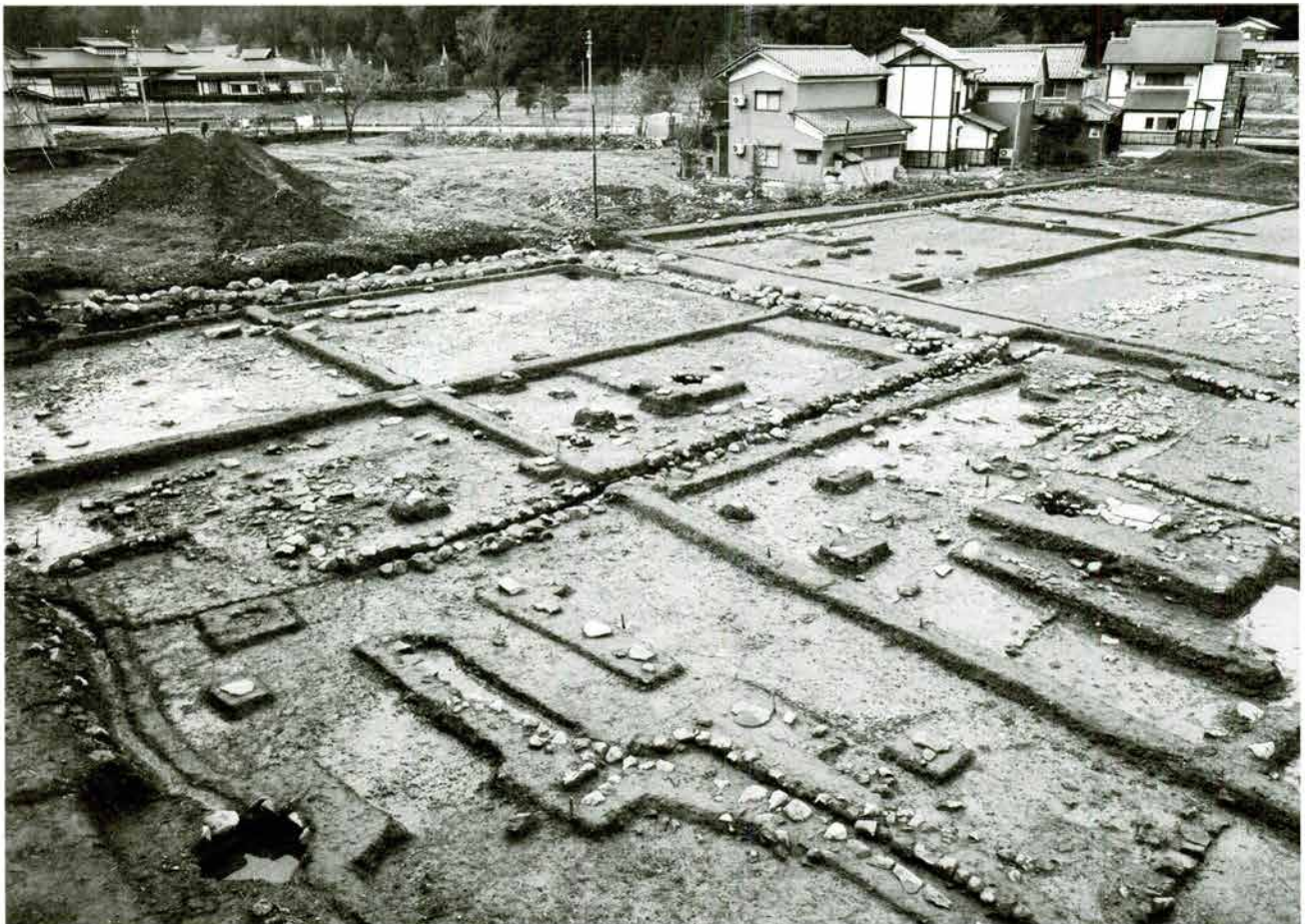
(1) 第74・75次調査区遺構全景(南から)



(2) 第74・75次調査区遺構全景(南東から)



(1) 第75次調査区遺構全景(北から)



(2) 第75次調査区遺構全景(東から)



(1)第IV区域遺構全景(北西から)



(1) 第Ⅳ区域遺構全景(西から)



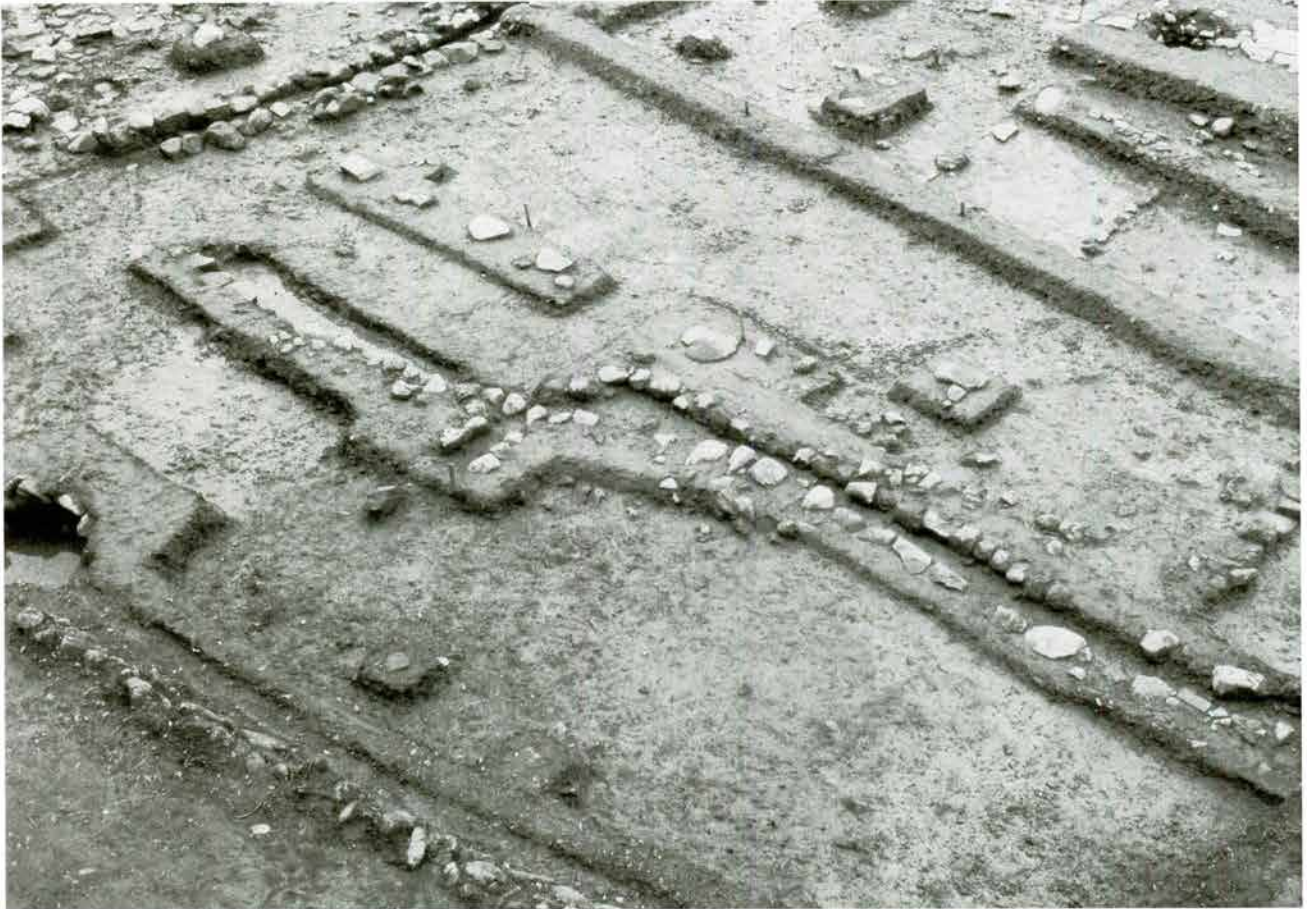
(2) SB4050・4051・4100、SX4077(北西から)



(1)SE4061、SX4083~4085、SX4083、SV4072・4078(北西から)



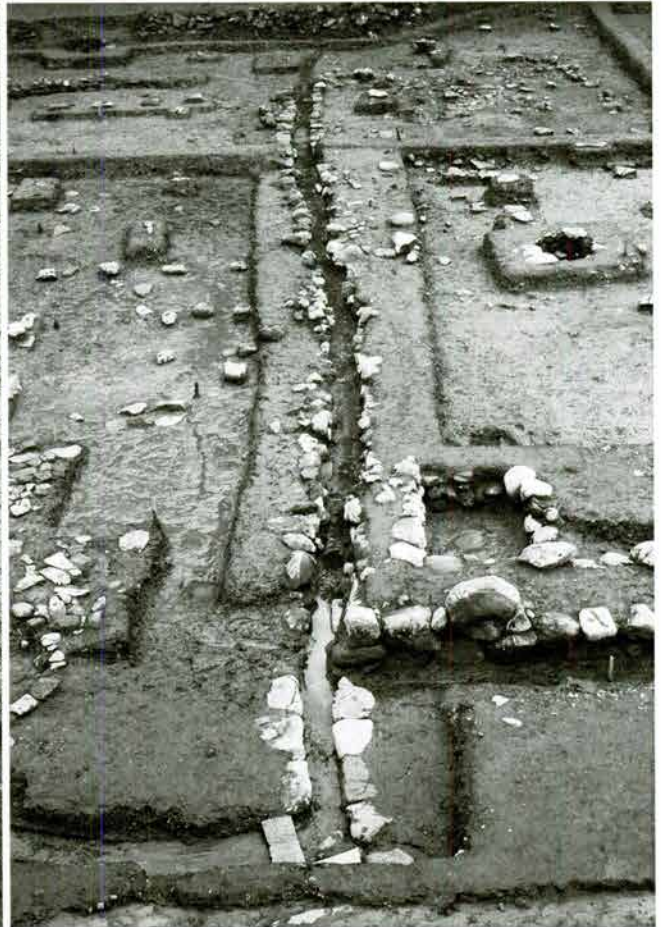
(2)SB4048・4054・4055、SV4067・4071・4074、SD4059(北西から)



(1)SB4054、SD4059(東から)



(2)SD4059(北東から)



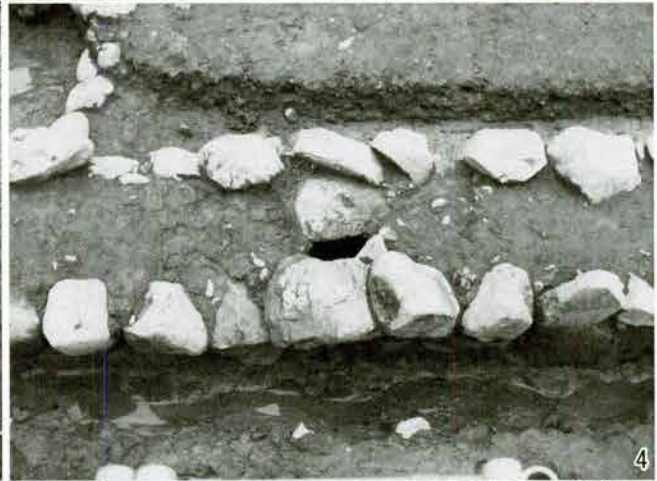
(3)SD4057(北西から)



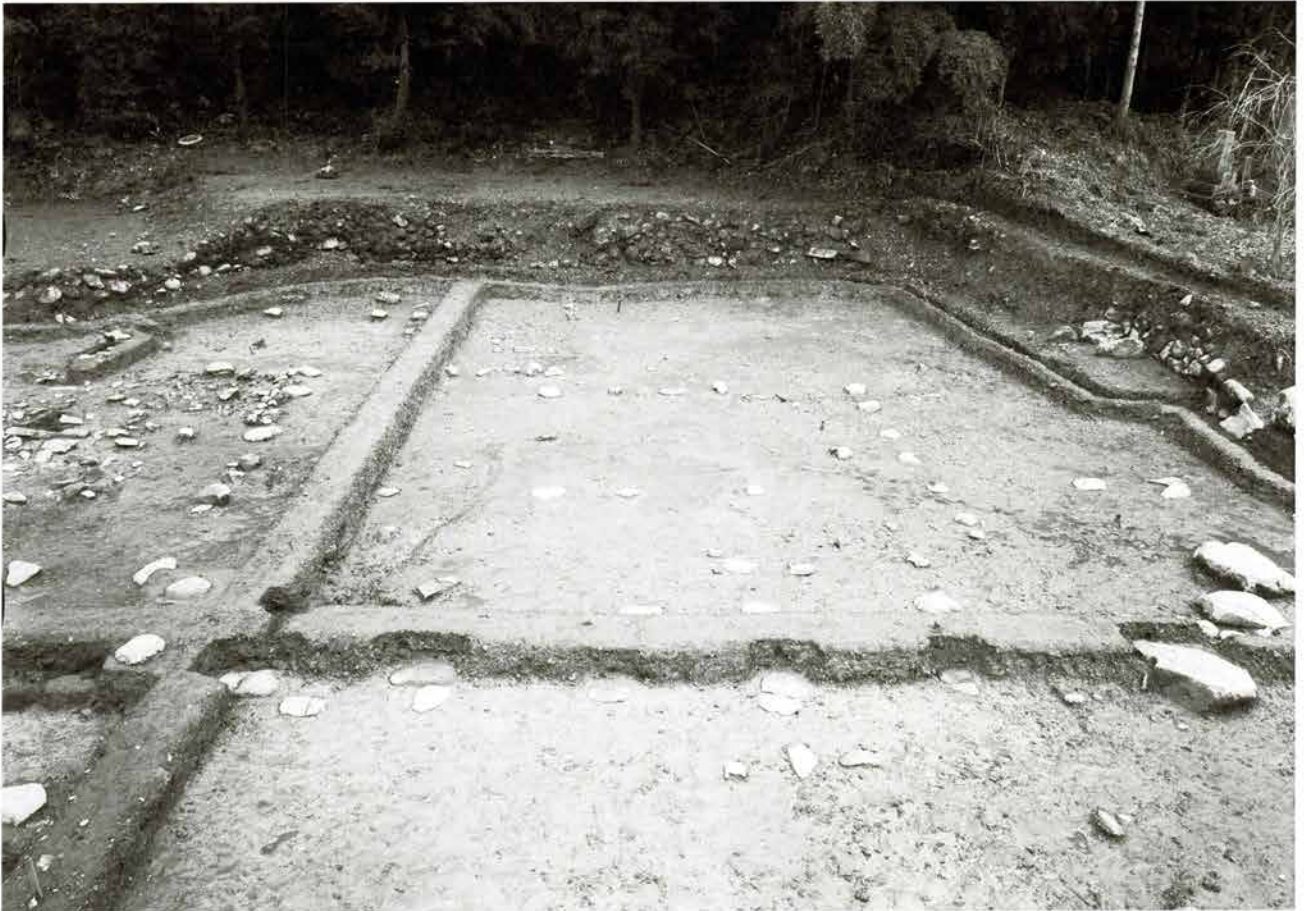
(1) 第V区域遺構全景(北から)



(2) 第V区域遺構全景(西から)



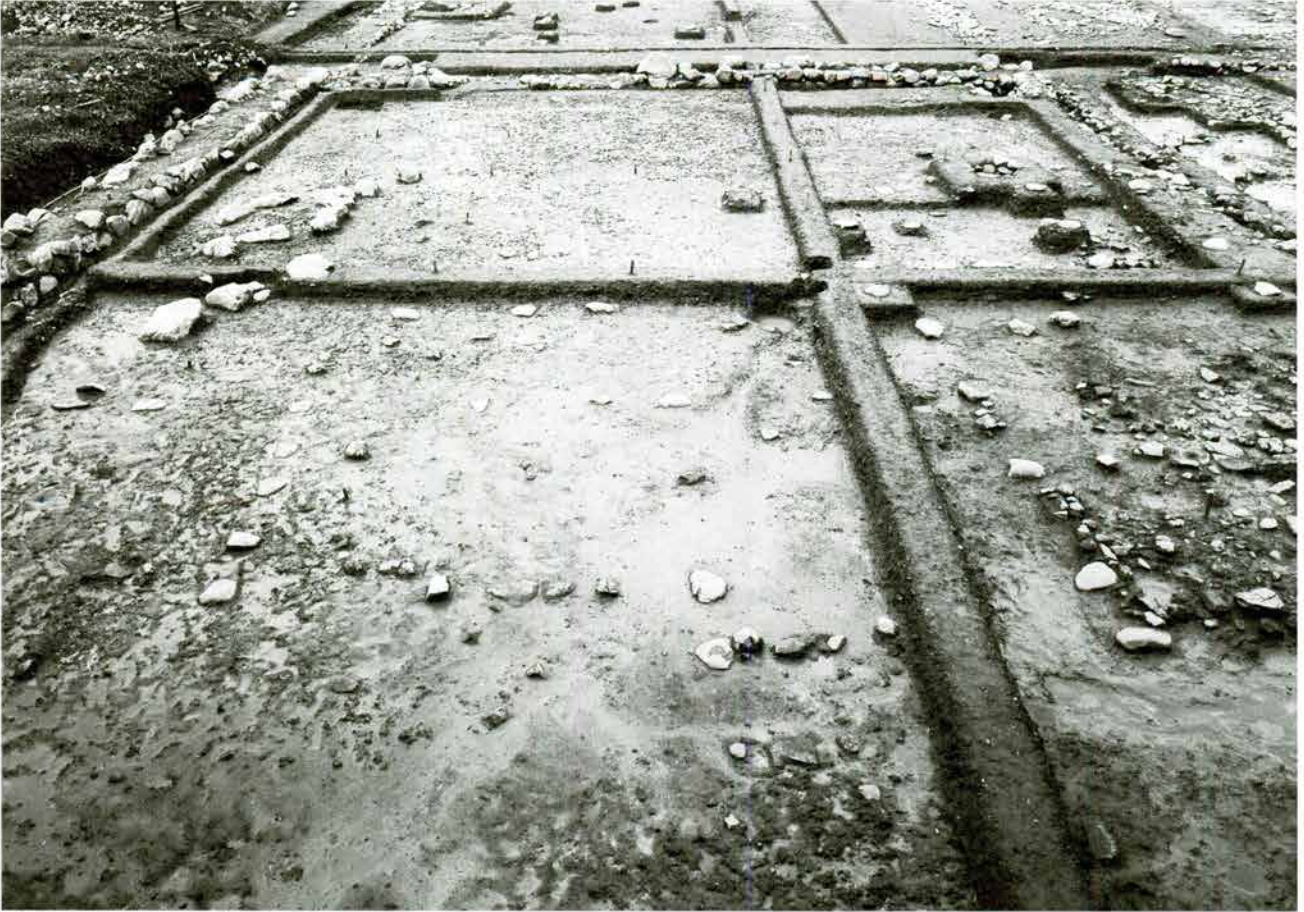
(1)SA3970・4041(北西から) (2)SA4042、SI4094、SZ4089、SF4063(北東から) (3)SA4042(北西から)
(4)SA4042、SZ4089(北西から) (5)SI4094(北西から) (6)SI4094(南東から)



(1)SB4043・4044・4046(北西から)



(2)SB4043・4046(北西から)



(1)SB4043~4045(南東から)



(2)SB4045・4047・4053(南東から)



(1)SB4043~4047・4053・4046・4047、SE4060、SD4057(北から)



(2)SB4053・4064・4047、SE4060(西から)



(1)SF4063(北西から)



(2)SX4080(北から)



3



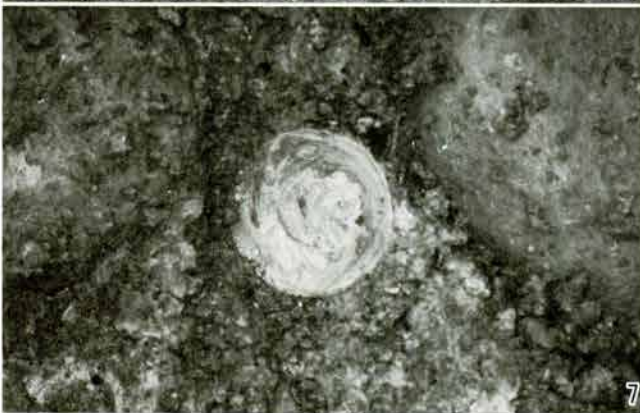
4



5



6



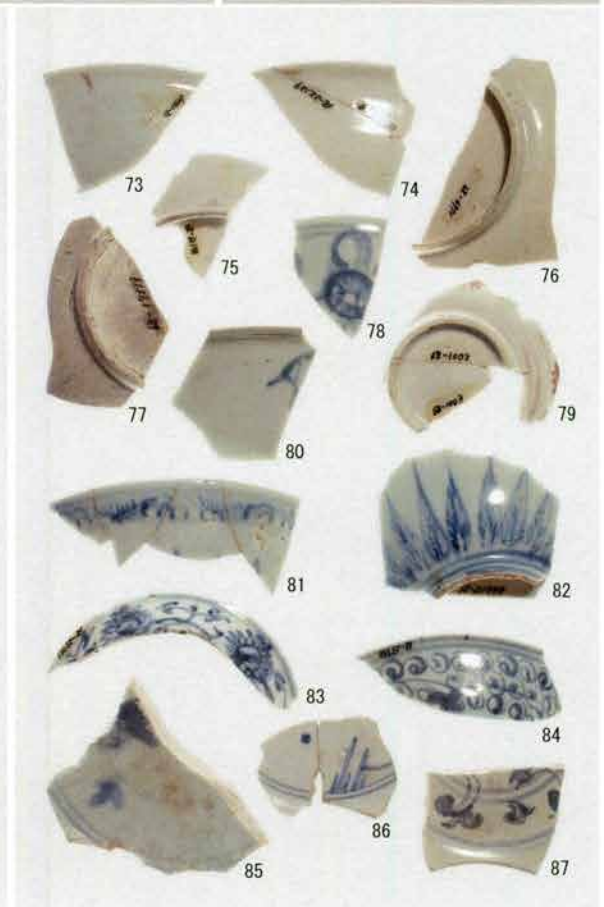
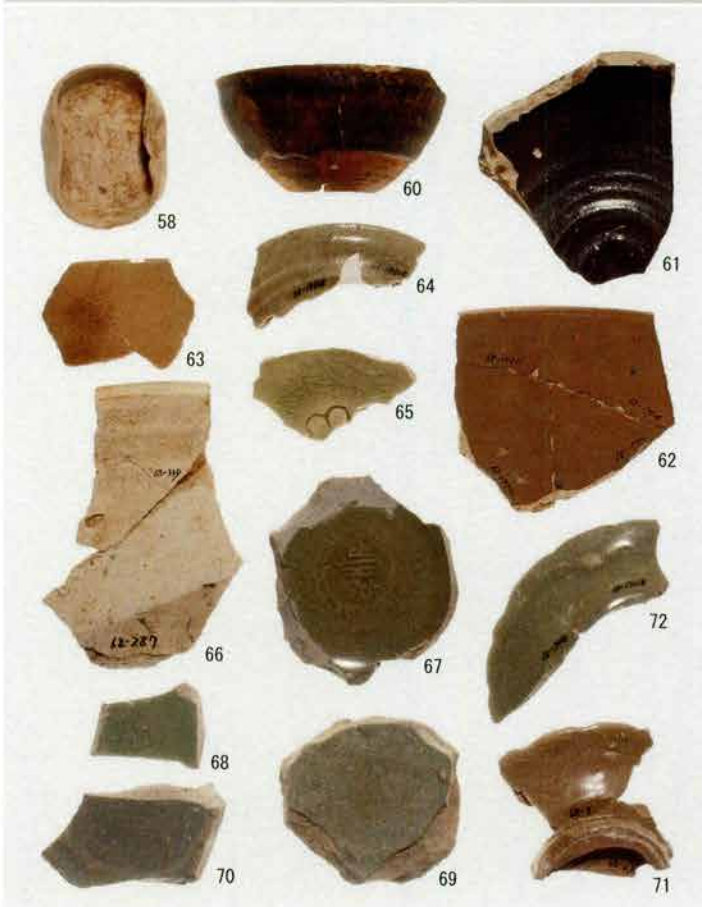
7



8

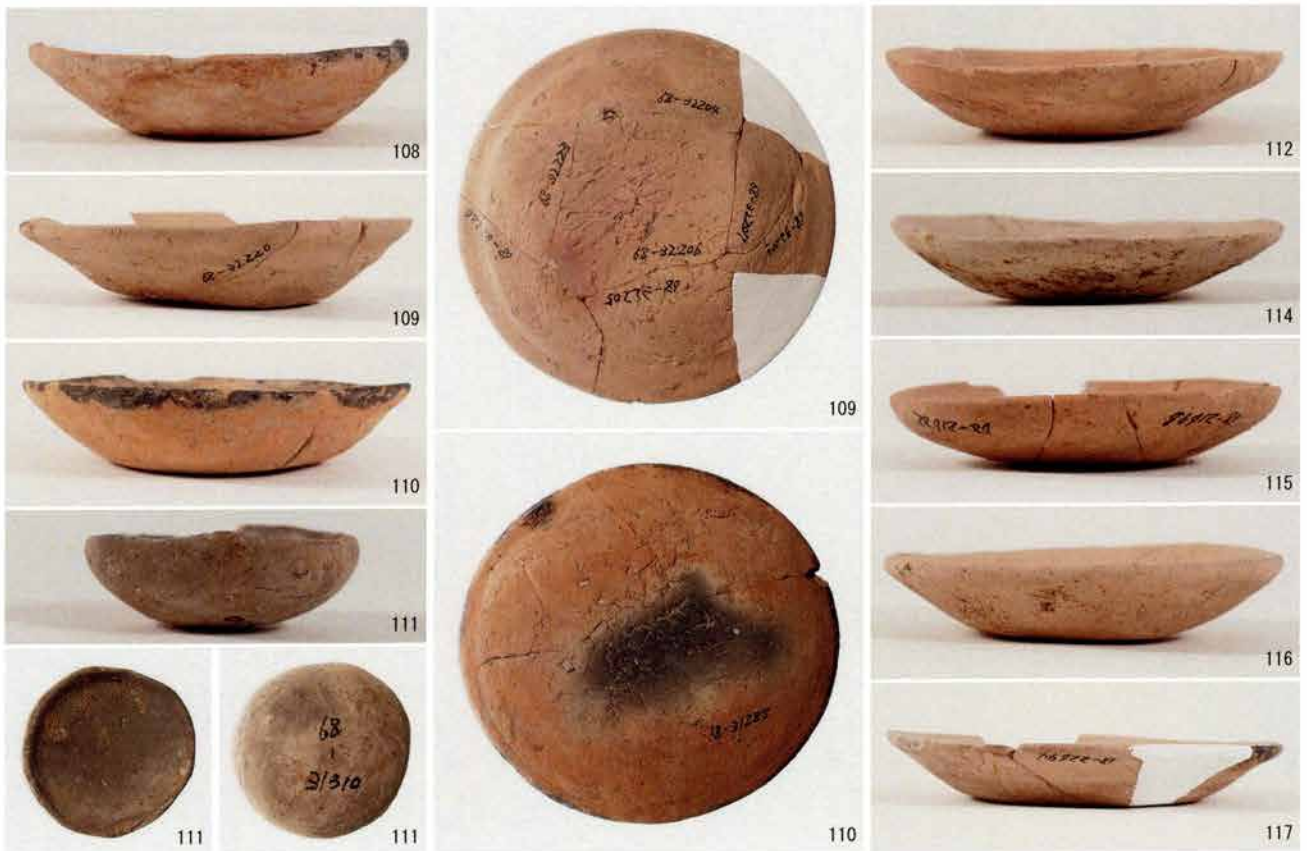
(3)SE4060バンドコ309(西から) (4)SE4061土師器皿165 (5)X006 : SX4083付近越前焼播鉢(北西から)
 (6)X007:SD4059灰釉皿135(南東から) (7)X008:SB4043土師器皿174(南西から) (8)X009 : SB4045銭貨





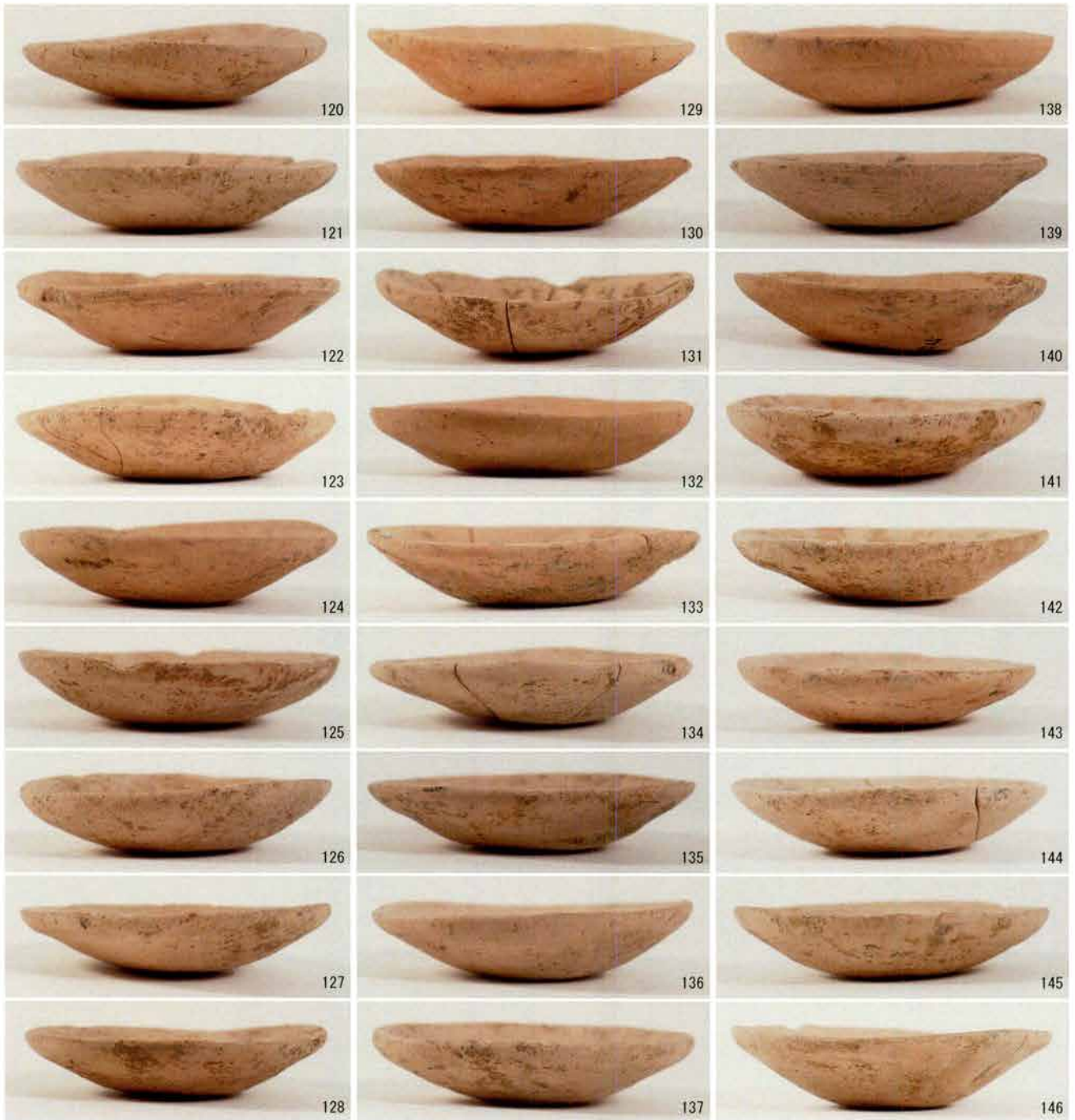


(1)SD2261出土土器



(2)SD3849出土土器

(3)SD3848出土土器



(1)SX3895出土土器



(2)SK3854出土土器



(1) SX3852出土土器



(2) SX3889出土土器



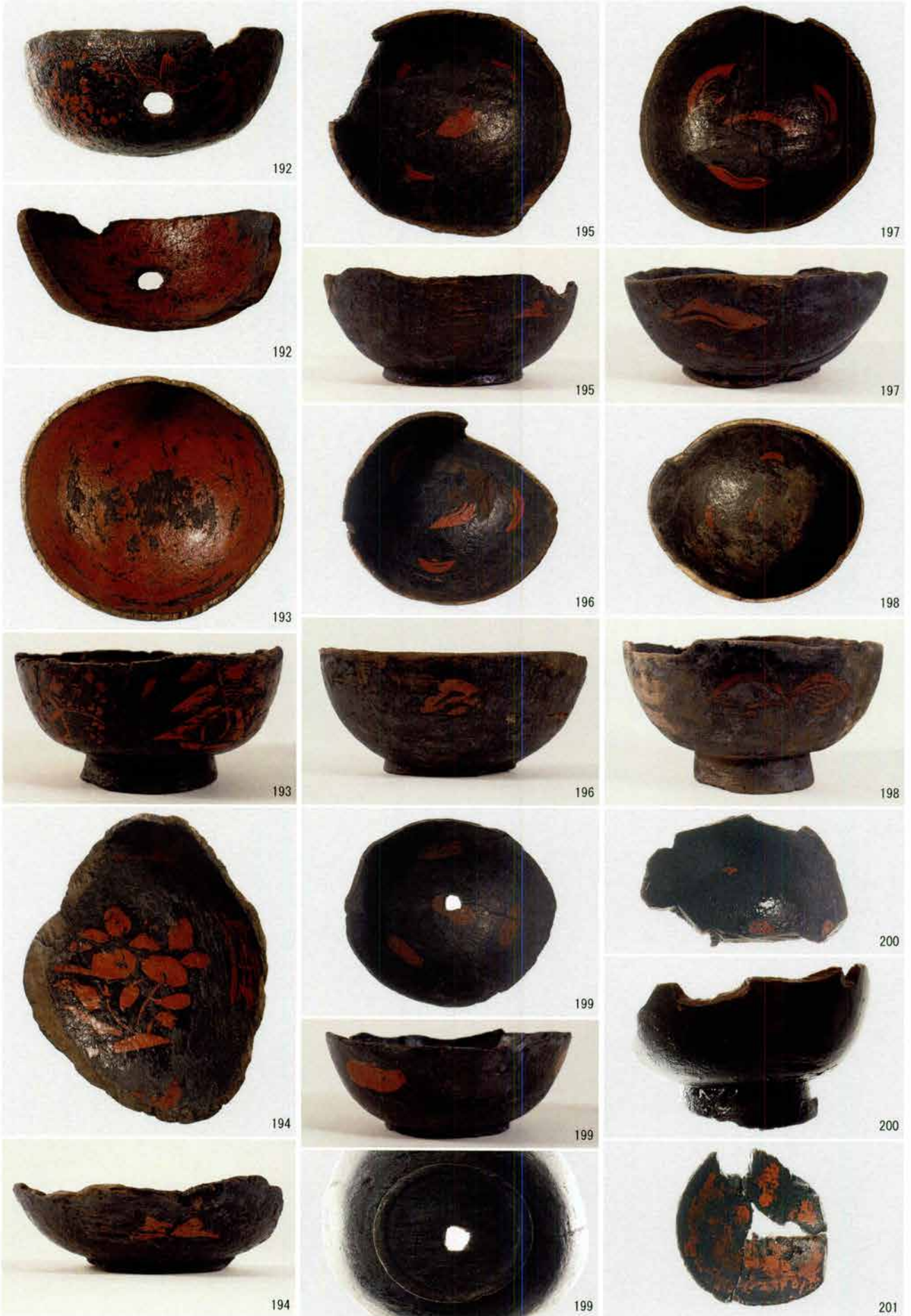
(3) SD3847、SB3840出土土器



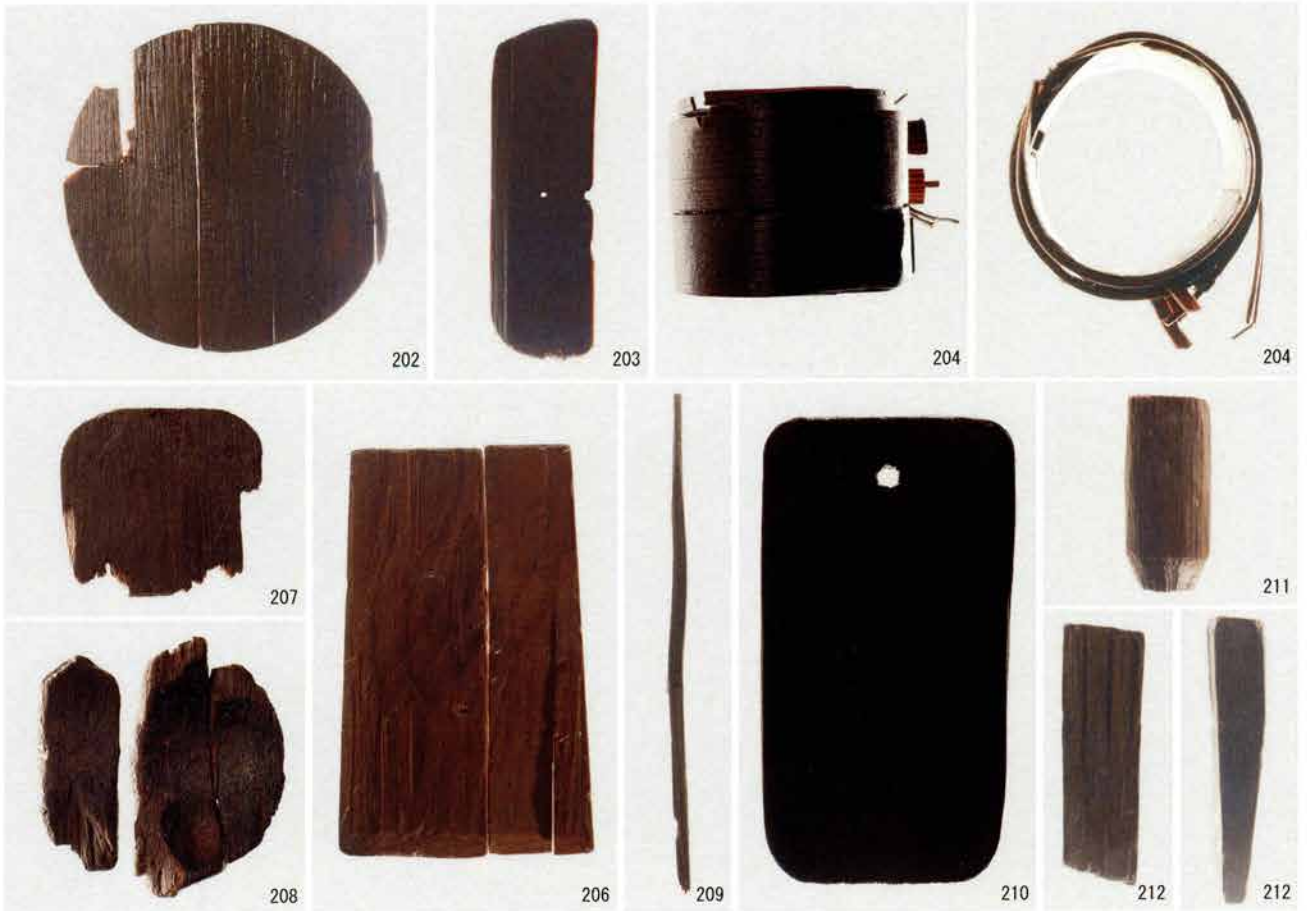
(4) 概報掲載出土土器 (番号は概報のママ)



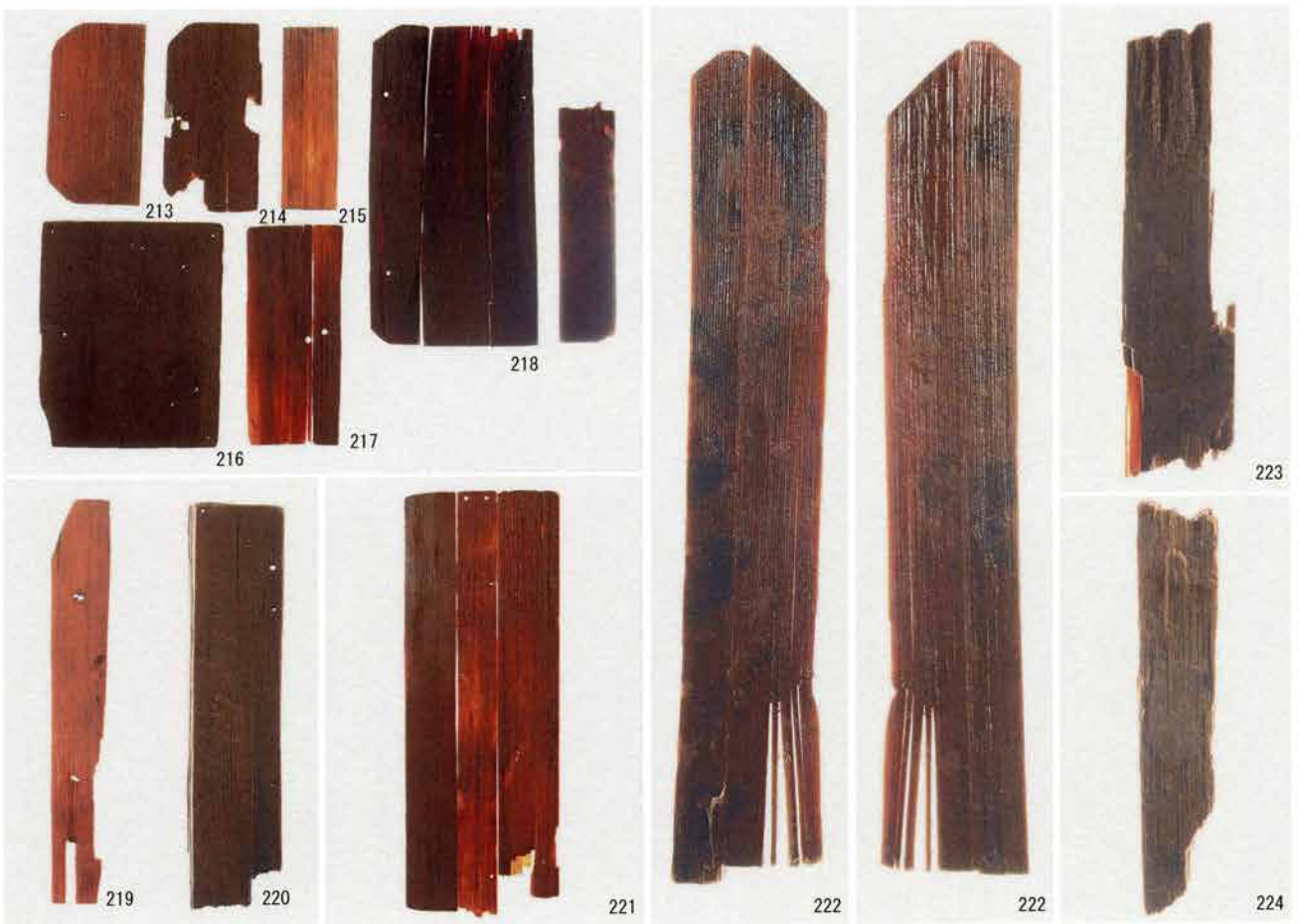
(5) 金属製品、銭貨



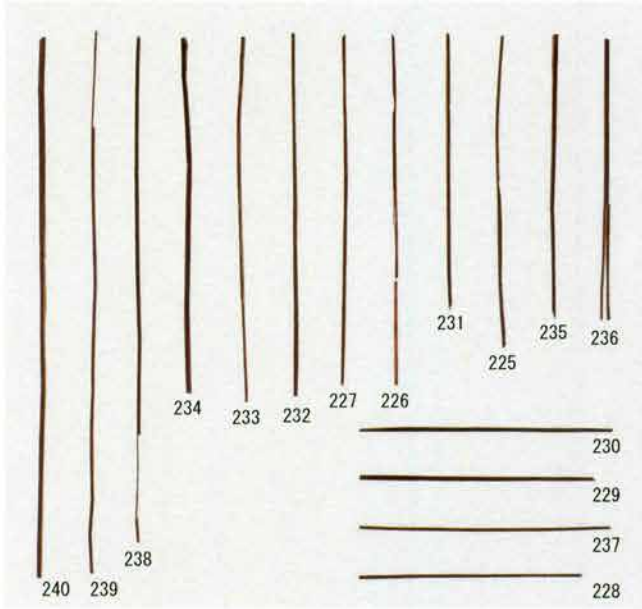
(1)漆器



(1) 容器・雑器



(2) 折敷、祭祀具



(1) 御幣串

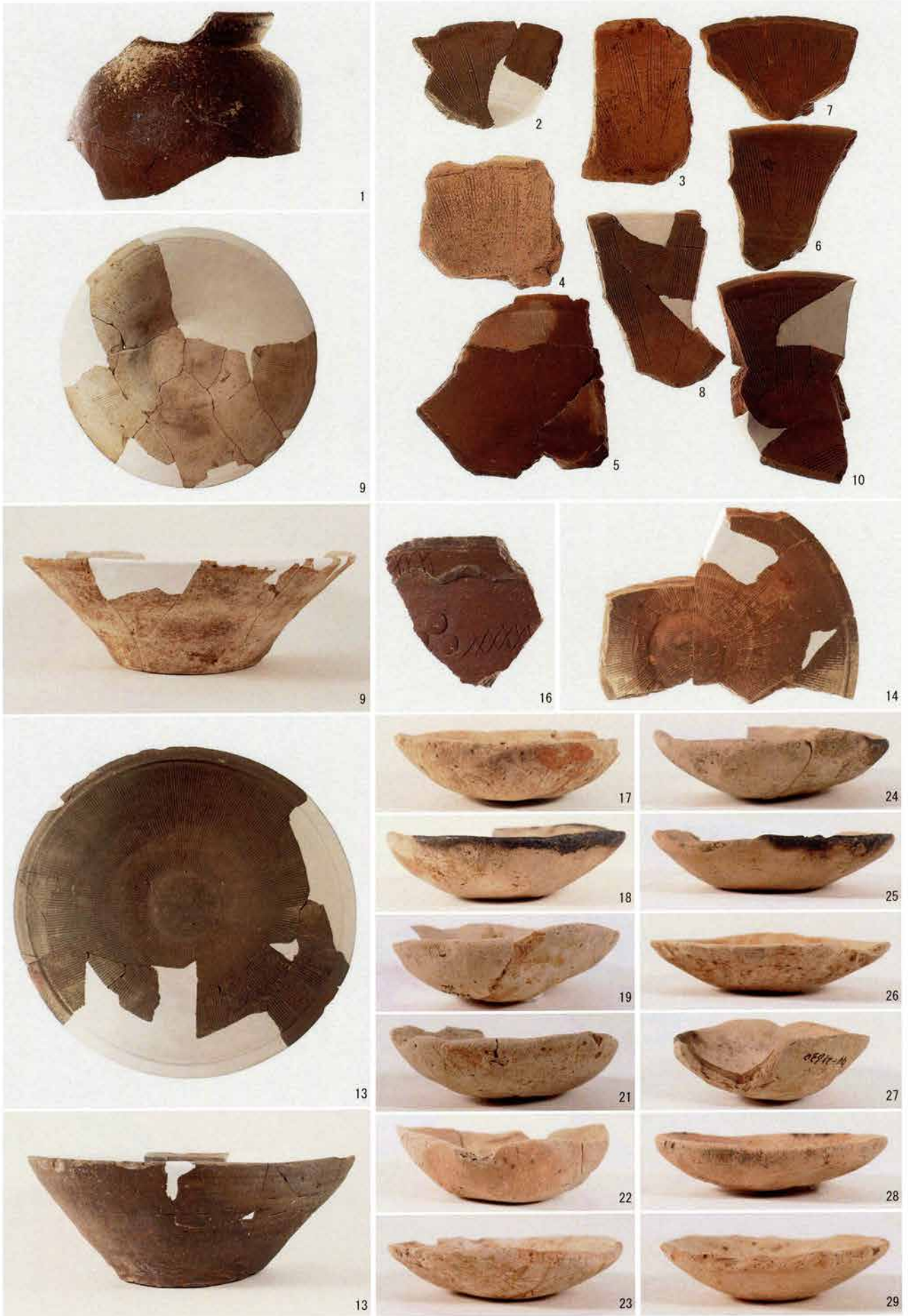


(2) 刀形



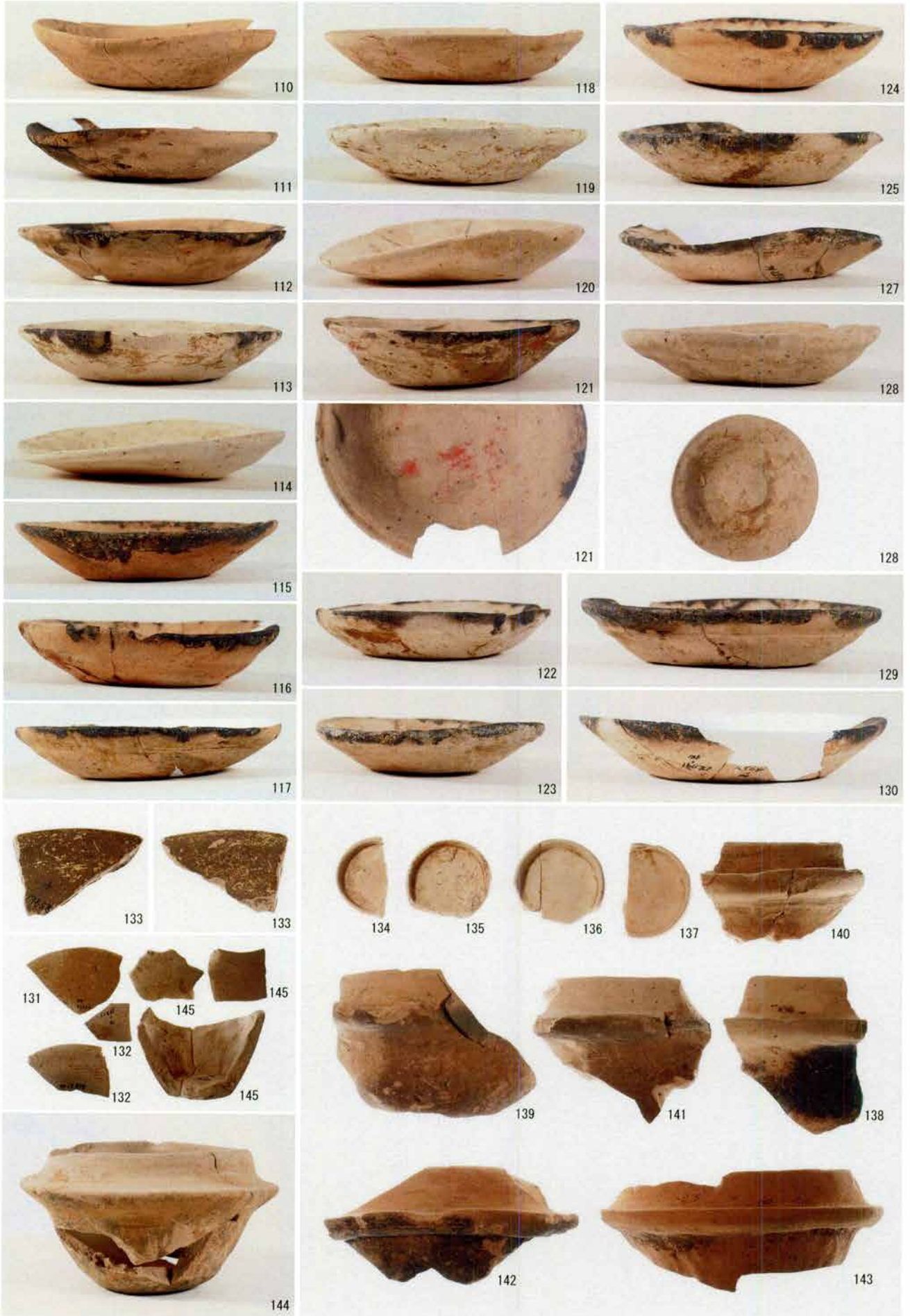
(3) 刀形

(4) 不明部材、石製品











(1)包含層出土土器



(2)SB3976出土土器



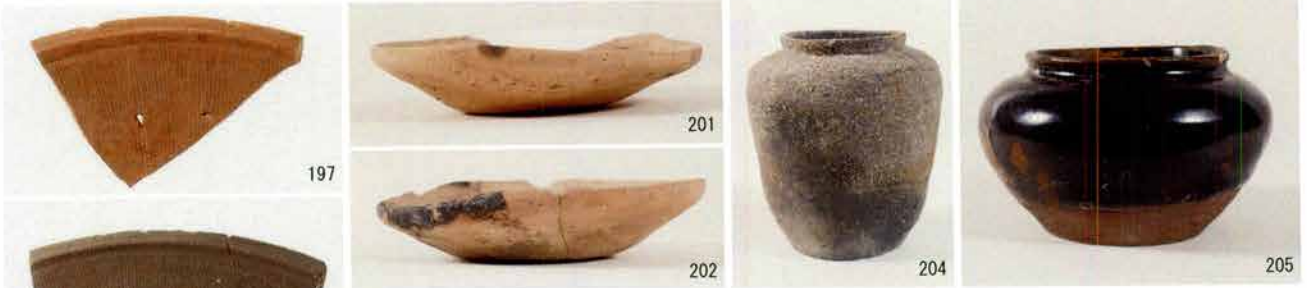
(3)SB3977出土土器



(5)SB4097、SA4098出土土器



(4)SB3978出土土器



(2)SE3990出土土器



(1)SD3987出土土器



(3)SE3990出土土器

(4)SE3990・3991出土土器



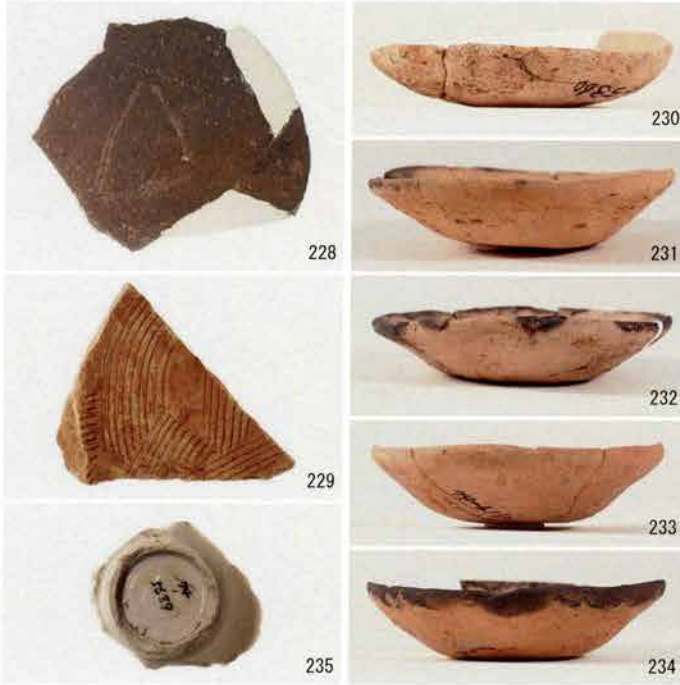
(6)SF3996・3997出土土器

(7)SE4022出土土器



(5)SF3997・3998出土土器

(8)SB4013、SX4024・4025出土土器



(1)SB3973出土土器



(2)SB3974出土土器



(5)SX4010出土土器



(4)SA4012出土土器



(3)SA4012出土土器



(7)SS4066出土土器



(6)SS4005出土土器



(8)SD4090出土土器

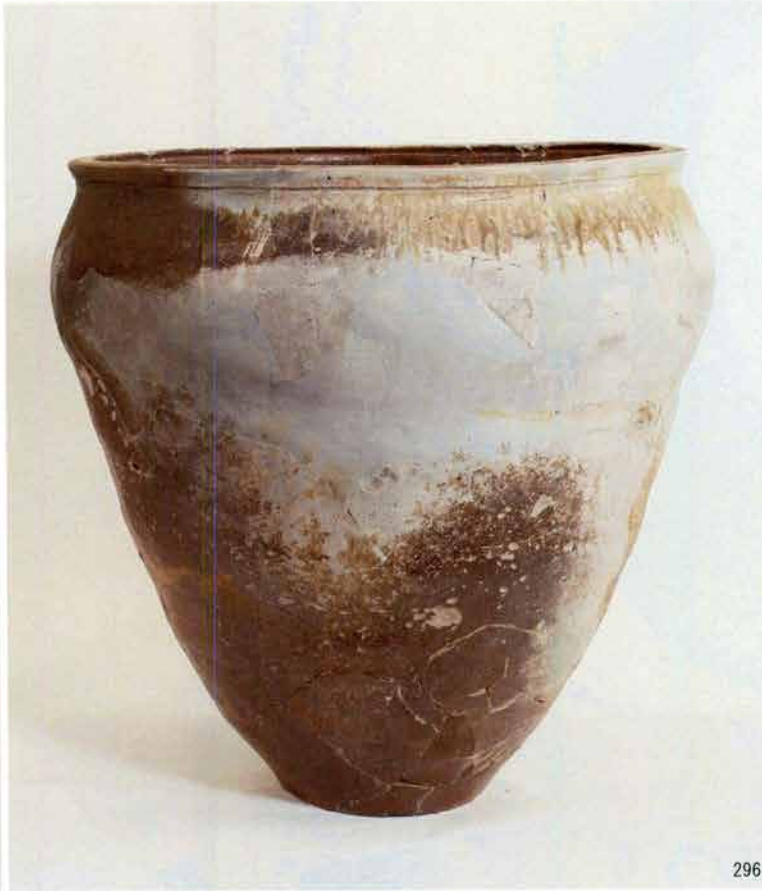


294



294

(1)SK4002出土土器



296

(3)SK4003-P2出土土器



295



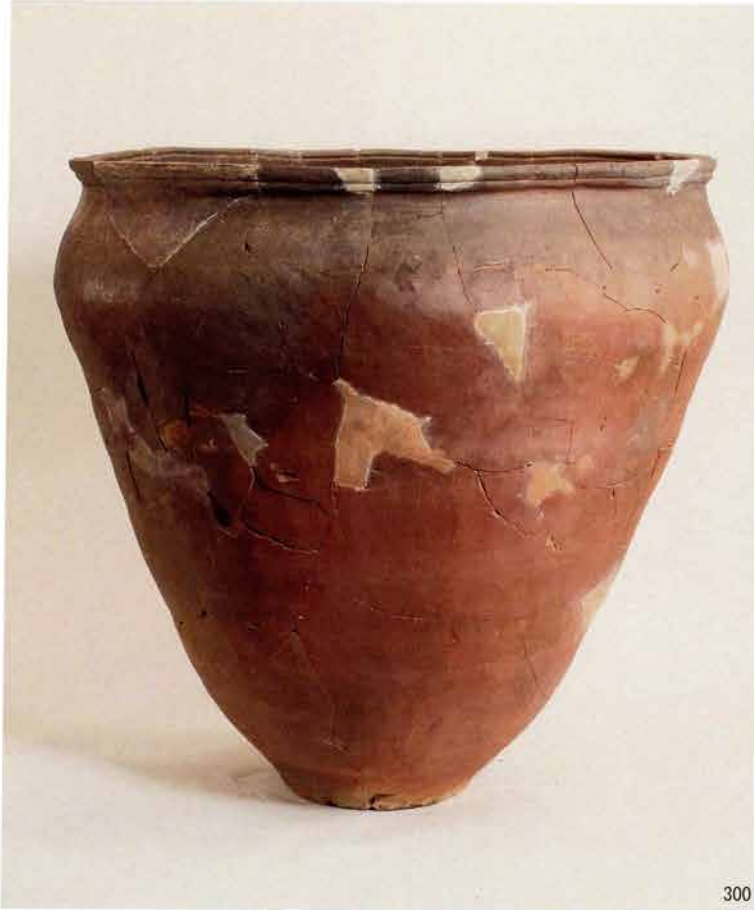
295

(2)SK4003-P1出土土器

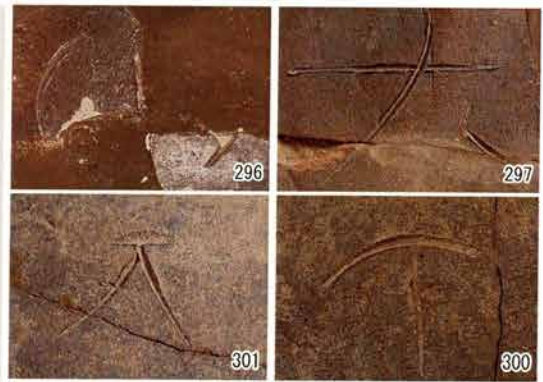


297

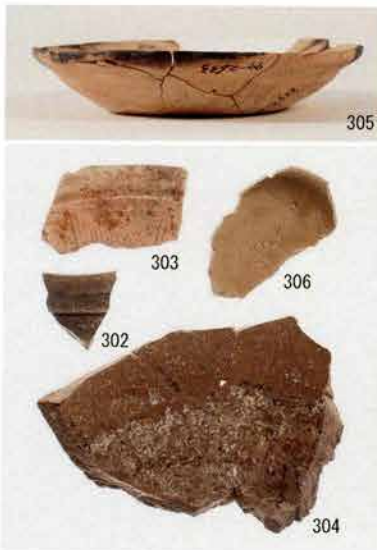
(4)SK4003-P3出土土器



(1)SK4003-P4出土土器



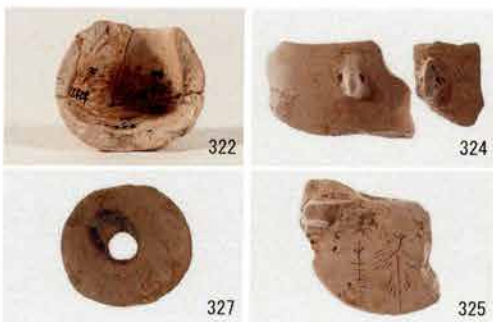
(2)ヘラ記号、SK4003-P5出土土器



(3)SB3972出土土器



(4)SE3993出土土器



(5)土製品

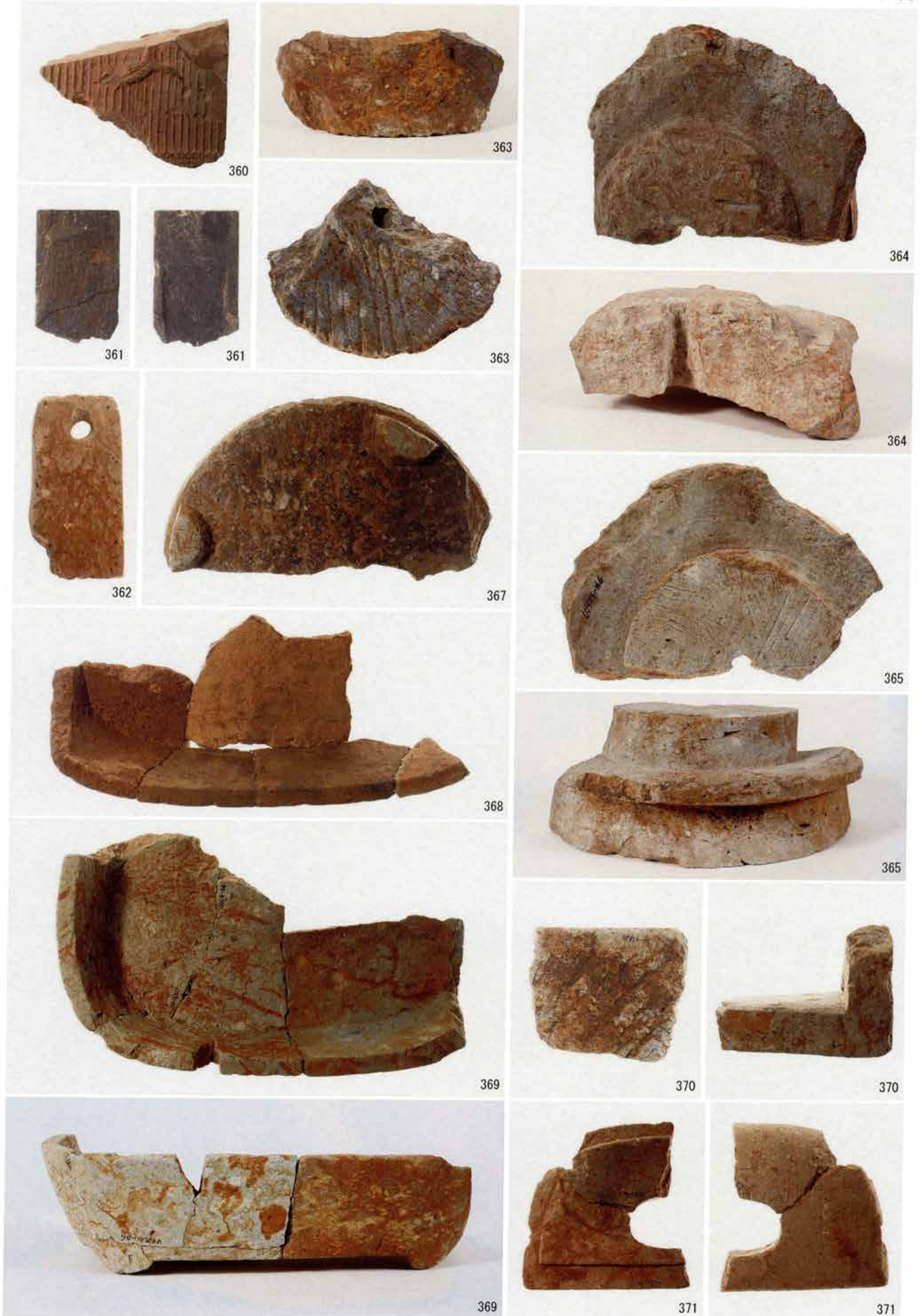


(1) 金属製品



(3) 木製品

(2) 金属製品



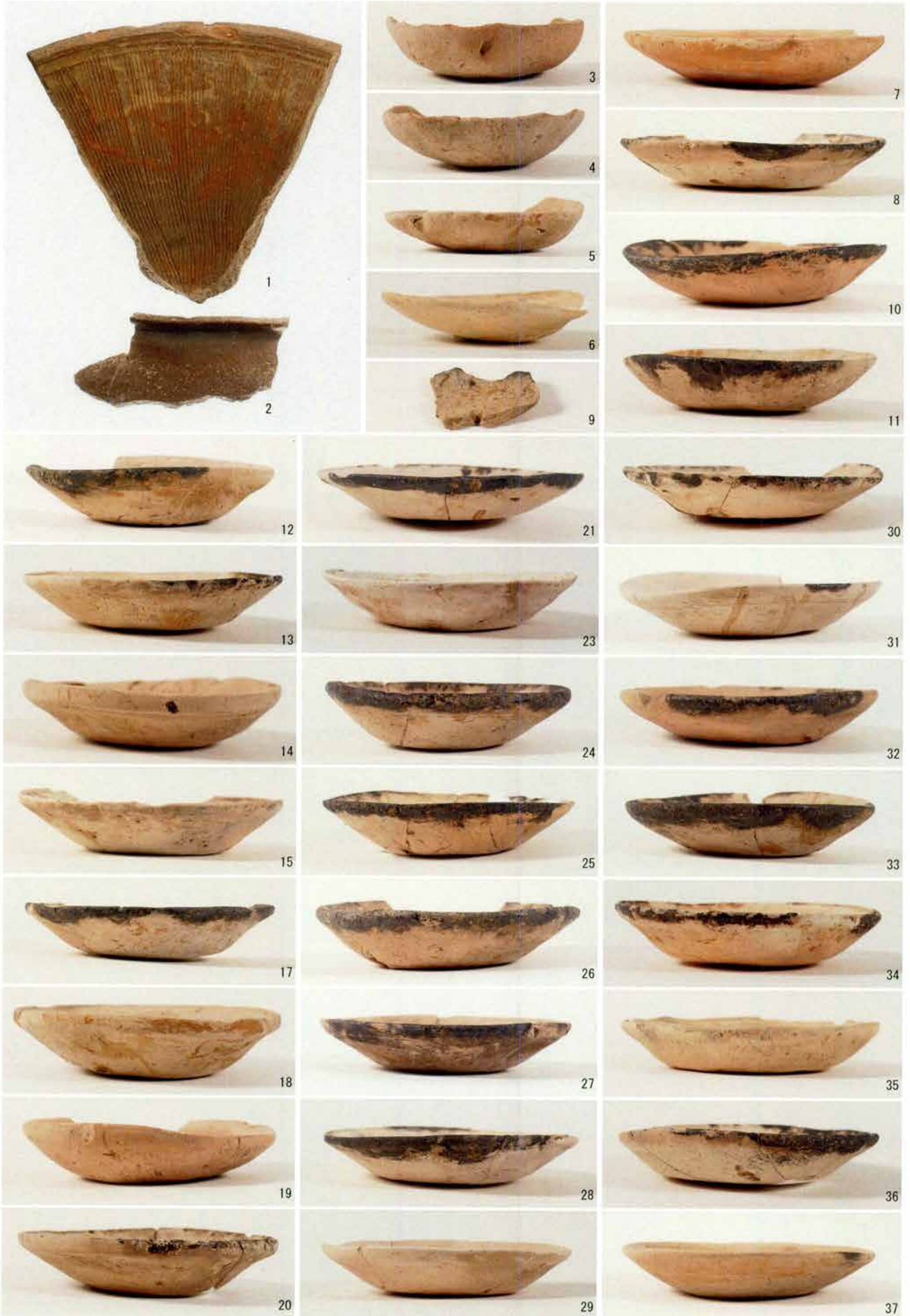


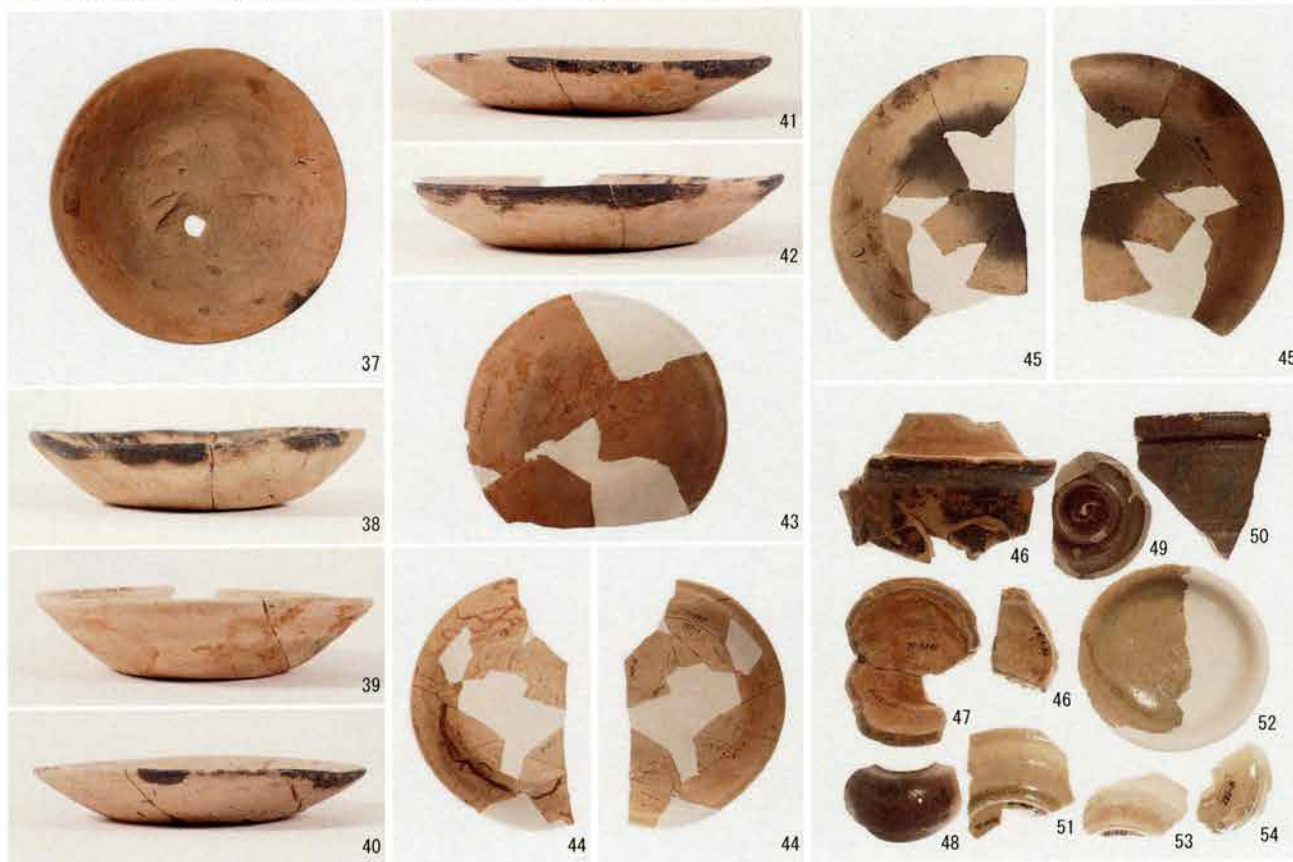
(1)石製品



(2)錢貨







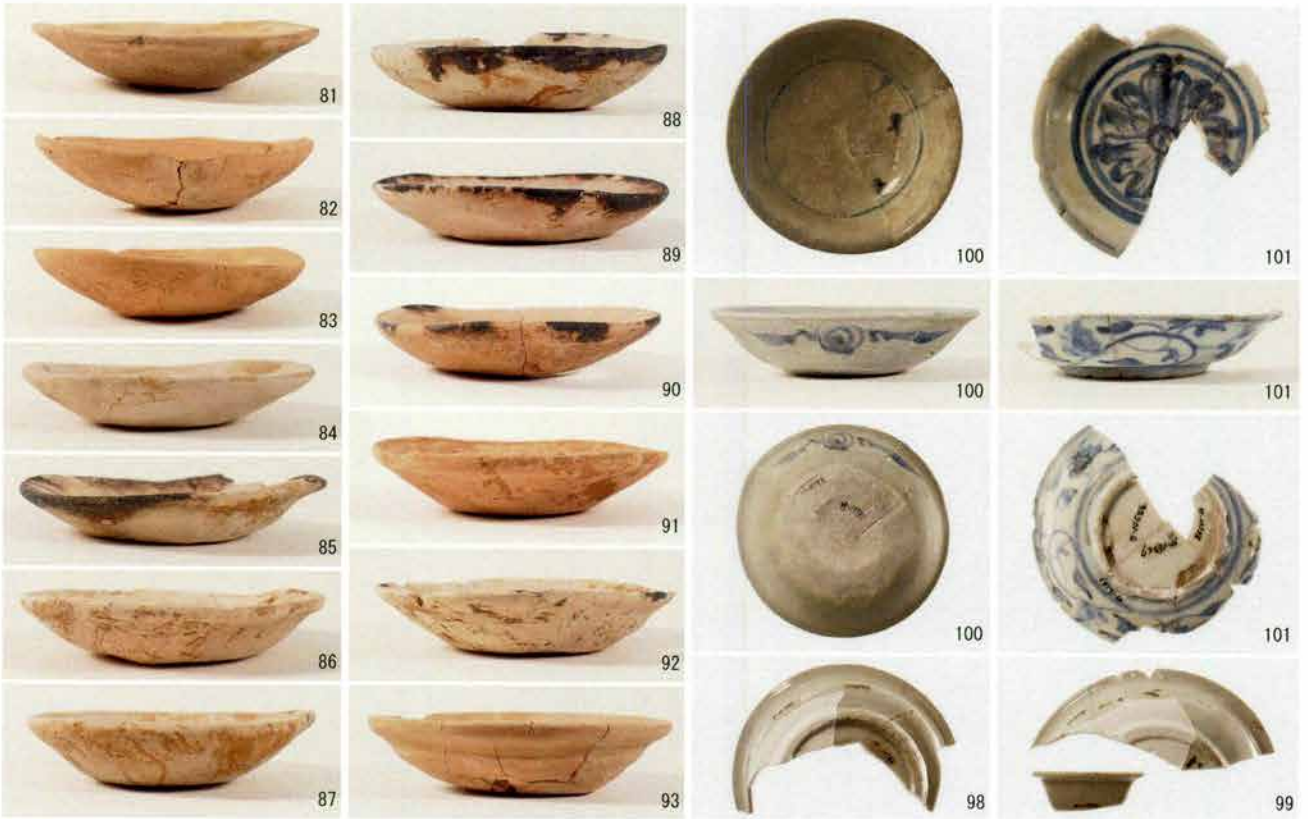
(1) 包含層出土土器



(2) 包含層出土土器



(3) SB4051出土土器

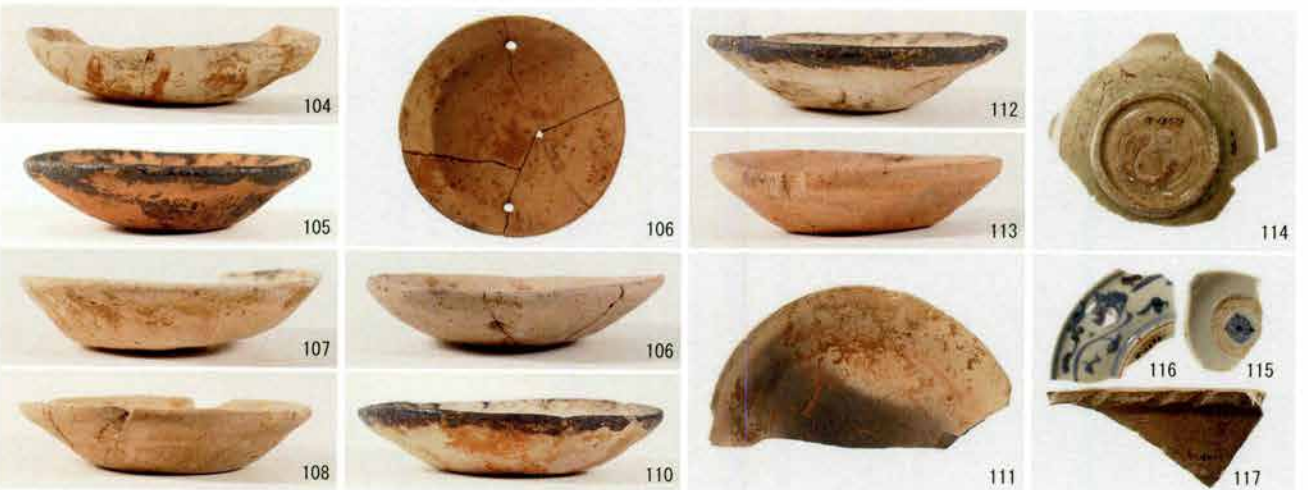


(2)SB4048出土土器



(1)SB4048出土土器

(3)SB4049出土土器



(4)SB4078出土土器

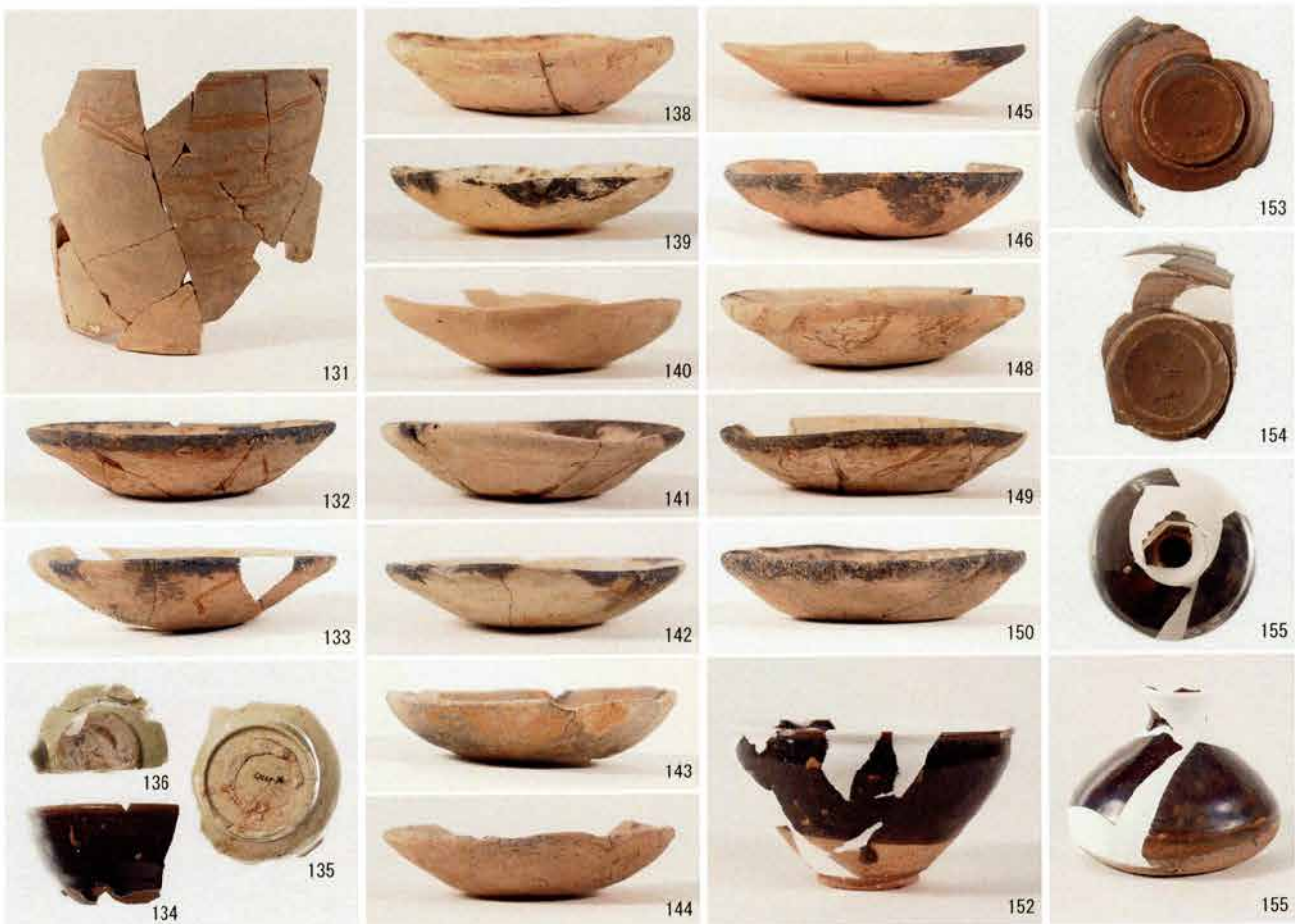


(1)SB4054出土土器

(2)SV4067・4073出土土器



(3)SD4058出土土器



(4)SD4059出土土器

(5)SD4057出土土器



(1)SD4057出土土器

(2)SE4061・4062出土土器



(3)SB4043出土土器



(4)SB4045出土土器



(1)SB4053出土土器



(2)SB4046出土土器



(4)SA4042出土土器

(3)SB4047出土土器



(2) SF4063出土土器

(1) SE4060出土土器

(3) SX4081出土土器



(4) 土製品

(5) 金属製品

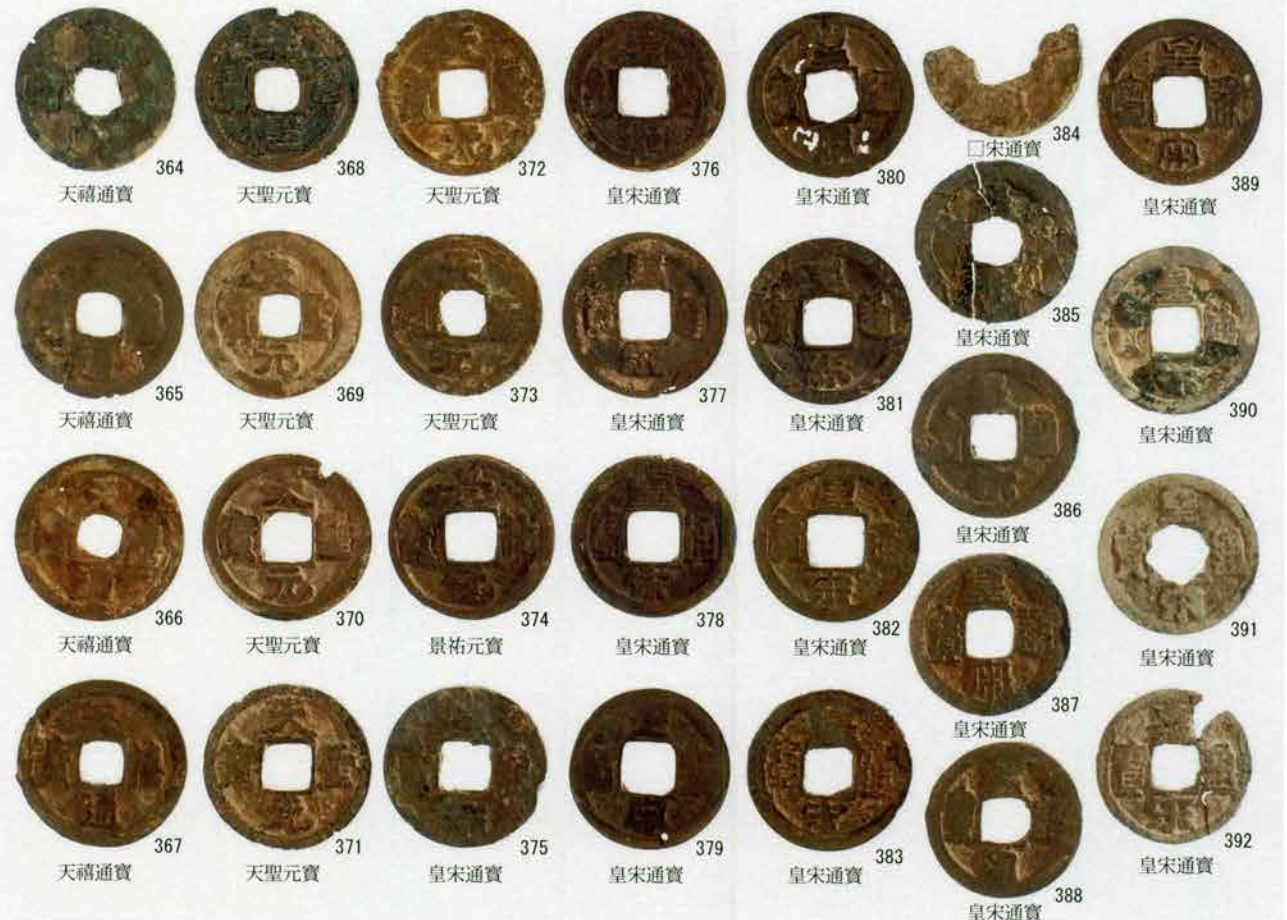


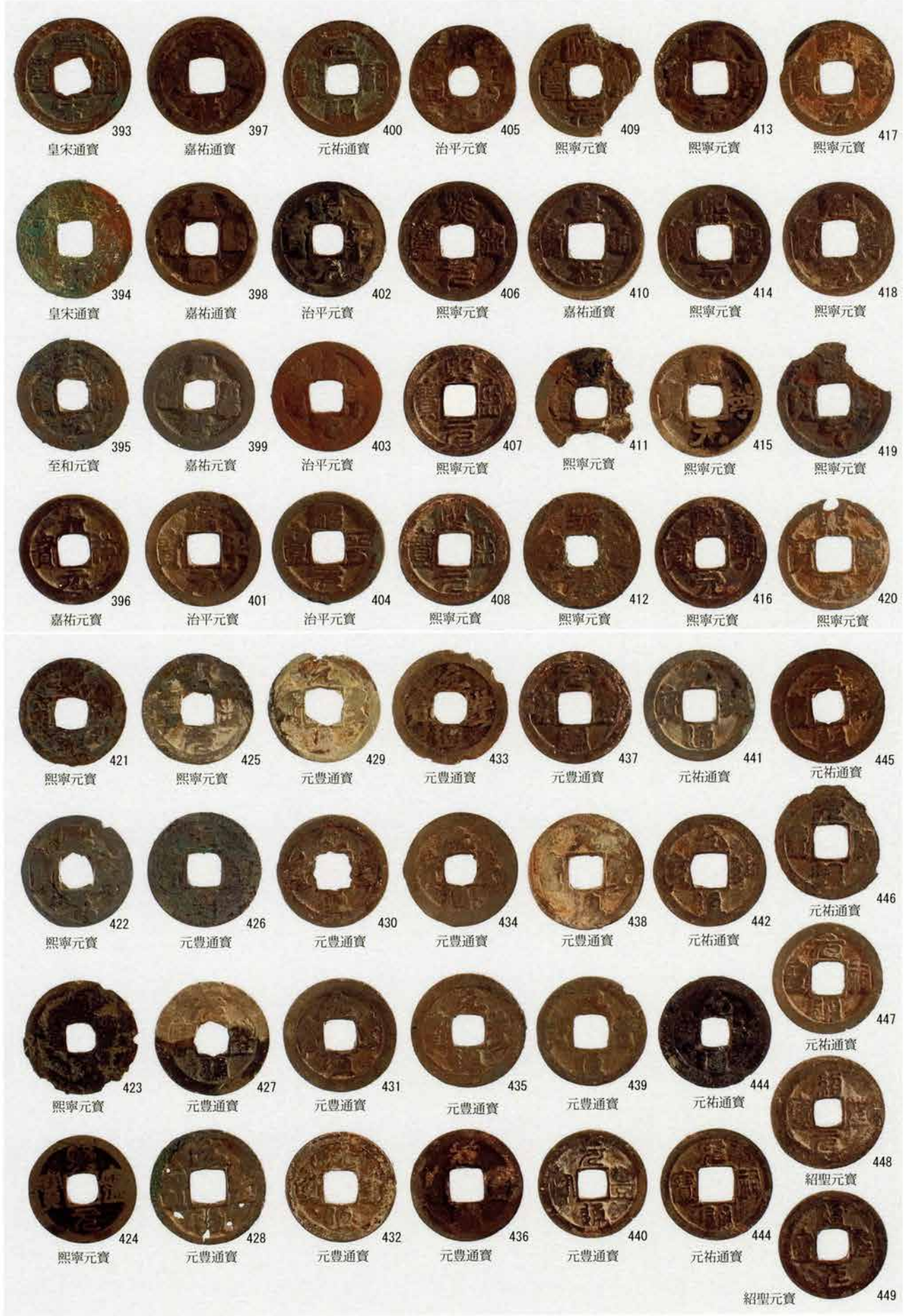
(1)骨角製品、石製品



(2)木製品

(3)錢貨







報告書抄録

ふりがな	とくべつしせき いちじょうだにあさくらしいせきはつかつちょうさほうこく
書名	特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査報告 19
副書名	第 68・74・75 次発掘調査
シリーズ番号	19
編著者名	鈴木篤英
編集機関	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館
所在地	〒 910-2152 福井県福井市安波賀町 4-10 TEL. 0776-41-2301
発行年月日	令和 3 年 3 月 24 日

調査地区	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
第 68 次	福井県福井市城戸ノ内町 6 字中惣 【中惣地区】	18210	史-31	36 度 00 分 20 秒	136 度 17 分 57 秒	19900401 ~ 19901225	3,800 m ²	環境整備に伴う 発掘調査
第 74 次	福井県福井市城戸ノ内町 8 字権殿 【権殿地区】(調査区北西側)	〃	〃	36 度 00 分 15 秒	136 度 17 分 57 秒	19910401 ~ 19910909	1,630 m ²	〃
第 75 次	福井県福井市城戸ノ内町 8 字権殿 【権殿地区】(調査区南東側)	〃	〃	36 度 0 分 14 秒	136 度 17 分 57 秒	19910910 ~ 19911225	970 m ²	〃

調査地区	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
第 68 次 第 I ~ IV 区域	館跡	室町・戦国 15・16 世紀	土塁 2、濠 2、障壁 1、礎 石建物 5、土蔵 1、土坑 10、溝 4、道路 3、石敷遺 構 18、石列 3	越前焼、土師器皿、青磁盤、 白磁皿、染付、鉄鍋把手、小柄、 鉄砲玉、銭貨、漆器椀、曲物、 折敷、雪下駄、笠塔婆、御幣 串、刀形、石盤	概報：『特別史跡一乗谷朝 倉氏遺跡』平成 2 年度発 掘調査環境整備事業概要 (22) 1991 年 3 月 当地は『一乗谷古絵図』に 「朝倉式部大輔館跡」と記 載され、朝倉景鏡の館跡が 想定されてきた。調査の結 果、調査区南北端で館跡の 濠と土塁の痕跡を確認でき た。付属施設として土蔵、 道路も検出された。
第 74 次 (調査区北西側) 第 I ~ III 区域	屋敷跡	〃	土塁石垣 1、障壁 2、礎石 建物 11、土蔵 1、石積遺 構 6、土坑 6、井戸 8、溝 9、 暗渠 2、道路 4、石敷遺構 8	陶磁器、呪符墨書土師器皿、 花押墨書越前焼播鉢、瓦質灯 具、鉄釉、灰釉、青磁、白磁、 染付、朝鮮陶磁器、指輪、小 柄、鉄砲玉、火箸、象形引手 金具、木簡、バンドコ、地藏 立像、金象嵌五輪塔、石製井 戸杵、銭貨	概報：『特別史跡一乗谷朝 倉氏遺跡』平成 3 年度発 掘調査環境整備事業概要 (23) 1992 年 3 月 当地は『一乗谷古絵図』記 載の地割図に「朝倉権ノ頭」 と記載され、「権守」は朝 倉道景とされる。調査の結 果、土塁石垣で区画された 屋敷と、石組排水溝で区画 された建物が複数検出され た。付属施設として土蔵、 道路も検出された。
第 75 次 (調査区南東側) 第 IV・V 区域			土塁石垣 2、礎石建物 15、 土蔵 1、石積遺構 1、井戸 3、 溝 3、門跡 1、暗渠 2、道 路 1、石敷遺構 6、石列 5	陶磁器、呪符土師器皿、墨書 鉢、土鈴、小柄、刀装具、銅 製菊皿、賽子、温石、石硯、 石鬼、バンドコ、石臼、石盤、 風炉、横櫛、雪下駄、漆器皿、 銭貨	

令和3年3月15日 印刷

令和3年3月24日 発行

特別史跡

一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査報告19

第68・74・75次調査

編集 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

発行 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

〒910-2152 福井市安波賀町4-10

印刷 株式会社 竹下印刷所